



Mac 向け Citrix Workspace アプリ

Contents

Mac 向け Citrix Workspace アプリ	3
このリリースについて	5
Technical Preview の機能	84
Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) 搭載 Mac のネイティブサポート	103
システム要件と互換性	106
インストール、アンインストール、およびアップグレード	112
アップデート	116
Citrix Workspace アプリの構成	125
モバイルデバイス管理 (MDM)	126
ストア構成	131
セキュリティと認証	136
認証	136
セキュリティ	143
セキュリティで保護された通信	145
アプリエクスペリエンス	153
アプリケーションの配信	153
強化された Workspace での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス (クラウドユーザーのみ)	155
アプリ設定	156
データ収集と監視	172
HDX とマルチメディア	174
グラフィックとディスプレイ	175
最適化された Microsoft Teams	180
HDX トランスポート	186

デバイス	187
オーディオとマイク	187
クライアントドライブマッピング	190
キーボード	190
印刷	207
USB	209
Web カメラ	214
セッションエクスペリエンス	216
トラブルシューティング	223
廃止	226

Mac 向け Citrix Workspace アプリ

June 26, 2024

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、簡単にインストールできるアプリであり、リモートクライアントデバイスから Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (Citrix Virtual Apps and Desktops サービスの新名称) を使用したアプリケーションやデスクトップへのアクセスを可能にします。管理者は Mac 向け Citrix Workspace アプリをユーザーに簡単に配布でき、ユーザーはシンプルな操作でアプリケーションや仮想デスクトップにすばやくセキュアにアクセスできます。

機能、修正された問題、既知の問題の詳細については、「[このリリースについて](#)」ページを参照してください。

廃止済みの項目については、「[廃止済み](#)」ページを参照してください。

macOS を実行しているさまざまなデバイスで Citrix Workspace アプリを使用できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリで使用できる機能について詳しくは、「[Citrix Workspace アプリの機能マトリックス](#)」を参照してください。

言語サポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、英語以外の言語での使用に適応しています。Mac 向け Citrix Workspace アプリでサポートされている言語のリストについては、「[言語サポート](#)」を参照してください。

以前のバージョンの場合

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2402](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2311](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2309](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2308](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2307](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2306](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2305](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2304](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2301.1](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2301](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2211](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2210](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2209](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2208.1](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2206.1](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2204](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2203.1](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2201](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2112](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2111](#) (PDF ダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2110](#) (PDF ダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2107](#) (PDF ダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2104](#) (PDF ダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2102](#) (PDF のダウンロード)

[Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2101](#) (PDF のダウンロード)

最新リリースではないため、これらの製品バージョンのドキュメントは PDF 版となります。最近更新されたコンテンツについては、[Mac 向け Citrix Workspace アプリ](#)の最新リリースのドキュメントを参照してください。最新リリースのドキュメントには、以前のバージョンからアップグレードするための手順が含まれています。

注:

これらの PDF から外部サイトへのリンクは正しいサイトに移動しますが、ドキュメント内を移動するリンクは無効になっています。

参考記事

- [技術概要: Citrix Workspace](#)
- [開発者用のドキュメント](#)
- [Global App Configuration Service](#)
- [App Protection](#)
- [ワークスペースユーザーインターフェイス \(user interface: UI\)](#)
- [Citrix Virtual Apps and Desktops 環境での Microsoft Teams の最適化](#)
- [iOS 向け Citrix Workspace アプリ](#)
- [Citrix Workspace アプリのリリーススケジュール](#)

関連製品の到着情報

- [Citrix Enterprise Browser: このリリースについて](#)

- Citrix Workspace: [新機能](#)
- Citrix DaaS: [新機能](#)
- StoreFront: [新機能](#)
- Secure Private Access: [新機能](#)

古いドキュメント

保守終了（EOL）に達した製品リリースについては、[古いドキュメント](#)を参照してください。

このリリースについて

June 27, 2024

Mac 向け Citrix Workspace アプリの新機能、機能強化、解決された問題、既知の問題について説明します。

Technical Preview の機能一覧は「[Technical Preview の機能](#)」セクションに記載されており、それらを 1 か所で確認することができます。Preview 機能をご使用後、添付の Podio フォームリンクを使用してフィードバックを共有してください。

注:

自動更新サービスはバージョン 2304 以降でサポートされています。Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2301 以前を使用している場合は、自動更新サービスで最新バージョンに更新することはできません。代わりに、「[Downloads](#)」ページで入手可能な.dmg ファイルをダウンロードして、Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2304 以降を手動でインストールする必要があります。詳細については、「[手動インストール](#)」を参照してください。

Apple シリコン（M1 および M2 シリーズ）ユニバーサルアーキテクチャ搭載 Mac のネイティブサポート

ユニバーサルアーキテクチャビルドのリリースにより、Citrix Workspace アプリは、Apple シリコン（M1 および M2 シリーズ）を搭載した Mac をネイティブサポートするようになりました。ユニバーサルアーキテクチャビルドは、プロセッサアーキテクチャに関係なく、どの Mac デバイスでも実行できます。

Apple シリコンを搭載した Mac 向け Citrix Workspace アプリの Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドを使用している場合は、アプリを実行するために Rosetta エミュレーションを使用する必要があります。

ユニバーサルアーキテクチャビルドの最新バージョンおよび Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドは、[Downloads](#)でダウンロードできます。

注:

Citrix は引き続き Intel ベースの Mac と Apple シリコン（M1 および M2 シリーズ）を搭載した Mac をサポ

ートします。ただし、Citrix は間もなく、Intel ベースの Mac で Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドを廃止する予定です。Citrix は引き続き Intel ベースの Mac と Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac でユニバーサルアーキテクチャビルドをサポートします。「[廃止](#)」セクション記載のお知らせに注意してください。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を実行している Mac で Citrix Workspace アプリを使用している場合は、HDX RealTime Optimization Pack (RTOP) をアップグレードする必要があります。このアップグレードにより、Microsoft Skype for Business のオーディオ/ビデオ会議やボイスオーバー IP の企業向け電話が最適化されます。Mac 用 HDX RealTime Media Engine 2.9.500 は、Citrix Web サイトの「[Downloads](#)」からインストールできます。

所属組織でサードパーティのプラグインまたは仮想チャネルを使用している場合は、これらのプラグインが Apple シリコンを実行する Mac と互換性があることを確認する必要があります。プラグインが社内で開発されたものである場合は、ユニバーサルアーキテクチャビルドをインストールする前に、これらのプラグインを再構築 (リビルド) する必要があります。

ユニバーサルアーキテクチャビルドのアンインストールやカスタム仮想チャネル SDK (VCSDK) の使用などについて詳しくは、「[Apple シリコンのネイティブサポート](#)」セクションを参照してください。

2402.10 の新機能

2402.10 リリースでは問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

Citrix Workspace アプリの終了機能の強化

2402.10 バージョン以降では、Citrix Workspace アプリの終了機能が強化され、Apple の終了メニューの動作と一致するようになりました。次のいずれかのオプションを使用して Citrix Workspace アプリを終了すると、アプリは閉じられ、バックグラウンドで実行されなくなります。

- メニューバーから **Citrix Workspace** を終了する、
- ドックから終了する、
- クイックアクセスメニューから終了する、または
- **Command + Q** キーを押す。

2402.10 で解決された問題

- ローカルの認証ユーザーが権限をルートユーザーに昇格できるセキュリティ脆弱性が修正されました。詳しくは、[CTX675851](#)を参照してください。[CVE-2024-5027]

2402.10 の既知の問題

- Citrix Enterprise Browser の Global App Configuration Service を通じて「一時的なプロファイルを強制する」設定が有効になっている場合、ユーザーがブラウザーを終了せずにブラウザーウィンドウを閉じると、新しいタブの作成やアドレスバーへの入力が正常に機能しない状態になります。回避策として、ユーザーはブラウザーを完全に終了してから再度開く必要があります。[CTXBR-8738]

以前のリリース

このセクションでは、以前のリリースの機能と、解決された既知の問題を示します。リリースは、リリース日の 18 か月後に製品終了 (EOL) になります。サポートされているバージョンのライフサイクル日程について詳しくは、「[Citrix Workspace アプリおよび Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」を参照してください。

2402

新機能

オンプレミス展開における仮想アプリとデスクトップの読み込みエクスペリエンスの強化 Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、オンプレミス展開での初回のユーザーエクスペリエンスが向上しました。認証が成功すると、仮想アプリとデスクトップが以前よりも高速に取得されます。

H.265 ビデオデコーディングのサポート 2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、リモートグラフィックやビデオのハードウェアアクセラレーションで H.265 ビデオコーデック (HEVC) の使用をサポートしています。h.265 ビデオコーデック (HEVC) は、デフォルトで YUV 4:2:0 色空間をサポートしています。H.265 ビデオコーデックが、VDA および Citrix Workspace アプリの両方でサポートされ、かつ有効になっている必要があります。Mac デバイスが VideoToolbox インターフェイスを使用する H.265 デコードをサポートしていない場合、グラフィックポリシー設定の H.265 デコードは無視され、セッションは H.264 ビデオコーデックの使用に戻ります。詳しくは、「[H.265 ビデオデコーディングのサポート](#)」を参照してください。

HDX デスクトップセッションでのシステムショートカットのサポート 以前は、**Option + Command + ESC**、**Command + Space** バー、**Command + Tab**、**Control + Command + Q**、**Shift + Command + Q**、**Control + 上/下/左/右**などのシステムのキーボードショートカットは、最初に macOS で使用されていたため、macOS ローカルでのみ機能していました。

バージョン 2402 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ウィンドウモードと全画面モードで macOS システムがキーボードショートカットを VDA (HDX セッション) に送信することをサポートします。この機能を使用すると、システムショートカットを macOS ローカルで、またはウィンドウモードまたは全画面モードの HDX デスクトップセッションで有効にする方法を設定できます。

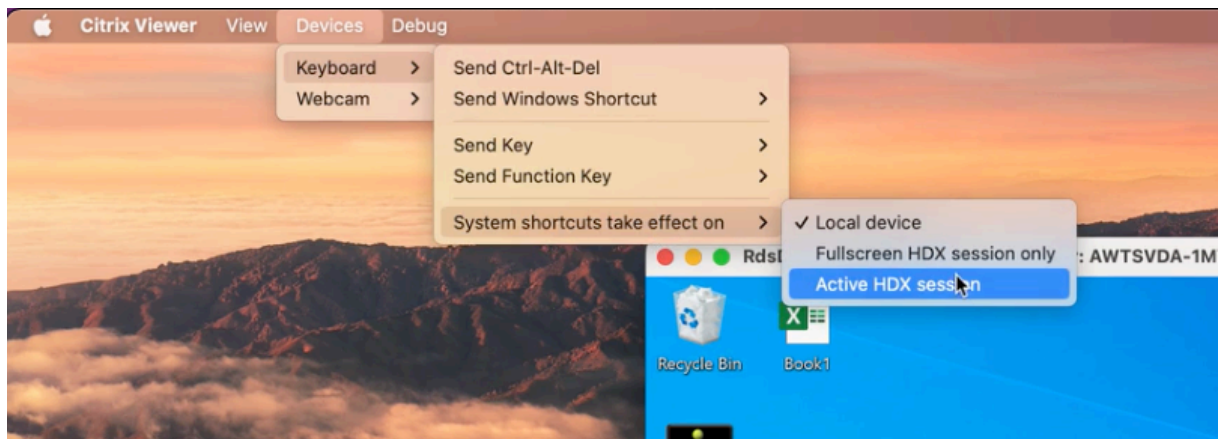
キーボード設定の次のオプションを使用すると、システムショートカットを制御できます：

- ローカル デバイス: システムショートカットは、macOS でのみローカルで有効になります。HDX セッションには影響しません。ローカルデバイスオプションがデフォルトのオプションです。
- 全画面 **HDX** セッションのみ: システムショートカットは、セッションが全画面モードのときに HDX セッションで機能します。セッションがウィンドウモードの場合、またはアクティブなセッションがない場合、システムショートカットは HDX セッションに影響しません。
- アクティブな **HDX** セッション: セッションがウィンドウモードおよび全画面モードの場合、システムショートカットは HDX セッションで機能します。アクティブな HDX セッションがない場合、または前面にアクティブなセッションウィンドウがない場合、システムショートカットはローカルの macOS でのみ有効になります。

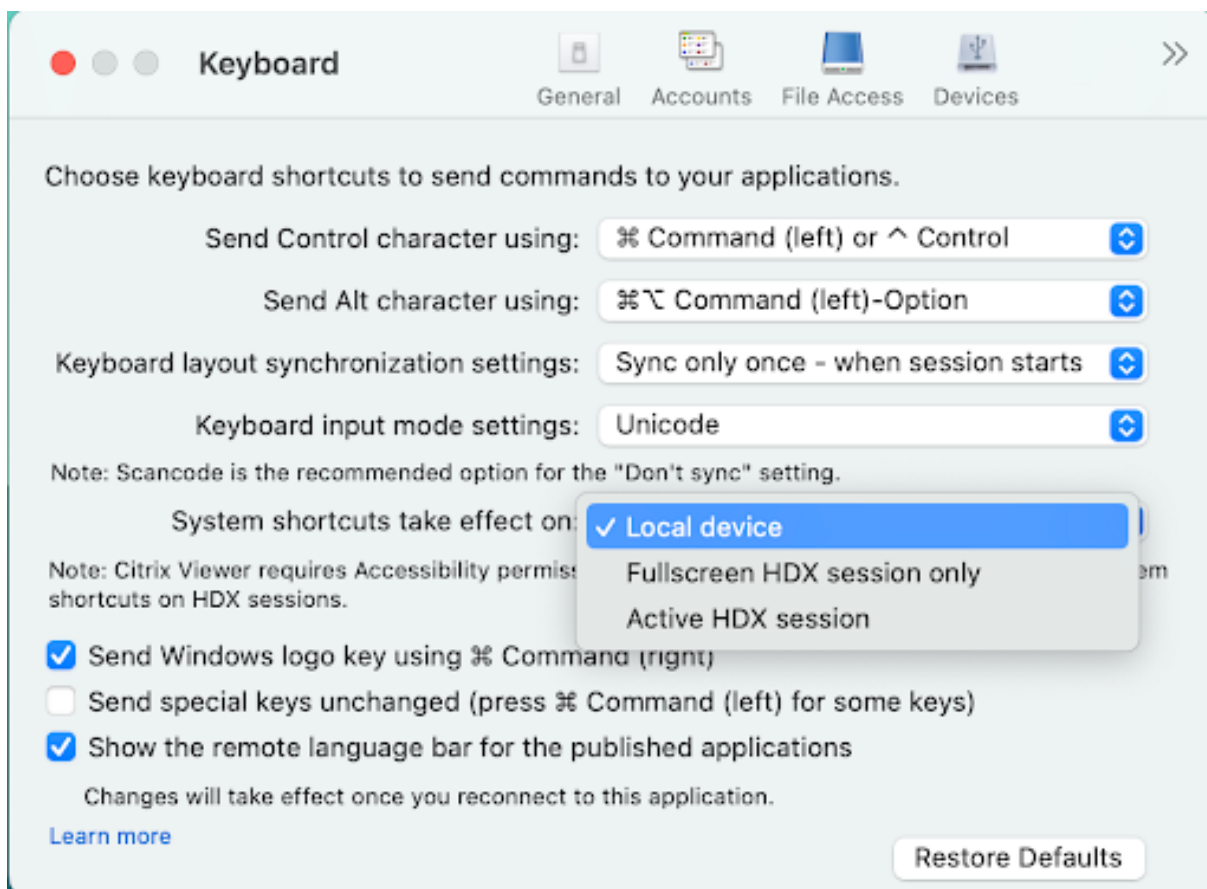
システムショートカットを HDX セッションで有効にするには、HDX セッションを開きます。**Citrix Viewer** メニューバーで、[デバイス] > [キーボード] > [システムショートカットを有効にする] に移動し、[全画面 **HDX** セッションのみ] または [アクティブな **HDX** セッション] を選択します。

注:

HDX セッションのシステムショートカットを有効にすると、この機能を使用するために Citrix Viewer へのアクセスビリティアクセスを提供するように求められます。**Citrix Viewer** へのアクセスビリティアクセスを提供するには、ダイアログボックスで [システム設定を開く] をクリックし、**Citrix Viewer** へのアクセスビリティアクセスを有効にします。詳しくは、Apple サポート記事の「[アクセスビリティアプリに Mac へのアクセスを許可する](#)」を参照してください。

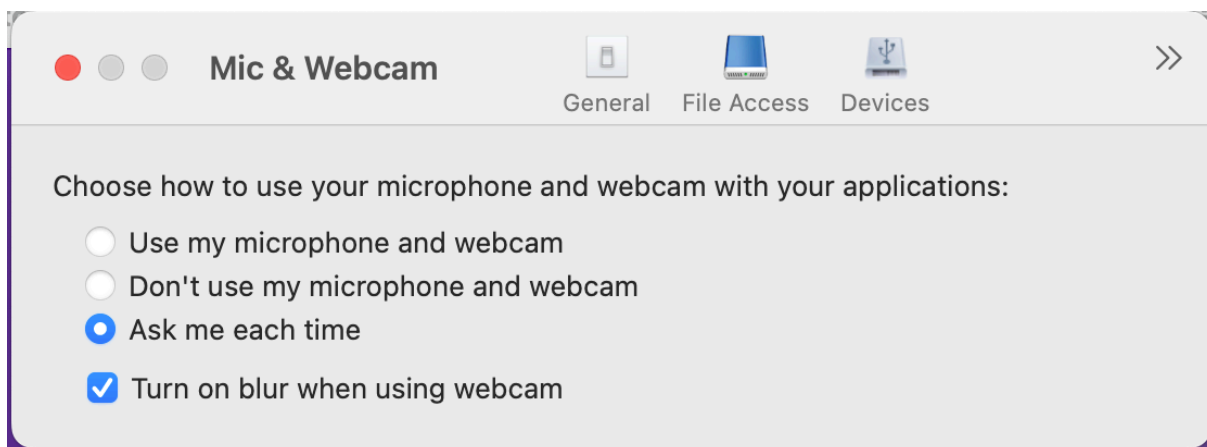


または、[環境設定] > [キーボード] に移動して、システムショートカットを HDX セッションの全画面またはウィンドウモードで有効にすることもできます。[システムショートカットを有効にする] ドロップダウンメニューから、[全画面 **HDX** セッションのみ] または [アクティブな **HDX** セッション] オプションを選択します。



詳しくは、「[HDX デスクトップセッションでのシステムショートカットのサポート](#)」を参照してください。

Web カメラの背景のぼかしをサポート 2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリが、Web カメラの使用時に背景のぼかしをサポートするようになりました。背景のぼかし機能を有効にするには、[環境設定] > [Mic & Webcam] に移動して、[Turn on blur when using webcam] を選択します。詳しくは、「[Web カメラの背景のぼかしをサポート](#)」を参照してください。



オーディオの音量の同期のサポート 以前は、オーディオの音量コントロールは、Virtual Delivery Agent (VDA) とデバイス間で独立していました。目的の音量を維持するには、両側の音量を調整する必要がありました。また、デバイスでミュートにしている場合は、VDA で音量のミュートを解除することが制限されます。

バージョン 2402 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、VDA とオーディオデバイス間の音量の同期をサポートします。VDA オーディオの音量スライダーを使用して音量を調整して同じ音量をデバイス上でも維持でき、その逆も可能になりました。この機能は、デフォルトで有効になります。詳しくは、「[音量の同期のサポート](#)」を参照してください。

オーディオの損失耐性モード 2402 バージョン以降、Citrix Workspace アプリはオーディオリダイレクトの損失耐性モード (EDT lossy) をサポートします。この機能により、ユーザーが遅延やパケット損失が大きいネットワーク経由で接続している場合に、リアルタイムストリーミングのユーザーエクスペリエンスが向上します。この機能は、デフォルトで有効になります。詳しくは、「[オーディオの損失耐性モード](#)」を参照してください。

HDX Reducer をバージョン **4** にアップグレード 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは HDX Reducer V3 をサポートしていました。2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは HDX Reducer V4 をサポートしています。この機能により、通常のセッションに必要なネットワーク帯域幅が削減され、応答時間が短縮されます。詳しくは、「[HDX Reducer をバージョン 4 にアップグレード](#)」を参照してください。

App Protection が有効な場合の画面共有のサポート 2402 バージョン以降、App Protection が有効になっている場合でも、HDX 最適化を使用した Microsoft Teams でコンテンツを共有できるようになりました。この機能を使用すると、仮想デスクトップセッションで画面を最大限に共有できます。詳しくは、「[Microsoft Teams の HDX 最適化との互換性](#)」を参照してください。

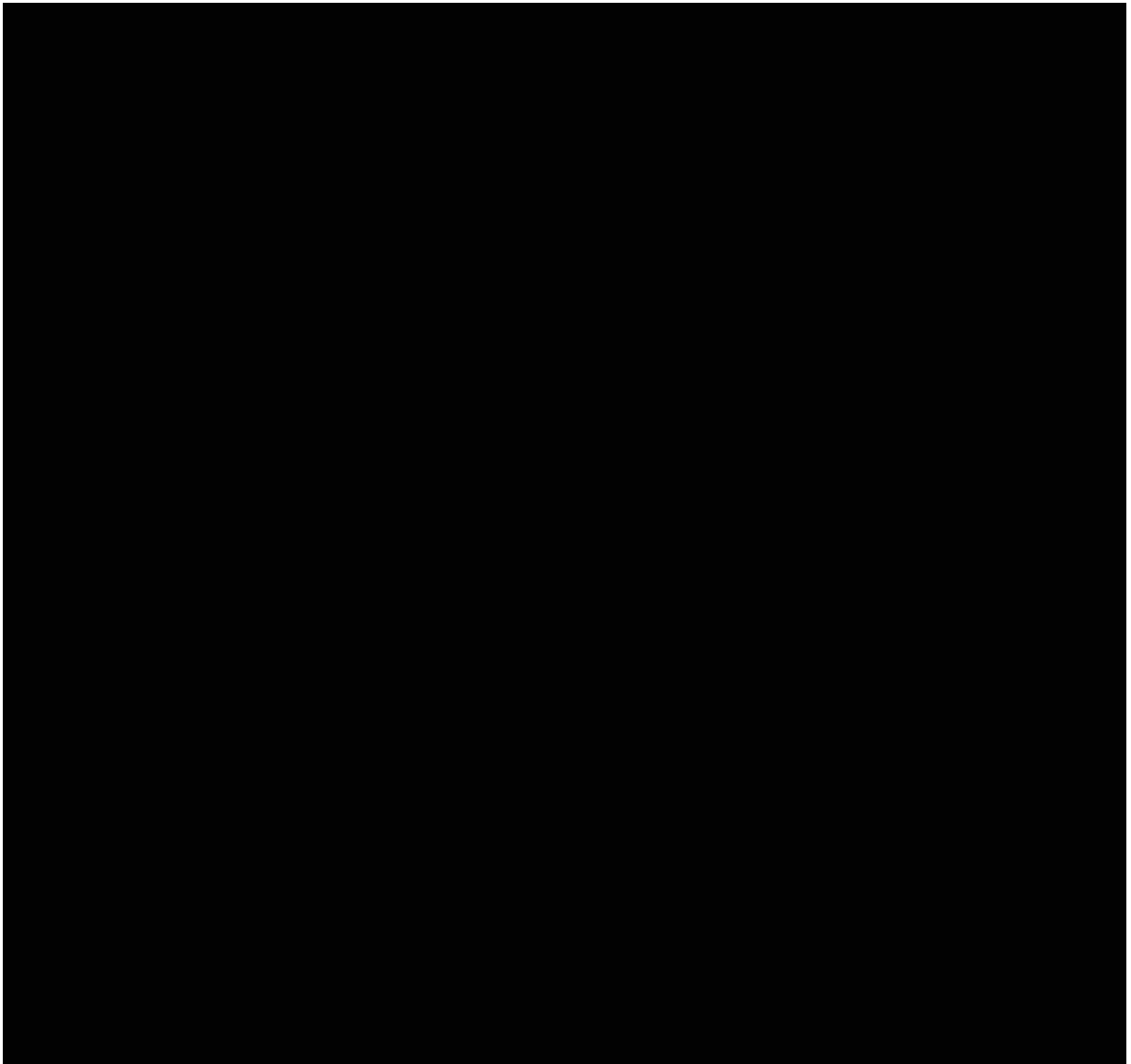
Global App Configuration Service の機能強化 2402 バージョン以降、Citrix Workspace の強化された Global App Configuration Service (GACS) では、次の機能がサポートされるようになりました:

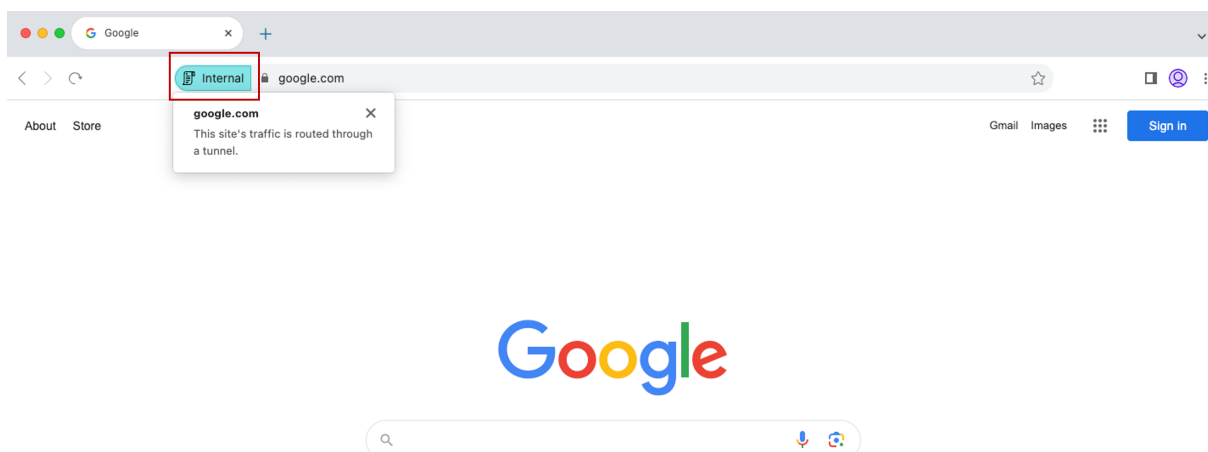
- 設定はユーザー認証で保護
- 検出ワークフローの強化
- 完全な StoreFront URL のサポート

詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 121 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 121.1.1.26 が含まれています。詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#) のドキュメントを参照してください。

Web サイトにアクセスする場合のセキュリティインジケータ－ Citrix Enterprise Browser では、ユーザーが Web サイトにアクセスしたときに、アドレスバーにセキュリティインジケータ－が表示されるようになりました。このインジケータ－は、内部サイトであるかどうか、潜在的なセキュリティ制限があるかどうかなど、Web サイトのセキュリティ面についてユーザーに通知することを目的としています。インジケータ－をクリックすると、詳しい情報が表示されます。インジケータ－はデフォルトで Enterprise Browser に表示され、ユーザーエクスペリエンスが向上します。





Global App Configuration Service によってシンプルになった Web および SaaS アプリのシングルサインオン

注:

Mac オペレーティングシステムの場合、この機能は以前はリリース 119.1.1.115 以降の StoreFront でのみ利用可能でした。現在、121.1.1.26 のリリースにより、Workspace でも利用できるようになりました。

以前は、PowerShell モジュールを使用して Citrix Enterprise Browser のシングルサインオン (SSO) が構成されていました。このバージョン以降、Global App Configuration Service (GACS) に新しく導入された設定を使用して、Citrix Enterprise Browser で SSO を構成できます。管理者は、この新しい設定を使用して、Citrix Enterprise Browser のすべての Web アプリおよび SaaS アプリに対して SSO を有効にすることができます。この方法では、複雑な PowerShell モジュールが必要なくなります。

GACS を使用して SSO を管理する方法について詳しくは、「Global App Configuration Service を使用した Web および SaaS アプリのシングルサインオンの管理」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser が Global App Configuration Service に追加の設定を導入 Citrix Enterprise Browser を構成するための次の追加設定が Global App Configuration Service (GACS) に追加されました:

- 「住所情報の自動入力を有効にする」 - 管理者が住所の自動入力候補を有効または無効にできるようにします。
- 「クレジットカード情報の自動入力を有効にする」 - 管理者がクレジットカード情報の自動入力候補を有効または無効にできるようにします。
- 「起動元からの自動起動プロトコル」 - 管理者は、ユーザーにプロンプトを表示せずに、起動元の一覧から外部アプリを起動できるプロトコルの一覧を指定できます。
- 「コマンドラインフラグのセキュリティの警告を有効にする」 - 潜在的に危険なコマンドラインフラグが Enterprise Browser を起動しようとするときに表示されるセキュリティの警告を、管理者が表示または非表示にできるようにします。
- 「デフォルトの Cookie 設定の管理」 - 管理者が Web サイトの Cookie を管理できるようにします。
- 「デフォルトのポップアップ設定の管理」 - 管理者が Web サイトからのポップアップを管理できるようにします。

- 「拡張機能のインストール元」 - 管理者は、ユーザーが拡張機能、アプリ、テーマをインストールするための有効なインストール元を指定できます。
- 「類似警告ページを無効にする」 - ユーザーがそのドメインのページにアクセスしたときに類似警告ページが表示されない優先ドメインを、管理者が指定できるようにします。
- 「決済方法の問い合わせを有効にする」 - 管理者は、ユーザーが決済方法を保存したかどうかを Web サイトで確認できるようになります。
- 「ブラウザー履歴の保存を管理」 - 管理者が Enterprise Browser 履歴の保存を管理できるようにします。
- 「検索候補の管理」 - 管理者は、Enterprise Browser のアドレスバーで検索候補を有効または無効にすることができます。
- 「ブックマークのエクスポートを有効にする」 - 管理者が Enterprise Browser でブックマークをエクスポートするオプションを有効にできるようにします。
- 「一時的なプロファイルを強制する」 - ユーザーが Enterprise Browser を閉じたときに、管理者がユーザープロファイルデータを消去または保持できるようにします。

詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Citrix Enterprise Browser の管理](#)」を参照してください。

Technical Preview

- Citrix Workspace アプリを使用した Citrix Secure Access への自動でのシングルサインオンをサポート
- Zoom VDI プラグインのクライアントアプリ管理
- 強化された Desktop Viewer ツールバー
- Desktop Viewer ツールバーのカスタマイズ
- パケット損失補間を有効にしてオーディオパフォーマンスを向上
- デスクトップセッションの外部モニターへの自動拡張をサポート
- Citrix Workspace アプリでのサステナビリティに関する取り組み

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2311 に接続すると、次のエラーメッセージが表示される場合があります:

Http/1.1 Internal Server Error 43524

[CVADHELP-24631]

- 一部の古い Mac デバイスでは、Global App Configuration Service ポリシーが適用されない場合があります。[CVADHELP-24863]

既知の問題

- 一部の Mac では、仮想セッションで全画面表示に入ると、アプリケーション画面がノッチで隠される場合があります。この問題を回避するには、アプリウィンドウを調整して、画面のノッチの下に収まるようにします。
[HDX-63035]

2311

新機能

オンプレミスストアへの接続で **FIDO2** を使用した認証のサポート 以前は、FIDO2 ベースのパスワードなしの認証がクラウドストアへの接続でサポートされていました。詳しくは、「[クラウドストアへの接続時における FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

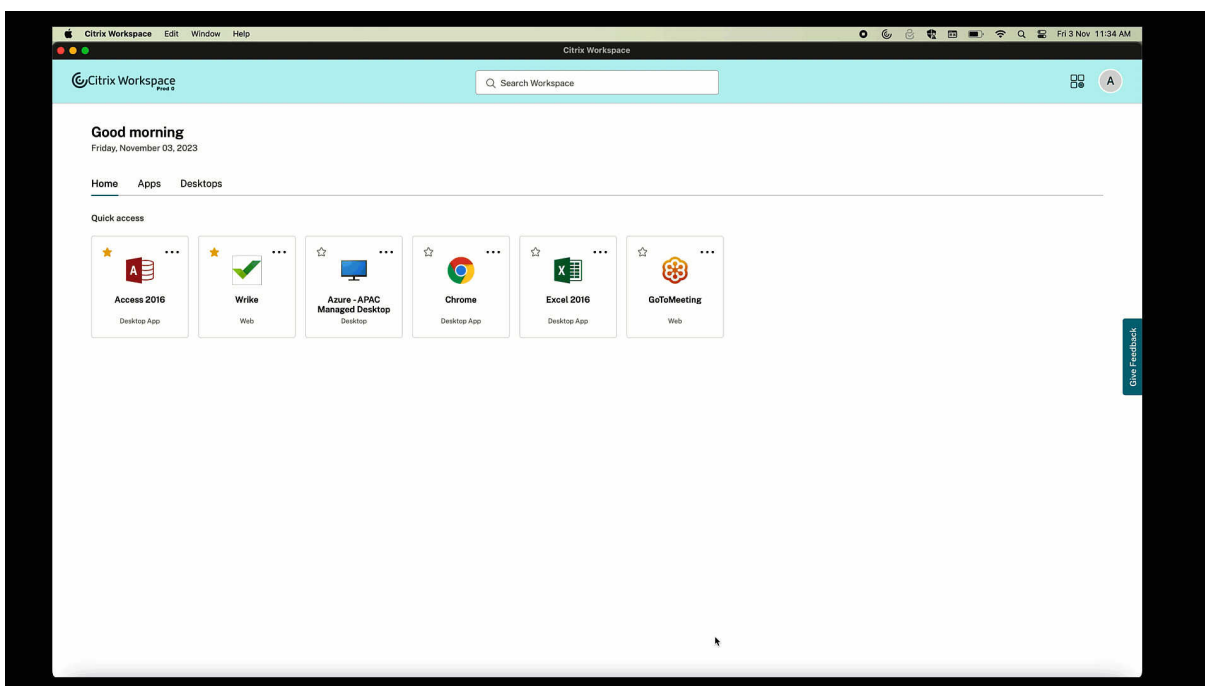
このバージョンでは、ユーザーは FIDO2 認証を使用してオンプレミスストアに接続することもできます。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証 (USB のみ) をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。詳しくは、「[クラウドストアへの接続時における FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

仮想アプリとデスクトップセッション用のユニバーサルアーキテクチャビルドの機能強化 2311 バージョン以降、ユニバーサルアーキテクチャビルドは、仮想セッションをネイティブの Apple シリコンモードで実行するか Intel モードで実行するかを、自動的に選択できるようになりました。Rosetta エミュレーションを使用して、Intel モードで仮想セッションを起動します。仮想チャネル SDK がネイティブの Apple シリコンアーキテクチャに基づいて構築されている場合、または仮想チャネル SDK がない場合、仮想セッションはネイティブの Apple シリコンモードで起動します。ただし、仮想チャネル SDK が x86_64 Intel ベースのアーキテクチャで構築された場合、仮想セッションは Rosetta エミュレーションを使用して Intel モードで起動します。

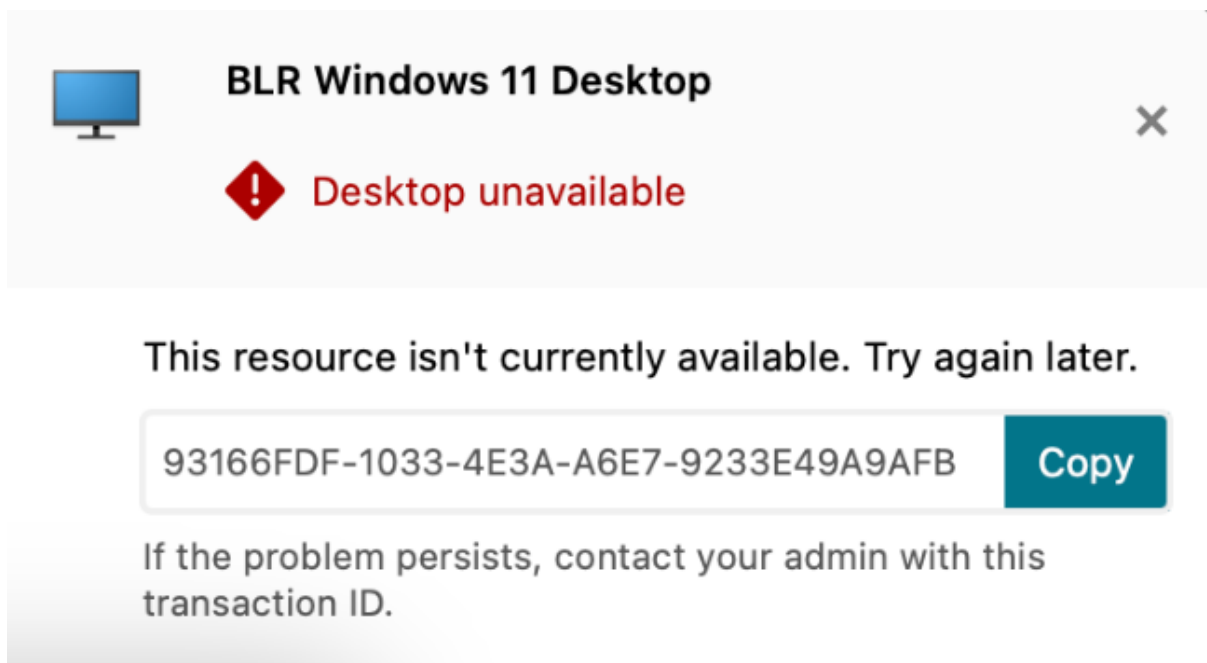
ユニバーサルアーキテクチャビルドに対するこの機能強化により、Apple シリコンチップセットを搭載した Mac での起動エクスペリエンスが向上します。Intel ベースのチップセットを搭載した Mac を使用しているユーザーの場合は変更はなく、ユニバーサルアーキテクチャビルドは引き続き仮想セッションをネイティブに実行します。

詳しくは、「[仮想アプリとデスクトップセッション用のユニバーサルアーキテクチャビルドの機能強化](#)」を参照してください。

強化された **Workspace** での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス (クラウドユーザーのみ) Citrix リソースの起動エクスペリエンスがより直感的で、役立つ情報を表示する、ユーザーフレンドリーなものへと強化されました。バージョン 2311 以降、この機能はカスタム Web ストアとハイブリッド起動でサポートされています。



起動の進行状況の通知が画面の右下隅に表示されるようになりました。起動中のリソースの進行状況が表示されます。通知を閉じると、通知を再表示することはできません。通知は、セッションが開始してから数秒間残ります。セッション開始に失敗した場合、通知に失敗した旨のメッセージが表示されます。詳しくは、「[強化された Workspace での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス（クラウドユーザーのみ）](#)」を参照してください。



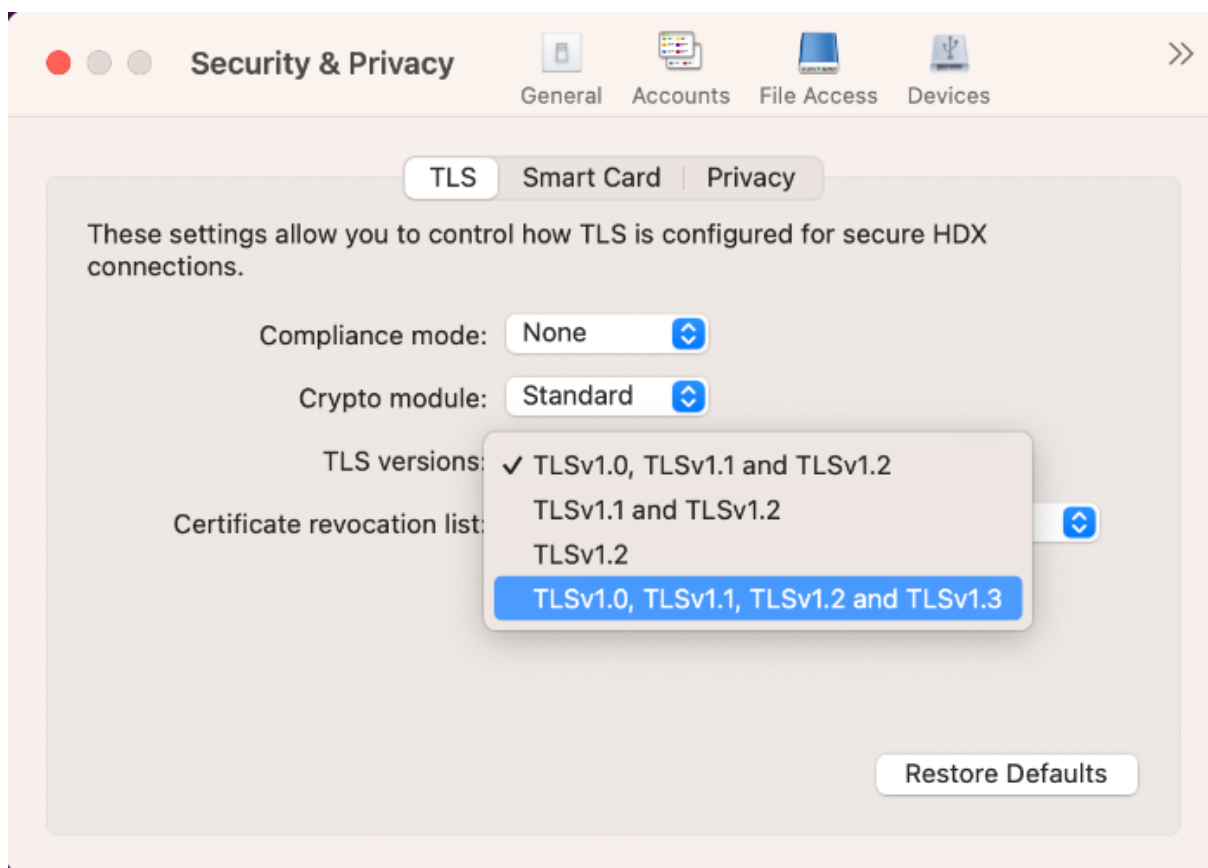
注:

この機能は、Workspace（クラウド）と StoreFront セッションの両方で使用できます。

先進的な **Mac 向け Citrix Workspace** アプリ用 **Citrix 仮想チャンネル SDK** 2311 バージョン以降、Citrix 仮想チャンネルソフトウェア開発キット (VCSDK) は、ICA プロトコルを使用する追加の仮想チャンネルのための、サーバー側アプリケーションやクライアント側ドライバーの作成をサポートします。サーバー側仮想チャンネルアプリケーションは、Citrix Virtual Apps and Desktops サーバー上にあります。このバージョンの SDK は、Mac 向け Citrix Workspace アプリ用の新しい仮想チャンネルの作成と画面共有をサポートします。

詳しくは、開発者用ドキュメントで「[Citrix Virtual Channel SDK for Citrix Workspace app for Mac](#)」および「[先進的な Mac 向け Citrix Workspace アプリ用 Citrix 仮想チャンネル SDK](#)」を参照してください。

TLS プロトコルバージョン **1.3** のサポート 2311 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは最新の TLS (Transport Layer Security) バージョン 1.3 をサポートします。TLS バージョン 1.3 を有効にするには、[環境設定] > [セキュリティとプライバシー] > [TLS] に移動して、[TLS バージョン] ドロップダウンメニューから **TLSv1.0**、**TLSv1.1**、**TLSv1.2**、および **TLSv1.3** のオプションを選択します。



詳しくは、「[TLS](#)」を参照してください。

複数のオーディオデバイスのサポート 2311 リリース以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリは、セッションで使用可能なすべてのローカルオーディオデバイスを名前付きで表示します。また、プラグアンドプレイにも対応しています。詳しくは、「[複数のオーディオデバイスのサポート](#)」を参照してください。

複数のモニターのフルスクリーンモードのサポートを最大 **5** 台に拡張 以前、Citrix は、プライマリモニターを含む最大 3 台のモニターのフルスクリーンモードをサポートしていました。

2311 バージョン以降、プライマリモニターを含む最大 5 台のモニターで同時にフルスクリーンモードを使用できるようになりました。詳しくは、「[複数のモニターの全画面モードのサポートを最大 5 台に拡張](#)」を参照してください。

キーボード設定からのインターナショナルメニューの廃止 以前は、[デバイス] > [キーボード] > [インターナショナル] に移動して、Citrix Viewer で [クライアント **IME** を使用]、[変換中マークを使用]、および [クライアントのキーボードレイアウトを使用する] 機能を有効または無効にすることができました。

バージョン 2311 以降、Citrix Viewer のキーボード設定のインターナショナルメニューは非推奨になりました。このバージョンから、クライアント側の IME がデフォルトで有効になります。詳しくは、「[キーボード設定からのインターナショナルメニューの廃止](#)」を参照してください。

WebRTC による **SDP** 形式 (**Plan B**) の廃止に関する情報 Citrix は、将来のリリースで WebRTC による現在の SDP 形式 (Plan B) のサポートを廃止する予定です。特定の最適化された Microsoft Teams 機能を引き続き使用するには、Unified Plan をサポートするバージョンの Citrix Workspace アプリを使用する必要があります。詳しくは、「[WebRTC による SDP 形式 \(Plan B\) の廃止に関する情報](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 119 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 119.1.1.115 が含まれています。詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#) のドキュメントを参照してください。

ユーザーエクスペリエンスの向上 以前は、セッションの有効期限が切れた後にアクションを実行しようとする、Citrix Enterprise Browser に再接続モーダルが表示されました。Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2311 (Chromium バージョン 119.1.1.115 に対応) 以降、再接続モーダルはなくなりました。代わりに、セッションの有効期限が切れた後に何らかのアクションを実行しようとする、ブラウザータブに読み込みアイコンが表示されるようになりました。

ウォーターマークデザインの向上 Citrix Enterprise Browser には、視認性を妨げないような、より優れたユーザーエクスペリエンスを提供する新しいウォーターマークデザインが採用されました。

カスタムブラウザー拡張機能のサポート Citrix Enterprise Browser の拡張機能が拡張されました。以前は、Chrome ウェブストアの拡張機能のみが許可されていました。Citrix Enterprise Browser では、カスタム拡張機能を安全に追加できるようになりました。管理者は、必須リストの一部としてカスタム拡張機能を構成できます。エンドユーザーは、必要に応じて、これらの拡張機能を `citrixbrowser://extensions` 経由で、または **More** ボタンの **Extensions** オプションをクリックして、アクセスして使用できます。カスタム拡張機能の構成方法について詳しくは、Citrix Enterprise Browser ドキュメントの「[必須のカスタム拡張機能](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service によってシンプルになった Web および SaaS アプリの SSO

注:

この機能は、StoreFront の展開環境でのみ使用可能です。

以前は、PowerShell モジュールを使用して Citrix Enterprise Browser の SSO が構成されていました。このバージョン以降、シンプルになった SSO 機能により、Global App Configuration Service (GACS) に新しく導入された設定を使用して、Citrix Enterprise Browser で SSO を構成できるようになります。管理者は、この新しい設定を使用して、Citrix Enterprise Browser のすべての Web アプリおよび SaaS アプリに対して SSO を有効にすることができます。この方法では、複雑な PowerShell モジュールが必要なくなります。GACS を使用して SSO を管理する方法について詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Web および SaaS アプリのシングルサインオンの管理](#)」を参照してください。

エンドユーザーのアクティビティを監視する機能の強化 以前は、管理者は、アクセスされたアプリやトラフィックの種類などのエンドユーザーアクティビティを監視できませんでした。Windows 向け Citrix Workspace アプリ 2311 以降および Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2311 以降 (Chromium バージョン 119.1.1.115 に対応) 以降では、これらの詳細も監視できるようになりました。

- アクセスされたアプリ: Enterprise Browser は、アプリがポリシードキュメントに記載されている場合、エンドユーザーがアクセスするすべてのアプリに関する情報を提供します。
- トラフィックの種類: Enterprise Browser は、データが直接送信されるか、Secure Private Access 認証を通じて送信されるかに関する情報を提供します。

Enterprise Browser からエンドユーザーのアクティビティを監視するには、Citrix Cloud アカウントで Citrix Analytics サービスを使用します。Citrix Cloud にサインインした後、**[Analytics]** > **[セキュリティ]** > **[検索]** に移動します。ここでは、**[Self-Service Search]** セクションの **[Apps and Desktops]** を参照できます。Citrix Analytics について詳しくは、「[はじめに](#)」を参照してください。

App Protection

オンプレミスストアの認証および **Self-Service Plug-in** で **App Protection** の構成をサポート 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、クラウドストアのみで、Global App Configuration Service の UI を使用した認証および Self-service Plug-in での App Protection の構成をサポートしていました。

2311 リリース以降、この機能はクラウドとオンプレミスストアの両方でサポートされています。詳しくは、App Protection のドキュメントで [Global App Configuration Service の UI を使用した構成](#) を参照してください。

Technical Preview

- オーディオの損失耐性モード

- 音量の同期のサポート
- H.265 ビデオデコーディングのサポート
- HDX Reducer をバージョン 4 にアップグレード

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- 初めてユーザーがストア URL を追加するとき、FIDO2 認証ブラウザーウィンドウが表示されない場合があります。[RFMAC-14518]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して仮想セッションにアクセスすると、仮想セッションでのマウスのスクロール速度が速すぎたり遅すぎたりする可能性があります。[CVADHELP-23514]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用している場合、VDA 2212 以降にアップグレードした後、**Options** + **tab**キーをクリックしても仮想アプリセッション内で最近のアプリを切り替えることができない場合があります。[CVADHELP-23464]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリから起動されたリモートデスクトッププロトコルのアプリセッションの Windows タスクバーが、macOS のドックによってブロックされている場合があります。[CVADHELP-23681]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用する場合、オンプレミスストアに持続セッションが使用されると認証で問題が発生する可能性があります。[CVADHELP-24062]

既知の問題

- HTML5 ビデオリダイレクト機能は、バージョン 2311 以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリではデフォルトで無効になっています。[HDX-53015]

2309

新機能

macOS 14 Sonoma のサポート Mac 向け Citrix Workspace アプリは、macOS 14 Sonoma でサポートされています。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 115 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 115.1.1.103 が含まれています。詳しくは、[Citrix Enterprise Browser のドキュメント](#)を参照してください。

Citrix は、Citrix Enterprise Browser について個別のアップグレードをリリースすることになりました。Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2309 より、自動更新機能で Citrix Enterprise Browser を互換性のあるバージョンに個別にアップグレードすることも、「[Downloads](#)」でアップグレードが利用可能になったときに手動

でインストールすることもできます。Citrix Enterprise Browser の独立したアップグレードは、常に最新バージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリでのみサポートされます。

Technical Preview

- オンプレミスストアでの Citrix Secure Private Access のサポート

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- 最適化された Microsoft Teams では、着信音が鳴る前に通話に応答すると、着信音がランダムに鳴ることがあります。[HDX-55799]
- [環境設定] ウィンドウの [デバイス] タブで利用できるデバイスを自動的に接続するための **USB** 設定は、Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2308 では予想どおりに機能しない可能性があります。[RFMAC-14658]
- macOS Sonoma デバイスでは、画像 (.jpeg/.png フォーマット) を Mac から仮想セッションにコピーすると、仮想セッションにコピーされた画像が破損する可能性があります。[HDX-55307]

既知の問題

- このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2308

新機能

Mac 向け Citrix Workspace アプリを macOS Sonoma Beta で使用 Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2308 は、macOS Sonoma パブリック Beta 7 バージョン 23A5337a でテストされています。このセットアップをテスト環境で使用し、[フィードバック](#)を提供してください。

グラフィックパフォーマンスの向上 バージョン 2308 以降では、シームレスアプリセッションのグラフィックのパフォーマンスが向上しています。この機能により、CPU 使用率への負荷も最適化されます。詳しくは、「[グラフィックパフォーマンスの向上](#)」を参照してください。

ネットワークの輻輳制御の向上 バージョン 2308 以降では、Enlightened Data Transport (EDT) と呼ばれる Citrix 独自のトランスポートプロトコルの機能が強化され、ネットワークの輻輳を効率的に制御できるようになりました。この機能により、データのスループットが向上し遅延が短縮されます。詳しくは、「[ネットワークの輻輳制御の向上](#)」を参照してください。

サポートされる仮想チャネル数の増加 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは最大 32 の仮想チャネルをサポートしていました。バージョン 2308 以降では、セッションで最大 64 個の仮想チャネルを使用できます。詳しくは、「[サポートされる仮想チャネル数の増加](#)」を参照してください。

App Protection

ポリシー改ざん検出のサポート ポリシー改ざん検出機能は、App Protection の画面キャプチャ対策ポリシーとキーロガー対策ポリシーが改ざんされている場合に、ユーザーが仮想アプリまたはデスクトップセッションにアクセスできないようにします。ポリシーの改ざんが検出された場合、仮想アプリまたはデスクトップセッションは終了します。ポリシーの改ざんの検出機能について詳しくは、「[ポリシーの改ざんの検出](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 115 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 115.1.1.103 が含まれています。詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser のドキュメント](#)」を参照してください。

Technical Preview

- 強化された高 DPI オプション
- ファイルアクセスのストアごとの設定
- クラウドストアでのアクティビティマネージャーのサポート
- App Protection が有効な場合の画面共有のサポート
- オンプレミスストアへの接続で FIDO2 を使用した認証のサポート

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して仮想デスクトップにアクセスすると、仮想デスクトップ内のマウスポインターのサイズが不規則に変動することがあります。[CVADHELP-23158]
- アクティビティマネージャーにアクティブなアプリのアイコンが表示されない場合があります。[WSUI-8011]
- Citrix Workspace アプリを数分間使用することで、大量のアプリケーションメモリを消費することがあります。[CVADHELP-23528]

既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2308 にアップグレードした後、環境設定ウィンドウがユーザーの操作に対して応答しなくなる場合があります。この問題を回避するには、Citrix Workspace アプリを強制終了して再起動します。Mac でアプリを強制的に閉じる方法について詳しくは、Apple サポート記事の「[App を強制的に終了する](#)」を参照してください。[RFMAC-14596]

2307

新機能

M2 チップを搭載した **Mac** のネイティブ サポート バージョン 2307 以降、macOS 向け Citrix Workspace アプリは、Apple シリコンの M2 シリーズ（これまでサポートされてきた M1 シリーズと共に）をネイティブにサポートします。詳しくは、「[Apple シリコンのネイティブサポート](#)」を参照してください。

Mac 向け **Citrix Workspace** アプリを **macOS Sonoma Beta** で使用 Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2307 は、macOS Sonoma パブリック Beta 1 バージョン 23A5286i でテストされています。このセットアップをテスト環境で使用し、[フィードバック](#)を提供してください。

注意:

実稼働環境で macOS Sonoma Beta 版の Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用しないでください。

macOS バージョン **Catalina** のサポートの廃止 バージョン 2304 で発表されたように、macOS バージョン Catalina (10.15) のサポートはリリース 2307 を持って廃止となり、今後のリリースでは打ち切られる予定です。詳しくは、「[廃止](#)」を参照してください。

クラウドストアへの接続で **FIDO2** を使用した認証のサポート バージョン 2307 から、ユーザーはクラウドストアに接続するときに、FIDO2 を使用したパスワードなしの認証を利用できるようになりました。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証 (USB のみ) をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。詳しくは、「[クラウドストアへの接続時における FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

HDX セッションにおける **FIDO2** を使用した認証のサポート バージョン 2307 から、ユーザーは HDX セッション内で FIDO2 を使用したパスワードなしの認証を利用できるようになりました。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリや Web サイトに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証 (USB のみ) をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。詳しくは、「[HDX セッションにおける FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

注:

このリリースでは、FIDO2 対応デバイスで 1 つのパスキーのみがサポートされます。FIDO2 対応デバイスに複数のパスキーがある場合、最初のパスキーが HDX セッションの認証に使用されます。

バージョン自動更新の制御 管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。

管理者は、Global App Configuration Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Global App Configuration Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Version Control for Citrix Workspace",
11    "description": "Provides admin ability to Version Control for
12      Citrix Workspace",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
15
16      "macos": [
17
18        "category": "AutoUpdate",
19        "userOverride": false,
20        "assignedTo": [
21          "AllUsersNoAuthentication"
22        ],
23        "settings": [
24
25          {
26
27            "name": "Auto update plugins settings",
28            "value": [
29
30              "pluginName": "Citrix Workspace",
31              "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
32              "pluginSettings": {
33
34                "deploymentMode": "Update",
35                "upgradeToLatest": false,
36                "minimumAllowedVersion": "23.07.0.63",
37                "maximumAllowedVersion": "23.07.0.63",
38                "delayGroup": "Medium",
39                "detectRule": ""
40              }
41            ]
42          }
43        ]
44      ]
45    }
```



```
46
47     ]
48     }
49
50     ]
51     }
52
53     }
54
55 }
56
57
58 <!--NeedCopy-->
```

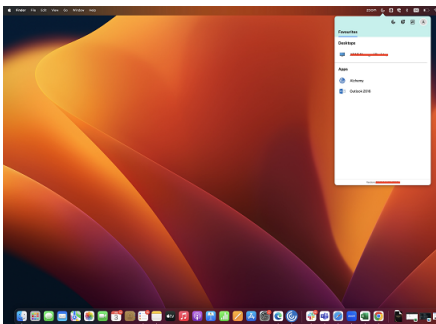
範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、Global App Configuration Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。詳しくは、「[バージョン自動更新の制御](#)」を参照してください。

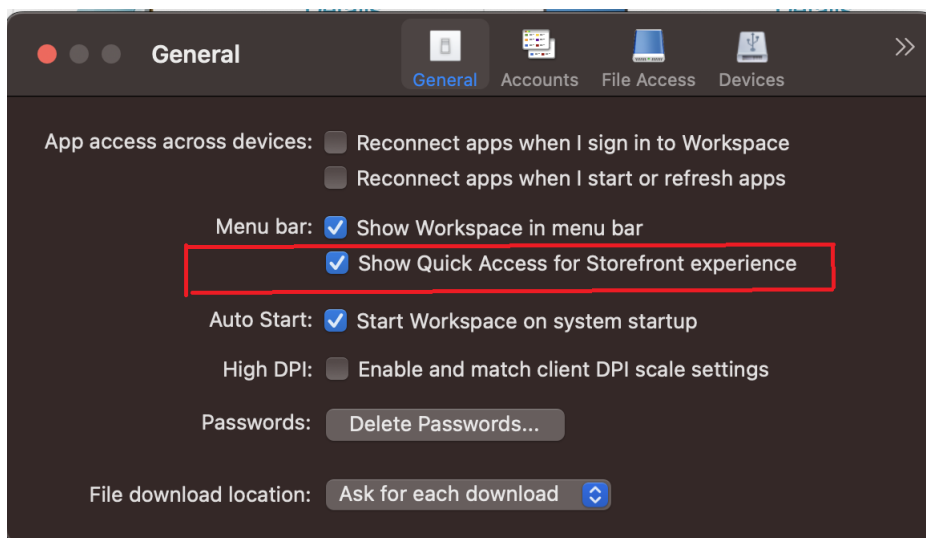
注:

- バージョン自動更新を制御するには、Global App Configuration Service の `upgradeToLatest` 設定を `false` に設定します。 `upgradeToLatest` 設定が `true` の場合、 `maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は変更しないでください。 `pluginId` は Citrix Workspace アプリにマッピングされています。
- 管理者が Global App Configuration Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウングレードはサポートされていません。
- この機能は、リリース 2307 以降でサポートされています。

StoreFront のクイックアクセスメニュー バージョン 2307 以降、オンプレミスストアのクイックアクセス機能を使用して、お気に入りのアプリやデスクトップにすばやく簡単に移動できるようになりました。クイックアクセスを有効にするには、ツールバーで **[Citrix Workspace]** を右クリックし、**[環境設定]** > **[一般]** に移動し、次いで **[StoreFront 環境へのクイックアクセスを表示する]** を選択します。この機能を使用すると、Mac のメニューバーからお気に入りのデータを直接表示できます。



このクイックアクセス機能を有効にするには、[環境設定] を使用します。



クイックアクセス機能を有効または無効にするには、管理者がモバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management) または Global App Configuration Service (GACS) のメソッドを使用します。詳しくは、「[Quick access menu for StoreFront](#)」を参照してください。

MDM を使用してクイックアクセスを有効または無効にする MDM を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
<key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>  
<false/>
```

GACS を使用してクイックアクセスを有効または無効にする GACS を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

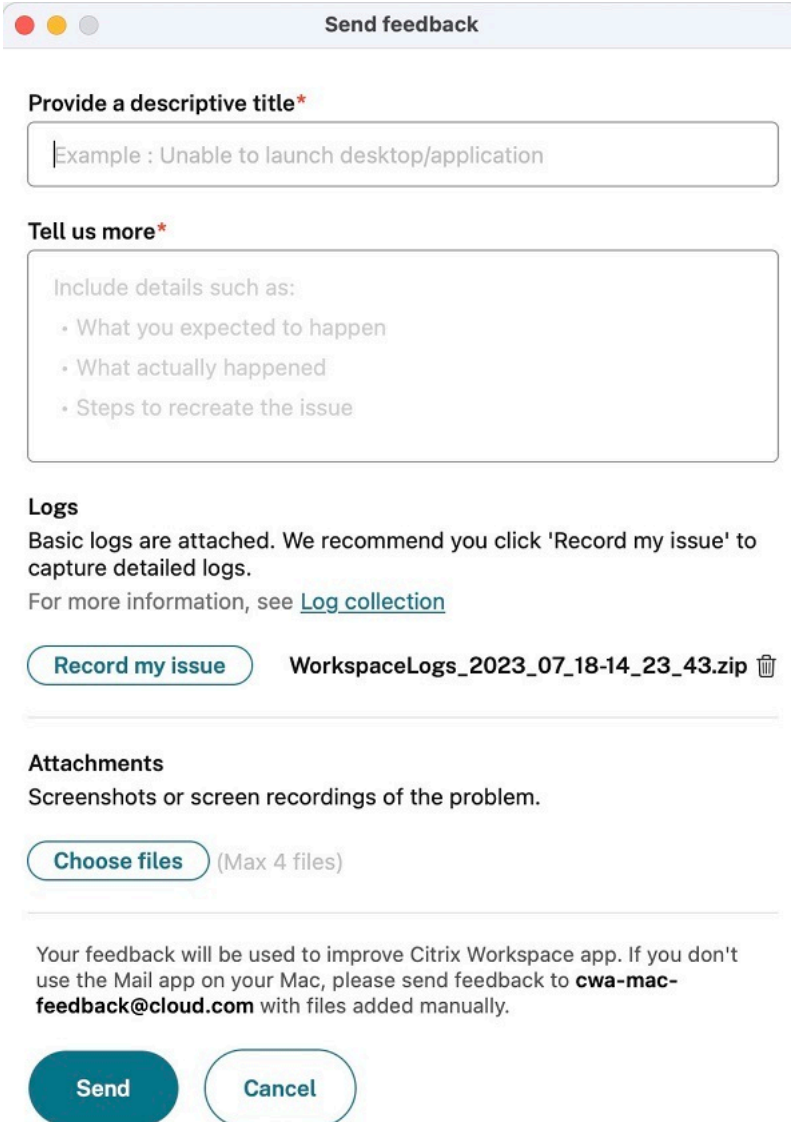
```
enableQuickAccessForStoreFront
```

マイクと **Web** カメラのアクセスに関するストアごとの設定 バージョン 2307 以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのマイクと Web カメラへのアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとにマイクと Web カメラへのアクセスを提供できるようになります。

ストアのマイクと Web カメラへのアクセスを有効にするには、[環境設定] > [マイクと **Web** カメラ] を選択する必要があります。[マイクと **Web** カメラ] タブで、ストアとそのストアに必要なアクセスの種類を選択します。詳しくは、「[マイクと Web カメラのアクセスに関するストアごとの設定](#)」を参照してください。

Citrix Workspace アプリに関するフィードバックを送信する [フィードバックの送信] オプションを使用すると、Citrix Workspace アプリの使用中に問題が発生した場合に Citrix に通知できます。Citrix Workspace アプリのエクスペリエンスを改善するためのご提案を送信いただくこともできます。

[ヘルプ] > [フィードバックの送信] を選択して、問題の詳細を [フィードバックの送信] フォームに記入し、確認します。フォームに記載されている例のような詳細を追加できます。



The screenshot shows a 'Send feedback' dialog box with the following sections:

- Provide a descriptive title***: A text input field containing the example text: "Example : Unable to launch desktop/application".
- Tell us more***: A text area containing the instruction "Include details such as:" followed by a bulleted list:
 - What you expected to happen
 - What actually happened
 - Steps to recreate the issue
- Logs**: A section stating "Basic logs are attached. We recommend you click 'Record my issue' to capture detailed logs." and providing a link to "Log collection".
- Record my issue**: A button that, when clicked, results in the filename "WorkspaceLogs_2023_07_18-14_23_43.zip" being displayed next to it.
- Attachments**: A section stating "Screenshots or screen recordings of the problem." with a "Choose files" button (Max 4 files).
- Footer**: A note stating "Your feedback will be used to improve Citrix Workspace app. If you don't use the Mail app on your Mac, please send feedback to **cwa-mac-feedback@cloud.com** with files added manually." and two buttons: "Send" and "Cancel".

画面

既存のログファイルを添付することも、新しいログファイルを生成することもできます。ログファイルを生成するには、[**Record my issue**] > [**Start Recording**] をクリックし、問題を再現します。問題が再現されたら、[記録

の停止] をクリックします。ログファイルは自動的に保存され、既存のログが、問題が再現されたログに置き換えられます。

注:

Citrix がログから PII（個人を特定できる情報）を収集することはありません。

問題を説明したスクリーンショットまたは画面録画を添付していただくと、Citrix が発生している問題を確認するうえで役立ちます。[ファイルの選択] をクリックし、スクリーンショットや画面録画などの添付ファイルを追加します。最大 4 つのファイルを添付できます。

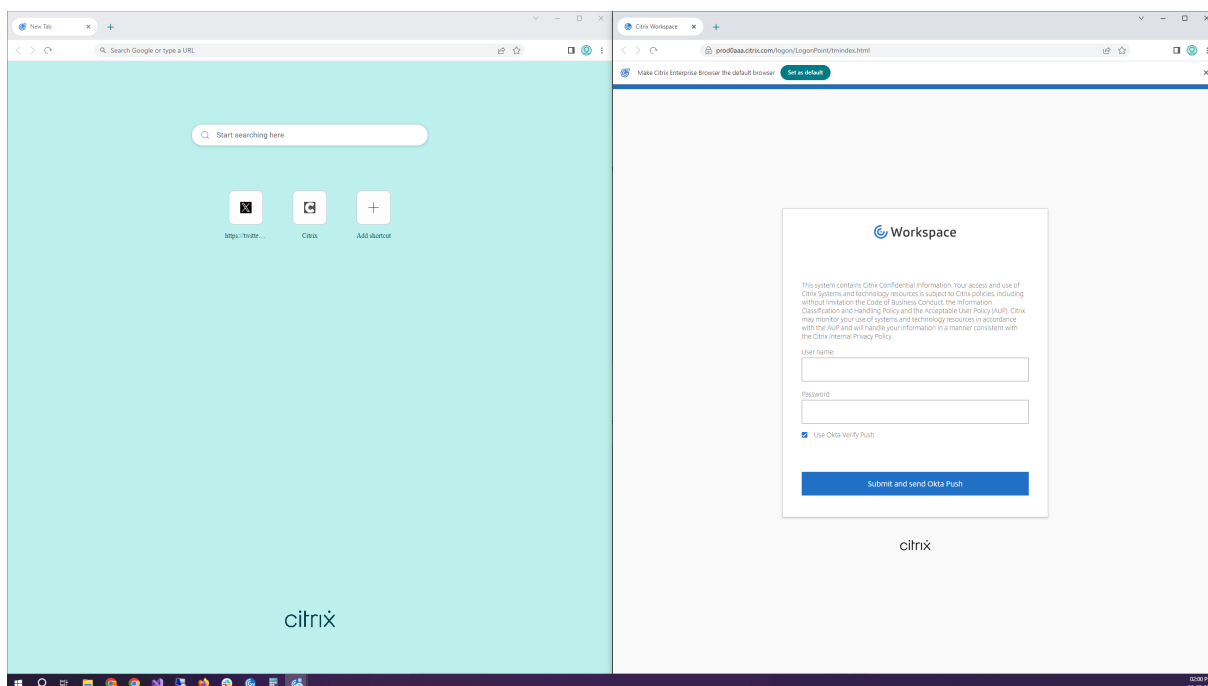
必要な情報を入力後、[送信] をクリックすると、追加した情報を含む新しいメールがメールアプリで自動的に作成されます。次いで、[送信] ボタンをクリックすれば、フィードバックが Citrix に送信されます。詳しくは、「[Citrix Workspace アプリに関するフィードバックを送信する](#)」を参照してください。

注

デフォルトのメールアプリを使用していない場合は、フィードバックをご使用のメールクライアントから cwa-mac-feedback@cloud.com に送信してください。問題の詳細、ログファイル、スクリーンショット、または画面録画をメールに手動で追加します。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 113 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 113.1.1.34 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

分割ビューのサポート macOS 版の Citrix Enterprise Browser は、マルチタスクを容易にする分割ビューをサポートしています。分割ビューを使用すると、Citrix Enterprise Browser と別のウィンドウを、どちらも手動で移動したりサイズ変更したりしなくても、隣接して使用できます。詳しくは、[Apple のサポート](#) 記事を参照してください。



Citrix Enterprise Browser のショートカット Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2307 から、管理者は起動パッド上での Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成および制御できるようになりました。

注:

この機能はデフォルトでは構成されていません。

構成

IT 管理者は、次のいずれかの方法で Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成できます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration Service (GACS)
- web.config ファイル

注:

- どの方法で構成しても、優先順位に変わりはありません。つまり、これらのいずれかを構成すれば、ショートカットが有効になります。
- ショートカットを構成していない場合でも、1 つ以上のワークスペースストアがあるときは、ショートカットが自動的に有効になります。
- エンドユーザーの場合、Citrix Enterprise Browser をお気に入りのアプリにすると、そのショートカットが構成に関係なく表示されます。

- Workspace ストアに対してこの機能を無効にするには、管理者が次の設定のいずれかを適用する必要があります：
 - MDM または web.config ファイルの **CEBShortcutEnabled** 属性を false に設定する。
 - GACS で [Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にする] プロパティを無効にする。

モバイルデバイス管理 (MDM)

管理者は、値を [true] にした設定 [**CEBShortcutEnabled**] をユーザーのデバイスにプッシュできます。

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理 \(MDM\)](#)」を参照してください。

注：

この構成方法は、Workspace と StoreFront に適用できます。

Global Admin Configuration Service (GACS)

[ワークスペースの構成] > [アプリ構成] > [**Citrix Enterprise Browser**] に移動し、[**Citrix Enterprise Browser** のショートカットを有効にする] を有効にします。

List Of Allowed Extensions 0 Configured, 0 Unsaved

You can add a list of extensions that the end users can install within the Citrix Enterprise Browser. The end user can't install other extensions apart from the allowed list. [Learn More](#).

Add Managed Bookmarks 0 Configured, 0 Unsaved

You can add a list of bookmarks to the Citrix Enterprise Browser. The end user can't modify these bookmarks.

Delete Browsing Data On Exit 0 Configured, 0 Unsaved

You can configure what type of data the Citrix Enterprise Browser can delete when the end user exits the browser. Note: Deleting the browsing data can affect usability. [Learn More](#)

Enable Citrix Enterprise Browser Shortcut 0 Configured, 2 Unsaved

Creates a Citrix Enterprise Browser shortcut on the Start menu in Windows and Launchpad in macOS. If a user marks Enterprise Browser as favorite, a shortcut is created irrespective of the configuration.

<input checked="" type="checkbox"/> Mac	Enabled <input checked="" type="checkbox"/>	Unsaved
<input checked="" type="checkbox"/> Windows	Disabled <input type="checkbox"/>	Unsaved

! You have saved drafts that are not yet published in Production. You may continue editing or publish now to apply changes to Workspace for your end users

[Review 2 unsaved setting\(s\)](#) [Discard](#) [Publish Drafts](#)

GACS の UI の使用方法について詳しくは、Citrix Enterprise Browser ドキュメントに記載されている「[ユーザーインターフェイス](#)」の記事を参照してください。

注：

この構成方法は、Workspace と StoreFront に適用できます。

web.config ファイル

[プロパティ] にある属性 **[CEBShortcutEnabled]** を有効にします。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value="
3                 True" />
4         </properties>
5 <!--NeedCopy-->
```

注:

この構成方法は StoreFront に適用できます。

web.config ファイルの使用

Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にするには、次の手順を実行します。

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、`C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming directory`にあります。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`
3.
 - `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します:

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3                 "True" />
4         </properties>
5 <!--NeedCopy-->
```

次に示すのは、web.config ファイルの例です:

```
1 <account>
2   <clear />
3   <account id="d1197d2c-ac82-4f13-9346-2ee14d4b0202" name="F84Store"
4     description="" published="true" updaterType="Citrix"
5     remoteAccessType="None">
6     <annotatedServices>
7       <clear />
8       <annotatedServiceRecord serviceRef="1__Citrix_F84Store">
9         <metadata>
10          <plugins>
11            <clear />
12          </plugins>
13          <trustSettings>
14            <clear />
15          </trustSettings>
16          <properties>
17            <property name="CEBShortcutEnabled" value="True" />
18          </properties>
19        </annotatedServiceRecord>
20      </annotatedServices>
21    </account>
22  </account>
```

```
18     </metadata>
19     </annotatedServiceRecord>
20 </annotatedServices>
21 <metadata>
22   <plugins>
23     <clear />
24   </plugins>
25   <trustSettings>
26     <clear />
27   </trustSettings>
28   <properties>
29     <clear />
30   </properties>
31 </metadata>
32 </account>
33
34 <!--NeedCopy-->
```

web.config を使用した構成方法

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roami ディレクトリにあります。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`
3.
 - `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します:

```
1         <properties>
2           <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3             "True" />
4         </properties>
5 <!--NeedCopy-->
```

Technical Preview

- Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート [Technical Preview]

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- 公開されたアプリをブラウザで起動すると、アプリは直接起動せず、ICA ファイルをダウンロードします。アプリを起動するには、ダウンロードした ICA ファイルを手動で開く必要があります。[CVADHELP-20835]

- StoreFront のキーワードが「KEYWORDS:LogoffOnClose=true PromptMessage=” Do you want to Log off?”」に設定されている場合、セッションを開始しようとすると失敗する可能性があります。[CVADHELP-23170]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用する場合、提供されるオプションのリストから必要なゲートウェイを選択できない場合があります。[CVADHELP-22777]

既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2306

新機能

ログのトレーサビリティとユーザーアクティビティ バージョン 2306 以降、ユーザーが問題を報告すると、管理者はログファイルを調べて、macOS のバージョン、Citrix Workspace アプリのバージョン、以前のアップグレードの詳細、追加されたストアの数などの基本情報と、その他の詳細を確認できるようになりました。管理者は、Mac 向け Citrix Workspace アプリで次のアクティビティを表示できるようになりました：

- 起動されたアプリと macOS バージョン、ストア数、その他のメタデータ。
- ストアの追加および削除操作、およびアカウントの追加に必要なメタデータ。
- セッションの開始時刻と起動状態。
- 自動更新のアクティブ化と状態。
- アプリのバックグラウンドへの移動、スリープモード、終了などのシステムイベント。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 112 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 112.1.1.23 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2305 にアップグレードした後、ユーザー名とパスワードの入力が必要なポップアップダイアログを表示する特定のサードパーティ製仮想アプリが、応答しなくなる場合があります。[CVADHELP-23032]

既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2305

新機能

横スクロールのサポート 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。バージョン 2305 以降は、横スクロールもサポートされています。詳しくは、「[横スクロールのサポート](#)」を参照してください。

オーディオエコーキャンセルのサポートの向上 Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートするようになりました。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。詳しくは、「[オーディオエコーキャンセルのサポートの向上](#)」を参照してください。

グラフィックパフォーマンスの向上 [Technical Preview] バージョン 2305 以降では、シームレスセッションのグラフィックのパフォーマンスが向上しています。この機能により、CPU 使用率への負荷も軽減されます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

証明書ベースの認証のサポート バージョン 2305 以降、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration Service (GACS)

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration Service (GACS)

詳しくは、「[証明書ベースの認証のサポート](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service チャンネルのサポート Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。Global App Configuration Service では、管理者が設定をすべてのユ

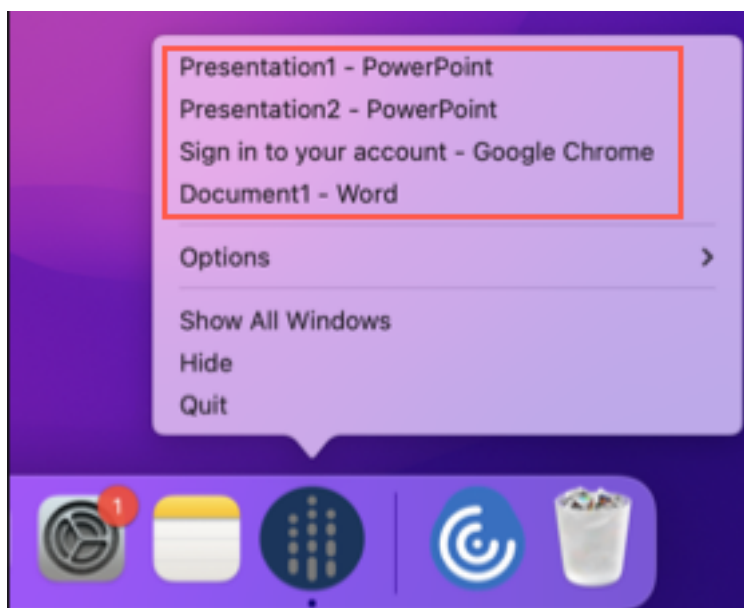
ユーザーにロールアウトする前にテストできるようになりました。この機能を使用すると、Global App Configuration をユーザーベース全体に適用する前に問題を解決できます。詳しくは、「[Global App Configuration Service チャンネルのサポート](#)」を参照してください。

自動更新エクスペリエンスの向上 自動更新機能は、ユーザーの操作を必要とせずに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。

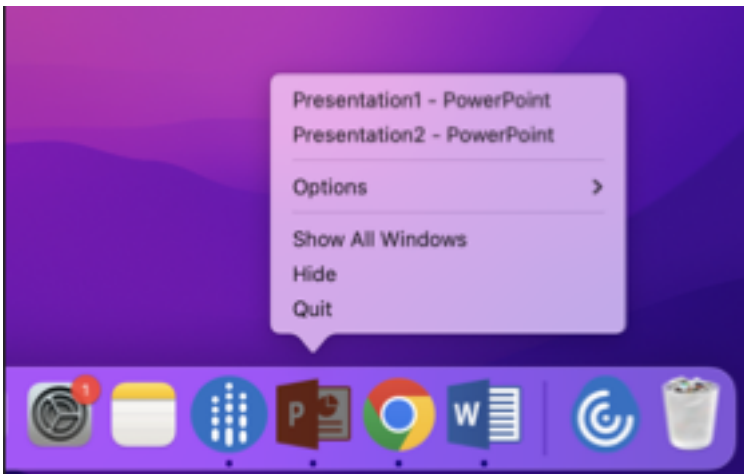
Citrix Workspace アプリは、アプリの利用可能な最新バージョンを定期的にチェックしてダウンロードします。Citrix Workspace アプリは、ユーザーのアクティビティに基づいてインストールの最適なタイミングを決定し、中断を引き起こさないようにします。

詳しくは、「[自動更新エクスペリエンスの向上](#)」を参照してください。

開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示 以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる **Citrix Viewer** がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが **Citrix Viewer** で開きます。**Citrix Viewer** アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。

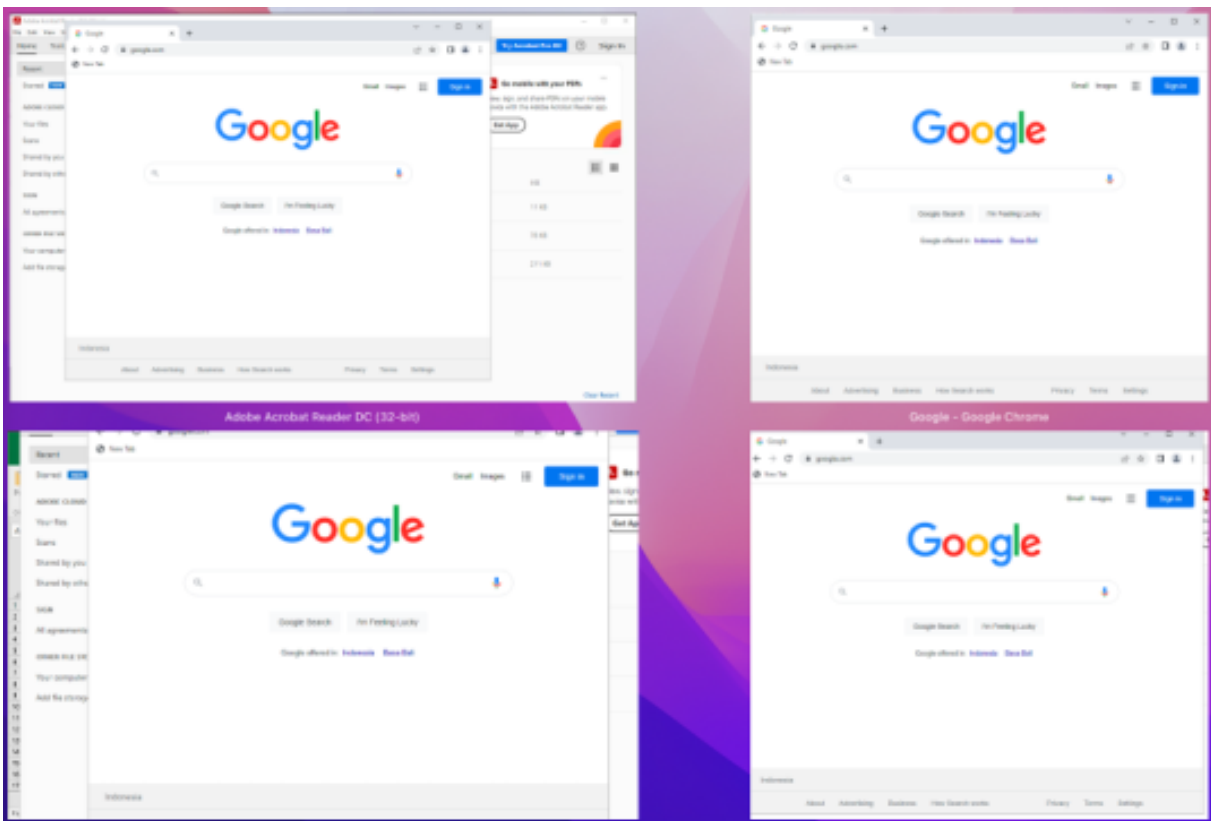


バージョン 2305 以降、仮想アプリを開くと、ドック（画面の右下隅）に簡単に見分けることができるそれぞれのアイコンで表示されるようになります。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて 1 つのインスタンスとして表示されます。

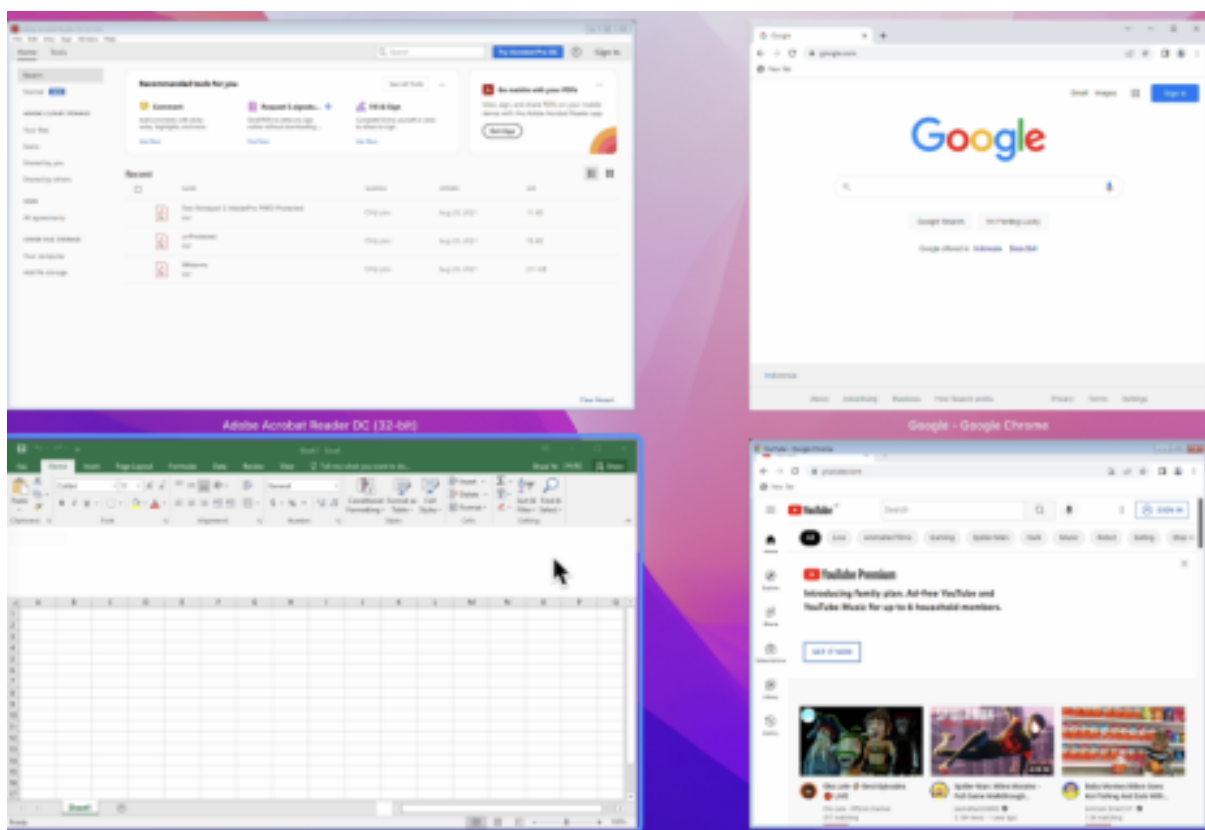


詳しくは、「[開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示](#)」のページを参照してください。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上 以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



バージョン 2305 以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用して多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



詳しくは、「[Mission Control およびアプリケーション Expose エクスペリエンスの向上](#)」を参照してください

最適化された Microsoft Teams 通話のスリープモードの機能強化 以前は、最適化された Microsoft Teams 会議を使用しているときに、マウスまたはキーボードの操作がない場合、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams 画面がスリープモードになることがありました。

バージョン 2305 以降、最適化された Microsoft Teams 会議中にマウスやキーボードの操作がない場合でも、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams の画面はスリープモードになりません。

詳しくは、「[最適化された Microsoft Teams 通話のスリープモードの機能強化](#)」を参照してください

連携カメラのサポート 連携カメラを使用すると、iPhone を Web カメラとして使用できるようになります。シームレスな接続を実現するには、iPhone のカメラが Mac デバイスで利用できるように iPhone をマウントします。外部カメラとして Mac デバイスで自動的に表示されるには、iPhone で **[Web カメラ] > [自動カメラ選択]** を選択する必要があります。他のカメラには手動で切り替えることができます。たとえば **[Web カメラ] > [FaceTime HD カメラ]** のように選択します。連携カメラは有線またはワイヤレスで動作し、高品質の画像を提供します。詳しくは、「[連携カメラのサポート](#)」を参照してください。

サポートされる仮想チャネル数の増加 [Technical Preview] 以前のバージョンのクライアントでは、セッションは最大 32 個の仮想チャネルをサポートしていました。バージョン 2305 以降では、セッションで最大 64 個の仮想チ

ャネルを使用できます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

マイクと **Web** カメラのアクセスレベルに関するストアごとの設定 **[Technical Preview]** バージョン 2305 以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのマイクと Web カメラへのアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとに設定を変更できるようになります。ストアをクリックして、必要なマイクまたはカメラへのアクセスを有効にすることができます。選択したマイクアクセス設定またはカメラアクセス設定は、ストアごとに適用されます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

クラウドストアへの接続で **FIDO2** を使用した認証のサポート **[Technical Preview]** バージョン 2305 以降、ユーザーは Mac 向け Citrix Workspace アプリに接続する場合、FIDO2 セキュリティキーを使用したパスワードレス認証を利用できるようになりました。ユーザーは、FIDO2 セキュリティキーを使用してクラウドストアにサインインできます。このセキュリティキーは、セキュリティ PIN、生体認証、カード読み取り、スマートカード、公開キー証明書など、さまざまな形式のセキュリティ入力をサポートします。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

Citrix Workspace アプリは、FIDO2 認証 (Webauthn) にユーザーのデフォルトのブラウザを使用します。管理者は、Citrix Workspace アプリに認証するブラウザの種類を構成できます。構成された設定は、モバイルデバイス管理 (MDM)、Global App Configuration Service (GACS)、またはコマンドラインインターフェイスを使用してプッシュできます。FIDO2 機能は、オンプレミスストアではサポートされていません。ブラウザの設定について詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

次の設定により、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザの種類を選択できます。

Embedded: Citrix Workspace アプリ内で認証できるようにします。[強化されたシングルサインオン](#)機能が有効になっている場合、Citrix Workspace アプリはシングルサインオン (SaaS アプリなど) のセッションデータまたは Cookie を保存します。この認証方法は、FIDO2 などのパスワードレス認証をサポートしていません。

EmbeddedWithPrivateSession: この設定は、**Embedded** 設定と似ています。Citrix Workspace アプリにはセッションデータまたは Cookie が存在しないため、シングルサインオンはサポートされていません。

System: 認証にユーザーのデフォルトのブラウザ（Safari や Chrome など）を使用できるようにします。認証は Citrix Workspace アプリの外部で行われます。パスワードレス認証をサポートするには、この設定を使用します。この設定は、ユーザーのブラウザから既存のユーザーセッションを使用しようとしています。

SystemWithPrivateSession: この設定は **System** 設定と似ています。Citrix Workspace アプリは、認証にブラウザのプライベートセッションを使用します。ブラウザは認証 Cookie やデータを保存しません。このオプションでは、シングルサインオンはサポートされていません。

MDM を使用した認証の有効化 MDM で認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

<key>WebBrowserForAuthentication</key>

<string>System</string>

GACS を使用した認証の有効化 GACS で認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
1 {
2
3     "serviceURL": {
4
5         "url": "https://serviceURL:443"
6     }
7 ,
8     "settings": {
9
10        "name": "Productivity Apps",
11        "description": "Provides access to MS Office and other basic apps",
12        "useForAppConfig": true,
13        "appSettings": {
14
15            "macos": [
16                {
17
18                    "assignedTo": [
19                        "AllUsersNoAuthentication"
20                    ],
21                    "category": "authentication",
22                    "settings": [
23                        {
24
25                            "name": "web browser for authentication",
26                            "value": "SystemWithPrivateSession"
27                        }
28                    ],
29                    "userOverride": false
30                }
31            ]
32        }
33    ]
34 }
```

```
35
36     }
37
38     }
39
40
41 <!--NeedCopy-->
```

コマンドラインインターフェイスを使用した認証の有効化 コマンドラインインターフェイスを使用した認証を有効にするには、管理者は次のコマンドを実行する必要があります：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas WebBrowserForAuthentication System
```

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio](#)フォームに記入してください。

注：

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

キーボード入力モードの機能強化 Mac 向け Citrix Workspace アプリは、キーボード入力モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボード入力モードを構成するには、次の手順を実行します：

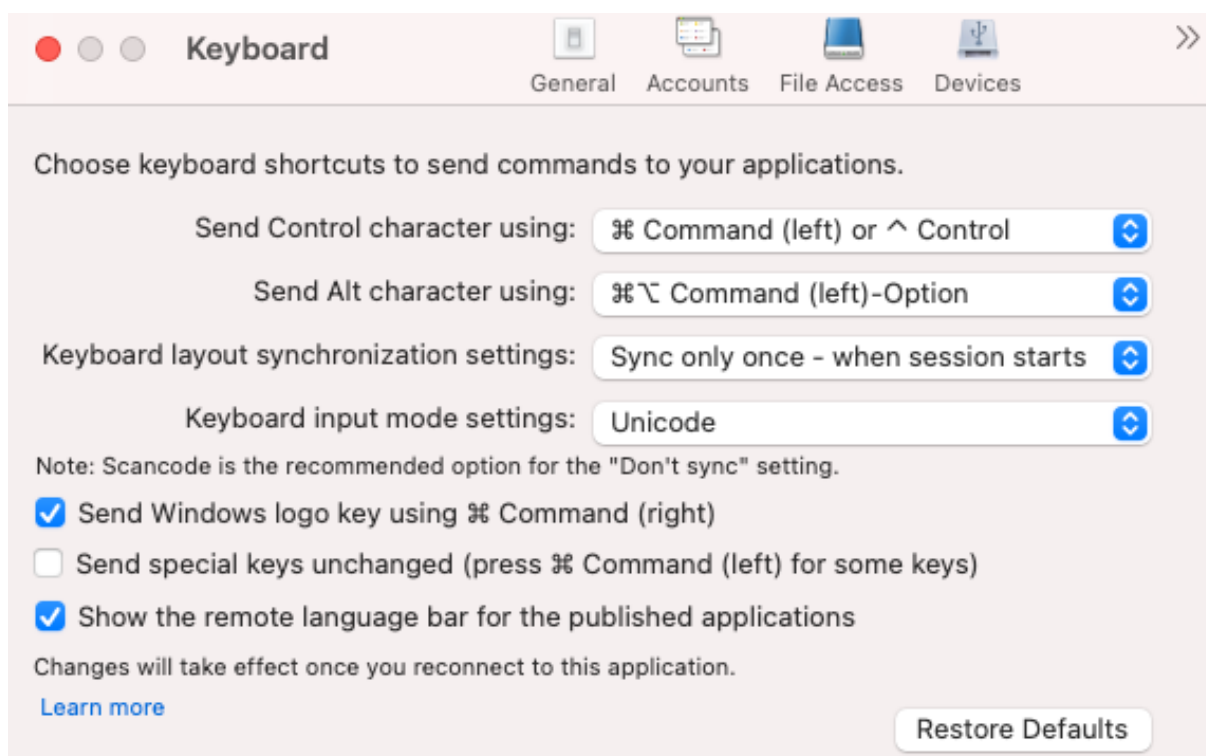
1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

キーボード入力モード設定が表示されます

2. 次のいずれかのオプションを選択します：

- [スキャンコード] - クライアント側のキーボードから VDA にキー位置を送信し、VDA が対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトを適用します。
- [Unicode] - クライアント側のキーボードから VDA にキーを送信し、VDA は同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトを適用します。

この拡張機能は、デフォルトで有効になっています。



たとえば、US インターナショナルキーボードレイアウトを使用しているときに、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用しているシナリオを想定してみます。[スキャンコード] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、スキャンコード「1E」が VDA に送信されます。次に、VDA は「1E」を使用して文字「ф」を表示します。[Unicode] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、文字「a」が VDA に送信されます。そのため、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字「a」が画面に表示されます。

さまざまなキーボードレイアウト同期オプションについて、Citrix では、次のキーボード入力モードをお勧めします。

- [同期しない] オプションの場合、スキャンコードモード。
- [動的な同期を許可する] および [セッション起動時に 1 回だけ同期する] の場合、Unicode モード

注:

アプリケーションに再接続すると、キーボード構成の変更が有効になります。

Citrix Workspace アプリの UI でキーボード入力モードの構成を変更できます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、さまざまなシナリオ、物理キーボード、およびクライアントデバイスに Citrix の推奨モードを使用してください。

構成の詳細および制限事項について詳しくは、「[キーボード入力モードの機能強化](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 112 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 112.1.1.23 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

内部 **Web** アプリおよび **SaaS** アプリでの **SPA** ポリシー実装の変更 この機能により、Web および SaaS アプリでのセキュリティポリシーの実装が強化されます。Web ページのポリシーと Web ページ内の I フレームのポリシーが異なる場合は、より厳密なポリシー実装を行うようになり、すべてのポリシーを結合して I フレームを含む Web ページ全体で適用されることとなります。ただし、ウォーターマークは Web ページにのみ適用されます。

ブラウザ拡張機能のサポート 管理者から提供された拡張機能を、セキュアに Citrix Enterprise Browser に追加できます。管理者は拡張機能を展開、管理、および制御できます。エンドユーザーは、必要に応じて `citrixbrowser://extensions` にある拡張機能を表示して使用できます。設定について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

構成方法について詳しくは、[ブラウザ拡張機能のサポート](#)に関するドキュメントを参照してください。

GACS を使用した **Citrix Enterprise Browser** の管理 管理者は、Citrix Workspace 用の Global App Configuration Service (GACS) を使用して、一元管理されたサービスによって Citrix Enterprise Browser の設定を配信できます。

GACS は、管理者が簡単に Citrix Workspace を構成し、Citrix Workspace アプリの設定を管理できるように設計されています。この機能により、管理者は GACS を使用して、特定のストアの Citrix Enterprise Browser にさまざまな設定またはシステムポリシーを適用できます。管理者は、GACS 管理者 UI を使用して、次の Citrix Enterprise Browser 設定を構成および管理できるようになりました:

- 「Enable CEB for all apps」 - Citrix Workspace アプリから Web アプリおよび SaaS アプリを開くデフォルトのブラウザとして、Citrix Enterprise Browser を使用します。
- 「Enable save passwords」 - エンドユーザーがパスワードを保存する機能を許可または拒否します。
- 「Enable incognito mode」 - シークレットモードを有効または無効にします。
- 「Managed Bookmarks」 - 管理者がブックマークを Citrix Enterprise Browser にプッシュできるようにします。
- 「Enable developer tools」 - Enterprise Browser で開発者ツールを有効または無効にします。
- 「Delete browsing data on exit」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser の終了時に削除されるデータを構成できるようにします。
- 「Extension Install Force list」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser で拡張機能をインストールできるようにします。
- 「Extension Install Allow list」 - ユーザーが Citrix Enterprise Browser に追加できる拡張機能の許可リストを管理者が構成できるようにします。この一覧は Chrome Web ストアを使用しています。

詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Citrix Enterprise Browser の管理](#)」を参照してください。

メモ:

- 名前と値のペアでは大文字と小文字が区別されます。
- [Global App Configuration Service](#)のすべてのブラウザー設定は、次のカテゴリにあります。

```
1 {
2
3     "category": "browser",
4     "userOverride": false,
5     "assignedTo": [
6         "AllUsersNoAuthentication"
7     ]
8 }
9
10
11 <!--NeedCopy-->
```

- 管理者は、管理されていないデバイスにも設定を適用できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

ユーザーインターフェイス

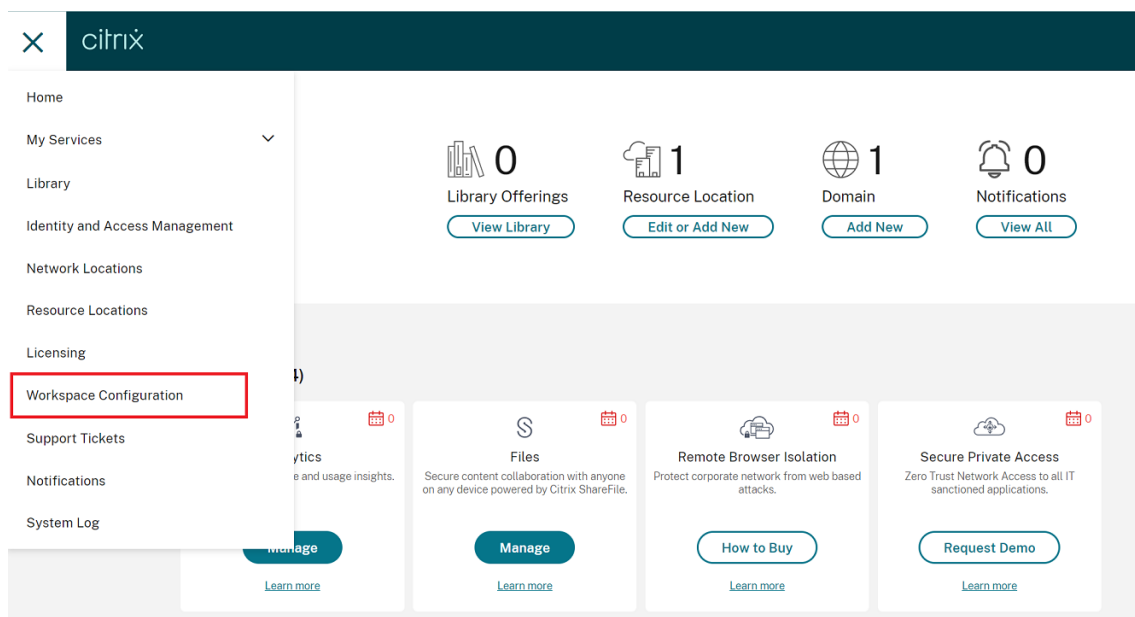
GACS 管理 UI で Citrix Enterprise Browser を構成するには、次の手順を実行します：

1. 資格情報を使用してcitrix.cloud.comにサインインします。

注：

- Citrix Cloud アカウントを作成するための手順については、「[Citrix Cloud へのサインアップ](#)」の記事を参照してください。

2. 認証後、左上隅のメニューボタンをクリックし、[ワークスペース構成] を選択します。



[ワークスペース構成] 画面が開きます。

3. [アプリ構成] > **[Citrix Enterprise Browser]** の順にクリックします。

Citrix Enterprise Browser の機能設定を構成、変更、公開できるようになりました。

詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Citrix Enterprise Browser の管理](#)」を参照してください。

Technical Preview

- クライアントアプリ管理

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- この機能強化により、位置情報データを収集して Microsoft Teams に送信し、動的緊急通報機能をサポートできるようになりました。[CVADHELP-21117]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリから開かれたユーザーセッションでタッチパッドを使用して MacBook でスクロールすると、スクロール操作がスムーズにならない場合があります。[CVADHELP-21427]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用している場合、外部ユーザーがセッションから断続的に切断されることがあります。[CVADHELP-22191]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでクエリパラメーターを含むストア URL を追加しようとすると、次のエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります:

このストアは存在しません。再試行するか、サポートに連絡してください。

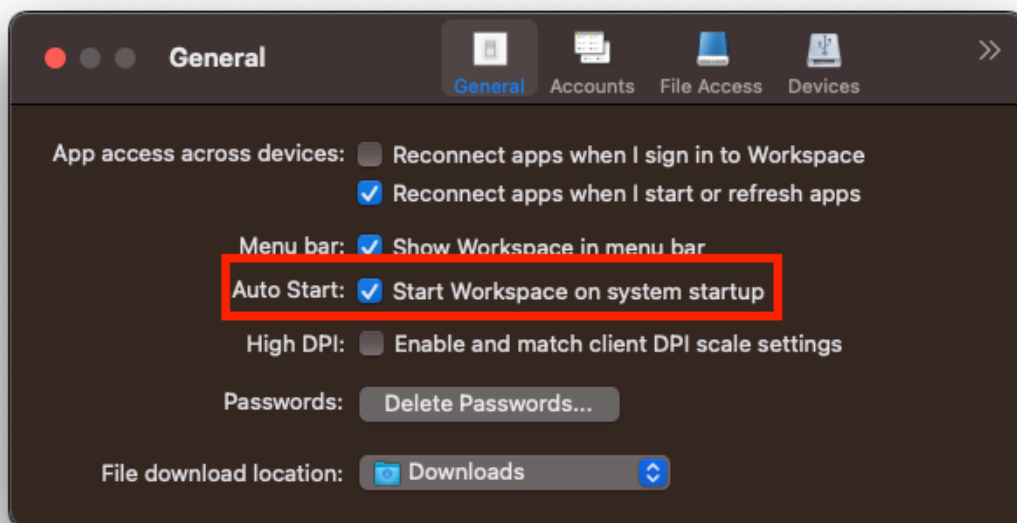
[CVADHELP-22445]

- オンプレミスストアで、メニューバーから Citrix Workspace アプリを開こうとすると、いつまでも待機状態のままになることがあります。[CVADHELP-22688]

2304

新機能

強化された自動起動エクスペリエンス 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、コンピューターの電源を入れるたびに自動的に起動していました。バージョン 2304 以降、システムの起動時に [環境設定] > [一般] > **[Start Workspace]** に移動して、Mac 向け Citrix Workspace アプリの自動起動機能を無効または有効にできます。自動起動設定はデフォルトで有効になっています。



詳しくは、「[強化された自動起動エクスペリエンス](#)」を参照してください。

最適化された **Microsoft Teams** ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上 バージョン 2304 以降、最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話に対して、デフォルトでサイマルキャストサポートが有効になっています。このサポートにより、さまざまなエンドポイントでのビデオ会議通話の品質とエクスペリエンスが向上します。適切な解像度に適応することによってすべての発信者に最適な通話エクスペリエンスを提供できます。

この向上したエクスペリエンスにより、各ユーザーは、エンドポイントの機能、ネットワークの状態などのいくつかの要因に応じて、複数のビデオ ストリームを異なる解像度（720p、360p など）で配信できます。次に、受信側のエンドポイントは、可能な範囲で最高品質の解像度を要求します。これにより、すべてのユーザーに最適なビデオ体験を提供できます。

注:

この機能は、Microsoft Teams からの更新のロールアウト後にのみ使用できます。ETA については、<https://www.microsoft.com/>にアクセスして、Microsoft 365 ロードマップを検索してください。Microsoft によって更新プログラムがロールアウトされたら、ドキュメントのアップデートおよび発表内容について、[CTX253754](#)を確認することができます。

詳しくは、「

[最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上](#)」を参照してください。

証明書ベースの認証のサポート **[Technical Preview]** バージョン 2304 以降、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成

および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます：

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration Service (GACS)

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます：

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration Service (GACS)

詳しくは、「[証明書ベースの認証のサポート](#)」を参照してください。

注：

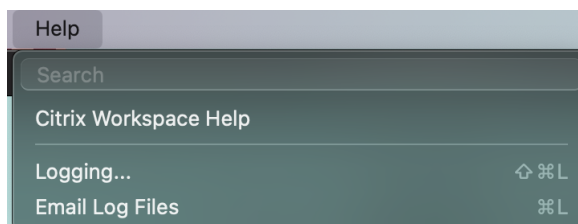
Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制 Citrix Workspace アプリで、フェデレーション ID プロバイダーセッションを設定できるようになりました。詳しくは、Citrix Knowledge Center の[CTX253779](#)を参照してください。

ログインプロンプト強制のためにストア認証トークンポリシーを使用する必要がなくなりました。詳しくは、「[フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制](#)」を参照してください。

英語以外の IME (Input Method Editor) キーボードレイアウトのサポート 英語以外の言語の IME キーボードレイアウトのサポートは、Carbon API が Cocoa API で廃止された後も引き続き中断されることなく機能します。詳しくは、「[英語以外の IME \(Input Method Editor\) キーボードレイアウトのサポート](#)」を参照してください。

ログ収集 ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを容易にします。ユーザーは、[ヘルプ] メニューで提供される新しいオプションを使用してログをすばやく収集できるようになりました。[ヘルプ] に移動し、[ログ...] または [ログ ファイルをメールで送信] オプションを選択します。この機能により、ログ収集プロセス中のユーザーエクスペリエンスが向上します。



- ログ… - このオプションをクリックすると、[環境設定] > [詳細] > [ログ] に移動します。
- ログファイルをメールで送信 - このオプションをクリックすると、最新のログを収集できます。

詳しくは、「[ログ収集](#)」を参照してください。

さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート バージョン 2304 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のレイアウトまたは IME (Input Method Editor) のキーボードレイアウトの同期をサポートします。

- 英語 (ABC)
- 英語 (ABC) - インド
- 中国語 (繁体字、Zhuyin) - 繁体字
- 中国語 (繁体字、Sucheng) - 繁体字
- 日本語 (Google IME)
- 中国語 (Sogou IME)

詳しくは、「[さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート](#)」を参照してください。

Microsoft Teams の機能強化

優先ネットワークインターフェースの構成 メディアトラフィックの優先ネットワークインターフェースを構成できるようになりました。ターミナルで次のコマンドを実行します。

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine NetworkPreference -int <value>
```

必要に応じて、次のいずれかの値を選択します：

- 1: イーサネット
- 2: Wi-Fi
- 3: 携帯ネットワーク
- 4: VPN
- 5: ループバック
- 6: 任意

デフォルトかつ値が設定されていない場合、WebRTC メディアエンジンは利用可能な最適なルートを選択します。

詳しくは、「[優先ネットワークインターフェースの構成](#)」を参照してください。

ビデオ解像度の制限 パフォーマンスの低いクライアントエンドポイントを使用しているユーザーがいる場合、管理者が受信または送信のビデオ解像度を制限して、これらのエンドポイントでのビデオのエンコードおよびデコードへの負担を軽減することができます。Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2304 以降では、クライアント構成オプションを使用してこれらの解像度を制限できます。

詳しくは、「[ビデオ解像度の制限](#)」を参照してください。

横スクロールのサポート **[Technical Preview]** 以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。バージョン 2304 以降では、横スクロールもサポートされています。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

キーボード入力モードの機能強化 Mac 向け Citrix Workspace アプリは、キーボード入力モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボード入力モードを構成するには、次の手順を実行します:

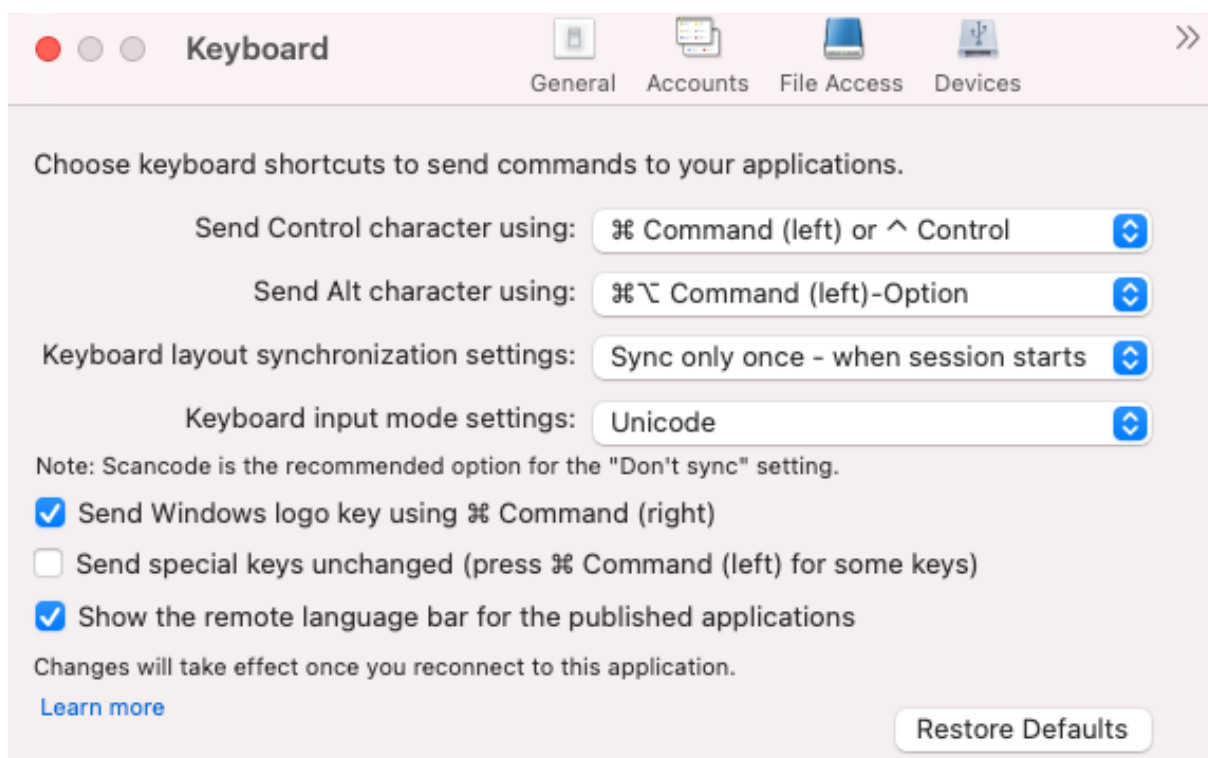
1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

キーボード入力モード設定が表示されます

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- [スキャンコード] - クライアント側のキーボードから VDA にキー位置を送信し、VDA が対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトを適用します。
- **[Unicode]** - クライアント側のキーボードから VDA にキーを送信し、VDA は同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトを適用します。

この拡張機能は、デフォルトで有効になっています。



たとえば、US インターナショナルキーボードレイアウトを使用しているときに、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用しているシナリオを想定してみます。[スキャンコード] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、スキャンコード「1E」が VDA に送信されます。次に、VDA は「1E」を使用して文字「ф」を表示します。[Unicode] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、文字「a」が VDA に送信されます。そのため、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字「a」が画面に表示されます。

さまざまなキーボードレイアウト同期オプションについて、Citrix では、次のキーボード入力モードをお勧めします。

- [同期しない] オプションの場合、スキャンコードモード。
- [動的な同期を許可する] および [セッション起動時に 1 回だけ同期する] の場合、Unicode モード

注:

アプリケーションに再接続すると、キーボード構成の変更が有効になります。

Citrix Workspace アプリの UI でキーボード入力モードの構成を変更できます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、さまざまなシナリオ、物理キーボード、およびクライアントデバイスに Citrix の推奨モードを使用してください。

構成の詳細および制限事項について詳しくは、「[キーボード入力モードの機能強化](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 109 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 109.1.1.31 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Technical Preview

- 高速スキャン
- 仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上
- 複数のオーディオデバイスのサポート

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Mac のローカルクライアントで 2 つの XML ファイルを作成すると、VDA が間違った XML ファイルを開くことがあります。たとえば、VDA は SnapshotPopup.xml ファイルを開く代わりに、Snapshot.xml ファイルを開きます。[HDX-45326]
- エンドポイントのサウンド設定でアクティブなオーディオデバイスを変更すると、Microsoft Teams が変更に関する通知を受信しない場合があります。その結果、Microsoft Teams は変更を選択できません。[HDX-47080]
- VDA セッションを終了すると、Citrix Viewer が終了することがあります。[HDX-45668, HDX-47138]
- Citrix ADC を使用して構成されたレスポンスポリシーが、Mac 向け Citrix Workspace アプリで機能しない場合があります。この問題は、構成されたポリシーが、送信されたユーザーエージェントに一致しない部分文字列として **CWAWEBVIEW**、**Citrix Receiver**、または **Citrix Workspace** があるかどうかをチェックするときに発生します。その結果、ユーザーは別の Citrix Gateway URL にリダイレクトされる可能性があります。[CVADHELP-20519]
- Citrix Gateway Store に接続して Mac 向け Citrix Workspace アプリにサインインしようとする、サインインが停止したり、読み込み中アイコンが表示され時間がかかることがあります。[CVADHELP-21323]
- Citrix Studio の [アプリケーション設定] で、アプリにファイルタイプの関連付けが設定されている場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはセッションの開始に失敗することがあります。[CVADHELP-21371]
- システムの電源を入れるか再起動すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリでサインインウィンドウが自動的に表示されることがあります。[CVADHELP-21484]
- VDI 内のユニバーサル Windows プラットフォーム (UWP) アプリが FIDO2 認証を使用して認証を試みると、Mac 向け Citrix Workspace アプリが予期せず終了することがあります。[CVADHELP-21576]
- Web リソースを開こうとすると、次のエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります：
必要な権限を持つ別のストアに切り替えます。問題が解決しない場合は、エラーの詳細を管理者に連絡してください。
[CVADHELP-21787]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリは、部分文字列として **Citrix Workspace** ではなく、間違ったユーザーエージェント **Citrix Receiver** を使用することがあります。その結果、承認ポリシーは適用されません。[CVADHELP-21969]

- ノッチスクリーン機能を使用すると、テキストの一部が切れる場合があります。[CVADHELP-22134]
- 新しいタブではなくドックから Citrix Enterprise Browser を開くと、ページが読み込み中と表示されます。この問題を回避するには、アドレスバーに URL を入力するか、別のタブを開いて閲覧を続けてください。[CTXBR-4706]
- Citrix Secure Private Access が有効なストアを使用している場合、公開されたコンテンツの起動時に読み込み中アイコンがいつまでも表示されたままのことがあります。この問題は、Citrix Enterprise Browser がユーザー デバイスで実行されていない場合に発生します。その結果、公開されたコンテンツを表示できません。[CTXBR-4813]

2301.1

新機能

この 2301.1 リリースでは問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

- ストアを追加または認証するとき、またはネイティブの Citrix Workspace アプリを使用してリソース（アプリまたはデスクトップ）を起動するときに、問題が発生することがあります。[CVADHELP-22372]
- Microsoft Teams の最適化されたビデオ通話中は、着信ビデオと画面共有が機能しない場合があります。[HDX-50059]

2301.1 の既知の問題

- 自動更新サービスを使用して Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2301.1 に更新することができません。回避策として、[ダウンロードページ](#)で入手可能な.dmg ファイルをダウンロードして、Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2301.1 を手動でインストールする必要があります。

2301

新機能

Citrix Optimized Microsoft Teams での背景のぼかしと置き換え Mac 向け Citrix Workspace アプリの Citrix Optimized Microsoft Teams で、背景のぼかしと背景の置き換えがサポートされるようになりました。この機能を使用するには、会議中または P2P 呼び出し中に [\[詳細\]](#) > [\[背景効果を適用する\]](#) を選択します。

バージョン自動更新の制御 **[Technical Preview]** 管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。

管理者は、Global App Configuration Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Global App Configuration Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Version Control for Citrix Workspace",
11    "description": "Provides admin ability to Version Control for
12      Citrix Workspace",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
15
16      "macos": [
17
18        "category": "AutoUpdate",
19        "userOverride": false,
20        "assignedTo": [
21          "AllUsersNoAuthentication"
22        ],
23        "settings": [
24
25          {
26
27            "name": "Auto update plugins settings",
28            "value": [
29
30              "pluginName": "Citrix Workspace",
31              "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
32              "pluginSettings": {
33
34                "deploymentMode": "Update",
35                "upgradeToLatest": false,
36                "minimumAllowedVersion": "23.04.0.36",
37                "maximumAllowedVersion": "23.04.0.36",
38                "delayGroup": "Medium",
39                "detectRule": ""
40              }
41            ]
42          }
43        ]
44      ]
45    }
```

```
46
47     ]
48     }
49
50     ]
51     }
52
53     }
54
55 }
56
57
58 <!--NeedCopy-->
```

範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、`maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。

注:

- バージョン自動更新を有効にするには、Global App Configuration Service の `upgradeToLatest` 設定を `false` に設定する必要があります。`upgradeToLatest` 設定が `true` の場合、`maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は変更しないでください。 `pluginId` は Citrix Workspace アプリにマッピングされています。
- 管理者が Global App Configuration Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウングレードはサポートされていません。
- この機能は、リリース 2301 以降でサポートされています。

この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

自動更新エクスペリエンスの向上 **[Technical Preview]** 自動更新機能は、ユーザーの操作なしに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。Citrix Workspace アプリは定期的に最新のアップデートを確認し、利用可能な最新バージョンのアプリをダウンロードします。管理者が無効にしない限り、自動更新はデフォルトで有効になっています。

インストールは、Citrix Workspace アプリまたはそのセッションがアイドル状態のときに開始されます。

注:

インストール中は Citrix Workspace アプリにアクセスできません。

Citrix Workspace アプリを起動すると、インストールの状態を示す通知が表示されます。

[環境設定] > [詳細] > [最新情報] に移動して、[**Workspace** アプリを自動的に最新の状態に保つ] オプションをオフにすることで、自動更新機能を無効化できます。

この Technical Preview のフィードバックは、

[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

強化されたノッチスクリーンのサポート バージョン 2301 以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリはノッチディスプレイの Mac をサポートしています。Mac は、Retina およびマルチモニターディスプレイの全画面モードでノッチスクリーンをサポートしています。ノッチスクリーンのセッションの領域が大幅に拡大され、より広い画面スペースが提供されています。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。詳しくは、「[強化されたノッチスクリーンのサポート](#)」を参照してください。

注:

Citrix Viewer で [**Scale to fit below built-in camera**] オプションをオンにしないでください。このオプションはデフォルトでは選択されておらず、ノッチディスプレイの Mac でのみ使用できます。

App Protection の機能強化 バージョン 2301 以降、Citrix Workspace アプリを保護するために App Protection 機能が強化されています。この機能強化により、認証画面と、Workspace アプリへのサインイン後に表示される画面が保護されます。詳しくは、「[App Protection](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service チャネルのサポート [**Technical Preview**] Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#) のドキュメントを参照してください。

管理者は、Global App Configuration Service を使用して、特定のユーザーグループに適用可能な設定を定義できるようになりました。この機能により、特定のユーザーのみが必要に応じて一部の機能を使用できるようにし、他のユーザーは使用できないように設定できます。

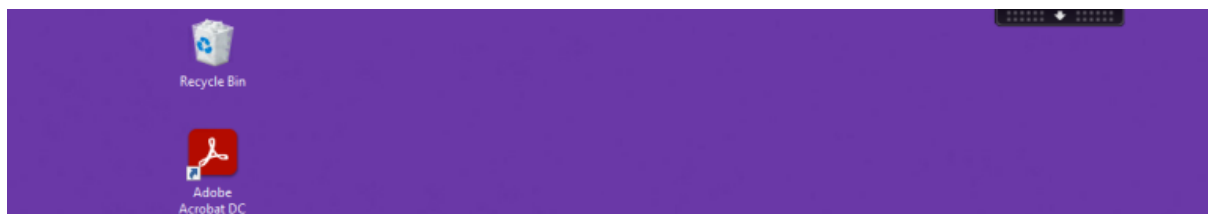
この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

強化されたメニューバーのサポート バージョン 2301 以降、CWA では macOS の **[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションを完全にサポートしています。macOS 13 より前のバージョンでは、**[システム環境設定] > [Dock とメニューバー]** に移動し、**[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションをオフにする必要があります。macOS 13 以降のバージョンでは、**[システム環境設定] > [デスクトップと Dock]** に移動し、**[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションをオフにする必要があります。このオプションはオンまたはオフにできます。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。詳しくは、「[強化されたメニューバーのサポート](#)」を参照してください。

下の図は、メニューバーが非表示になっているウィンドウを示しています



下の図は、メニューバーが表示されるウィンドウを示しています。



Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 107 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 107.1.1.13 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザーにする Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザーとして構成し、すべての仕事用リンクを開けるようになりました。代替ブラウザーを選択して、仕事用以外のリンクを開くことができます。

仕事用リンクは、管理者がエンドユーザー用に構成した Web アプリまたは SaaS アプリに関連付けられたリンクです。ユーザーがネイティブアプリケーション内のリンクをクリックすると、それが仕事用リンクであれば、Enterprise Browser で開きます。仕事用リンクでない場合は、エンドユーザーが選択した別のブラウザで開きます。

詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザにする](#)」を参照してください。

解決された問題

- High-Efficiency Advanced Audio Coding (AAC-HE) ストリームを使用した HTTP Live Streaming (HLS) プロトコルが、Citrix Enterprise Browser でオーディオを再生できない。[CTXBR-3899]
- カスタムポータルでハイパーリンクをクリックすると、リンク先を開く前にエラーメッセージが表示される。その後、Citrix Enterprise Browser ではなく Google Chrome などのシステムブラウザでリンク先が開く。[CTXBR-4051]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでカスタム Web ストア URL を使用すると、OS と Citrix Workspace アプリのバージョンがユーザーエージェント文字列に表示されないことがある。[CVADHELP-21377]
- 今回の修正で、Epic や Kronos などの特定のサードパーティ製アプリを起動してもフリーズしないことがある。[HDX-46140]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2301 ベータ版ビルドの ICA ファイルを使用して初めてセッションを開始するとき、セッションが予期せず終了することがある。[HDX-47361]
- カスタムポータルサイトを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加すると、空白のページが表示されることがある。[RFMAC-12857]

2211.1

新機能

このリリースでは問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

- ストアを追加または認証するとき、またはネイティブの Citrix Workspace アプリを使用してリソース（アプリまたはデスクトップ）を起動するときに、問題が発生することがあります。[CVADHELP-22372]
- Microsoft Teams の最適化されたビデオ通話中は、着信ビデオと画面共有が機能しない場合があります。[HDX-50059]

2211

新機能

Workspace アプリを開くとドックにネイティブアプリのアイコンで表示される **[Technical Preview]** バージョン 2211 以降、この機能はデフォルトで無効になっています。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上 **[Technical Preview]** バージョン 2211 以降、この機能はデフォルトで無効になっています。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 105 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 105.2.1.40 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

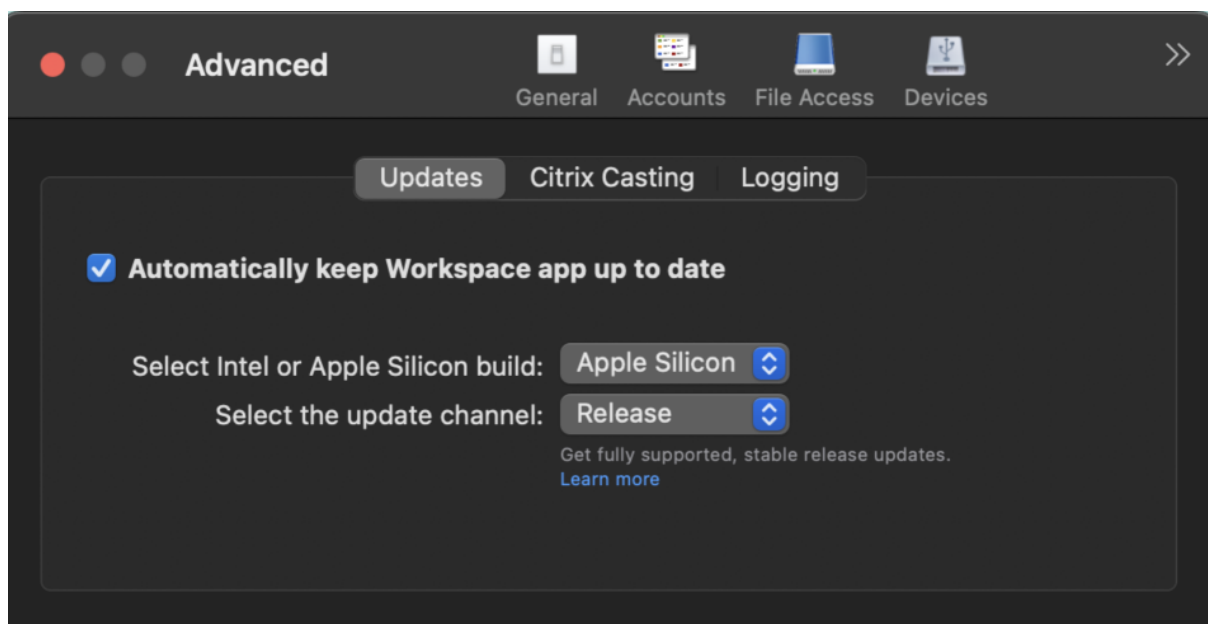
このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2210

新機能

macOS 13 Ventura のサポート Mac 向け Citrix Workspace アプリは、macOS 13 Ventura (13.0) でサポートされています。

Apple シリコン (M1 シリーズ) を搭載した **Mac** での自動更新エクスペリエンスの向上 このバージョンより、ユニバーサルアーキテクチャビルドをダウンロードするときに Apple シリコンビルドと Intel ビルドの間で選択して、Apple シリコンベースと Intel ベースの Mac マシンの両方をサポートできます。



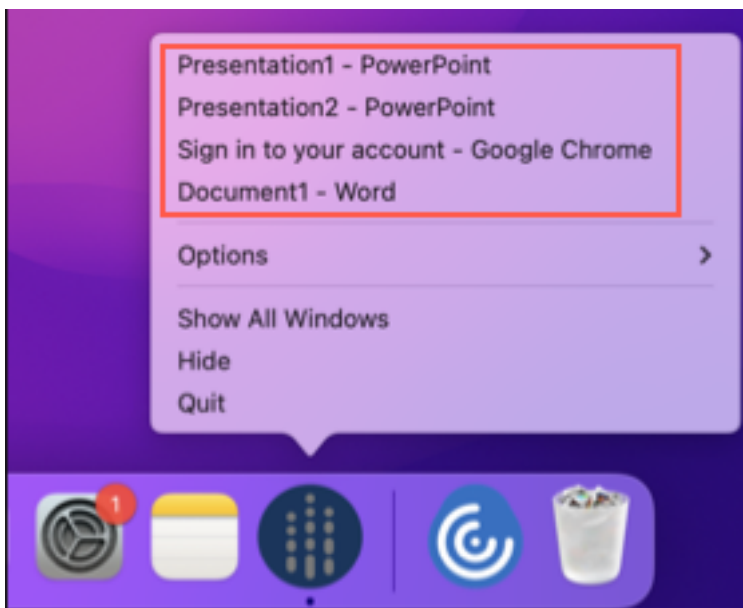
Apple シリコンマシンでは、Apple シリコンビルドをダウンロードした後も、Intel ビルドを自動的に更新するオプションがあります。このオプションは [環境設定] タブに表示されます。

自動更新の詳細設定 Apple シリコン (M1 シリーズ) 搭載の Mac で Citrix Workspace の自動更新を構成するには、次の方法を使用します：

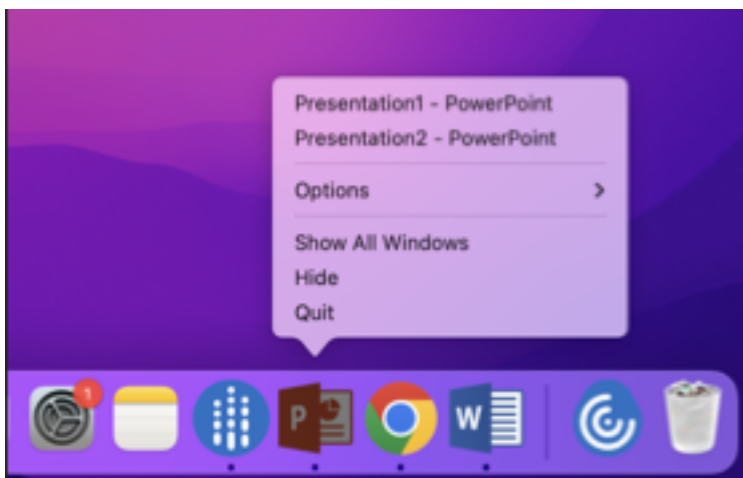
- グラフィカルユーザーインターフェイス
- Global Admin Configuration Service (GACS)
- モバイルデバイス管理 (MDM)
- StoreFront

詳しくは、「[自動更新の詳細設定](#)」を参照してください。

Workspace アプリを開くとドックにネイティブアプリのアイコンで表示される **[Technical Preview]** 以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる Citrix Viewer がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが Citrix Viewer で開きます。Citrix Viewer アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。



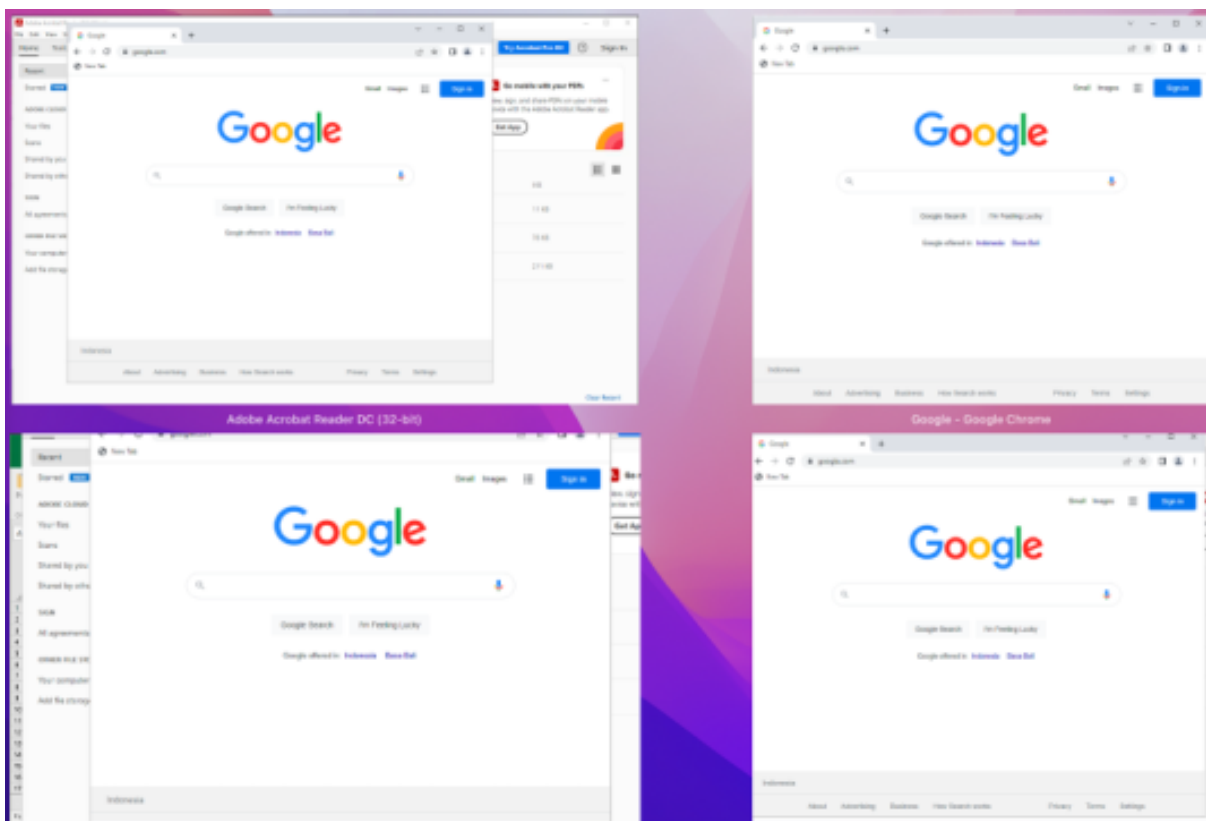
このバージョン以降、仮想アプリを開くとドックにそれぞれのアイコンで表示され、簡単に見分けることができるようになります。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて1つのインスタンスとして表示されます。



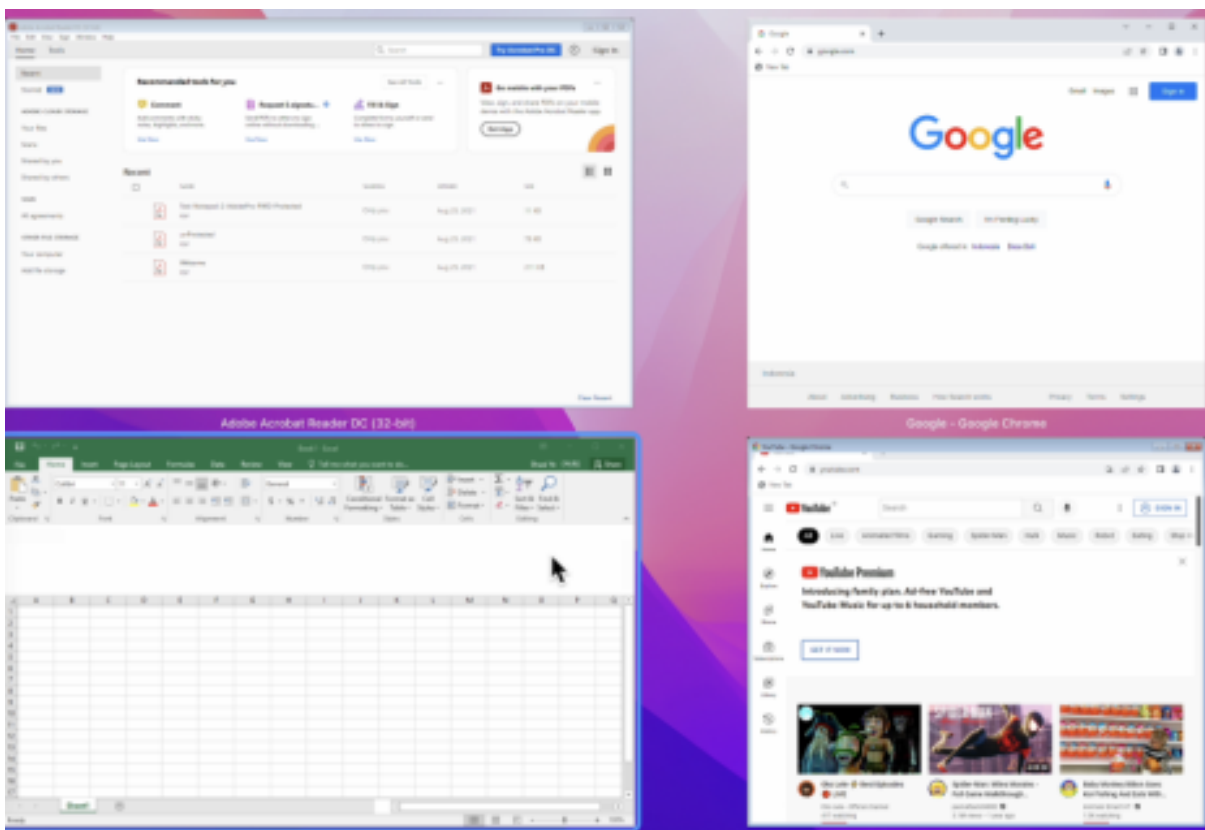
注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上 **[Technical Preview]** 以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



このバージョン以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用し、多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

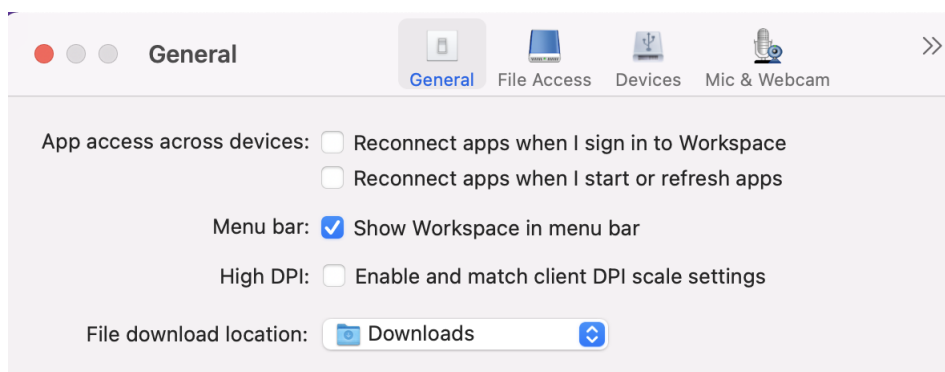
グラフィックパフォーマンスの向上 [Technical Preview] このバージョンでは、デスクトップセッションのグラフィックのパフォーマンスが向上しました。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

高 DPI のサポート Mac 向け Citrix Workspace アプリは、4K または 5K 解像度の 1 台の高 DPI モニターと互換性があります。この機能によって、仮想デスクトップまたはアプリのセッションでテキスト、画像、およびその他のグラフィック要素が、これらの高解像度モニターで快適に表示できるサイズで表示されます。詳しくは、「[高 DPI のサポート](#)」を参照してください。

この機能を有効にするには、[環境設定] > [一般] > [高 DPI] に移動します。



注:

Mac で使用できる外部モニターの数は、常に Mac のモデル、各ディスプレイの解像度とリフレッシュレートによって制限されます。サポートされている外部モニターの数を確認するには、Mac の技術仕様を参照してください。詳しくは、Apple サポート記事の「[Mac で 1 台以上の外部ディスプレイを接続する](#)」を参照してください。

MDM ツールを使用してユーザーデバイスの管理者構成をサポート 管理者は、Citrix Endpoint Management などの MDM 展開ツールを使用して、Citrix Workspace アプリの展開時に次の設定を構成できるようになりました:

- **StoreURLs** –ユーザーが Citrix Workspace アプリを開いたときに自動的に追加されるようにストアの詳細を構成し、サインオン操作をシンプルにします。
ストアを追加するには、**StoreURLs** 設定の詳細を指定します。例: `<string>https://myorg.com/?storename</string>`。
- **BlockStoreAddition** –ユーザーがストアを追加できないようにします。
ユーザーによるストアの追加を禁止するには、**BlockStoreAddition** 設定の値を **True** に設定します。

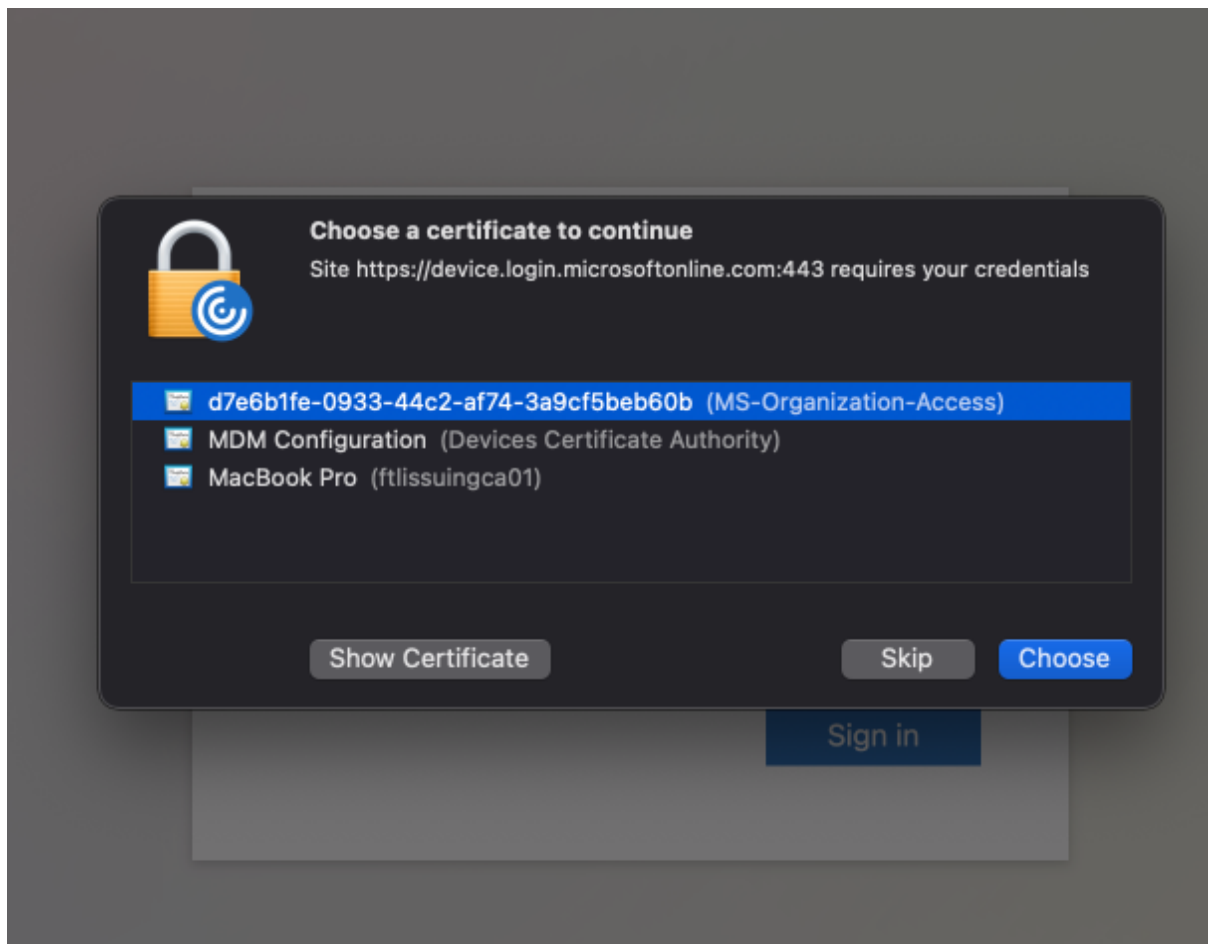
詳しくは、「[MDM ツールを使用してユーザーデバイスのストア構成をサポート](#)」を参照してください。

証明書ベースの認証のサポート **[Technical Preview]** クライアント証明書を使用して、Citrix Workspace アプリ (クラウドストア) に認証できるようになりました。

以前は、証明書ベースの認証はオンプレミスセットアップでサポートされており、クラウドセットアップのお客様は Citrix Workspace アプリにサインインできませんでした。この機能はデフォルトで無効になっているため、管理者は Citrix ヘルプデスクに連絡し、リクエストフォームに入力してこの機能を有効にする必要があります。

組織が Azure Active Directory を使用して条件付きアクセスを構成している場合、サインイン時に認証用のクライアント証明書を選択するよう求められます。証明書ベースの認証により、デバイスが準拠していることを確認できる別のセキュリティが追加されます。

ストアを追加してそのストアの有効な資格情報を入力すると、Citrix Workspace アプリはクライアント認証のキーチェーンで使用できる有効な証明書の一覧を表示します。キーチェーンに有効な証明書が 1 つだけある場合は、それがデフォルトで選択されます。

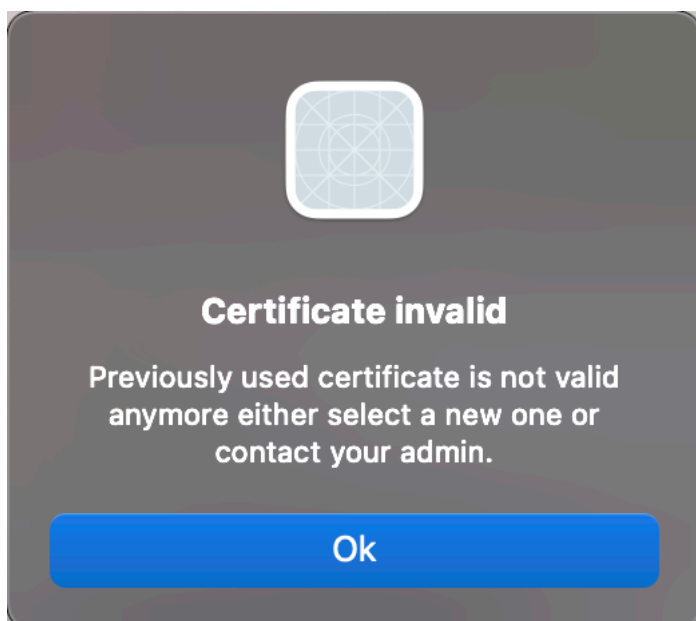


証明書を選択すると、ID プロバイダーがそれを検証し、検証が成功すると Workspace アプリストアが表示されます。

注:

- キーチェーンに有効な証明書がない場合、Citrix Workspace アプリはサーバーからの証明書認証要求に対してデフォルトの処理を実行します。
これにより、ユーザーがログインできなくなる可能性があります。
- 組織が Azure Active Directory で条件付きアクセスを構成していて、有効な証明書がキーチェーンに見つからない場合、Citrix Workspace アプリにログインできません。

以前に選択した証明書が無効になった場合は、有効な証明書を選択するか、または管理者に連絡するかを求めるエラーメッセージが表示されます。



これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio](#)フォームに記入してください。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

Citrix Workspace Browser のリブランディング Citrix Workspace Browser は、Citrix Enterprise Browser に名称変更されました。カスタムスキームが `citrixworkspace://` から `citrixbrowser://` に変更されました。

現在、製品と製品ドキュメントで移行作業が行われています。この移行の間はご迷惑をおかけしますが、何卒ご容赦願います。

- 製品の UI、製品内のコンテンツ、および製品ドキュメント内の画像と手順は、数週間以内に更新されます。
- 既存の顧客のスクリプトの破損を防ぐために、コマンドや MSI などの一部のアイテムでは、以前の名前を引き続き保持できます。
- 関連製品ドキュメント

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 105 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 105.1.1.19 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#) のドキュメントを参照してください。この製品ドキュメントからリンクされているその他のリソース（ビデオやブログの投稿など）には、以前の名前が記載されている場合があります。

Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザにする **[Technical Preview]** 管理者が Citrix Workspace アプリで構成したすべての仕事用リンクまたはエンタープライズリンクやアプリを開くように Citrix Enterprise Browser を構成できるようになりました。この機能により、Citrix Enterprise Browser で仕事用リンクや Web および SaaS アプリのみを開く方法が提供されます。

代替ブラウザを選択して、他の仕事用以外のリンクやアプリを開くことができます。

すべての **Web** アプリおよび **SaaS** アプリを **Citrix Enterprise Browser** で開く このバージョン以降、Citrix Workspace アプリで使用できるすべての内部 Web アプリと外部 SaaS アプリは Citrix Enterprise Browser で開きます。

ブラウザ拡張機能のサポート **[Technical Preview]** 管理者から提供された拡張機能を、セキュアに Citrix Enterprise Browser に追加できます。管理者は拡張機能を展開、管理、および制御できます。エンドユーザーは、必要に応じて `citrixbrowser://extensions` にある拡張機能を表示して使用できます。設定について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

注:

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

構成方法について詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#)のドキュメントを参照してください。

Global App Configuration Service を使用した **Citrix Enterprise Browser** の管理 **[Technical Preview]**

管理者は、Citrix Workspace 用の Global App Configuration Service を使用して、一元管理されたサービスによって Citrix Enterprise Browser の設定を配信できます。

Global App Configuration Service は、管理者が簡単に Citrix Workspace を構成し、Citrix Workspace アプリの設定を管理できるように設計されています。この機能により、管理者は Global App Configuration Service を使用して、特定のストアの Citrix Enterprise Browser にさまざまな設定またはシステムポリシーを適用できます。管理者は、Global App Configuration サービスを使用して、次の Citrix Enterprise Browser 設定を構成および管理できるようになりました:

- 「Enable CEB for all apps」 - Citrix Workspace アプリから Web アプリおよび SaaS アプリを開くデフォルトのブラウザとして、Citrix Enterprise Browser を使用します。
- 「Enable save passwords」 - エンドユーザーがパスワードを保存する機能を許可または拒否します。
- 「Enable incognito mode」 - シークレットモードを有効または無効にします。
- 「Managed Bookmarks」 - 管理者がブックマークを Citrix Enterprise Browser にプッシュできるようにします。
- 「Enable developer tools」 - Enterprise Browser で開発者ツールを有効または無効にします。
- 「Delete browsing data on exit」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser の終了時に削除されるデータを構成できるようにします。

- 「Extension Install Force list」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser で拡張機能をインストールできるようにします。
- 「Extension Install Allow list」 - ユーザーが Citrix Enterprise Browser に追加できる拡張機能の許可リストを管理者が構成できるようにします。この一覧は Chrome Web ストアを使用しています。

メモ:

- これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこれを有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。
- Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックをご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。
- 名前と値のペアでは大文字と小文字が区別されます。
- [Global App Configuration Service](#)のすべてのブラウザー設定は、次のカテゴリにあります。

```
1 {
2
3     "category": "browser",
4     "userOverride": false,
5     "assignedTo": [
6         "AllUsersNoAuthentication"
7     ]
8 }
9
10
11 <!--NeedCopy-->
```

- 管理者は、管理されていないデバイスにも設定を適用できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

Technical Preview

- 最適化された Microsoft Teams 向けの WebRTC のアップグレードバージョン

Technical Preview 機能の完全な一覧については、「[Technical Preview の機能](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Citrix Workspace アプリが Mac デバイスの再起動またはシャットダウン時の電源操作を中断することがあります。[RFMAC-12530]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2206 では、Shift キーが正常に機能しないことがあります。[CVADHELP-20674]

2209

新機能

Citrix Workspace アプリを閉じるときにカスタム **Web** ストアからサインアウトする **signoutCustomWebstoreOnExit** 設定が **True** に設定されている場合、Citrix Workspace アプリウィンドウを閉じると、カスタム Web ストアからサインアウトします。Citrix Workspace アプリを再度開くと、Web ストアの URL が再度読み込まれます。Global App Configuration Service で **signoutCustomWebstoreOnExit** 設定を構成できます。詳しくは、「[Citrix Workspace アプリを閉じるときにカスタム Web ストアからサインアウトする](#)」を参照してください

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 103 ベースの Citrix Enterprise Browser (旧称 Citrix Workspace Browser) バージョン 103.2.1.10 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリを再起動するか、Citrix Workspace アプリをインストールすると、Mac 向け Citrix Workspace アプリが自動的に起動することがあります。[RFMAC-12392]
- 特定のサードパーティ製アプリ向けに最適化された Microsoft Teams の画面共有機能が、Mac 向け Citrix Workspace アプリで失敗することがあります。この問題は、Thinwire コーデックポリシーが [画面全体に使用] に設定されている場合に発生します。その結果、アプリ共有機能が無効になり、共有パネルでオプションが使用できなくなります。[CVADHELP-20853]

2208.1

新機能






メニューバーからクイックアクセスメニューでアプリ、デスクトップ、および **Citrix Enterprise Browser** を表示最近使用したアプリやお気に入りのアプリやデスクトップを表示したり、メニューバーの Citrix Workspace アイコンをクリックして Citrix Enterprise Browser ウィンドウを開いたりできるようになりました。この機能により、Citrix Workspace アプリを開かなくても、一部のリソースに簡単にアクセスできます。

注:

この機能は、オンプレミスのセットアップでは使用できません。


Recents Favorites

Apps

-  Access 2016
-  Concur
-  Excel 2016
-  Bitbucket - code
-  Chrome

[View all applications](#)

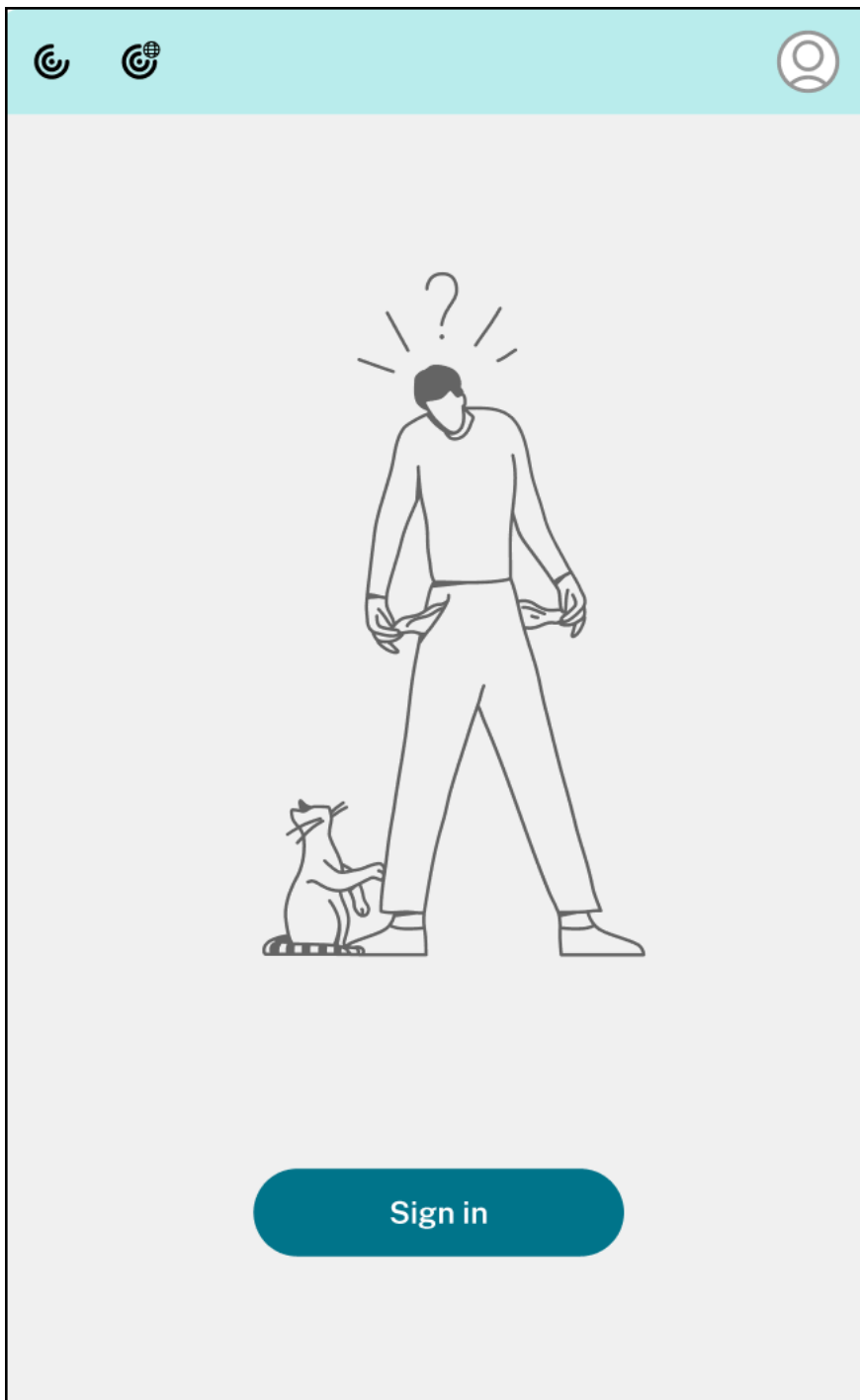
Desktops

-  Managed Win10 SIN Desktop

[View all desktops](#)

Version: 22.06.0.0 (2206)






アカウントを構成していない場合は、サインインプロンプトが表示されます。



最近使用したまたはお気に入りの、アプリまたはデスクトップ最大5つが、[最近] タブと [お気に入り] タブのオプションにそれぞれ表示されます。Citrix Workspace アプリで他のアプリを表示するには、[すべてのアプリケーションを表示] をクリックします。Citrix Workspace アプリで他のデスクトップを表示するには、[すべてのデスクトップを表示] をクリックします。


Recents Favorites

Apps

-  Access 2016
-  Concur
-  Excel 2016
-  Bitbucket - code
-  Chrome

[View all applications](#)

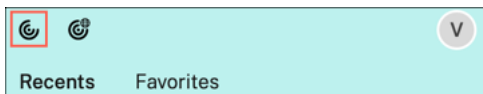
Desktops

-  Managed Win10 SIN Desktop

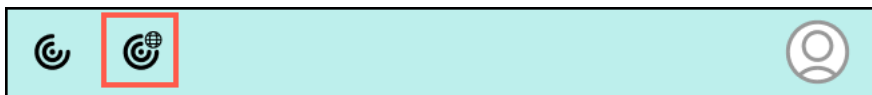
[View all desktops](#)

Version: 22.06.0.0 (2206)

Citrix Workspace アプリのアイコンをクリックして、Citrix Workspace UI を開くことができます。

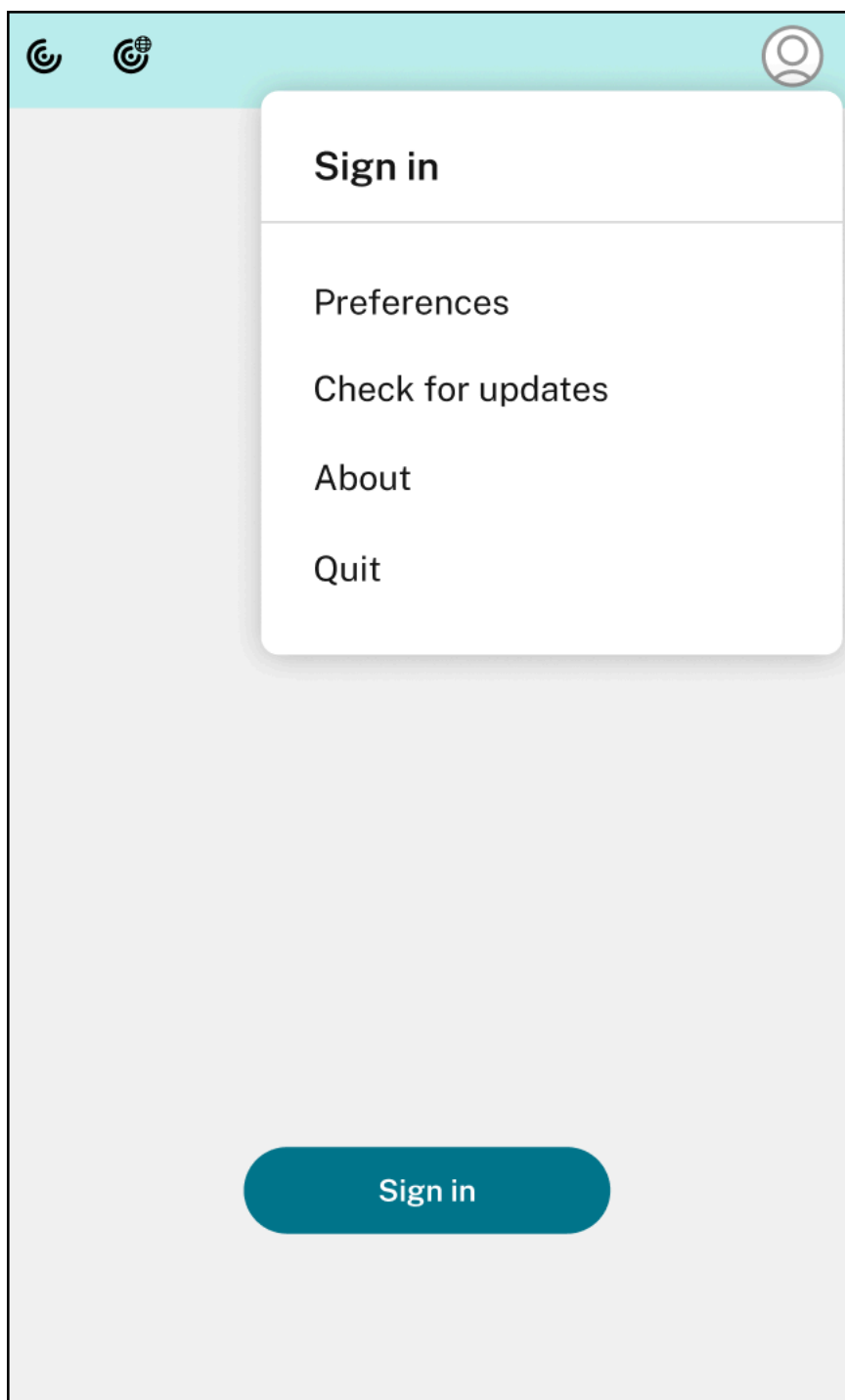


Citrix Enterprise Browser のアイコンをクリックすると、Web または SaaS アプリを開かずに Citrix Enterprise Browser を開くことができます。



注:

構成されたストアに Web または SaaS アプリがない場合、Citrix Enterprise Browser は使用できません。使用できるのは、管理者が Citrix Secure Private Access を構成している場合のみです、



右上隅の [アカウント] アイコンをクリックすると、次のオプションが表示されます：

- 環境設定
- 更新の確認
- バージョン情報
- 終了

詳しくは、「[メニューバーからクイックアクセスメニューでアプリ、デスクトップ、および Citrix Enterprise Browser を表示](#)」を参照してください。

FIDO2 を使用した認証のサポート **[Technical Preview]** このバージョンでは、ユーザーはパスワードなしの FIDO2 セキュリティキーを使用して HDX セッション内で認証できます。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

この機能は現在、PIN コードとタッチ機能を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。FIDO2 セキュリティキーベースの認証を構成できます。前提条件とこの機能の使用については、「[FIDO2 を使用したローカル認証と仮想認証](#)」を参照してください。

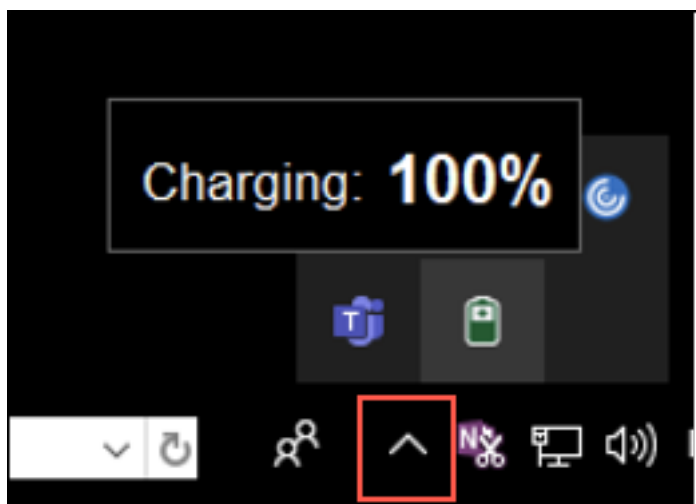
FIDO2 をサポートするアプリまたは Web サイトにアクセスすると、プロンプトが表示され、セキュリティキーへのアクセスが要求されます。以前にセキュリティキーを PIN（最小 4 文字、最大 64 文字）で登録したことがある場合は、サインイン時に PIN を入力する必要があります。

以前に PIN なしでセキュリティキーを登録したことがある場合は、セキュリティキーをタッチするだけでサインインできます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

バッテリー状態インジケータ デバイスのバッテリー状態が、Citrix Desktop セッションのシステムトレイに表示されるようになりました。デスクトップセッション内のバッテリー状態を表示するには、タスクバーの「隠れているインジケータを表示します」の矢印をクリックします。



注:

サーバー VDA の場合、バッテリー状態のインジケータは表示されません。

詳しくは、「[バッテリー状態インジケータ](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 103 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 103.1.1.14 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser プロファイル プロファイルによって、履歴、ブックマーク、パスワードなどの個人情報、およびその他の設定を Citrix Workspace アカウントごとに個別に保持できます。Workspace ストアに基づいてプロファイルが作成され、独自のパーソナライズされたブラウジング環境を利用できます。

注:

バージョン 103.1.1.14 にアップグレードして初めてデバイスにサインインすると、以前保存したパスワードのみが削除されます。初めて別のストアを使用してデバイスにサインインすると、以前保存したデータはすべて失われます。

すべての **Web** アプリと **SaaS** アプリを **Citrix Enterprise Browser** から開く **[Technical Preview]** このバージョン以降、Citrix Workspace アプリで使用できるすべての内部 Web アプリと外部 SaaS アプリは Citrix Enterprise Browser で開きます。この [Podio フォーム](#) を使用して、この Technical Preview に登録できます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックをご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

解決された問題

- Citrix Workspace のログインプロンプトが表示されたときに、[キャンセル] ボタンをクリックしてもポップアップが閉じず、繰り返し表示されます。[CVADHELP-19919]
- 直接ワークロード接続を使用して Citrix Cloud で VDA に直接接続している場合、黒い画面が表示され、VDA から切断されます。この問題は、ネットワークの場所サービス (NLS) が有効になっている場合に発生します。[HDX-40588]
- マルチタッチジェスチャを使用してフルスクリーン表示のアプリ間をスワイプすると、Citrix Workspace のデスクトップセッションのウィンドウが一瞬黒くなります。この問題は、ノッチディスプレイを搭載した Mac で発生します。[HDX-42314]

2206.1

新機能

Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグしてアプリをアンインストール Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグまたは移動するだけで、アプリを完全にアンインストールできるようになりました。

これまでは、Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグしても、アプリは削除されますが、いくつかのシステムファイルは Mac に残ったままでした。このバージョンでは、アイコンをごみ箱にドラッグすると、Citrix Workspace アプリとそれに関連するすべてのファイルがお使いのデバイスから削除されます。

Citrix Workspace アプリをごみ箱にドラッグしてアンインストールするには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリが実行中の場合は閉じます。
2. Citrix Workspace アプリをごみ箱にドラッグします。
または、Citrix Workspace アプリを右クリックして、[オプション] > [ごみ箱に移動] を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、お使いのシステムの資格情報を入力します。
4. 実行中のすべてのアプリ (Citrix Workspace) を閉じ、[続行] をクリックして確認します。
Citrix Workspace アプリとそのすべてのシステムファイルがお使いのデバイスから削除されます。

詳しくは、「[アンインストール](#)」を参照してください

Safari ブラウザーでのサービス継続性のサポート Citrix Workspace サービスの継続性機能が Safari ブラウザーでサポートされるようになりました。ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリと Citrix Workspace Web 拡張機能をインストールする必要があります。サービス継続性により、接続プロセスに関連するコンポーネントの可用性に依存することがなくなります (あるいは最小限に抑えられます)。クラウドサービスの稼働状況に関係なく、仮想アプリやデスクトップに接続できます。サービス継続性機能について詳しくは、「[サービス継続性](#)」のセクションを参照してください。

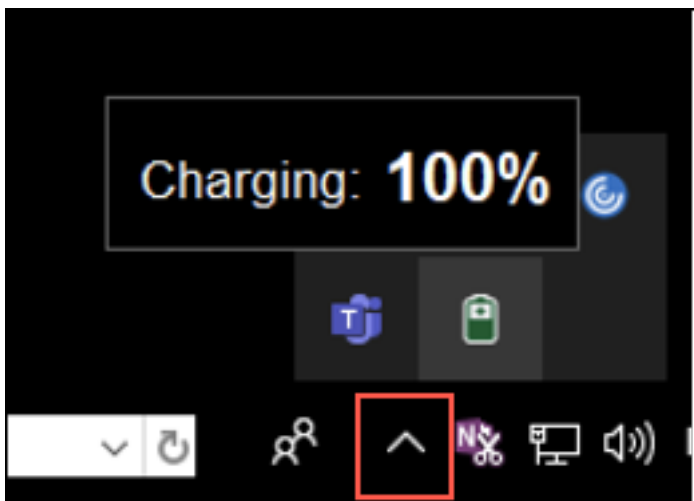
オーディオエコーキャンセルのサポートの改善 **[Technical Preview]** Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートするようになりました。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。

注：

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことを強くお勧めします。

最適化された **Microsoft Teams** の機能強化 最適化された Microsoft Teams で、複数の仮想デスクトップまたはアプリセッションが使用されているときにビデオ機能を使用できるようになりました。詳しくは、「[最適化された Microsoft Teams の機能強化](#)」を参照してください

バッテリー状態インジケータ [Technical Preview] デバイスのバッテリー状態が、Citrix Desktop セッションのシステムトレイに表示されるようになりました。



注:

サーバー VDA の場合、バッテリー状態のインジケータは表示されません。

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 101 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 101.1.1.14 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- ノッチディスプレイを搭載した Mac では、マウスポインターの位置がずれます。[CVADHELP-19337]
- 非アクティブタイムアウト値が経過しても、Workspace アプリからサインアウトしない。この問題は断続的に発生します。[CVADHELP-19812]
- Citrix Workspace アプリをアンインストールしようとするエラーが発生する場合がある。[CVADHELP-19121]

- 最適化された Microsoft Teams では、別の仮想デスクトップまたはアプリのセッションを開始した場合、ビデオ機能が機能しない場合があります。[HDX-40451]
- Microsoft Teams の通話中に画面またはアプリを共有しているとき、他の参加者に視覚的なアーティファクトが表示される場合があります。この問題は、不適切なビデオ再生（フリーズまたは一時的な黒い枠）などの不安定なフレームレートが原因で発生します。このリリースには、視覚的なアーティファクトを減らすのに役立つ改善されたフレームレートまたはサンプリングレートが含まれています。[HDX-38032]

2204

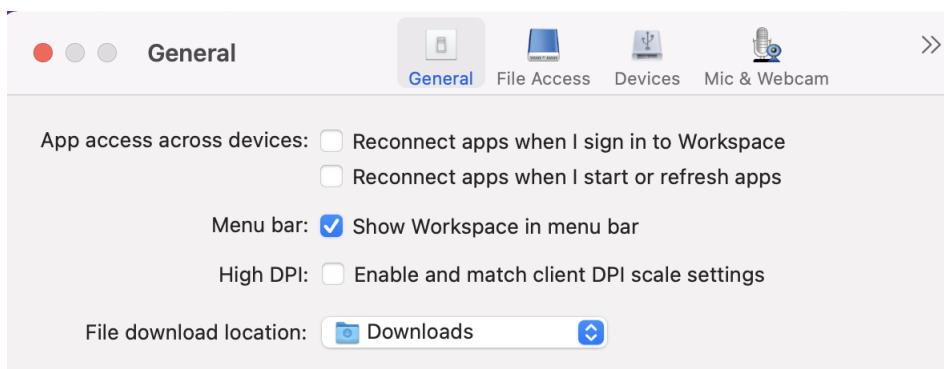
新機能

allowedWebStoreURLs の Global App Configuration Service の設定 管理者は、Global App Configuration Service を使用して、カスタム Web ストアの設定を構成できるようになりました。管理者は、allowedWebStoreURLs プロパティを使用してカスタム Web ストアを構成できます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

最大化モードで **Citrix Workspace** アプリを開くためのサポート 管理者は、Global App Configuration Service の `maximise workspace window` プロパティを構成して、Citrix Workspace アプリをデフォルトで最大化モードで開くことができます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

高 **DPI** モニターのサポート **[Technical Preview]** Mac 向け Citrix Workspace アプリは、4K または 5K 解像度の 1 台の高 DPI モニターと互換性があります。この機能によって、仮想デスクトップまたはアプリのセッションでテキスト、画像、およびグラフィック要素が、これらの高解像度モニターで快適に表示できるサイズで表示されます。

この機能を有効にするには、[環境設定] > [一般] > [高 DPI] に移動します。



管理者は、ディスプレイの解像度に合わせて、デスクトップセッションの最大ビデオバッファサイズをキロバイト単位で指定する表示メモリの制限ポリシーを編集できます。表示メモリの制限ポリシーのデフォルト値は 65536KB で、4K 解像度の 1 台の高 DPI モニターの場合は十分です。

仮想アプリセッションの場合、アプリセッションは複数のディスプレイをサポートしないため、表示メモリの制限のデフォルト値で十分です。

仮想デスクトップセッションの場合、複数外部モニターまたは 5K 解像度モニターでの高 DPI 機能を使用するには、管理者は [Citrix Studio] > [ポリシー] > [表示メモリの制限] に移動し、より高い値 (393216KB など) を使用する必要があります。

表示メモリ制限ポリシーについて詳しくは、「[表示メモリの制限](#)」を参照してください。

管理者は、ディスプレイの解像度に合わせて、デスクトップセッションの最大ビデオバッファサイズをキロバイト単位で指定する表示メモリの制限ポリシーを編集できます。表示メモリ制限ポリシーのデフォルト値は 65536KB で、最大 2x4K モニター (2x32400KB) ではこれで十分です。管理者はこの機能を使用するために、[Citrix Studio] > [ポリシー] > [表示メモリの制限] に移動してこのデフォルト値を編集し、393216KB の値を使用する必要があります。

表示メモリ制限ポリシーについて詳しくは、「[表示メモリの制限](#)」を参照してください。

注:

この機能は、最大 2 台の接続されているモニターで機能します。

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)をご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

リモートデスクトップセッションの永久クライアントアクセスライセンス (CAL) の強化 このバージョンでは、リモートデスクトップにアクセスするために環境で CAL を実行している場合、クライアント ID が 15 文字を超えると、恒久ライセンスを使用してリモートデスクトップセッションを起動できます。

この機能を有効にするには、管理者が以下を実行して `default.ica` ファイルを構成する必要があります:

1. StoreFront サーバーで、`C:\inetpub\wwwroot\Citrix<StoreName>\App_Data` に移動し、任意のエディターで `default.ica` ファイルを開きます。
2. **[WFClient]** セクションに、次の行を追加します:

```
isRDSLicensingEnabled=0n
```

デフォルトのキーボード設定の復元 Citrix Workspace アプリのキーボード設定で設定を変更した場合、デフォルトのキーボード設定を復元できるようになりました。キーボード設定をデフォルト値に戻すには、Citrix Workspace アプリを開いて [環境設定] > [キーボード] に移動し、[デフォルトに戻す] をクリックします。[はい] をクリックして確定します。

Microsoft Teams の HDX 最適化と App Protection との互換性 このバージョンでは、デリバリーグループに対して App Protection が有効になっている場合、モニターやデスクトップの全面共有は無効になります。

Microsoft Teams で [コンテンツを共有] をクリックすると、画面選択メニューから [デスクトップ] オプションが削除されます。VDA が 2109 以降である場合、開いているアプリを共有するために選択できるオプションは [ウィンドウ] だけです。2019 より古い VDA に接続している場合、コンテンツは選択できません。

Citrix Enterprise Browser このリリースには、Chromium バージョン 99 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 99.1.1.8 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザーにする Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザーに設定できるようになりました。Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザーにすると、すべてのリンクと Web および SaaS アプリがデフォルトで Citrix Enterprise Browser で開きます。

macOS で Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザーにするには、以下を実行します：

1. Citrix Enterprise Browser を開き、省略記号アイコンをクリックして [設定] メニューを開きます。
2. 左側のペインで、[デフォルトのブラウザー] オプションをクリックします。
3. [デフォルトのブラウザー] ページで、[デフォルトにする] をクリックします。プロンプトが表示されたら、**[Citrix Enterprise Browser を使用する]** をクリックして選択内容を確認し、変更を適用します。

解決された問題

- ノッチディスプレイを搭載した Mac では、マウスポインターの位置がずれます。[CVADHELP-19337]
- 非アクティブタイムアウト値が経過しても、Workspace アプリからサインアウトしない。この問題は断続的に発生します。[CVADHELP-19812]
- Citrix Workspace アプリをアンインストールしようとするときエラーが発生する可能性がある。[CVADHELP-19121]
- 最適化された Microsoft Teams では、別の仮想デスクトップまたはアプリのセッションを開始した場合、ビデオ機能が機能しない場合があります。[HDX-40451]
- Microsoft Teams の通話中に画面またはアプリを共有しているとき、他の参加者に視覚的なアーティファクトが表示される場合があります。この問題は、不適切なビデオ再生（フリーズまたは一時的な黒い枠）などの不安定なフレームレートが原因で発生します。このリリースには、視覚的なアーティファクトを減らすのに役立つ改善されたフレームレートまたはサンプリングレートが含まれています。[HDX-38032]

既知の問題

2402 の既知の問題

- 一部の Mac では、仮想セッションで全画面表示に入ると、アプリケーション画面がノッチで隠される場合があります。この問題を回避するには、アプリウィンドウを調整して、画面のノッチの下に収まるようにします。

[HDX-63035]

2311 の既知の問題

HTML5 ビデオダイレクト機能は、バージョン 2311 以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリではデフォルトで無効になっています。[HDX-53015]

2308 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2308 にアップグレードした後、環境設定ウィンドウがユーザーの操作に対して応答しなくなる場合があります。この問題を回避するには、Citrix Workspace アプリを強制終了して再起動します。Mac でアプリを強制的に閉じる方法について詳しくは、Apple サポート記事の「[App を強制的に終了する](#)」を参照してください。[RFMAC-14596]

2307 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2306 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2305 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2305 にアップグレードした後、ユーザー名とパスワードの入力が必要なポップアップダイアログを表示する特定のサードパーティ製仮想アプリが、応答しなくなる場合があります。[CVADHELP-23032]

2304 の既知の問題

- 複数のアカウントを持つユーザーに、Citrix Workspace アプリの読み込み画面が長時間表示されることがあります。この問題を回避するには、Citrix Workspace アプリを終了して再起動する必要があります。[RFMAC-13432]

2301.1 の既知の問題

- 自動更新サービスを使用して Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2301.1 に更新することができません。回避策として、[ダウンロード](#) ページで入手可能な.dmg ファイルをダウンロードして、Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2301.1 を手動でインストールする必要があります。

2301 の既知の問題

- macOS Ventura デバイスで、プログレッシブ Web アプリ (PWA) を起動できない。次のエラーメッセージが表示されます:

App Name is damaged and can't be opened. You should move it to the Bin. (アプリ名が破損しており起動できません。Bin に移動する必要があります)

回避策として、そのアプリを右クリックして [開く] を選択します。キーボードを使用している場合は、Ctrl キーを押しながらアプリをクリックします。[開く] を選択します。[CTXBR-3885]

- ユーザーが Global App Configuration Service に関連付けられた Citrix Workspace にサインインするとき、読み込み中アイコンがいつまでも表示されたままになることがある。この問題は、StoreFront およびカスタム Web ストアには影響しません。[RFMAC-13086]

2211.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2211 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2209 以降のバージョンを使用している場合、カスタム Web ポータルの使用中にユーザーサインインページが表示されないことがあります。この問題を回避するには、メニューバーの Citrix Workspace アイコンの [終了] オプションを使用して、Citrix Workspace アプリを終了します。[CVADHELP-21377]

2210 の既知の問題

- macOS 13 Ventura では、**Stage Manager** 機能の **Stage Manager** 設定で [All at Once default] オプションを [One at a Time] オプションに変更すると、シームレスなアプリの相互作用で問題が発生することがあります。[HDX-44567]
- デスクトップセッションをオフラインモードで開始しようとする、失敗することがあります。この問題を解決するには、セッションウィンドウのサイズを変更します。[HDX-45081]
- MacBook でセッションをフルスクリーンモードにサイズ変更すると、カーソルのフォーカルポイントが実際のカーソル位置のわずかに上に表示されることがあります。この問題を回避するには、[システム環境設定] > [Dock とメニューバー] に移動し、フルスクリーンで [メニューバーを自動的に表示/非表示] オプションを有効にします。[HDX-45585]
- バージョン 2210 では、アプリセッションで Mission Control 機能またはアプリ公開機能を使用すると、Citrix Workspace アプリが予期せず終了することがあります。[HDX-46130]

- Epic や Kronos などの特定のサードパーティアプリを起動すると、アプリのサインインウィンドウが別のウィンドウで覆われることがあります。その結果、セッション全体がフリーズします。この問題を回避するには、次のいずれかの操作を実行します：
 - サインインウィンドウをブロックしているウィンドウを、サインインウィンドウの外へドラッグします。
 - Mission Control 機能を使用してサインインウィンドウを見つけます。
 - キーボードショートカットの **Command+~** を使用してウィンドウを切り替えます。

[HDX-46140]

2209 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2208.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2206.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2204 の既知の問題

- トラフィックが NGS を介してトンネリングされると、Citrix Workspace アプリによる 64MB を超えるファイルのアップロードまたはダウンロードが失敗する場合があります。[CTXBR-3354]

2203.1 の既知の問題

- ブラウザーウィンドウが最小化されていない限り、Jira アプリの **[Create]** ボタンをクリックすることはできません。[CTXBR-1976]
- Web ソケット接続は、Citrix Secure Private Access 経由でトンネリングされません。[CTXBR-2439]
- Citrix Workspace アプリをバージョン 2203 にアップグレードすると、Citrix Enterprise Browser アイコンに疑問符アイコンが表示されます。この問題は、アップグレード前に Citrix Enterprise Browser がドックに固定されていた場合に発生します。[CTXBR-2864]
- Citrix Enterprise Browser の **[Advanced]** セクションで **[Reset settings]** オプションをクリックしても、ログ設定はデフォルトにリセットされません。この問題を回避するには、**[Logs]** ページで **[Reset to default log settings]** オプションをクリックします。[CTXBR-2929]

- Citrix Enterprise Browser バージョン 2201 からバージョン 2203 にアップグレードすると、新しいパスワードを保存できず、以前に保存したパスワードが失われます。[CTXBR-3063]
- フルスクリーンモードは、ノッチのある Mac では使用できません。[CVADHELP-19337]
- ブラウザーを使用してデスクトップまたはアプリのセッションを起動すると、セッションウィンドウがブラウザーウィンドウの背後のバックグラウンドで起動します。[RFMAC-11362]

2201 の既知の問題

- オフライン（イントラネット）モードで Citrix Workspace アプリを使用している場合、Citrix Broker Service および Citrix Director ではクライアント名がランダムな文字で表示されます。[RFMAC-10842]

2112 の既知の問題

- Citrix Workspace アプリでは、Microsoft Teams で通話を送受信するときに、断続的に障害が発生する場合があります。次のエラーメッセージが表示されます：
「通話を確立できませんでした。」 [HDX-38819]

2111 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2109.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2109 の既知の問題

- `.cr`ファイルを使用して Citrix Workspace アプリを構成し、資格情報を使用してサインインした場合、ホームページはしばらくしてから表示されます。[RFMAC-9990]
- 保護されている Progressive Web Apps (PWA) が macOS で開かれている場合、*App Protection* ポリシーが適用されていません。[RFMAC-10128]
- Citrix Workspace アプリでストアを追加した後、**[Workspace アプリの再認証期間]**で [現在の再認証期間] を変更し、数分後にオンプレミスからクラウドストアに切り替えると、クラウドストアからサインアウトされ、認証プロンプトが表示されます。Citrix Workspace アプリにサインインすると、スピナーがいつまでも表示され、サインインできなくなります。[RFMAC-10140]

2108.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2108 の既知の問題

- サーバーコンソールで認証ドメインを変更した後にサブスクリプション済みの SaaS アプリを起動すると、セッションが開始されず、次のエラーメッセージが表示されます：

「認証ドメインが変更されました。しばらくしてから再度サインインしてください。」

[RFMAC-9616]

2107 の既知の問題

- サーバーコンソールで認証ドメインを変更し、資格情報を使用してサインインした場合、次のエラーメッセージが表示されます：

サーバーに接続できません

[OK] をクリックすると、ストアにアクセスできます。

[RFMAC-9494]

2106 の既知の問題

- 画面を共有すると、黒い画面が表示されます。[HDX-30083]

2104 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2102 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2101 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリ内から [ネットワーク共有] のファイルにアクセスしようとすると、オプションが有効になっていても失敗する場合があります。[RFMAC-7272]

- macOS Big Sur では、Mac 向け Citrix Workspace アプリでシングルサインオンで利用できる SAML Web アプリを起動しようとするとう失敗し、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

Page could not load. Please **try** again later or contact your administrator **for** assistance. Incident ID:-202

[RFMAC-7282]

2012 の既知の問題

- ビデオ通話を開始するときに Microsoft Teams が応答なくなり、「Citrix HDX not connected」エラーが表示されることがあります。この問題を回避するには、Microsoft Teams または VDA を再起動します。[RFMAC-6727]
- Microsoft Skype for Business のビデオ通話は、macOS Big Sur (11.0.1) ではサポートされていません。
- macOS Big Sur (11.0.1) では、USB デバイスを接続しようとするとう失敗し、セッションが予期せず終了する場合があります。この問題を回避するには、USB デバイスを再接続します。[RFMAC-7079]

廃止

廃止済みの項目については、「[廃止済み](#)」ページを参照してください。

古いドキュメント

保守終了 (EOL) に達した製品リリースについては、[古いドキュメント](#)を参照してください。

サードパーティ製品についての通知

Citrix Workspace アプリには、次のドキュメントで定義された条件の下でライセンスが有効になったサードパーティのソフトウェアが含まれている可能性があります。

[Mac 向け Citrix Workspace アプリのサードパーティ製品についての通知](#)

Technical Preview の機能

June 26, 2024

Technical Preview の機能は、非実稼働環境または制限のある稼働環境で使用でき、お客様がフィードバックを共有する機会を提供します。Technical Preview の機能のサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合があります。

Technical Preview の機能の一覧

次の表に、Technical Preview の機能を示します。これらの機能は、リクエストベースで提供される Preview 機能です。これらの機能についてフィードバックを提供する場合は、対応するフォームにご記入ください。

タイトル	利用できる最小バージョン	有効化フォーム（アイコンをクリック）	フィードバックフォーム（アイコンをクリック）
Citrix Workspace アプリを使用した Citrix Secure Access への自動でのシングルサインオンをサポート	2402		
Zoom VDI プラグインのクライアントアプリ管理	2402		
強化された Desktop Viewer ツールバー	2402		
Desktop Viewer ツールバーのカスタマイズ	2402		
パケット損失補間を有効にしてオーディオパフォーマンスを向上	2402		
デスクトップセッションの外部モニターへの自動拡張をサポート	2402		
Citrix Workspace アプリでのサステナビリティに関する取り組み	2402		
オンプレミス展開での Citrix Secure Private Access のサポート	2309		
強化された高 DPI オプション	2308		

タイトル	利用できる最小バージョン	有効化フォーム（アイコンをクリック）	フィードバックフォーム（アイコンをクリック）
クラウドストアでのアクティビティマネージャーのサポート	2308		
ファイルアクセスのストアごとの設定	2308		
Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート [Technical Preview]	2307		
クライアントアプリ管理	2305		
高速スキャン	2304		
最適化された Microsoft Teams 向けの WebRTC のアップグレードバージョン	2210		
Web アプリおよび SaaS アプリ向けに強化されたシングルサインオン（SSO）エクスペリエンスのサポート	2203.1		

Citrix Workspace アプリを使用した **Citrix Secure Access** への自動でのシングルサインオンをサポート

2402 バージョンからの [Technical Preview](#)

[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、Citrix Workspace アプリにログインすると、Citrix Secure Access へのシングルサインオン（SSO）が自動的にサポートされるようになりました。デバイスに Citrix Secure Access

エージェントと Citrix Workspace アプリの両方がインストールされている場合は、この機能により、Citrix Workspace アプリにログインすると、SSO を使用して Citrix Secure Access に自動的にサインインできます。詳しくは、NetScaler ドキュメントの「[Automatic single sign-on \(SSO\) to Citrix Secure Access through Citrix Workspace app - Preview](#)」を参照してください。

MDM を使用してこの機能を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

```
<key>EnableSecureAccessAutoLogin</key><true/>
```

注：

- この機能を有効にするには、Citrix Secure Access バージョン 24.03.1 以降を使用する必要があります。
- この機能はクラウドストアでのみサポートされ、オンプレミスストアではサポートされません。

Zoom VDI プラグインのクライアントアプリ管理

2402 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

バージョン 2402 以降では、クライアントアプリ管理機能を使用して Zoom VDI プラグインを管理できるようになりました。この機能を使用すると、Citrix Workspace アプリから Zoom VDI プラグインをダウンロード、インストール、自動更新できます。

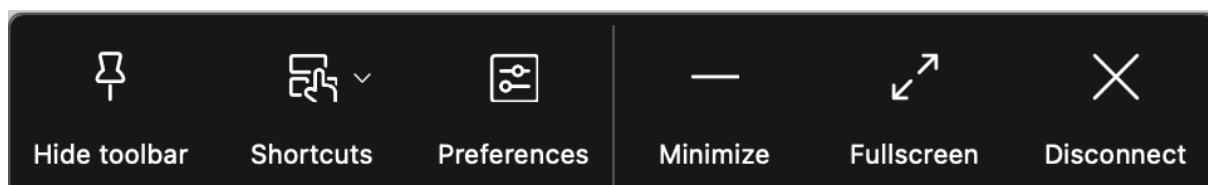
強化された Desktop Viewer ツールバー

2402 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

2402 バージョン以降では、仮想デスクトップビューアーツールバーが強化され、より直感的でモダンかつユーザーフレンドリーになりました。



新しいツールバーには次のオプションがあります：

- ツールバーの表示または非表示 - このボタンをクリックして、Desktop Viewer ツールバーを表示または非表示にします。ツールバーが非表示になっている場合はノッチが表示されます。
- ショートカット - このボタンをクリックして、ショートカットにアクセスします。

- デバイス - このボタンをクリックして、[デバイス] セクションのオプションにアクセスします。
- 環境設定 - このボタンをクリックして、[環境設定] セクションのオプションにアクセスします。
- 最小化 - このボタンをクリックして、仮想セッションを最小化します。このオプションは全画面モードでは非表示になります。
- 全画面 - このボタンをクリックして、全画面で仮想セッションにアクセスします。
- 復元 - このボタンをクリックすると、仮想セッションが全画面モードから復元されます。
- 切断 - このボタンをクリックして、サインアウトするか、仮想セッションを切断します。

ツールバーを仮想セッション内のすべての画面にドラッグできます。ツールバーをドラッグすると、画面上の配置に基づいて自動的に回転します。ドラッグを解除すると、画面上の最も近い端に配置されます。

Desktop Viewer ツールバーのカスタマイズ

2402 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

以前は、**Desktop Viewer** ツールバーを完全に無効にすることができました。ただし、ツールバーのいくつかのオプションを有効または無効にすることはできませんでした。このリリース以降、ツールバーのオプションを追加または削除することで、Mac 向け Citrix Workspace アプリのツールバーをカスタマイズできるようになりました。詳しくは、「[仮想デスクトップセッションでデスクトップツールバーを表示または非表示にする](#)」を参照してください。

ツールバーは、モバイルデバイス管理 (MDM) 設定を使用して構成できます。次の設定により、デバイス、環境設定、最小化、全画面ボタンを非表示にすることができます：

```
1 <key>HiddenToolbarButtons</key>
2 <array>
3   <string>device</string>
4   <string>preferences</string>
5   <string>minimize</string>
6   <string>fullscreen</string>
7 </array>
8
9 <!--NeedCopy-->
```

注：

ツールバーからピンボタンを非表示にすることはできません。

パケット損失補間を有効にしてオーディオパフォーマンスを向上

2402 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

2402 バージョン以降では、ジッターバッファメカニズムが向上し、アダプティブオーディオコーデックにパケット損失補間 (PLC) が追加されました。PLC は、失われたデータパケットの再構築に役立ちます。この機能強化により、パケット損失耐性とジッター耐性が向上し、損失耐性モード (EDT Lossy) でのオーディオパフォーマンスが向上します。

この機能を有効にするには、オーディオの損失耐性モード機能も有効にする必要があります。

デスクトップセッションの外部モニターへの自動拡張をサポート

2402 バージョンからの [Technical](#)

[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

[Preview](#)

2402 バージョン以降、Citrix Workspace アプリはデスクトップセッションの外部モニターへの自動拡張をサポートします。エンドポイントでデスクトップセッションを起動すると、外部モニターが既にエンドポイントに接続されている場合、セッションは自動的に外部モニターに拡張されます。外部モニターを切断すると、セッションは接続されているモニターのみに拡張されるように自動的に調整されます。

この機能を有効にするには、**Citrix Viewer** メニューバーの [表示] メニューに移動し、[すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する] オプションを選択します。



Citrix Workspace アプリでのサステナビリティに関する取り組み

2402 バージョンからの [Technical](#)

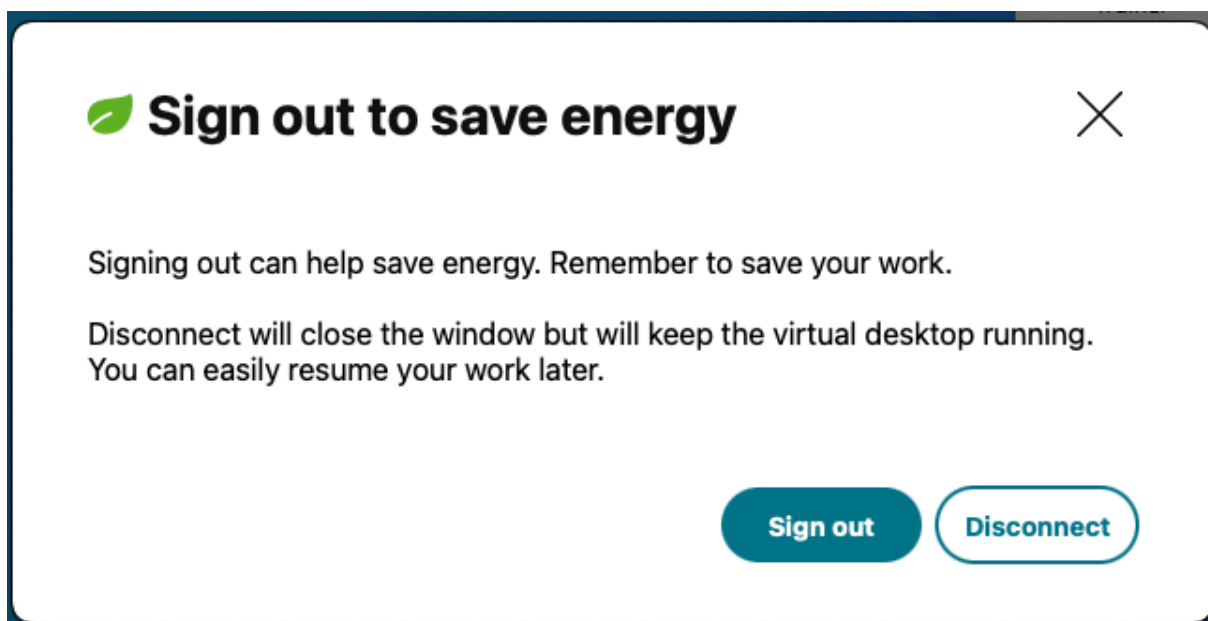
[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

[Preview](#)

2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、仮想デスクトップセッションのサインアウトオプションをサポートします。この機能によって、使用していないときに仮想マシンからサインアウトすると、省エネに貢献する可能性があります。

ユーザーが [切断] または [サインアウト] をクリックするか、仮想デスクトップを閉じると、次のプロンプトが表示され、省エネのために [サインアウト] オプションを使用するようにユーザーに推奨します。



オンプレミス展開での **Citrix Secure Private Access** のサポート

2309 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

バージョン 2309 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、オンプレミス展開で Citrix Secure Private Access をサポートします。詳しくは、「[オンプレミスの Secure Private Access \(Technical Preview\)](#)」を参照してください。

強化された高 **DPI** オプション

2308 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

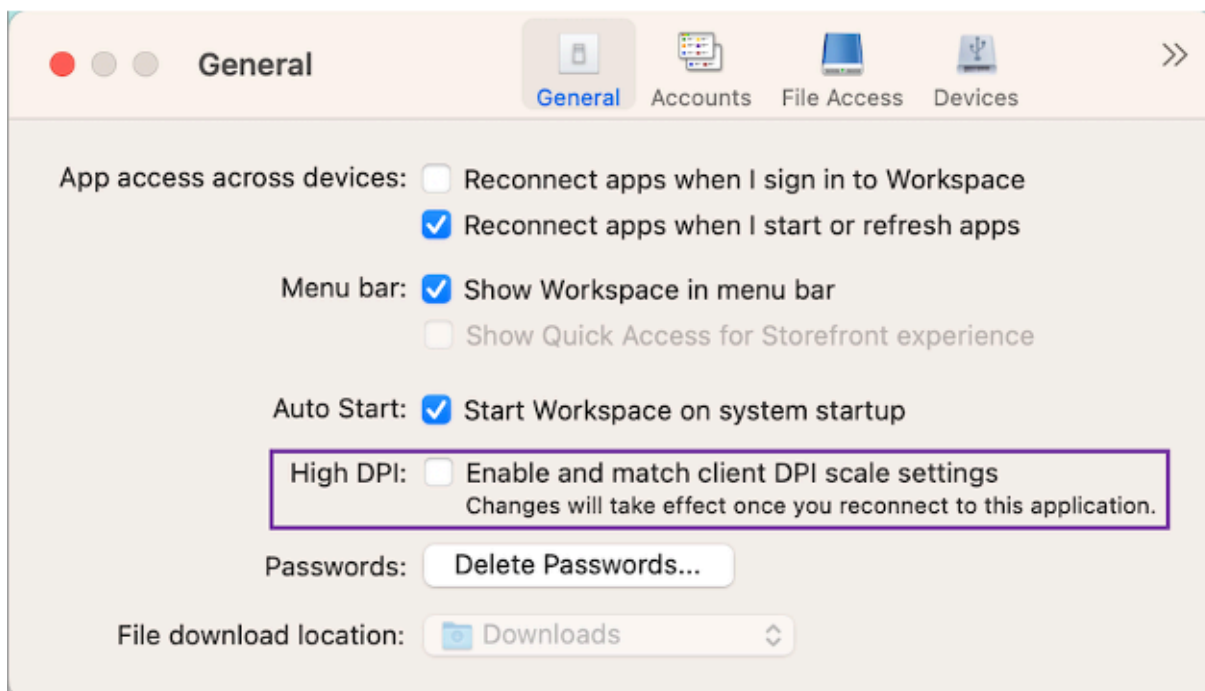
[フィードバックフォーム](#)

Preview

以前は、Citrix Workspace アプリは仮想デスクトップセッションに対してのみ高 **DPI** オプションをサポートしていました。

2308 リリース以降、高 **DPI** オプションを有効にすることで、シームレスなアプリセッションに対してもサポートできるようになりました。また、3つの4Kモニターで高 DPI オプションを有効にできるようになりました。これらの機能はデフォルトでは無効になっています。

高 **DPI** オプションを有効にするには、[環境設定] > [一般] を選択する必要があります。[一般] タブで、[クライアントの **DPI** スケール設定を有効にして一致させる] を選択します。変更を保存するには、アプリケーションを再起動します。



クラウドストアでのアクティビティマネージャーのサポート

2308 バージョンからの Technical

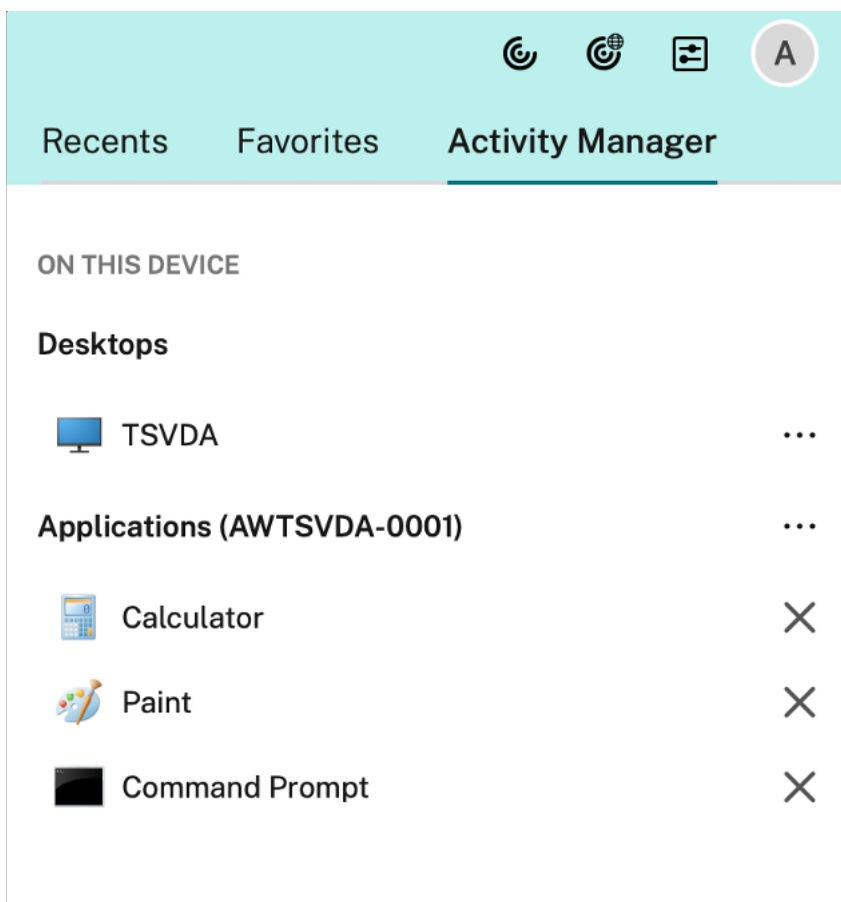
[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、アクティビティマネージャー機能をサポートしています。この機能により、エンドユーザーはすべてのアクティブなアプリとデスクトップセッションを 1 か所で表示し、操作できるようになります。アクティブなセッションはアクティビティマネージャーから直接切断または終了できます。

アクティビティマネージャーでアクティブなセッションを表示するには、メニューバーから Citrix Workspace アプリアイコンを選択し、[アクティビティマネージャー] をクリックします。アクティブなデスクトップセッションを切断するには、対応する省略記号 (...) メニューを選択し、[切断] をクリックします。「X」ボタンをクリックして、アクティブなアプリセッションを終了します。詳しくは、「[アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。



ファイルアクセスのストアごとの設定

2308 バージョンからの Technical

[有効化フォーム](#)

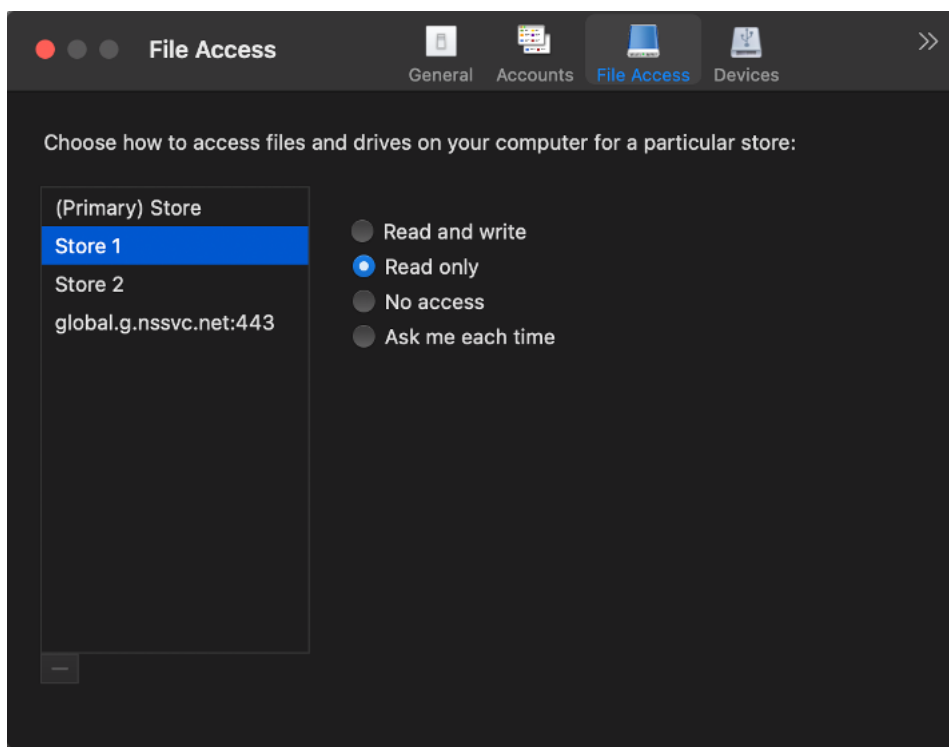
[フィードバックフォーム](#)

Preview

2308 リリース以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのファイルアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとにファイルへのアクセスを提供できるようになります。

ストアのファイルアクセスを有効にするには、[環境設定] > [ファイルアクセス] を選択する必要があります。[ファイルアクセス] タブで、ストアとそのストアに必要なアクセスの種類を選択します。コンピューター上のファイルとドライブに対して、次のいずれかのアクセスの種類を選択できます：

- 読み出し/書き込み：選択したストアのファイルおよびドライブへの読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。
- 読み出し専用：選択したストアのファイルとドライブへの読み取り専用アクセスを提供します。
- アクセスしない：選択したストアのファイルとドライブへのアクセスを制限します。
- 毎回確認する：選択したストアに対して読み取りまたは書き込みアクセスが必要になるたびに、ファイルとドライブへのアクセス許可を要求します。



Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート [Technical Preview]

2307 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

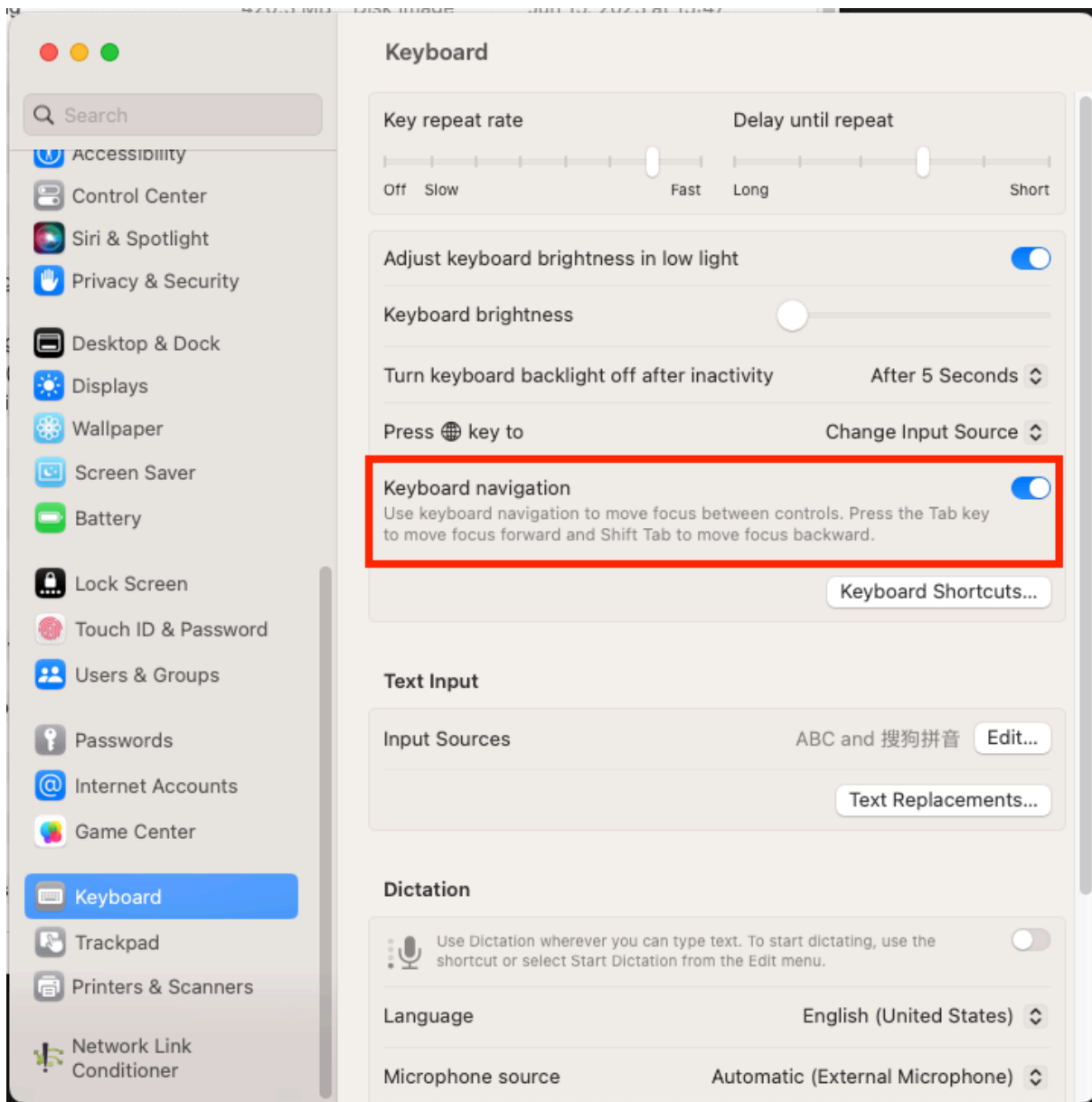
2307 リリースでは、キーボードショートカットを使用して VDI (VDI) ツールバーにアクセスできます。キーボードショートカットを使用するには、**Citrix Viewer** から、メニューバーの [表示] に移動し、[ツールバーのショートカットの使用] を選択します。[ツールバーのショートカットの使用] オプションは、デフォルトで有効になっています。



次のキーボードショートカットを使用して、キーボードから VDI ツールバーにアクセスできます。

- **Shift + Command + T**: VDI ツールバーをアクティブ化します。
- **Tab**: VDI ツールバー内を時計回りに移動します。
- **Shift + Tab**: VDI ツールバー内を反時計回りに移動します。
- **Space**: VDI ツールバーのオプションを選択します。
- **Escape**: フォーカスのあるモーダルを閉じます。

UI 要素間を移動できるようにすると共にフォーカスしている要素を強調表示するキーボードによる操作が、ツールバーと Citrix Workspace アプリの環境設定ウィンドウでサポートされるようになりました。



クライアントアプリ管理

2305 バージョンからの Technical Preview

[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2305 でクライアントアプリ管理機能を使用できます。この管理機能により、Citrix Workspace アプリをエンドポイントにインストールするだけで、エンドポイント解析 (EPA) プラグインな

どのエージェントをインストールおよび管理できるようになります。

この機能により、管理者は必要なエージェントを 1 つの管理コンソールから簡単に展開および管理できます。

注:

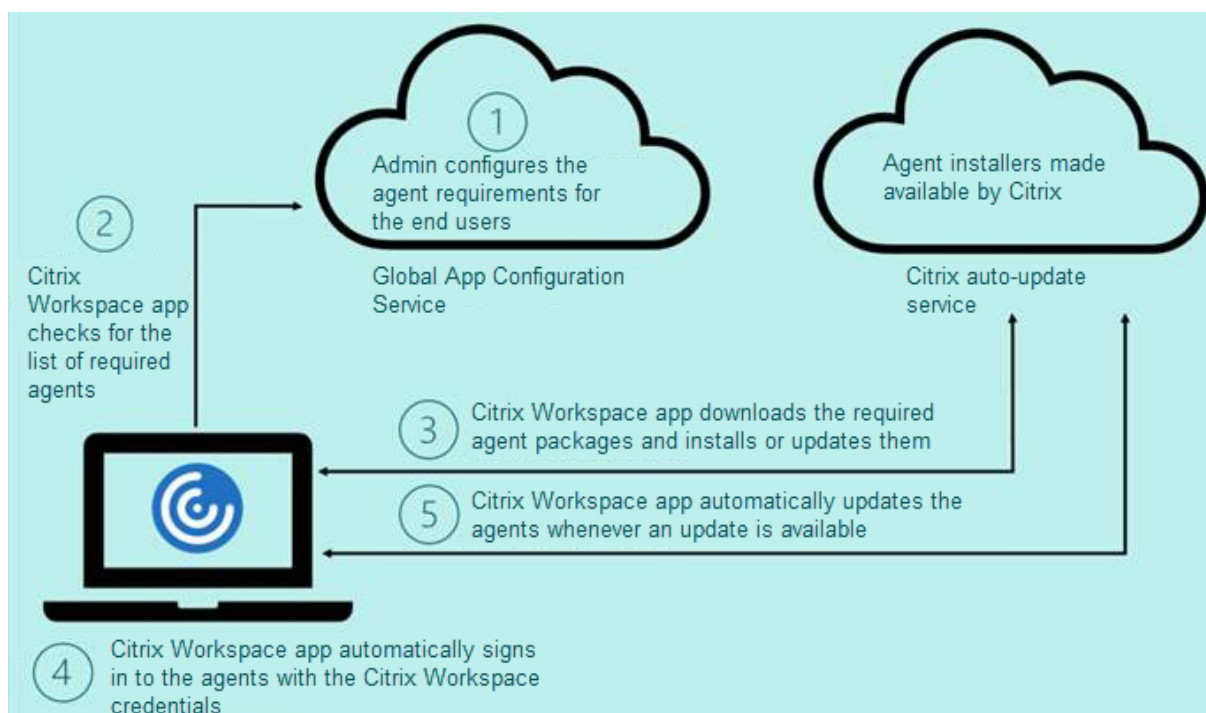
- この機能は、Workspace (クラウド) セッションにのみ適用されます。
- Global App Configuration Service は、この機能の前提条件です。

クライアントアプリ管理には次の手順が含まれます:

- 管理者は、Global App Configuration Service でエンドユーザーのデバイスに必要なエージェントを指定する必要があります。この Technical Preview では、管理者は EPA (エンドポイント解析) エージェントを指定できます。
- Citrix Workspace アプリは、Global App Configuration Service からエージェントの一覧を取得します。
- Global App Configuration Service から取得した一覧に基づいて、Citrix Workspace アプリは自動更新サービスを介してエージェントパッケージをダウンロードします。エンドポイントにエージェントが以前にインストールされていない場合、Citrix Workspace アプリによってエージェントのインストールがトリガーされます。エージェントが既にインストールされている場合は、Citrix Workspace アプリはエージェントの更新をトリガーします (ダウンロードしたエージェントのバージョンがインストールされているバージョンよりも高い場合)。

これ以降更新プログラムが利用可能になったときに、Citrix Workspace アプリがエージェントを自動的に更新します。

次の図は、このワークフローを示しています。



Global App Global App Configuration Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4     "url": "https://serviceURL:443"
5   }
6 },
7
8   "settings": {
9     "name": "Client App management",
10    "description": "Client App management",
11    "useForAppConfig": true,
12    "appSettings": {
13      "macos": [
14        {
15          "category": "AutoUpdate",
16          "userOverride": false,
17          "assignedTo": [
18            "AllUsersNoAuthentication"
19          ],
20          "settings": [
21            {
22              "name": "Auto update plugins settings",
23              "value": [
24                {
25                  "pluginName": "Citrix Endpoint
26                    Analysis",
27                  "pluginId": "7303CB73-42EE-42BB-
28                    A908-9E6575912106",
29                  "pluginSettings": {
30                    "deploymentMode": "
31                      InstallAndUpdate",
32                    "upgradeToLatest": true,
33                    "minimumAllowedVersion": "1.0",
34                    "maximumAllowedVersion": "24.0"
35                  },
36                  "delayGroup": "Medium",
37                  "stream": "",
38                  "isFTU": true,
39                  "isBlocking": true,
40                  "detectRule": ""
41                }
42              ]
43            }
44          ]
45        }
46      ]
47    }
48  }
```

```

49
50         ]
51     }
52
53     ]
54 }
55
56 }
57
58 }
59
60
61 <!--NeedCopy-->

```

次の表に、クライアントアプリ管理設定のスキーマ、値、および説明を示します。

スキーマ設定	値	説明
isBlocking	True または False	isBlocking パラメーターが true に設定されている場合、プラグインは必須と見なされます。サインインページは、必要なプラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。EPA を必須プラグインとして設定することを Citrix ではお勧めします。
pluginName		プラグインのフレンドリ名。 pluginName は変更できます。
pluginId		プラグインの ID。変更しないでください。
deploymentMode	InstallAndUpdate/Update	
maximumAllowedVersion		プラグインの最大許容バージョン。
minimumAllowedVersion		プラグインの最小許容バージョン。
upgradeToLatest	True または False	

2301 リリース以降、管理者は、Citrix Workspace アプリにサインイン済みの状態であれば、Citrix Workspace アプリと Citrix Secure Access へのシングルサインオンを使用して、EPA Clients for macOS の自動更新を管理できます。

Endpoint Analysis (EPA) の自動更新

Citrix Workspace アプリを使用して、[EPA Clients for macOS](#)の自動更新を管理できるようになりました。管理者は、Global App Configuration Service でエンドユーザーのデバイスに必要なエージェントを指定する必要があります。エージェントが既にインストールされていて、エージェントの新しいバージョンが利用可能な場合、Citrix Workspace アプリはエージェントを次の上位バージョンに更新します。これ以降、新しい更新プログラムが利用可能になったときに、Citrix Workspace アプリがエージェントを自動的に更新します。

Global App Configuration Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Client App management",
11    "description": "Client App management",
12    "useForAppConfig": true,
13    "appSettings": {
14
15      "macos": [
16        {
17
18          "category": "AutoUpdate",
19          "userOverride": false,
20          "assignedTo": [
21            "AllUsersNoAuthentication"
22          ],
23          "settings": [
24            {
25
26              "name": "Auto update plugins settings",
27              "value": [
28                {
29
30                  "pluginName": "Citrix Endpoint
31                    Analysis",
32                  "pluginId": "7303CB73-42EE-42BB-
33                    A908-9E6575912106",
34                  "pluginSettings": {
35
36                    "deploymentMode": "
37                      InstallAndUpdate",
38                    "upgradeToLatest": true,
39                    "minimumAllowedVersion": "1.0",
40                    "maximumAllowedVersion": "7.0",
41                    "delayGroup": "Medium",
42                    "stream": ""
```

```
40         "isFTU": false,
41         "isBlocking": false,
42         "detectRule": ""
43     }
44 }
45 }
46 }
47 ]
48 }
49 ]
50 ]
51 }
52 ]
53 }
54 }
55 }
56 }
57 }
58 }
59 }
60 }
61 <!--NeedCopy-->
```

以下は、プロパティの意味と使用可能な deploymentMode キーの値です：

- 「InstallAndUpdate」：プラグインを新規インストール、および新しいバージョンで更新できます。
- 「Update」：更新のみを許可、新規インストールなし。
- 「None」：このプラグインには操作の必要なし。

Citrix Workspace アプリを使用した Citrix Secure Access へのシングルサインオン

Citrix Workspace アプリにサインイン済みの状態であれば、Citrix Secure Access にシングルサインオンできます。Citrix Workspace アプリにサインインして Citrix Secure Access を開くとき、資格情報の入力を求められることはありません。自動的に認証が進みます。この機能により、さまざまな Citrix アプリケーションへのシングルサインオンが可能になり、ユーザーにシームレスなエクスペリエンスが提供されます。この機能は、クラウドストアのお客様のみが使用できます。最新バージョンの Citrix Workspace アプリとともに、互換性のあるバージョンの Citrix Secure Access (22.12.2 以降のバージョン) が必要です。

高速スキャン

2304 バージョンからの Technical

[有効化フォーム](#)

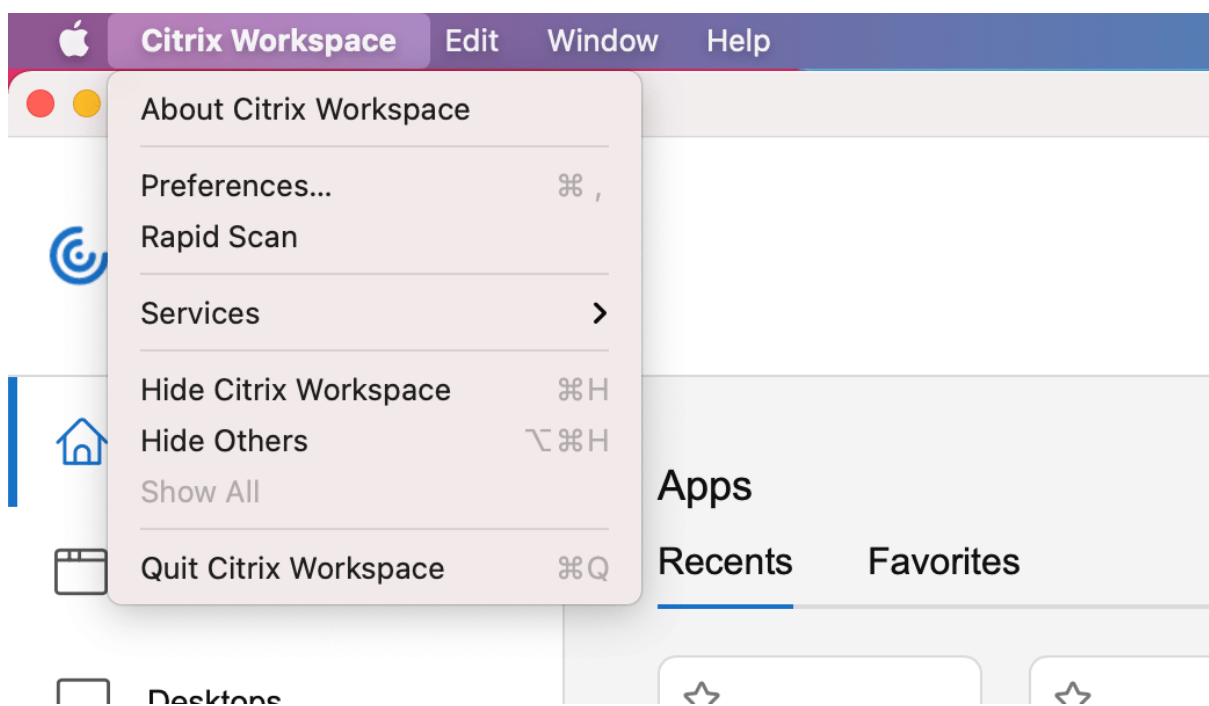
[フィードバックフォーム](#)

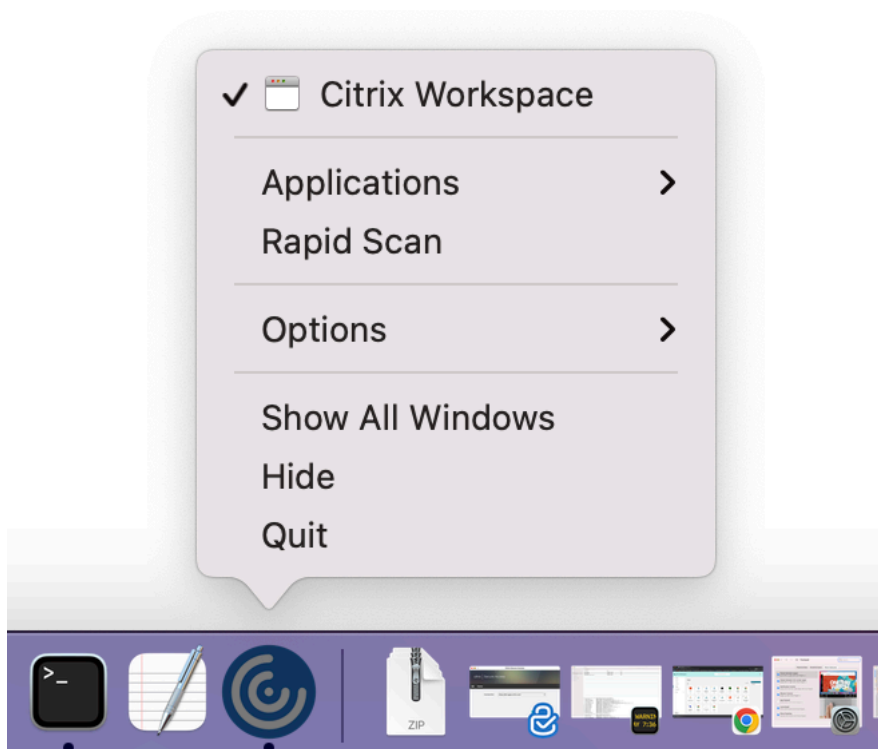
Preview

複数のデバイスで Citrix Workspace アプリにログインしている場合は、高速スキャン機能を使用して iOS デバイスの多数のドキュメントをスキャンし、スキャンしたドキュメントを Mac デバイスに転送できます。

高速スキャン機能を使用してドキュメントをスキャンする方法については、次の手順に従ってください:

1. Mac デバイスで、デスクトップセッションの Citrix Workspace アプリのアイコンを右クリックし、[高速スキャン] をクリックして QR コードを表示します。
2. iOS デバイスで、[設定] > [高速スキャン] をクリックします。
3. Mac デバイスに表示された QR コードをスキャンして、Mac と iOS デバイス間の接続を確立します。
4. ドキュメントをスキャンして、Mac デバイスに送信します。
5. Mac デバイスのデスクトップセッションでは、Finder でスキャンしたドキュメントを見つけることができます。





前提条件

- ストアに対してクライアントドライブマッピング (CDM) を有効にする必要があります。
- iOS デバイスと Mac デバイスの両方で、Citrix Workspace アプリの同じアカウントにサインインする必要があります。
- 同じ Wi-Fi に接続している必要があります。
- 必要な Mac 向け Citrix Workspace アプリの最小バージョンは 2304 です。
- この機能は、iOS 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 23.3.5 以降でサポートされています。
- 高速スキャンには、デバイスでの読み取りおよび書き込みアクセスが必要です。アクセスを有効にするには、次の手順に従います：
 1. プロファイルから、[アプリケーション設定] > [ストアの設定] をクリックします。
 2. 現在のストアをクリックします。
 3. [デバイスストレージ] をクリックし、[読み取り/書き込みアクセス] を選択します。

最適化された **Microsoft Teams** 向けの **WebRTC** のアップグレードバージョン

2210 バージョンからの Technical [有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Preview

2210 バージョン以降、最適化された Microsoft Teams に使用される WebRTC のバージョンは、バージョン M98 にアップグレードされます。

Web アプリおよび **SaaS** アプリ向けに強化されたシングルサインオン (**SSO**) エクスペリエンスのサポート

2203.1 バージョンからの

[有効化フォーム](#)

[フィードバックフォーム](#)

Technical Preview

この機能により、サードパーティの ID プロバイダー (IdP) を使用しながら、内部 Web アプリおよび SaaS アプリ向けの SSO の構成を簡素化できます。強化された SSO エクスペリエンスにより、プロセス全体がいくつかのコマンドに集約されます。SSO をセットアップするために ID プロバイダーチェーンで Citrix Secure Private Access を構成するという、必須の前提条件がなくなります。また、Citrix Workspace アプリと、Citrix Workspace アプリから起動された特定の Web または SaaS アプリの認証に同じ ID プロバイダーが使用される場合、ユーザーエクスペリエンスも向上します。

Technical Preview から一般提供 (**GA**)

サービスまたは機能

一般提供バージョン

H.265 ビデオデコーディングのサポート	2402
HDX Reducer をバージョン 4 にアップグレード	2402
オーディオの損失耐性モード	2402
音量の同期のサポート	2402
Web カメラの背景のぼかしをサポート	2402
App Protection が有効な場合の画面共有のサポート	2402
オンプレミスストアへの接続で FIDO2 を使用した認証のサポート	2311
強化された Workspace での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス (クラウドユーザーのみ)	2311
グラフィックパフォーマンスの向上	2308

サービスまたは機能	一般提供バージョン
サポートされる仮想チャネル数の増加	2308

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) 搭載 Mac のネイティブサポート

February 1, 2024

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) 搭載 Mac のネイティブサポート - ユニバーサルアーキテクチャ

ユニバーサルアーキテクチャビルドのリリースにより、Citrix Workspace アプリは、Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac をネイティブサポートするようになりました。ユニバーサルアーキテクチャビルドは、プロセッサアーキテクチャに関係なく、どの Mac デバイスでも実行できます。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac 向け Citrix Workspace アプリの Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドを使用している場合は、アプリを実行するために Rosetta エミュレーションを使用する必要があります。

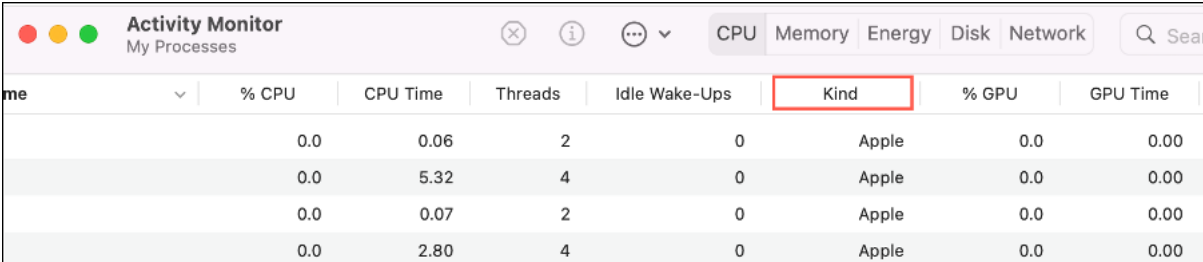
ユニバーサルアーキテクチャビルドの最新バージョンおよび Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドは、[Downloads](#)でダウンロードできます。

注:

Citrix は、Citrix Workspace アプリの Intel ベースの x86_64 アーキテクチャビルドを間もなく廃止する予定です。Intel ベースの Mac と Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac の両方については、ユニバーサルアーキテクチャビルドのサポートを継続します。「[廃止](#)」セクション記載のお知らせに注意してください。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を実行している Mac で Citrix Workspace アプリを使用している場合は、HDX RealTime Optimization Pack (RTOP) をアップグレードする必要があります。Mac 用 HDX RealTime Media Engine 2.9.500 は、Citrix Web サイトの[ダウンロードページ](#)からインストールできます。

Citrix Workspace アプリが Apple シリコンでネイティブに実行されているかどうかを確認するには、Mac でアクティビティモニターを開きます。[CPU] タブの [種類] というタイトルの列は、Workspace アプリが Apple シリコンまたは Intel プロセッサで実行されているかどうかを示します。



名前	% CPU	CPU Time	Threads	Idle Wake-Ups	Kind	% GPU	GPU Time
	0.0	0.06	2	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	5.32	4	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	0.07	2	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	2.80	4	0	Apple	0.0	0.00

Citrix Workspace アプリの異なるビルド間の移行

Citrix Workspace アプリは、インテルベースの x86_64 アーキテクチャビルドとユニバーサルアーキテクチャビルドとの間で移行することができます。

ビルド間で移行するには、[Downloads](#)からビルドの最新バージョンをダウンロードし、手動インストールを実行します。詳細については、「[手動インストール](#)」を参照してください。

または、GUI を使用してビルド間で移行することもできます。このオプションは、Apple シリコン（M1 および M2 シリーズ）を搭載した Mac のユーザーにのみ適用されます。グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した移行について詳しくは、「[グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した Citrix Workspace 自動更新プログラムの構成](#)」を参照してください。

注:

ビルド間の移行では、アプリのアンインストールは不要です。

Citrix 仮想チャネル SDK

Citrix 仮想チャネルソフトウェア開発キット (VCSDK) は、ICA プロトコルを使用する追加の仮想チャネルのための、サーバー側アプリケーションやクライアント側ドライバーの作成をサポートします。サーバー側仮想チャネルアプリケーションは、Citrix Virtual Apps and Desktops サーバー上にあります。他のクライアントプラットフォーム用の仮想ドライバーの作成については、Citrix テクニカルサポートにお問い合わせください。

仮想チャネル SDK には、以下のものが用意されています。

- Citrix Server API SDK (WFAPI SDK) の仮想チャネル機能とともに使用して新しい仮想チャネルを作成する、Citrix Virtual Driver Application Programming Interface (VD-API)。VD-API によって提供される仮想チャネルサポートは、独自の仮想チャネルを容易に作成できるように設計されています。
- 視覚的要素を強化し、ICA と統合されたサードパーティアプリケーションをサポートする Windows Monitoring API。
- プログラミングテクニックの実例となる仮想チャネルサンプルプログラムの、実際に機能するソースコード。

仮想チャネル SDK では、WFAPI SDK で仮想チャネルのサーバー側を作成する必要があります。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac にカスタム仮想チャネルをロードする

エンドユーザーは、M1 および M2 チップセットを搭載した Mac にカスタム仮想チャネル SDK (VCSDK) を正常にロードできます。ユニバーサルアーキテクチャでは、M1 および M2 チップセットデバイス上の最新の VCSDK を使用してカスタム仮想チャネルを再コンパイルし、VCSDK をロードする必要があります。ユニバーサルアーキテクチャビルドは、「Downloads」の「**Virtual Channel SDK 2204 for macOS (Apple silicon) - Universal Architecture**」セクションからダウンロードできます。

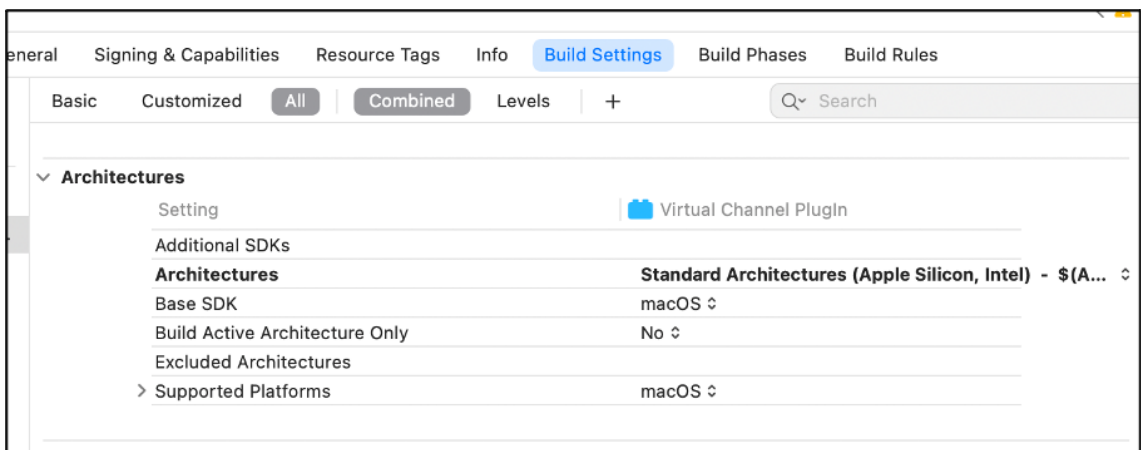
VCSDK をロードするには、次の手順を実行します：

1. 「Downloads」から macOS 用の Virtual Channel SDK 2204 をダウンロードします。
2. Xcode でカスタム仮想チャネルプロジェクトを開きます。
3. コードを変更します。
4. カスタム仮想チャネルをコンパイルして、仮想チャネルバンドルを生成します。

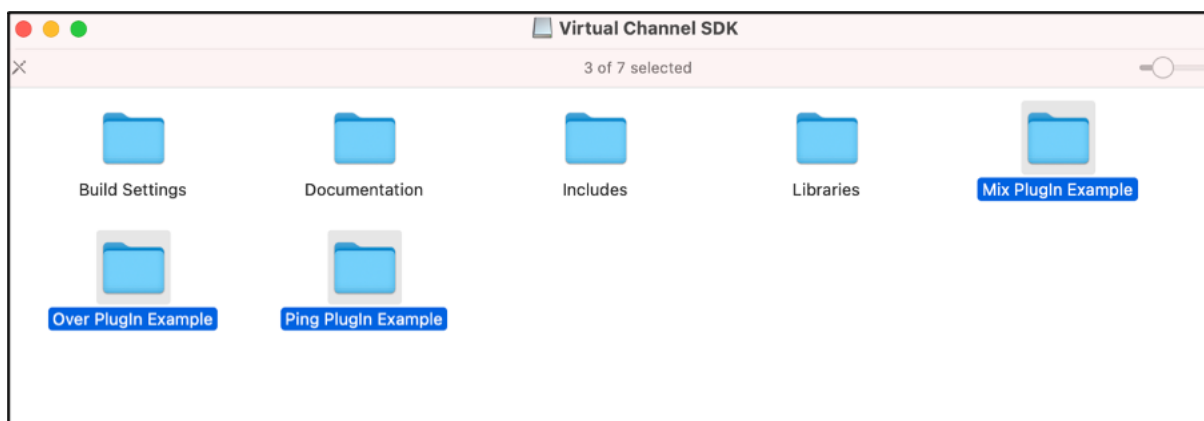
仮想チャネルソフトウェア開発キット (VCSDK) をテストする

Citrix 仮想チャネルソフトウェア開発キット (VCSDK) を使用している場合は、カスタマイズした仮想チャネルが正しく実行されるように、カスタマイズする必要があります。VCSDK をテストするには、次の手順を実行します：

1. カスタマイズした仮想チャネルのリンクされたライブラリがすべてユニバーサルバイナリ用にコンパイルされていることを確認します。
2. ユニバーサルバイナリをサポートするようにプロジェクトファイルを変更します：
 - [Project] > [Build Settings] を開きます。
 - [Architectures] を [Standard Architectures] に設定します。



VCSDK の例は、VCSDK.dmg 内にあります。これらの例は、Apple シリコンと Intel ベース Mac コンピューターの両方でネイティブに実行される Apple のユニバーサル macOS バイナリをサポートしています。これは、両方のアーキテクチャの実行可能コードが含まれているためです。これらの例をリファレンスとして使用できます。



先進的な Mac 向け Citrix Workspace アプリ用 Citrix 仮想チャネル SDK

2311 バージョン以降、Citrix 仮想チャネルソフトウェア開発キット (VCSDK) は、ICA プロトコルを使用する追加の仮想チャネルのための、サーバー側アプリケーションやクライアント側ドライバーの作成をサポートします。サーバー側仮想チャネルアプリケーションは、Citrix Virtual Apps and Desktops サーバー上にあります。このバージョンの SDK は、Mac 向け Citrix Workspace アプリ用の新しい仮想チャネルの作成と画面共有をサポートします。

詳しくは、開発者用ドキュメントで [Citrix Virtual Channel SDK for Citrix Workspace app for Mac](#) を参照してください。

サポートされる仮想チャネル数の増加

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは最大 32 の仮想チャネルをサポートしていました。バージョン 2308 以降では、セッションで最大 64 個の仮想チャネルを使用できます。

システム要件と互換性

May 16, 2024

サポートされるオペレーティングシステム

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、以下のオペレーティングシステムをサポートします：

- macOS Sonoma 14.4.1
- macOS Ventura 13
- macOS Monterey 12
- macOS Big Sur 11

Citrix は常に、最新および直近の 2 つの macOS オペレーティングシステム (N、N-1、および N-2) のみをサポートします。

互換性のある **Citrix** 製品

Citrix Workspace アプリは、現在サポートされているすべてのバージョンの Citrix Virtual Apps and Desktops、Citrix DaaS (Citrix Virtual Apps and Desktops サービスの新名称)、および [Citrix 製品マトリクス](#) の一覧にある Citrix Gateway のバージョンと互換性があります。

互換性のあるブラウザ

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のブラウザと互換性があります：

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari

ハードウェア要件

- 1GB の空きディスク容量
- サーバーに接続するためのネットワークまたはインターネット接続

接続、証明書、認証

接続

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス) への以下の接続をサポートします：

- HTTPS
- ICA-over-TLS
- ICA-over-DTLS

Mac 向け Citrix Workspace アプリは以下の構成をサポートします：

LAN 接続

セキュリティ保護されたリモートまたはローカルの接続

StoreFront サービスサイトまたは Citrix Receiver for Web サイトを使用する StoreFront。 Citrix Gateway 12.x~13.x (VPX を含む)

証明書

重要:

macOS 10.15 を実行している場合は、システムが Apple 社の [macOS 10.15 での信頼された機関からの証明書の要件](#) に準拠していることを確認してください。Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2106 にアップグレードする前に、この確認を行ってください。

プライベート（自己署名）証明書 リモートゲートウェイにプライベート証明書がインストールされている場合、ユーザーデバイスに組織の証明機関のルート証明書をインストールする必要があります。その後、Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して Citrix リソースに正常にアクセスできます。

注:

接続時にリモートゲートウェイの証明書を検証できない場合、ローカルのキーストアにルート証明書が含まれていないため、信頼されていない機関からの証明書に関する警告が表示されます。ユーザーがストアの追加を続行すると、ストアの追加は失敗します。Web ブラウザーでは、ユーザーはストアに対して認証できる場合がありますが、セッションへの接続は失敗します。

デバイスのルート証明書のインポート

証明書の発行者のルート証明書を取得して、デバイスに設定されているアカウントに電子メールで送信します。添付ファイルをクリックすると、ルート証明書をインポートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ワイルドカード証明書 ワイルドカード証明書は、同一ドメイン内の任意のサーバーで個別のサーバー証明書の代わりに使用します。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ワイルドカード証明書がサポートされています。

中間証明書と Citrix Gateway 証明書チェーンに中間証明書が含まれる場合は、中間証明書を Citrix Gateway のサーバー証明書に関連付ける必要があります。このタスクについて詳しくは、[Citrix Gateway](#) のドキュメントを参照してください。証明書のインストール、リンク、更新について詳しくは、「[中間証明書を Citrix Gateway にインストールしてプライマリ CA とリンクする方法](#)」を参照してください。

サーバー証明書検証ポリシー Mac 向け Citrix Workspace アプリには、サーバー証明書に関する厳格な検証ポリシーがあります。

重要

このバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールする前に、サーバーまたはゲートウェイの証明書が、ここで説明されているように正しく構成されていることを確認してください。以下の場合、接続できない可能性があります:

- サーバーまたはゲートウェイの構成に間違ったルート証明書が含まれている

- サーバーまたはゲートウェイ構成にすべての中間証明書が含まれていない
- サーバーまたはゲートウェイ構成に期限切れまたは無効な中間証明書が含まれている
- サーバーまたはゲートウェイ構成にクロスルート用中間証明書が含まれていない

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、サーバー証明書を検証するときにサーバー（またはゲートウェイ）が提供するすべての証明書を使用します。次に、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、証明書が信頼されているかどうかを確認します。証明書が 1 つも信頼済みでない場合、接続に失敗します。

このポリシーは、Web ブラウザーの証明書ポリシーより厳格です。多くの Web ブラウザーには、多数の信頼済みのルート証明書セットが含まれます。

サーバー（またはゲートウェイ）は、正しい証明書セットで構成する必要があります。不正な証明書のセットを使用すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリの接続に失敗することがあります。

以下は、ゲートウェイがこのような有効な証明書で構成されていることを前提としています。この構成は、Mac 向け Citrix Workspace アプリで使用されるルート証明書を正確に確認するために、より厳格な検証が必要なユーザーにお勧めします。

次に、Mac 向け Citrix Workspace アプリはこれらすべての証明書が有効であることを確認します。Mac 向け Citrix Workspace アプリが「ルート証明書」を信頼済みであることも確認します。Mac 向け Citrix Workspace アプリが「ルート証明書」を信頼していない場合、接続に失敗します。

重要

証明機関によっては、複数のルート証明書があります。このような、より厳格な検証が必要であれば、構成で適切なルート証明書が使用されていることを確認してください。たとえば、現在同じサーバー証明書を検証できる 2 つの証明書（「DigiCert/GTE CyberTrust Global Root」および「DigiCert Baltimore Root/Baltimore CyberTrust Root」）があるとして、ユーザーデバイスによっては、両方のルート証明書が使用できます。その他のデバイスでは、1 つの証明書のみを使用できます（「DigiCert Baltimore Root/Baltimore CyberTrust Root」）。ゲートウェイで「GTE CyberTrust Global Root」を構成すると、これらのユーザーデバイスで Mac 向け Citrix Workspace アプリの接続に失敗します。どのルート証明書を使用すべきかについては、証明機関のドキュメントを参照してください。ルート証明書の有効期限についても注意してください。

注:

サーバーやゲートウェイによっては、ルート証明書が構成されていても、送信しないことがあります。この場合、より厳格な検証は機能しません。

以下は、ゲートウェイがこのような有効な証明書で構成されていることを前提としています。通常は、このルート証明書を省略した構成が推奨されます:

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

Mac 向け Citrix Workspace アプリはこれらすべての証明書が有効であることを確認します。次に、ユーザーデバイスでルート証明書を検索します。「ルート証明書サンプル」など、正しく検証される信頼された機関からの証明書が

見つかった場合、接続は成功します。信頼済みの証明書が見つからない場合は、失敗します。この構成では、Mac 向け Citrix Workspace アプリが必要とする中間証明書が提供されますが、Mac 向け Citrix Workspace アプリは任意の有効な、信頼済みのルート証明書を選択できます。

以下は、ゲートウェイがこのような証明書で構成されていることを前提としています：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」
- 「間違ったルート証明書」

Web ブラウザーは、不正なルート証明書を無視することがありますが、Mac 向け Citrix Workspace アプリは不正なルート証明書を無視しないため、接続は失敗します。

証明機関によっては、複数の中間証明書を使用します。この場合、ゲートウェイは通常、以下のようにすべて中間証明書（ルート証明書ではない）で構成されます：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル 1」
- 「中間証明書サンプル 2」

重要

一部の認証機関は、複数のルート証明書が存在する状況では、クロス署名の中間証明書を使用します。以前のルート証明書は、新しいルート証明書と同時に使用されています。この場合、少なくとも 2 つの中間証明書が存在します。たとえば、以前のルート証明書「Class 3 Public Primary Certification Authority」には、関連するクロスルート用中間証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」があります。ただし、ルート証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」も利用可能であり、「Class 3 Public Primary Certification Authority」に置き換わります。最新のルート証明書はクロスルート用中間証明書を使用しません。

注

クロスルート用中間証明書とルート証明書のサブジェクト名 (Issued To) は同じですが、クロスルート用中間証明書の発行者名 (Issued By) は異なります。この違いによって、クロスルート用中間証明書と通常の間証明書（「中間証明書サンプル 2」など）を区別できます。

通常は、このルート証明書およびクロスルート用中間証明書を省略した構成が推奨されます：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

クロスルート用中間証明書をゲートウェイで構成しないでください。これは、ゲートウェイで以前のルート証明書が選択されるようになるのを避けるためです：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

- 「クロスルート用中間証明書サンプル」(非推奨)

次のサーバー証明書のみでゲートウェイを構成することは推奨されません。

- 「サーバー証明書サンプル」

この場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはすべての中間証明書を検出できないため、接続に失敗します。

認証

StoreFront への接続では、Mac 向け Citrix Workspace アプリで以下の認証方法がサポートされます：

認証方法	Web 向け Workspace (ブラウザ)	StoreFront サービスサイト (ネイティブ)	Citrix Gateway から Web 向け Workspace (ブラウザ)	Citrix Gateway から StoreFront サービスサイト (ネイティブ)
匿名	はい	はい		
ドメイン	はい	はい	はい *	はい *
ドメインパススルー				
セキュリティトークン		はい *	はい *	
2 要素 (ドメイン + セキュリティトークン)		はい *	はい *	
SMS		はい *	はい *	
スマートカード	はい	はい	はい *	はい
ユーザー証明書		はい	はい (Citrix Gateway Plugin)	

* Citrix Gateway が動作する環境でのみ使用できます (デバイスへの関連プラグインのインストールは不要)。

接続の要件

フィーチャーフラグ管理

実稼働環境の Citrix Workspace アプリで問題が発生した場合、機能が出荷された後でも、影響を受ける機能を Citrix Workspace アプリで動的に無効にすることができます。無効化するには、フィーチャーフラグと、LaunchDarkly と呼ばれるサードパーティ製サービスを使用します。

ファイアウォールまたはプロキシが送信トラフィックをブロックしている場合を除いて、LaunchDarkly へのトラフィックを有効にするために構成する必要はありません。送信トラフィックがブロックされている場合、ポリシー要件に応じて、特定の URL または IP アドレス経由の LaunchDarkly へのトラフィックを有効にします。

LaunchDarkly へのトラフィックと通信は、次の方法で有効化できます：

次の **URL** へのトラフィックを有効にする

- events.launchdarkly.com
- stream.launchdarkly.com
- clientstream.launchdarkly.com
- [Firehose.launchdarkly.com](https://firehose.launchdarkly.com)
- mobile.launchdarkly.com

IP アドレスの許可リストを作成する IP アドレスの許可リストを作成する必要がある場合、現在のすべての IP アドレス範囲については、「[LaunchDarkly のパブリック IP 一覧](#)」を参照してください。この一覧を使用すると、インフラストラクチャの更新に合わせてファイアウォールの構成が自動的に更新されます。インフラストラクチャの変更の状態について詳しくは、[LaunchDarkly Statuspage](#) ページを参照してください。

LaunchDarkly のシステム要件 Citrix ADC の分割トンネリングが以下のサービスに対してオフに設定されている場合、アプリがこれらのサービスと通信できることを確認してください:

- LaunchDarkly サービス。
- APNs リスナーサービス

MDM ツールを使用して **LaunchDarkly** サービスを無効にするようにプロビジョニング バージョン 2210 以降では、ユーザーが組織のファイアウォールの内側にいるか外側にいるかに関係なく、Citrix Workspace アプリで LaunchDarkly サービスを無効にできます。LaunchDarkly サービスを無効にするには、**DisableFeatureFlag** 設定の値を True に設定します。

このサービスは、MDM ツールを使用して Mac デバイスを管理する管理者が使用できます。

注:

FeatureFlag を無効にするには、管理者がこの設定を有効にするためにデバイスを再起動する必要があります。

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

インストール、アンインストール、およびアップグレード

June 26, 2024

Mac 向け Citrix Workspace アプリは単一のインストールパッケージで提供されており、Citrix Gateway および Secure Web Gateway を使用したリモートアクセスをサポートしています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリを以下のいずれかの方法でインストールできます:

- Citrix の Web サイトからインストール
- Workspace for Web サイトからの自動インストール
- ESD (Electronic Software Delivery: 電子ソフトウェア配信) ツールによるインストール

Citrix Workspace アプリが **[Applications]** ディレクトリにインストールされているかどうかを確認します。インストールパスは次のとおりです:

- フルインストール - `"/Applications/Citrix\ Workspace.app/"`
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ実行ファイル - `"/Applications/Citrix\ Workspace.app/Contents/MacOS/Citrix\ Workspace"`

手動インストール

ユーザーによる **Citrix.com** からのインストール

初めて使用する場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリを Citrix.com または社内のダウンロードサイトからダウンロードできます。アカウントをセットアップするときに、サーバーの URL の代わりにメールアドレスを入力できます。メールアドレスに関連付けられた Citrix Gateway や StoreFront サーバーが Mac 向け Citrix Workspace アプリにより識別され、ログオン用のメッセージが表示されてインストールを続行します。この機能は、メールアドレスによるアカウント検出と呼ばれます。

注:

初めて使用するユーザーとは、デバイスに Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールしていないユーザーを指します。

Citrix.com 以外の場所 (Citrix Receiver for Web サイトなど) からダウンロードした場合は、メールアドレスによるアカウントセットアップを使用できません。

Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成が必要な環境では、ほかの方法でアプリをユーザーに配布してください。

ESD (Electronic Software Delivery: 電子ソフトウェア配信) ツールによるインストール

Mac 向け Citrix Workspace アプリを初めて使用するユーザーがアカウントをセットアップするには、サーバーの URL を入力する必要があります。

Citrix のダウンロードページ

管理者は、Mac 向け Citrix Workspace アプリをネットワーク共有を使用してインストールできます。または、直接ユーザーデバイスにインストールできます。Citrix Web サイトの [\[ダウンロード\]](#) からファイルをダウンロードすることで、アプリをインストールできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールするには:

1. Citrix の Web サイトから、適切なバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリの **.dmg** ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを開きます。
3. [はじめに] ページで [続ける] をクリックします。
4. [使用許諾契約] ページで [続ける] をクリックします。
5. 使用許諾契約の内容を確認して、[同意する] をクリックします。
6. [インストールの種類] ページで、[インストール] をクリックします。
7. [アカウントの追加] ページで、[アカウントの追加] を選択してから [続行] をクリックします。
8. ローカルデバイスに管理者のユーザー名とパスワードを入力します。

ターミナルコマンドの使用

ターミナルコマンドを使用して、Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールするには:

1. [ダウンロード](#) ページから、適切なバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリの **.dmg** ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした **CitrixWorkspaceApp.dmg** ファイルを開きます。
3. **Install Citrix Workspace.pkg** ファイルをフォルダーにドラッグします。
4. ターミナルアプリを開きます。
5. ターミナルで次のコマンドを実行します:

```
1 sudo installer -pkg <path_to_package>/<package_name>.pkg -target /  
2 <!--NeedCopy-->
```

6. プロンプトが表示されたら、管理者のパスワードを入力します。
7. コマンドを実行すると、Citrix Workspace アプリが正常にインストールされます。

アンインストール

ごみ箱の使用

Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグまたは移動するだけで、Mac 向け Citrix Workspace アプリを完全にアンインストールできるようになりました。

Citrix Workspace アプリをアンインストールするには、次の手順を実行します:

1. Citrix Workspace アプリが実行中の場合は閉じます。
Citrix Workspace アプリを閉じるには、次のいずれかの方法を使用します:

- メニューバーから **[Citrix Workspace]** をクリックし、**[Citrix Workspace を終了]** を選択するか、
- ドックから Citrix Workspace アプリを右クリックし、オプションから **[終了]** を選択するか、
- **Command + Q** キーを押します。または
- クイックアクセスメニューから、アカウント アイコンをクリックし、**[終了]** をクリックします。

注:

ここまでの手順に従って Citrix Workspace アプリを閉じないと、次の手順を実行した後に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「アイテム「Citrix Workspace」は開いているため、ごみ箱に移動できません (*The item “Citrix Workspace” can’t be moved to the Trash because it’s open.*)」。

2. Citrix Workspace アプリをアプリケーションフォルダーからごみ箱にドラッグします。
または、Citrix Workspace アプリを右クリックして、**[オプション] > [ごみ箱に移動]** を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、お使いのシステムの資格情報を入力します。
4. 実行中のすべてのアプリ (Citrix Workspace) を閉じ、**[続行]** をクリックして確認します。
Citrix Workspace アプリとそのすべてのシステムファイルがお使いのデバイスから削除されます。

.dmg ファイルの使用

Mac 向け Citrix Workspace アプリは.dmg ファイルを開いて手でアンインストールすることもできます。**[Citrix Workspace アプリのアンインストール]** を選択して、画面に表示される指示に従って操作します。DMG ファイルは、Mac 向け Citrix Workspace アプリを初めてインストールするときに Citrix のサイトからダウンロードされるファイルです。ファイルがコンピューター上に見つからない場合は、[Citrix のダウンロード](#)から再度ダウンロードして、アプリケーションをアンインストールします。

ターミナルコマンドの使用

ターミナルコマンドを使用して、Mac 向け Citrix Workspace アプリをアンインストールできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリをアンインストールするには:

1. ターミナルアプリを開きます。
2. ターミナルで次のコマンドを実行します:

```
1 sudo /Library/Application\ Support/Citrix\ Receiver/Uninstall\  
   Citrix\ Workspace.app/Contents/MacOS/Uninstall\ Citrix\  
   Workspace --nogui  
2 <!--NeedCopy-->
```

3. コマンドの実行後、Citrix Workspace アプリとそのすべてのシステムファイルがお使いのデバイスから削除されます。

アップグレード

Mac 向け Citrix Workspace アプリから、既存バージョンの更新または新しいバージョンへのアップグレードが利用可能になったときに通知が送信されます。自動更新については、「[自動更新](#)」を参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、以前のどのバージョンからもアップグレードできます。アプリを手動で更新する方法については、「[手動更新](#)」を参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリの新しいバージョンにアップグレードすると、以前のバージョンは自動的にアンインストールされます。マシンを再起動する必要はありません。

アップデート

April 18, 2024

手動更新

Mac 向け Citrix Workspace アプリを手動で更新するには、[Citrix ダウンロードページ](#)から最新バージョンのアプリをダウンロードしてインストールします。

自動更新

新しいバージョンの Citrix Workspace アプリがリリースされると、Citrix Workspace アプリがインストールされたシステムで更新がプッシュされます。利用可能な更新プログラムが通知されます。

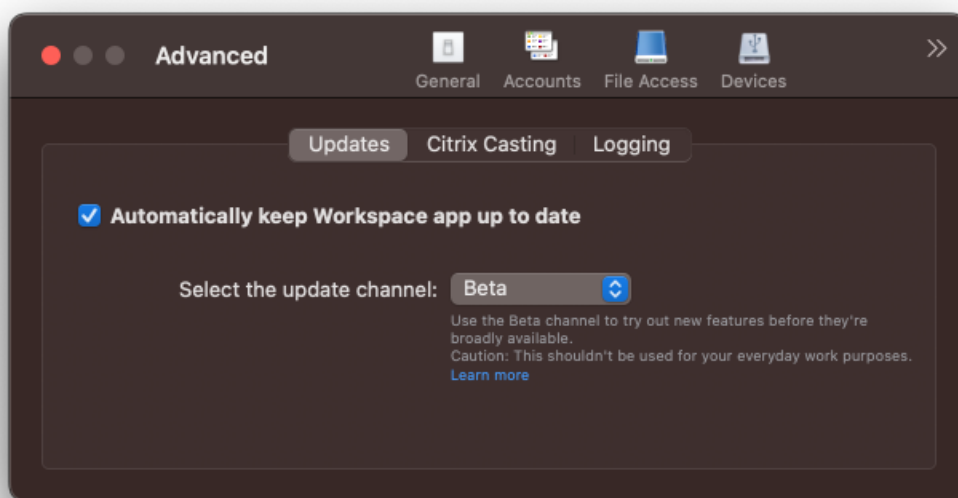
注:

- 送信プロキシをインターセプトするよう SSL を構成している場合、Workspace の自動更新署名サーバー <https://downloadplugins.citrix.com/> に例外を追加して Citrix からの更新を受信します。
- 自動更新は、2301.1 より前のバージョンの Citrix Workspace アプリでは利用できません。詳しくは、Knowledge Center の [CTX491310](#) を参照してください。
- 更新を受信するには、システムがインターネットに接続している必要があります。
- Web 向け Workspace のユーザーは、StoreFront ポリシーを自動的にダウンロードできません。
- Citrix Workspace の更新に macOS 用の HDX RTME が含まれています。Citrix Workspace アプリで使用可能な HDX RTME の更新に関する通知を受け取ります。
- バージョン 2111 から、Citrix Workspace の更新ログのパスが変更されています。Workspace の更新ログは `/Library/Logs/Citrix Workspace Updater` にあります。ログの収集については、「[ログ収集](#)」セクションを参照してください。

Citrix Workspace アプリのベータプログラムのインストール

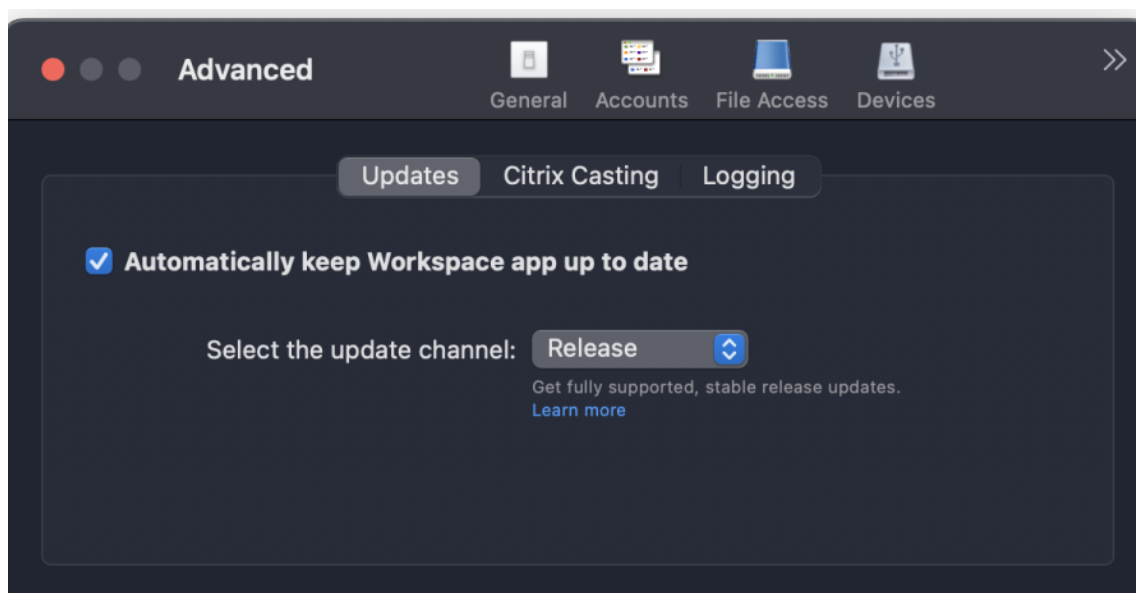
Citrix Workspace アプリが自動更新用に構成されている場合は、更新通知を受け取ります。システムにベータビルドをインストールするには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. ベータビルドが利用可能になったら、ドロップダウンリストから [ベータ版] を選択します。



ベータビルドからリリースビルドに切り替えるには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. [更新チャンネルを選択します] ドロップダウンリストから [リリース] を選択します。



注:

ベータビルドは、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。ベータ版のビルドのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしています。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

バージョン自動更新の制御

管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。

管理者は、Global App Configuration Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Global App Configuration Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2   "serviceURL": {
3     "url": "https://serviceURL:443"
4   }
5   ,
6   "settings": {
7     "name": "Version Control for Citrix Workspace",
8     "description": "Provides admin ability to Version Control for
9       Citrix Workspace",
10    "useForAppConfig": true,
11    "appSettings": {
12      "macos": [
13
14
15
```

```
16     {
17
18         "category": "AutoUpdate",
19         "userOverride": false,
20         "assignedTo": [
21             "AllUsersNoAuthentication"
22         ],
23         "settings": [
24             {
25
26                 "name": "Auto update plugins settings",
27                 "value": [
28                     {
29
30                         "pluginName": "Citrix Workspace",
31                         "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
32                         "pluginSettings": {
33
34                             "deploymentMode": "Update",
35                             "upgradeToLatest": false,
36                             "minimumAllowedVersion": "23.07.0.63",
37                             "maximumAllowedVersion": "23.07.0.63",
38                             "delayGroup": "Medium",
39                             "detectRule": ""
40                         }
41                     }
42                 ]
43             }
44         ]
45     }
46
47 ]
48 }
49
50 ]
51 }
52
53 }
54
55 }
56
57
58 <!--NeedCopy-->
```

範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、Global App Configuration Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。

注:

- バージョン自動更新を有効にするには、Global App Configuration Service の **upgradeToLatest** 設定を `false` に設定します。**upgradeToLatest** 設定が `true` の場合、`maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は変更しないでください。`pluginID` は Citrix Workspace アプリにマッピングされています。
- 管理者が Global App Configuration Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウングレードはサポートされていません。
- この機能は、リリース 2307 以降でサポートされています。

自動更新エクスペリエンスの向上

自動更新機能は、ユーザーの操作を必要とせずに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。

Citrix Workspace アプリは、アプリの利用可能な最新バージョンを定期的にチェックしてダウンロードします。Citrix Workspace アプリは、ユーザーのアクティビティに基づいてインストールの最適なタイミングを決定し、中断を引き起こさないようにします。

自動更新の詳細設定（**Citrix Workspace** の更新）

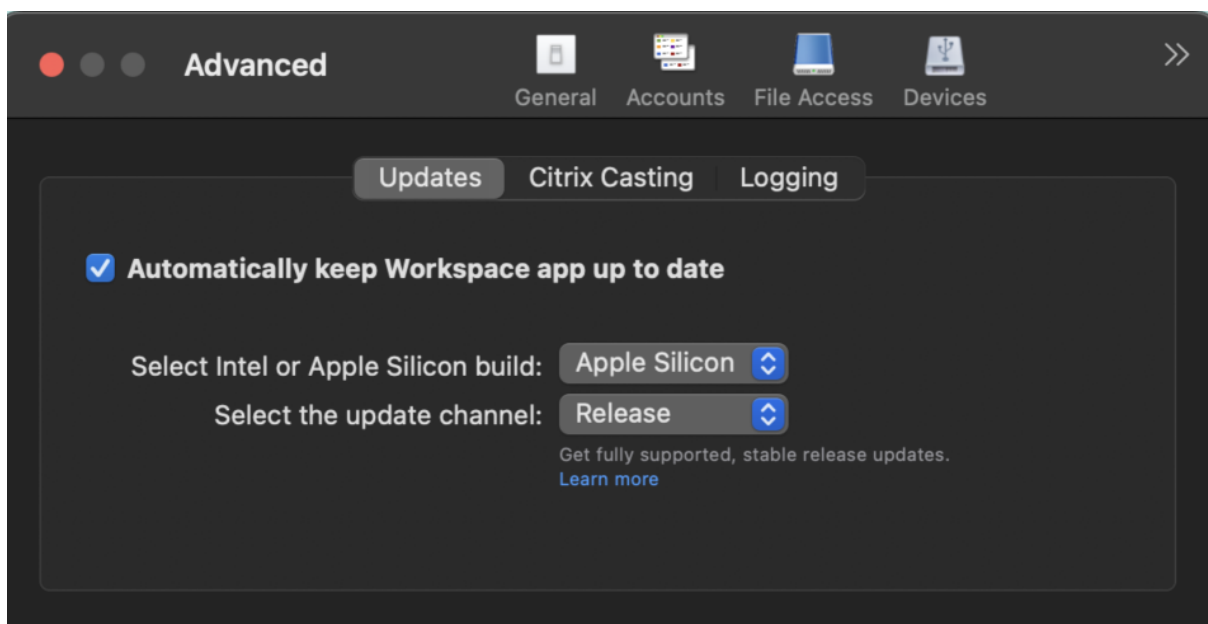
Citrix Workspace の更新は、次の方法で構成できます：

- グラフィカルユーザーインターフェイス（GUI）
- Global Admin Configuration Service（GACS）
- モバイルデバイス管理（MDM）
- StoreFront

グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した **Citrix Workspace** 自動更新プログラムの構成

個々のユーザーは、[詳細] 設定ダイアログボックスの Citrix Workspace の更新プログラム設定（ユーザーごとの構成で、現在のユーザーにのみ適用される設定）を上書きできます。GUI を使用して更新プログラムを構成するには、次の手順を実行します：

1. Mac で Citrix Workspace アプリヘルパーアイコンを選択します。
2. ドロップダウンリストから、[環境設定] > [詳細] > [最新情報] を選択します。
3. 自動更新をインストールするビルドを選択します。これは、Apple シリコンまたは Intel ビルドのうちいずれかです（Apple シリコン（M1 シリーズ）を搭載した Mac 上のユーザーにのみ適用）。



StoreFront を使用した Citrix Workspace 自動更新プログラムの構成

1. テキストエディターを使用して、`web.config`ファイル（通常 `C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming directory`にある）を開きます。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります：`<account id=... name="Store">`
`</account>`タグの前に、ユーザーアカウントのプロパティに移動します：

```
1 <properties>
2     <clear />
3 </properties>
4 <!--NeedCopy-->
```

3. `<clear />` タグの後に、自動更新タグを追加します。

```
1 <account>
2
3     <clear />
4
5     <account id="d1197d2c-ac82-4f13-9346-2ee14d4b0202" name="
6         F84Store"
7         description="" published="true" updaterType="Citrix"
8         remoteAccessType="None">
9
10        <annotatedServices>
11
12        <clear />
```

```
12
13     <annotatedServiceRecord serviceRef="1__Citrix_F84Store">
14
15         <metadata>
16
17             <plugins>
18
19                 <clear />
20
21             </plugins>
22
23             <trustSettings>
24
25                 <clear />
26
27             </trustSettings>
28
29             <properties>
30
31                 <property name="Auto-Update-Check" value="Disabled"
32                     />
33
34                 <property name="Auto-Update-DeferUpdate-Count" value
35                     ="1" />
36
37                 <property name="Auto-Update-Rollout-Priority" value=
38                     "fast" />
39
40                 <property name="Auto-Update-Architecture" value="
41                     Universal" or "Intel" />
42
43             </properties>
44
45         </metadata>
46
47     </annotatedServiceRecord>
48
49 </annotatedServices>
50
51 <metadata>
52
53     <plugins>
54
55         <clear />
56
57     </plugins>
58
59     <trustSettings>
60
61         <clear />
62
63     </trustSettings>
```

```
61     <properties>
62
63     <clear />
64
65     </properties>
66
67 </metadata>
68
69 </account>
70
71 <!--NeedCopy-->
```

以下は、プロパティの意味と使用可能な値の詳細です：

- **Auto-Update-Check:** Citrix Workspace アプリが、利用可能な更新を自動的に検出することを示します。
 - Auto (デフォルト) - 更新を自動的にチェックして実行します。
 - Manual - 更新は、ユーザーが Citrix Workspace アプリのシステムトレイメニューからチェックをリクエストした場合にのみ取得されます。
 - Disabled - 更新チェックは実行されません。
- **Auto-Update-Rollout-Priority:** 更新を受信できる配信期間を示します。
 - Fast - 配信期間の最初に向けて更新がユーザーにロールアウトされます。
 - Medium - 配信期間の中間に向けて更新がロールアウトされます。
 - Slow - 配信期間の最後に向けて更新がロールアウトされます。
- **Auto-Update-DeferUpdate-Count:** 更新の通知を延期できる回数を示します。

注：

この構成は、ユーザーが操作可能な更新にのみ適用され、サイレント自動更新機能が有効になっている場合には、ユーザーが更新を延期するオプションを取得できないため適用されません。

- -1: ユーザーは自動更新を任意の回数保留にできます。
- 0: ユーザーは後で通知するオプションを表示できません。
- 数値: 後で通知するオプションが指定された回数表示されます。

GACS を使用した Citrix Workspace の自動更新の構成

管理者は、GACS を使用して、次の設定で Apple シリコンまたは Intel ビルドの自動更新を構成できます。

“name” : “autoUpdateArchitecture”

“value” : “Universal” または “Intel”

MDM を使用した Citrix Workspace 自動更新プログラムの構成

管理者は、MDM を使用して、次の設定で Apple シリコンまたは Intel ビルドの自動更新を構成できます。

```
<key>AutoUpdateArchitecture</key>
```

```
<string>Universal</string> or <string>Intel</string>
```

```
<key>AutoUpdateState</key>
```

```
<string>Auto</string> or <string>Manual</string> or <string>Disabled</string>
```

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

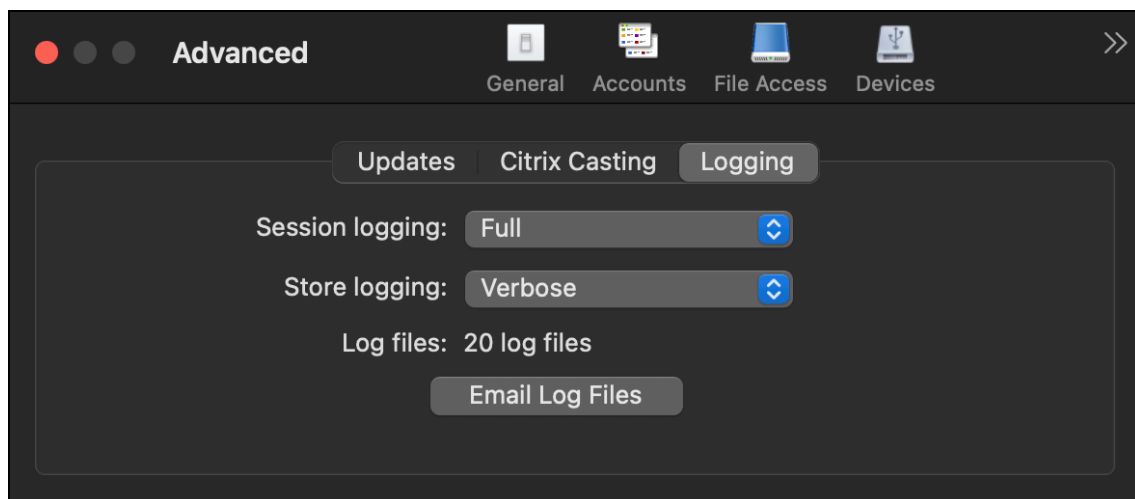
ログ収集

ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを提供します。

GUI を使用してログを収集できます。

ログの収集:

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. [ログ] を選択します。



4. 次のセッションログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 接続診断: 接続中のエラーを識別します。セッションが成功したと見なされる時点まで、すべてのログが有効になります。

- 完全: 接続診断を含むすべてをキャプチャします。有効にすると、Citrix Workspace アプリは最大 10 個のセッションログを保存し、その後、10 個のログを維持するために最も古いものから削除されます。

注:

ログのオプションとして [完全] を選択すると、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。データ量が多いため、問題のトラブルシューティング中のみ使用します。通常の使用中はログで [完全] を有効にしないでください。このログレベルを有効にすると、警告ダイアログが表示されます。続行するには、このダイアログを確認する必要があります

5. 次のストアログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 標準: ストア通信ログのみが収集されます。
- 詳細: 認証およびストア通信の詳細ログが収集されます。

6. [ログファイルをメールで送信] クリックし、ログを収集して.zip ファイルとして共有します。

仮想アプリとデスクトップセッション用のユニバーサルアーキテクチャビルドの機能強化

2311 バージョン以降、ユニバーサルアーキテクチャビルドは、仮想セッションをネイティブの Apple シリコンモードで実行するか Intel モードで実行するかを、自動的に選択できるようになりました。Rosetta エミュレーションを使用して、Intel モードで仮想セッションを起動します。仮想チャネル SDK がネイティブの Apple シリコンアーキテクチャに基づいて構築されている場合、または仮想チャネル SDK がいない場合、仮想セッションはネイティブの Apple シリコンモードで起動します。ただし、仮想チャネル SDK が x86_64 Intel ベースのアーキテクチャで構築された場合、仮想セッションは Rosetta エミュレーションを使用して Intel モードで起動します。

ユニバーサルアーキテクチャビルドに対するこの機能強化により、Apple シリコンチップセットを搭載した Mac での起動エクスペリエンスが向上します。Intel ベースのチップセットを搭載した Mac を使用しているユーザーの場合は変更はなく、ユニバーサルアーキテクチャビルドは引き続き仮想セッションをネイティブに実行します。

Citrix Workspace アプリの構成

June 26, 2024

Global App Configuration Service のユーザーインターフェイス (UI) とモバイルデバイス管理を使用して、Mac 向け Citrix Workspace アプリを構成できます。クラウド (Citrix Workspace) 環境とオンプレミス (Citrix StoreFront) 環境の両方に対して設定を構成できます。

詳しくは、以下を参照してください:

- [Global App Configuration Service](#)

- [クラウドストアの設定の構成](#)
- [オンプレミスストアの設定の構成](#)
- [モバイルデバイス管理 \(MDM\)](#)

USB リダイレクト

HDX USB デバイスリダイレクト機能を使用すると、USB デバイスのクライアント側へのリダイレクトおよびクライアント側からのリダイレクトが有効になります。ユーザーがデスクトップでホストされるアプリケーションや仮想デスクトップを使用しているときに、ローカルのユーザーデバイスに装着したフラッシュドライブにアクセスできるようになります。詳しくは、「[USB](#)」を参照してください。

キーボードレイアウトの同期

キーボードレイアウトの同期によって、クライアントデバイスの優先キーボードレイアウトを切り替えることができます。この機能はデフォルトでは無効になっています。この機能を有効にすると、クライアントのキーボードレイアウトが仮想アプリおよび仮想デスクトップのセッションに自動的に同期されます。詳しくは、「[キーボードレイアウトの同期](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service チャンネルのサポート

Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。Global App Configuration Service では、管理者が設定をすべてのユーザーにロールアウトする前にテストできるようになりました。この機能を使用すると、Global App Configuration をユーザーベース全体に適用する前に問題を解決できます。

このチャンネルのサポートを実現するには、テストする設定をチャンネルにマッピングし、そのチャンネルをペイロードに追加します。詳しくは、[Global App Configuration Service のドキュメント](#)を参照してください。

モバイルデバイス管理 (MDM)

April 18, 2024

Citrix Workspace アプリは、モバイルデバイス管理 (MDM) をサポートするようになりました。管理者は、MDM ツールを通じてポリシーを適用することで、Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成、保護、サポートを行うことができます。

MDM を使用した Citrix Workspace アプリのインストールおよびアンインストール

ターミナルコマンドを使用して、MDM で Citrix Workspace アプリをインストールおよびアンインストールできます。ターミナルコマンドを使用したインストールとアンインストールについては、「[手動インストール](#)」および「[アンインストール](#)」セクションを参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールするには：

1. [ダウンロード](#) ページから、適切なバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリの .dmg ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした `CitrixWorkspaceApp.dmg` ファイルを開きます。
3. `Install Citrix Workspace.pkg` ファイルをフォルダーにドラッグします。
4. 次のターミナルコマンドを使用して、MDM でパッケージをインストールします：

```
1 sudo installer -pkg /Volumes/Citrix\ Workspace/Install\ Citrix\
  Workspace.pkg -target /
2 <!--NeedCopy-->
```

Citrix Workspace アプリをアンインストールするには：

次のターミナルコマンドを使用して、MDM で Citrix Workspace アプリをアンインストールできます：

```
1 sudo /Library/Application\ Support/Citrix\ Receiver/Uninstall\ Citrix
  \ Workspace.app/Contents/MacOS/Uninstall\ Citrix\ Workspace --
  nogui
2 <!--NeedCopy-->
```

MDM でサポートされる設定

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるバージョン
FIDO2 Web 認証のブラウザーを選択する	管理者が、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザーの種類を選択できます。値の説明について詳しくは、「クラウドおよびオンプレミスストアへの接続で FIDO2 を使用した認証」を参照してください	WebBrowserFIDO2AuthenticationPrivateSessionEnabled	true/false	ブーリアン型	true	2307
HDX セッションの FIDO2 認証を有効/無効にする	管理者が HDX セッション内で FIDO2 認証を有効または無効にできます。	Fido2Enabled	true/false	ブーリアン型	true	2307
StoreFront のクイックアクセスメニュー	管理者が、オンプレミスストアのクイックアクセスメニューを有効または無効にすることができます。	ShowQuickAccessForStoreFront	true/false	ブーリアン型	false	2307

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるバージョン
自動更新-AutoUpdateState	ユーザーの操作なしに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。	AutoUpdateState	Auto/Manual/Disabled	ドロップダウン型	自動	2305
Azure Active Directory を有効にする	管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。	enableAAD	true/false	ブーリアン型	False	2305
Citrix Workspace アプリの自動起動	エンドユーザーがコンピューターの電源を入れるたびに、Mac 向け Citrix Workspace アプリを自動的に起動するかを制御します。	AutoLaunchAppOnRestart	On/Off	ブーリアン型	True	2304

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるバージョン
ストア URL の事前構成	管理者がストアの詳細を事前構成して Workspace アプリに追加できるため、エンドユーザーによる構成は必要ありません。	StoreURLs	<Store URL>	文字列	-	2210
エンドユーザーによる新しいストアの追加をブロックする	エンドユーザーがエンドポイントデバイス上の Workspace アプリにストアを追加できないようにします。	BlockStoreAddition	false	ブーリアン型	False	2210
表示/非表示 メニューバー	Mac メニューバーで Citrix Workspace メニューを表示または非表示にします。	ShowHelperInMenuBar	True	ブーリアン型	True	2208.1
自動更新 - AutoUpdateChannel	自動更新が有効になっている場合、管理者は Citrix Workspace アプリが GA の更新やベータ版の更新を受信するかどうかを指定できます。	AutoUpdateChannel	PROD/EAR	文字列	PROD	2201

参照用のスキーマ

```
1 <array>
2     <dict>
3         <key>ShowHelperInMenuBar</key>
4         <true/>
5         <key>AutoLaunchAppOnRestart</key>
6         <true/>
7         <key>StoreURLs</key>
8         <array>
9             <string>PROVIDE STORE URL HERE</string>
10        </array>
11        <key>BlockStoreAddition</key>
12        <false/>
13        <key>CEIPEnabled</key>
14        <true/>
15        <key>AutoUpdateArchitecture</key>`
16        <string>Universal</string>
17        <key>AutoUpdateState</key>
18        <string>Enable</string>
19        <key>AutoUpdateChannel</key>
20        <string>PROD</string>
21        <key>PayloadDisplayName</key>
22        <string>Citrix Workspace</string>
23        <key>PayloadIdentifier</key>
24        <string>com.citrix.receiver.nomas</string>
25        <key>PayloadType</key>
26        <string>com.citrix.receiver.nomas</string>
27        <key>PayloadUUID</key>
28        <string>3BE38AD3-7D95-423F-BD7B-8A4D1F5208EF</string>
29        <key>PayloadVersion</key>
30        <integer>1</integer>
31        <key>WebBrowserForAuthentication</key>
32        <string>System</string>
33        <key>Fido2Enabled</key>
34        <false/>
35        <key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>
36        <true/>
37    </dict>
38 </array>
39
40 <!--NeedCopy-->
```

ストア構成

May 16, 2024

MDM ツールを使用してユーザーデバイスのストア構成をサポート

管理者は、Citrix Endpoint Management などの MDM 展開ツールを使用して、Citrix Workspace アプリの展開時に次の設定を構成できるようになりました：

- **StoreURLs** –ユーザーが Citrix Workspace アプリを開いたときに自動的に追加されるようにストアの詳細を構成し、サインオン操作をシンプルにします。

ストアを追加するには、**StoreURLs** 設定の詳細を指定します。例：

```
<array>
<string>https://myorg.com/?storename</string>
</array>
```

次のように複数のストアを追加することもできます：

```
<array>
<string>https://myorg.com/?storename1</string>
<string>https://myorg.com/?storename2</string>
</array>
```

StoreURL を Citrix Workspace アプリに追加するには、ユーザーは Citrix Workspace アプリを終了して再起動する必要があります。

- **BlockStoreAddition** –ユーザーがストアを追加できないようにします。

ユーザーによるストアの追加を禁止するには、**BlockStoreAddition** 設定の値を **True** に設定します。

詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

StoreFront から Workspace への移行

組織がオンプレミスの StoreFront から Workspace に移行するとき、ユーザーは新しい Workspace URL を Citrix Workspace アプリに手動で追加する必要があります。この機能により、管理者は最小限のユーザー操作でユーザーを StoreFront ストアから Workspace ストアにシームレスに移行できます。

すべてのエンドユーザーが Workspace アプリに StoreFront ストア `storefront.com` を追加することを前提とします。管理者は、Global App Configuration Service で StoreFront URL から Workspace URL へのマッピング { 'storefront.com' : 'xyz.cloud.com' } を構成できます。Global App Configuration Service は、StoreFront URL `storefront.com` が追加された、管理対象デバイスと非管理対象デバイスの両方で、すべての Citrix Workspace アプリインスタンスに設定をプッシュします。

設定が検出されると、Citrix Workspace アプリはマップされた Workspace URL `xyz.cloud.com` を別のストアとして追加します。エンドユーザーが Citrix Workspace アプリを起動すると、Citrix Workspace ストアが開

きます。以前に追加された StoreFront ストア `storefront.com` は、Citrix Workspace アプリに追加されたままです。ユーザーは、Citrix Workspace アプリの [アカウントの切り替え] オプションを使用して、いつでも StoreFront ストア `storefront.com` に戻すことができます。管理者は、ユーザーのエンドポイントの Citrix Workspace アプリから StoreFront ストア `storefront.com` の削除を制御できます。削除は、Global App Config Service を介して行うことができます。

この機能を有効にするには、次の手順を実行します：

1. Global App Configuration Service を使用して、StoreFront から Workspace へのマッピングを構成します。Global App Config Service について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。
2. App Config Service でペイロードを編集します。

```
1 {
2   "serviceURL": Unknown macro: {
3     "url" }
4
5   ,
6   "settings":{
7
8     "name":"Productivity Apps", [New Store Name]
9     "description":"Provides access StoreFront to Workspace Migration",
10    "useForAppConfig":true,
11    "appSettings":
12    {
13      "macos":[ Unknown macro: {
14        "category" }
15
16    ]
17  }
18
19  }
20
21  }
22
23 <!--NeedCopy-->
```

注：

初めてペイロードを構成する場合は、**POST**を使用します。

既存のペイロード構成を編集する場合は、**PUT**を使用して、サポートされているすべての設定により構成されたペイロードがあることを確認してください。

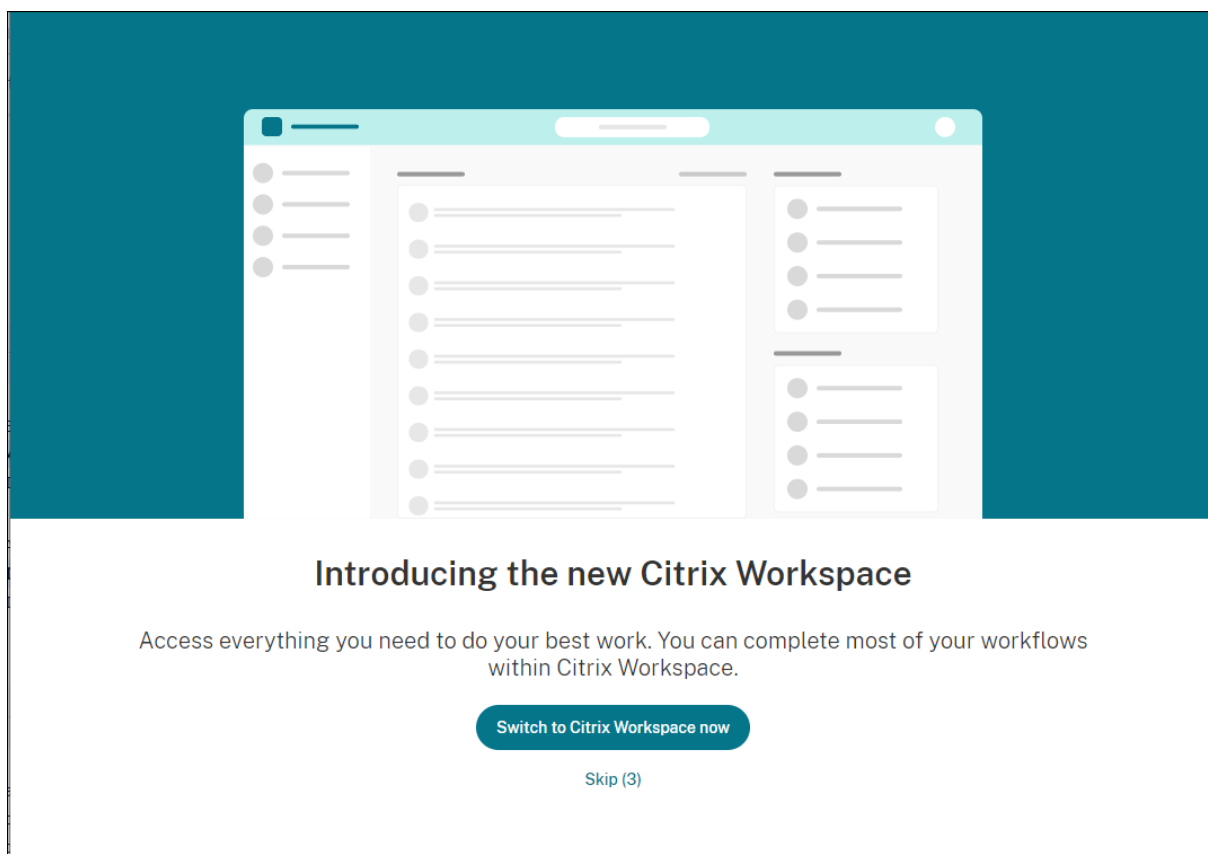
3. StoreFront URL `storefront.com` を **serviceURL** セクションの **URL** の値として指定します。
4. セクション **migrationUrl** 内で Workspace URL `xyz.cloud.com` を構成します。
5. **storeFrontValidUntil** を使用して、Citrix Workspace アプリから StoreFront ストアを削除するためのスケジュールを設定します。このフィールドはオプションです。要件に基づいて、次の値を設定できます。

- YYYY-MM-DD 形式の有効な日付

注:

過去の日付を指定した場合、StoreFront ストアは URL の移行と同時に削除されます。未来の日付を指定した場合、StoreFront ストアは設定された日付に削除されます。

App Config Service 設定がプッシュされると、次の画面が表示されます:



ユーザーが [今すぐ **Citrix Workspace** に切り替える] をクリックすると、Workspace URL が Citrix Workspace アプリに追加され、認証プロンプトが表示されます。ユーザーのオプションは制限されており、移行を最大 3 回遅らせることができます。

カスタム **Web** ストア

カスタム **Web** ストアのサポート

2112 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリから組織のカスタム Web ストアにアクセスできます。以前は、ブラウザからのみ、カスタマイズされたすべてのストアにアクセスできました。この機能を使用するには、管理者はカスタム Web ストアを Global App Configuration Service の `allowedWebStoreURLs` プロパティで許可されている URL の一覧に追加する必要があります。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ブラウザーのようなエクスペリエンスのカスタム Web ストアを読み込み、App Protection 機能をカスタム Web ストアに拡張します。ネイティブの Citrix Workspace アプリからカスタムポータルにアクセスできるようにすることで、この機能を完全に利用でき、同じユーザーエクスペリエンスが提供されます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

カスタム Web ストアの URL を追加するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開き、[アカウント] に移動します。
2. [アカウント] ウィンドウで、[+] アイコンをクリックして URL を入力します。

カスタム Web ストアの URL を削除するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開き、[アカウント] に移動します。
2. [アカウント] ウィンドウで、削除するアカウントを選択し、[-] アイコンをクリックします。

301 リダイレクトを使用したカスタマイズした URL のサポート

2106 バージョン以降、HTTP 301 リダイレクトを使用して StoreFront または Citrix Gateway から Citrix Workspace にリダイレクトする URL を追加できます。

StoreFront から Citrix Workspace に移行する場合は、HTTP 301 リダイレクトを使用して StoreFront URL を Citrix Workspace URL にリダイレクトできます。その結果、古い StoreFront URL を追加すると、Citrix Workspace に自動的にリダイレクトされます。

リダイレクトの例：

StoreFront URL の `https://< Citrix Storefront url>/Citrix/Roaming/Accounts` は、Citrix Workspace URL の `https://<Citrix Workspace url>/Citrix/Roaming/Accounts` にリダイレクトできます。

注：

- Microsoft での変更内容が保留状態のため、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Microsoft Teams でのデュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) をサポートしていません。
- 2106 リリース以降、Citrix Viewer のバージョン番号と Citrix Workspace アプリのバージョン番号が一致しない場合があります。お客様がこの変更の影響を受けることはありません。

ストアのメールアドレスの自動検出

2109 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリでメールアドレスを指定することで、メールアドレスに関連付けられているストアを自動的に検出できます。ドメインに複数のストアが関連付けられている場合、デフォルトでは、Global App Configuration Service によって返される最初のストアが、最適なストアとして追加されます。ユーザーは必要に応じていつでも別のストアに切り替えることができます。

Citrix Workspace アプリを閉じるときにカスタム Web ストアからサインアウトする

signoutCustomWebstoreOnExit 設定が **True** に設定されている場合、Citrix Workspace アプリウィンドウを閉じると、カスタム Web ストアからサインアウトします。Citrix Workspace アプリを再度開くと、Web ストアの URL が再度読み込まれます。Global App Configuration Service で **signoutCustomWebstoreOnExit** 設定を構成できます。

セキュリティと認証

February 1, 2024

このセクションでは、Mac 向け Citrix Workspace アプリのセキュリティ機能と認証の詳細について説明します。

- [認証](#)
- [セキュリティ](#)
- [セキュリティで保護された通信](#)

認証

February 1, 2024

スマートカード

Mac 向け Citrix Workspace アプリは次の構成においてスマートカード認証をサポートします：

- Workspace for Web または StoreFront 3.12 以降でのスマートカード認証。
- Citrix Virtual Apps and Desktops 7 2203 以降。
- XenApp および XenDesktop 7.15 以降。
- Microsoft Outlook や Microsoft Office などのスマートカード対応アプリケーションでは、仮想デスクトップやアプリケーションセッションでドキュメントにデジタル署名を追加したりファイルを暗号化したりできます。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリは単一のスマートカードまたは複数のスマートカードでの複数の証明書の使用をサポートします。ユーザーがスマートカードをリーダーに挿入すると、ユーザーデバイス上で実行する、Mac 向け Citrix Workspace アプリを含むすべてのアプリケーションで複数の証明書を使用できるようになります。

- ダブルホップセッションでは、Mac 向け Citrix Workspace アプリとユーザーの仮想デスクトップとの間に追加の接続が確立されます。

Citrix Gateway へのスマートカード認証について

スマートカードを使用して接続を認証する場合、使用可能な証明書が複数あります。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、証明書を選択するように求められます。証明書を選択すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリでスマートカードのパスワードを入力するようにプロンプトが表示されます。認証後、セッションが開始します。

スマートカードに適切な証明書が 1 つしかない場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはその証明書を使用し、選択を求めるプロンプトは表示されません。ただし、接続を認証してセッションを開始するために、スマートカードに割り当てられたパスワードを入力する必要があります。

スマートカード認証用の **PKCS#11** モジュールの指定

注:

PKCS#11 モジュールのインストールは必須ではありません。このセクションの記述は、ICA セッションにのみ適用されます。スマートカードが必要な Citrix Workspace から Citrix Gateway への、または StoreFront へのアクセスでは適用されません。

スマートカード認証用の **PKCS#11** モジュールを指定するには:

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリで [環境設定] を選択します。
2. [セキュリティとプライバシー] をクリックします。
3. [セキュリティとプライバシー] セクションで、[スマートカード] をクリックします。
4. **PKCS#11** フィールドで適切なモジュールを選択します。一覧に必要なモジュールがない場合は、[その他] をクリックして PKCS#11 モジュールの場所を参照します。
5. 適切なモジュールを選択したら、[追加] をクリックします。

サポートされるリーダー、ミドルウェア、およびスマートカードプロファイル

Mac 向け Citrix Workspace アプリは多くの macOS 互換スマートカードリーダーおよび暗号化ミドルウェアをサポートします。Citrix では以下を使用して操作を検証済みです。

サポートされるスマートカードリーダー:

- 一般的な USB 接続スマートカードリーダー

サポートされるミドルウェア:

- Clarify
- ActivIdentity クライアントのバージョン

- Charismathics クライアントのバージョン

サポートされるスマートカード:

- PIV カード
- Common Access Card (CAC)
- Gemalto .NET カード

ユーザーデバイスを構成するため、ベンダーの macOS 互換スマートカードリーダーおよび暗号化ミドルウェアにより提供された指示に従います。

制限

- 証明書は、ユーザーデバイス上ではなくスマートカード上に格納されている必要があります。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーの選択した証明書が保存されません。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーのスマートカード PIN が格納または保存されません。PIN の取得はオペレーティングシステムにより処理され、独自のキャッシングメカニズムがある場合があります。
- Citrix Workspace アプリでは、スマートカードが挿入されたときに自動的に切断セッションに再接続されません。
- スマートカード認証で VPN トンネルを使用するには、ユーザーが Citrix Gateway Plug-in をインストールして Web ページ経由でログオンする必要があります。この場合、各手順でスマートカードと PIN を認証に使用します。スマートカードユーザーは、Citrix Gateway Plug-in を使用した StoreFront へのパススルー認証を使用できません。

Azure Active Directory での条件付きアクセス

この認証方法は現在、Mac 向け Citrix Workspace アプリではサポートされていません。

ユーザーエージェント

Citrix Workspace アプリは、他の ID プロバイダー (IdP) への認証のリダイレクトなど、ネットワーク要求で認証ポリシーの構成に使用できるユーザーエージェントを送信します。

注:

ポリシーを構成する場合、バージョン番号を指定しないでください。

: シナリオ:

: 説明:

: ユーザーエージェント:

通常の **HTTP** 要求

通常、Citrix Workspace アプリによって行われたネットワーク要求には、一般的なユーザーエージェントが含まれています。

`CitrixReceiver`
`/23.05.0.36 MacOSX`
`/13.4.0 com.citrix.receiver.nomas`

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

たとえば、次のネットワーク要求には、一般的なユーザーエージェントが含まれます:

`XIClass CWACapable` 138

`CET /Citrix/Roaming/Accounts`

： シナリオ：	： 説明：	： ユーザーエージェント：
クラウドストア Gateway Advanced Auth を備えたオンプレミスストア	ユーザーがクラウドストアを Citrix Workspace アプリに追加すると、Citrix Workspace アプリによって行われたネットワーク要求には特定のユーザーエージェントが含まれます。Advanced Auth が構成されたオンプレミスストアを Citrix Workspace アプリに追加すると、Citrix Workspace アプリによって行われたネットワーク要求には特定のユーザーエージェントが含まれます。	Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_7) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko), AppleWebKit/23.0.5.0.18
カスタム Web ストア	Citrix Workspace アプリに追加すると、Citrix Workspace アプリによって行われたネットワーク要求には特定のユーザーエージェントが含まれます。	Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_7) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Safari CWA/23.05.0.18 MacOSX/13.4.0

パスワードレス認証に使用できる FIDO2

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、クラウドストアへの接続時または HDX セッション使用時に、FIDO2 セキュリティキーを使用したパスワードレス認証を利用できます。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。

FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

前提条件とこの機能の使用については、「[FIDO2 を使用したローカル認証と仮想認証](#)」を参照してください。

クラウドおよびオンプレミスストアへの接続時における **FIDO2** を使用した認証

Citrix Workspace アプリは、クラウドおよびオンプレミスストアへの接続時の FIDO2 認証 (Web 認証) にユーザーのデフォルトのブラウザを使用します。管理者は、Citrix Workspace アプリに認証するブラウザの種類を構成できます。ブラウザ設定について詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

次の設定により、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザの種類を選択できます：

設定	説明
システム	認証にユーザーのデフォルトのブラウザ (Safari や Chrome など) を使用できるようにします。認証は Citrix Workspace アプリの外部で行われます。パスワード認証をサポートするには、この設定を使用します。この設定は、ユーザーのブラウザから既存のユーザーセッションを使用しようとしています。
SystemWithPrivateSession	この設定は [システム] 設定と似ています。Citrix Workspace アプリは、認証にブラウザのプライベートセッションを使用します。ブラウザは認証 Cookie やデータを保存しません。このオプションでは、シングルサインオンはサポートされていません。
埋め込み	Citrix Workspace アプリ内で認証できるようにします。 強化されたシングルサインオン 機能が有効になっている場合、Citrix Workspace アプリはシングルサインオン (SaaS アプリなど) のセッションデータまたは Cookie を保存します。この認証方法は、FIDO2 などのパスワード認証をサポートしていません。
EmbeddedWithPrivateSession	この設定は、[埋め込み] 設定と似ています。Citrix Workspace アプリにはセッションデータまたは Cookie が存在しないため、シングルサインオンはサポートされていません。

構成した設定をプッシュするには、モバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management)、Global App Config Service (GACS) またはコマンドラインインターフェイスメソッドを使用して、次のコマンドを実行します：

- **Enable FIDO2 using MDM:** MDM を使用して認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

```
<key>WebBrowserForAuthentication</key><string>System</string>
```

MDM の使用方法について詳しくは、「モバイルデバイス管理」を参照してください。

- **Enable FIDO2 using GACS:** GACS を使用して認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Web browser for Authenticating into Citrix Workspace",
11    "description": "Allows admin to select the type of browser used
12    for authenticating an end user into Citrix Workspace app",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
15
16      "macos": [
17
18        "assignedTo": [
19          "AllUsersNoAuthentication"
20        ],
21        "category": "authentication",
22        "settings": [
23
24          {
25            "name": "web browser for authentication",
26            "value": "SystemWithPrivateSession"
27          }
28
29        ],
30        "userOverride": false
31      }
32
33    ]
34  }
35
36 }
37
38 }
39
40
41 <!--NeedCopy-->
```

- **Enable FIDO2 using the command-line interface:** コマンドラインインターフェイスを使用して認証を有効にするには、管理者は次のコマンドを実行する必要があります:

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas WebBrowserForAuthentication
```

System

HDX セッションにおける FIDO2 を使用した認証

HDX セッション内で認証を行うことができるように、FIDO2 セキュリティキーを構成できます。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。

FIDO2 をサポートするアプリまたは Web サイトにアクセスすると、プロンプトが表示され、セキュリティキーへのアクセスが要求されます。以前にセキュリティキーを PIN（最小 4 文字、最大 64 文字）で登録したことがある場合は、サインイン時に PIN を入力する必要があります。

以前に PIN なしでセキュリティキーを登録したことがある場合は、セキュリティキーをタッチするだけでサインインできます。

この機能は、リリース 2307 以降の Citrix Workspace アプリではデフォルトで有効になっています。FIDO2 認証を無効にするには、モバイルデバイス管理（MDM: Mobile Device Management）またはコマンドラインインターフェイスメソッドを使用して、次のコマンドを実行します。

- **Disable FIDO2 based authentication using MDM:** MDM でこの機能を無効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
<key>Fido2Enabled</key><false/>
```

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

- **Disable FIDO2 based authentication using the command-line interface:** この機能を無効にするには、次のコマンドラインインターフェイスメソッドを実行します：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas Fido2Enabled -bool NO
```

証明書ベースの認証のサポート

バージョン 2305 以降、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます：

- モバイルデバイス管理（MDM）
- Global Admin Configuration Service（GACS）

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます：

- モバイルデバイス管理（MDM）
- Global Admin Configuration Service（GACS）

MDM で条件付きアクセスを使用した認証の有効化

MDM で Azure AD を使用した条件付きアクセスで認証を有効にするには、管理者は次の設定を実行する必要があります：

```
<key>enableAAD</key>  
<true/>
```

この設定は、ブール値をサポートしています。デフォルトでは、値は false に設定されています。キー値が使用できない場合は、デフォルト値が適用されます。

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

GACS で条件付きアクセスを使用した認証の有効化

GACS で Azure AD を使用した条件付きアクセスで認証を有効にするには、管理者は次の設定を実行する必要があります：

```
enable conditional AAD
```

詳しくは、GACS ドキュメントの「[プラットフォームごとにサポートされる設定とその値](#)」で macOS を参照してください。

セキュリティ

May 16, 2024

App Protection

App Protection 機能は、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (Citrix Virtual Apps and Desktops サービスの新名称) の使用時にセキュリティを強化する機能です。この機能により、キーロガーや画面キャプチャマルウェアによりクライアントが侵害される可能性が制限されます。App Protection では、画面に表示されるユーザーの資格情報や個人情報などの機密情報の流出を防ぎます。詳しくは、「[App Protection](#)」のドキュメントを参照してください。

免責事項

App Protection ポリシーは基礎となるオペレーティングシステムの必要な機能へのアクセスをフィルタリングします (画面のキャプチャまたはキーボードの操作が必要な特定の API 呼び出し)。App Protection ポリシーは、カスタムの目的別に構築されたハッカーツールに対しても保護を提供します。ただし、オペレーティング

システムの進化によって、画面のキャプチャやキーのログ記録には新しい方法が出てくる場合があります。引き続きこうした方法に対応していきませんが、特定の構成や展開では完全な保護を保証することはできません。

Mac 向け Citrix Workspace アプリで App Protection を構成するには、「[構成](#)」の記事の「Mac 向け Citrix Workspace アプリ」セクションを参照してください。

注:

- App Protection は、Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2001 以降でのみサポートされます。

App Protection の機能強化

バージョン 2301 以降、Citrix Workspace アプリを保護するために App Protection 機能が強化されています。この機能強化により、認証画面と、Workspace アプリへのサインイン後に表示される画面が保護されます。

App Protection が有効な場合の画面共有のサポート

2402 バージョン以降、App Protection が有効になっている場合でも、HDX 最適化を使用した Microsoft Teams でコンテンツを共有できるようになりました。この機能を使用すると、仮想デスクトップセッションで画面を最大限に共有できます。詳しくは、「[Microsoft Teams の HDX 最適化との互換性](#)」を参照してください。

フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制

Citrix Workspace アプリで、フェデレーション ID プロバイダーセッションを設定できるようになりました。詳しくは、Citrix Knowledge Center の[CTX253779](#)を参照してください。

ログインプロンプト強制のためにストア認証トークンポリシーを使用する必要がなくなりました。

Citrix Workspace アプリの非アクティブタイムアウト

非アクティブタイムアウト機能では、管理者が設定した値に基づいてユーザーは Citrix Workspace アプリからサインアウトされます。管理者は、ユーザーが Citrix Workspace アプリから自動的にサインアウトされるまでのアイドル時間を指定できます。Citrix Workspace アプリウィンドウ内で、指定された時間内にマウス、キーボード、またはタッチによるアクティビティが発生しなくなると、自動的にサインアウトされます。無操作状態によるタイムアウトは、既に実行中の Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS セッションまたは Citrix StoreFront ストアには影響しません。

非アクティブタイムアウト値は、1 分から 1440 分まで設定できます。デフォルトでは、無操作状態によるタイムアウトは構成されていません。管理者は、PowerShell モジュールを使用して `inactivityTimeoutInMinutes` プロパティを構成できます。Citrix Workspace 構成のための PowerShell モジュールをダウンロードするには、[こちら](#)をクリックしてください。

エンドユーザーエクスペリエンスは次のとおりです：

- サインアウトの 3 分前に通知が表示され、サインインしたままにするか、サインアウトするかを選択できます。Mac のシステム環境設定で Citrix Workspace アプリの通知を有効にした場合、通知が表示されます。
- この通知は、設定された非アクティブタイムアウト値が 5 分を超えた場合にのみ表示されます。たとえば、設定された値が 6 分である場合、3 分間の非アクティブが検出されると通知が表示されます。設定された非アクティブタイムアウト値が 5 分以下の場合、ユーザーは通知なしでサインアウトされます。
- ユーザーは [サインイン状態を維持] をクリックして通知を閉じ、アプリの使用を続行できます。その場合、無通信タイマーは構成された値にリセットされます。[サインアウト] をクリックして、現在のストアのセッションを終了することもできます。

セキュリティで保護された通信

February 1, 2024

サイトと Mac 向け Citrix Workspace アプリ間の通信をセキュアに保護するには、Citrix Gateway など、以下の一連のセキュリティ技術を使用します。Citrix Gateway と Citrix StoreFront の構成について詳しくは、[StoreFront](#)のドキュメントを参照してください。

注：

StoreFront サーバーとユーザーデバイス間の通信を保護するには、Citrix Gateway を使用することをお勧めします。

- SOCKS プロキシサーバーまたはセキュアプロキシサーバー（セキュリティプロキシサーバー、HTTPS プロキシサーバーとも呼ばれます）。プロキシサーバーでネットワークから外部へのアクセスや外部からネットワークへのアクセスを制限して、Citrix Workspace とサーバー間の接続を制御できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリは、SOCKS プロトコルとセキュアプロキシプロトコルをサポートしています。
- Citrix Secure Web Gateway。Citrix Secure Web Gateway を使うことで、社内ネットワーク上のサーバーにインターネットを介して接続できる、暗号化された安全な単一のアクセスポイントをユーザーに提供できます。
- Transport Layer Security (TLS) プロトコルによる SSL Relay ソリューション
- ファイアウォール。ネットワークファイアウォールは、送信先アドレスとポート番号に基づいてパケットを通過させたりブロックしたりできます。サーバーの内部 IP アドレスを NAT (Network Address Translation: ネットワークアドレス変換) などの外部インターネットアドレスにマップするファイアウォールを使用する場合は、外部アドレスを構成します。

注：

macOS Catalina 以降、Apple は管理者が構成する必要があるルート CA 証明書と中間証明書について、追加の要件を適用しています。詳しくは、Apple のサポート記事[HT210176](#)を参照してください。

Citrix Gateway

リモートのユーザーが Citrix Gateway を介して XenMobile 展開に接続できるようにするには、StoreFront をサポートするように Citrix Gateway を構成します。このアクセスを有効にする方法は、XenMobile のエディションによって異なります。

ネットワークで XenMobile を展開する場合、Citrix Gateway と StoreFront を統合することで Citrix Gateway を経由して内部ユーザーやリモートユーザーが StoreFront に接続できます。ユーザーは、StoreFront に接続して XenApp の公開アプリケーションや XenDesktop の仮想デスクトップにアクセスします。ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して接続を行います。

Citrix Secure Web Gateway による接続

Citrix Secure Web Gateway Proxy がセキュリティで保護されたネットワーク内のサーバーにインストールされている場合は、Citrix Secure Web Gateway Proxy をリレーモードで使用できます。リレーモードについては、[XenApp および Citrix Secure Web Gateway](#) のドキュメントを参照してください。

ただし、リレーモードで使用する場合、Citrix Secure Web Gateway サーバーはプロキシサーバーとして機能するため、Mac 向け Citrix Workspace アプリで次の項目を構成する必要があります。

- Citrix Secure Web Gateway サーバーの完全修飾ドメイン名。
- Citrix Secure Web Gateway サーバーのポート番号。Citrix Secure Web Gateway バージョン 2.0 では、リレーモードはサポートされていません。

完全修飾ドメイン名には、以下の 3 つの要素を順に指定する必要があります：

- ホスト名
- サブドメイン名
- 最上位ドメイン名

たとえば、`my_computer.example.com` は完全修飾ドメイン名です。ホスト名 (`my_computer`)、サブドメイン名 (`example`)、最上位ドメイン名 (`com`) が順に指定されています。サブドメイン名と最上位ドメイン名の組み合わせ (`example.com`) をドメイン名といいます。

プロキシサーバー経由の接続

プロキシサーバーは、ネットワークから外部へのアクセスや外部からネットワークへのアクセスを制限して、Mac 向け Citrix Workspace アプリとサーバー間の接続を制御するために使います。Mac 向け Citrix Workspace アプリは、SOCKS プロトコルとセキュアプロキシプロトコルの両方をサポートしています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリで Web サーバーと通信する場合は、ユーザーデバイス上のデフォルトの Web ブラウザーで構成されているプロキシサーバー設定が使用されます。各ユーザーデバイス上のデフォルトの Web ブラウザーで、プロキシサーバー設定を構成します。

ファイアウォールを介した接続

ネットワークファイアウォールは、送信先アドレスとポート番号に基づいてパケットを通過させたりブロックしたりできます。Mac 向け Citrix Workspace アプリと Web サーバーおよび Citrix 製品のサーバーとの通信がファイアウォールでブロックされないように設定する必要があります。このためには、ユーザーデバイスと Web サーバー間の HTTP トラフィック（一般に標準 HTTP ポート 80、またはセキュアな Web サーバーを使用している場合はポート 443 での通信）がファイアウォールを通過できるように設定します。また、Citrix Workspace と Citrix 製品サーバー間の通信では、ポート 1494 とポート 2598 の受信 ICA トラフィックがファイアウォールを通過できるように設定します。

TLS

Transport Layer Security (TLS) は、SSL プロトコルの最新の標準化バージョンです。IETF (Internet Engineering Task Force) が、TLS の公開標準規格の開発を Netscape Communications から引き継いだときに、SSL という名前を TLS に変更しました。

TLS は、サーバーの認証、データの暗号化、メッセージの整合性の確認を行って、データ通信をセキュアに保護します。米国政府機関をはじめとする組織の中には、データ通信を保護するために TLS の使用を義務付けているところもあります。このような組織では、さらに FIPS 140 (Federal Information Processing Standard) などのテスト済み暗号化基準の使用を義務付けられる場合があります。FIPS 140 は、暗号化の情報処理規格です。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ビット長 1024、2048 および、3072 の RSA キーをサポートします。さらに、ビット長 4096 の RSA キーを持つルート証明書がサポートされます。

注:

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、プラットフォーム (OS X) の暗号化機能を Mac 向け Citrix Workspace アプリと StoreFront の接続に使用します。

次の暗号の組み合わせは、セキュリティを強化するために廃止されました:

- 接頭辞が「TLS_RSA_*」の暗号の組み合わせ
- 暗号の組み合わせ RC4 および 3DES
- TLS_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (0x009d)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256 (0x009c)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256 (0x003d)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA (0x0035)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0x002f)
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_SHA (0x0005)
- TLS_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA (0x000a)

Mac 向け Citrix Workspace アプリは以下の暗号の組み合わせのみをサポートします:

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (0xc030)

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384 (0xc028)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0xc013)

DTLS 1.0 ユーザーの場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリ 1910 以降は以下の暗号の組み合わせのみをサポートします:

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0xc013)

DTLS 1.0 を使用する場合は、Citrix Gateway のバージョンを 12.1 以降にアップグレードすることをお勧めします。それ以外の場合は、DDC ポリシーに基づいて TLS にフォールバックします。

次のマトリックスは、内部および外部ネットワーク接続の詳細を提供します:

Client cipher set	VDA cipher set	Direct connections								
		TLS			DTLS v1.0			DTLS v1.2		
		Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52
Any	ANY	Y	Y	Y	Y			Y		
	COM	Y	X	X	Y			Y		
	GOV	Y	Y	Y	Y			Y		
COM	ANY	Y	X	X	Y					
	COM	Y	X	X	Y					
	GOV	Y	X	X	Y					
GOV	ANY	Y	Y	Y	X			Y		
	COM	X	X	X	X			X		
	GOV	Y	Y	Y	X			Y		

Client cipher set	VDA cipher set	External connections with Citrix Gateway								
		TLS			DTLS v1.0			DTLS v1.2		
		Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52
Any	ANY	Y	Y	Y	Y			X		
	COM	Y	X	X	Y			X		
	GOV	Y	Y	Y	Y			X		
COM	ANY	Y	X	X	Y			X		
	COM	Y	X	X	Y			X		
	GOV	Y	X	X	Y			X		
GOV	ANY	Y	Y	Y	X			X		
	COM	X	X	X	X			X		
	GOV	Y	Y	Y	X			X		

注:

- EDT を正しく機能させるために、Citrix Gateway 12.1 以降を使用します。以前のバージョンは、DTLS モードで ECDHE の暗号の組み合わせをサポートしていません。

- Citrix Gateway は DTLS 1.2 をサポートしていません。そのため、`TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384` と `TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384` はサポートされません。Citrix Gateway が DTLS 1.0 で正しく動作するためには、`TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA` を使用するように構成する必要があります。

Citrix Workspace アプリの TLS の構成と有効化

TLS のセットアップは、以下の 2 つの手順で行います：

1. Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (Citrix Virtual Apps and Desktops サービスの新名称) サーバーで SSL Relay をセットアップします。次に、必要なサーバー証明書を取得してインストールします。
2. ユーザーデバイス上で、ルート証明書をインストールします。

ユーザーデバイスへのルート証明書のインストール

TLS 機能が有効になっている Mac 向け Citrix Workspace アプリとサーバーファーム間の通信を TLS でセキュアに保護するには、ルート証明書がユーザーデバイスにインストールされている必要があります。このルート証明書は、サーバー証明書上の証明機関の署名を検証します。

macOS X には、約 100 の商用ルート証明書がインストール済みです。ただし、それ以外の証明書を使用する場合は、該当する証明機関からルート証明書を取得して、各ユーザーデバイスにインストールする必要があります。

ルート証明書をインストールするようユーザーに勧めるのではなく、組織のポリシーと手順に従って、各デバイスにルート証明書をインストールします。ルート証明書を簡単および確実にインストールするには、macOS X のキーチェーンにその証明書を追加します。

ルート証明書をキーチェーンに追加するには

1. 証明書を含んでいるファイルをダブルクリックします。この操作により、キーチェーンアクセスアプリケーションが自動的に起動します。
2. [証明書の追加] ダイアログボックスで、[キーチェーン] ポップアップメニューから以下のいずれかのオプションを選択します：
 - ログイン：現在のログインユーザーにのみ証明書が適用されます。
 - システム：そのデバイスにログインするすべてのユーザーに証明書が適用されます。
3. [OK] をクリックします。
4. [認証] ダイアログボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ルート証明書がインストールされ、TLS が有効なクライアントおよび TLS を使用するすべてのアプリケーションで使用されるようになります。

TLS ポリシーについて

ここでは、TLS 経由の ICA セッションのセキュリティポリシーを構成するための情報について説明します。ICA 接続に使用される一部の TLS 設定を Mac 向け Citrix Workspace アプリで構成できます。これらの設定はユーザーインターフェイスに表示されません。変更するには Mac 向け Citrix Workspace アプリが動作するデバイス上でコマンドを実行する必要があります。

注:

TLS ポリシーは、OS X サーバーやほかのモバイルデバイス管理ソリューションで制御されているデバイスによって、ほかの方法で管理されます。

TLS ポリシーには以下の設定が含まれます:

SecurityComplianceMode。ポリシーのセキュリティコンプライアンスモードを設定します。SecurityComplianceMode を構成しない場合は、デフォルト値として FIPS が使用されます。この設定に適用できる値は以下のとおりです:

- なし。コンプライアンスモードは適用されません。
- FIPS**。FIPS 暗号モジュールが使用されます。
- SP800-52**。NIST SP800-52r1 コンプライアンスが適用されます。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityComplianceMode SP800-52
```

SecurityAllowedTLSVersions。プロトコルネゴシエーション中に受け入れられる TLS プロトコルのバージョンを指定します。この情報は配列として表され、指定可能な値のどの組み合わせもサポートされます。この設定を構成しない場合は、TLS10、TLS11、TLS12 がデフォルト値として使用されます。この設定に適用できる値は以下のとおりです:

- TLS10**。TLS 1.0 プロトコルを許可することを指定します。
- TLS11**。TLS 1.1 プロトコルを許可することを指定します。
- TLS12**。TLS 1.2 プロトコルを許可することを指定します。
- TLS13**。TLS 1.3 プロトコルを許可することを指定します。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions -array TLS11 TLS12
```

SSLCertificateRevocationCheckPolicy。Citrix サーバーの暗号化認証機能が強化され、クライアントとサーバーの間の SSL/TLS 接続の全体的なセキュリティが向上します。この設定は、OS X クライアントで SSL を介してリモートセッションを開く際の、信頼されたルート証明機関 (CA) の処理を制御します。

この設定を有効にすると、サーバー証明書が失効していないかがクライアントによりチェックされます。証明書失効一覧のチェックには複数のレベルがあります。たとえば、クライアントはローカルの証明書一覧のみをチェックしたり、ローカルとネットワークの証明書一覧をチェックするように構成できます。また、すべての証明書失効一覧が検証された場合のみ、証明書チェックはユーザーのログオンを許可するように構成できます。

証明書失効一覧（CRL）チェックは、一部の証明書発行元によりサポートされる高度な機能です。これにより、証明書の秘密キーの暗号化が危うくなったり、DNS 名に予期しない変更があったりした場合に、管理者はセキュリティ証明書を失効させる、つまり失効日より前に無効にすることができます。

この設定に適用できる値は以下のとおりです：

- **NoCheck**。証明書失効一覧をチェックしません。
- **CheckWithNoNetworkAccess**。証明書失効一覧がチェックされます。ローカルの証明書失効一覧のストアのみが使用されます。すべての配布ポイントが無視されます。証明書失効一覧の検索は、対象の SSL Relay または Citrix Secure Web Gateway サーバーによって提示されるサーバー証明書の検証において重要ではありません。
- **FullAccessCheck**。証明書失効一覧がチェックされます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧の検索は、対象の SSL Relay または Citrix Secure Web Gateway サーバーによって提示されるサーバー証明書の検証において重要ではありません。
- **FullAccessCheckAndCRLRequired**。証明書失効一覧がチェックされますがルート証明機関は除外されます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧をすべて検出することが、検証では重要です。
- **FullAccessCheckAndCRLRequiredAll**。ルート証明機関を含め、証明書失効一覧がチェックされます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧をすべて検出することが、検証では重要です。

注：

SSLCertificateRevocationCheckPolicy を設定しない場合は、デフォルト値として FullAccessCheck が使用されます。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SSLCertificateRevocationCheckPolicy FullAccessCheckAndCRLRequired
```

TLS ポリシーの構成

管理対象外のコンピューターで TLS 設定を構成するには、Terminal.app で **defaults** コマンドを実行します。

defaults はコマンドラインアプリケーションで、OS X の環境設定リストファイルにアプリ設定を追加、編集、および削除するために使用できます。

設定を変更するには：

1. [アプリケーション]、[ユーティリティ]、[ターミナル] の順に選択します。
2. ターミナルで以下のコマンドを実行します：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas <name> <type> <value>
```

各項目の意味は次のとおりです：

<name>：前述のように設定の名前です。

<type>: 設定の種類を指定するスイッチで、-string または -array のどちらかです。設定の種類が文字列である場合は、この設定を省略できます。

<value>: 設定の値。値が配列であり、複数の値を指定する必要がある場合は、値をスペースで区切ります。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions -array TLS11 TLS12
```

デフォルト構成へのリセット

設定をデフォルトに戻すには:

1. [アプリケーション]、[ユーティリティ]、[ターミナル] の順に選択します。
2. ターミナルで以下のコマンドを実行します:

```
defaults delete com.citrix.receiver.nomas <name>
```

各項目の意味は次のとおりです:

<name>: 前述のように設定の名前です。

```
defaults delete com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions
```

セキュリティ設定

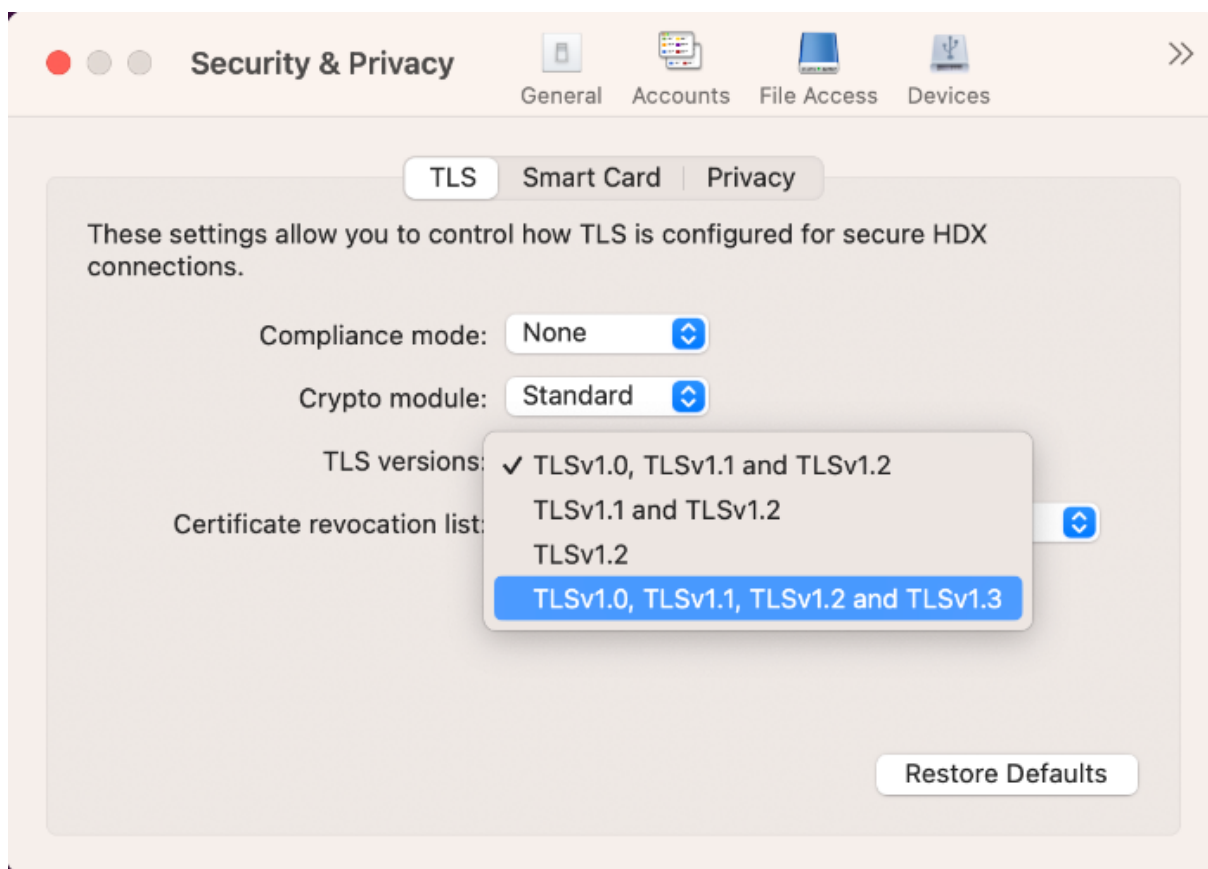
Citrix Receiver for Mac のバージョン 12.3 では、以下のようにセキュリティ機能が向上し、強化されています:

- セキュリティ構成のユーザーインターフェイスが強化されました。以前のリリースでは、セキュリティ関連の変更を実施する場合、コマンドラインが優先される方法でしたが、セッションセキュリティに関連する構成設定がシンプルになり、UI からアクセスできるようになりました。この機能向上により、ユーザーエクスペリエンスが向上し、シームレスにセキュリティ関連の設定を採用するための方法が提供されます。
- TLS 接続の表示。特定の TLS バージョンを使用する接続、暗号化アルゴリズム、モード、キーサイズ、および SecureICA の状態を検証できます。また、TLS 接続のサーバー証明書も表示できます。

強化された [セキュリティとプライバシー] 画面の [TLS] タブには、以下の新しいオプションが含まれます:

- コンプライアンスモードの設定
- 暗号モジュールの構成
- 適切な TLS のバージョンの選択
- 証明書失効一覧の選択
- すべての TLS 接続の設定を有効にする

以下の図は、UI でアクセス可能な [セキュリティとプライバシー] 設定を示します:



アプリエクスペリエンス

February 1, 2024

ここでは、以下の内容について説明します:

- [アプリケーションの配信](#)
- [強化された Workspace での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス \(クラウドユーザーのみ\)](#)
- [アプリ設定](#)
- [データ収集と監視](#)

アプリケーションの配信

April 18, 2024

Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS でアプリケーションをユーザーに配信するときは、アプリケーションにアクセスするユーザーのエクスペリエンスを向上させるために、次のオプションについて検討します：

Web アクセスモード

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、構成を必要とせずに、アプリケーションやデスクトップに対するブラウザベースのアクセスである Web アクセスを実行できます。Workspace for Web を Web ブラウザーで開き、使用するアプリケーションを選択して実行するだけです。Web アクセスモードでは、ユーザーのデバイスのアプリフォルダーにアプリのショートカットが置かれます。

セルフサービスモード

StoreFront アカウントを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加するか、StoreFront サイトを参照してセルフサービスモードを使用するよう Mac 向け Citrix Workspace アプリを構成します。これによって、ユーザーに Mac 向け Citrix Workspace アプリ経由でアプリケーションにサブスクライブすることを許可するセルフサービスモードを構成できます。この拡張ユーザーエクスペリエンスはモバイルアプリケーションストアのものと同様です。セルフサービスモードでは、必要に応じて必須設定、自動プロビジョニング設定、お勧めのアプリキーワード設定を構成できます。いずれかのユーザーがアプリケーションを選択すると、そのアプリケーションに対するショートカットがユーザーデバイスのアプリフォルダーに置かれます。

StoreFront 3.0 サイトにアクセスすると、Mac 向け Citrix Workspace アプリのプレビューが表示されます。

Citrix Virtual Apps ファームでアプリケーションを公開する場合、StoreFront ストアを介したアプリケーションにユーザーがアクセスするときの利便性を高めるため、公開されたアプリのわかりやすい説明を含めるようにしてください。この説明は、Mac 向け Citrix Workspace アプリを介してユーザーに表示できます。

セルフサービスモードの構成

前述のように、StoreFront アカウントを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加するか、StoreFront サイトを参照してセルフサービスモードを使用するよう Mac 向け Citrix Workspace アプリを構成することができます。これによって、ユーザーに Mac 向け Citrix Workspace アプリのユーザーインターフェイスを使用してアプリケーションにサブスクライブすることを許可するセルフサービスモードを構成できます。この拡張ユーザーエクスペリエンスはモバイルアプリケーションストアのものと同様です。

セルフサービスモードでは、必要に応じて必須設定、自動プロビジョニング設定、お勧めのアプリキーワード設定を構成できます。

- Citrix Virtual Apps でアプリを公開するときに、説明に文字列「**KEYWORDS:Auto**」を追加して、ストアのすべてのユーザーをアプリに自動的にサブスクライブします。ユーザーがストアにログインすると、アプリは自動的にプロビジョニングされ、手動でサブスクライブする必要はありません。

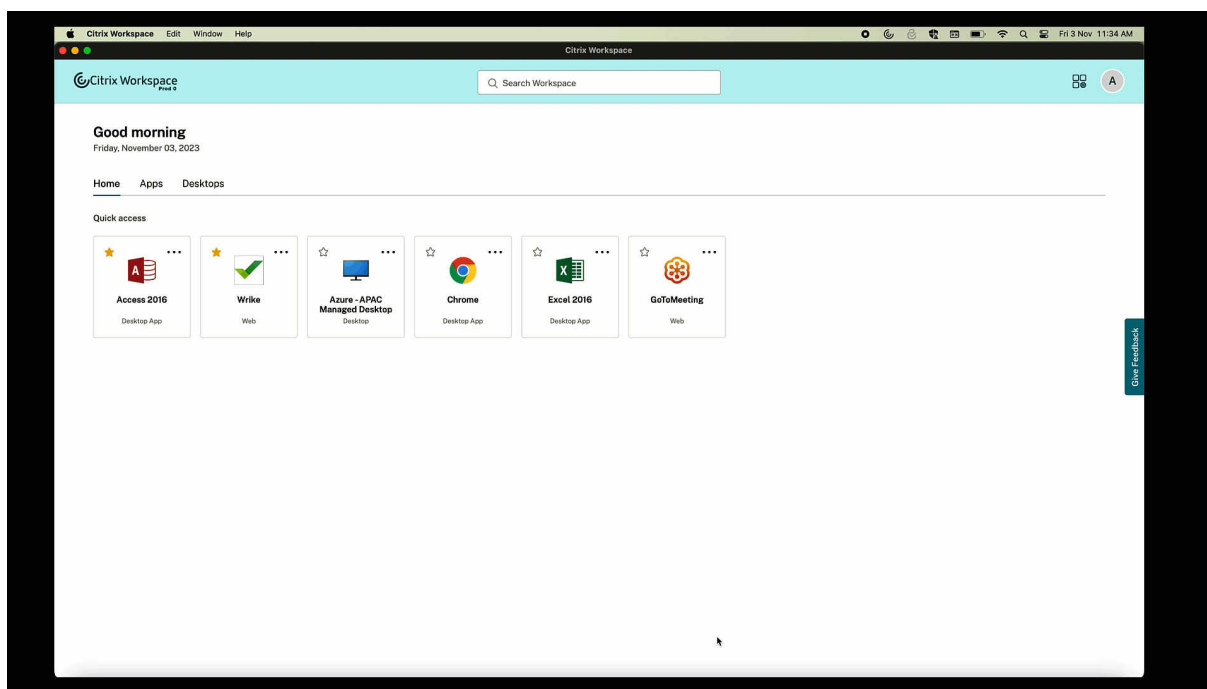
- ユーザーが特定のアプリケーションに簡単にアクセスできるようにするために、そのアプリケーションをユーザーの Mac 向け Citrix Workspace アプリの [おすすめ] 一覧に表示できます。Mac のおすすめの一覧にアプリを表示するには、アプリの説明に文字列「**KEYWORDS:Featured**」を追加します。

詳しくは、[StoreFront](#)のドキュメントを参照してください。

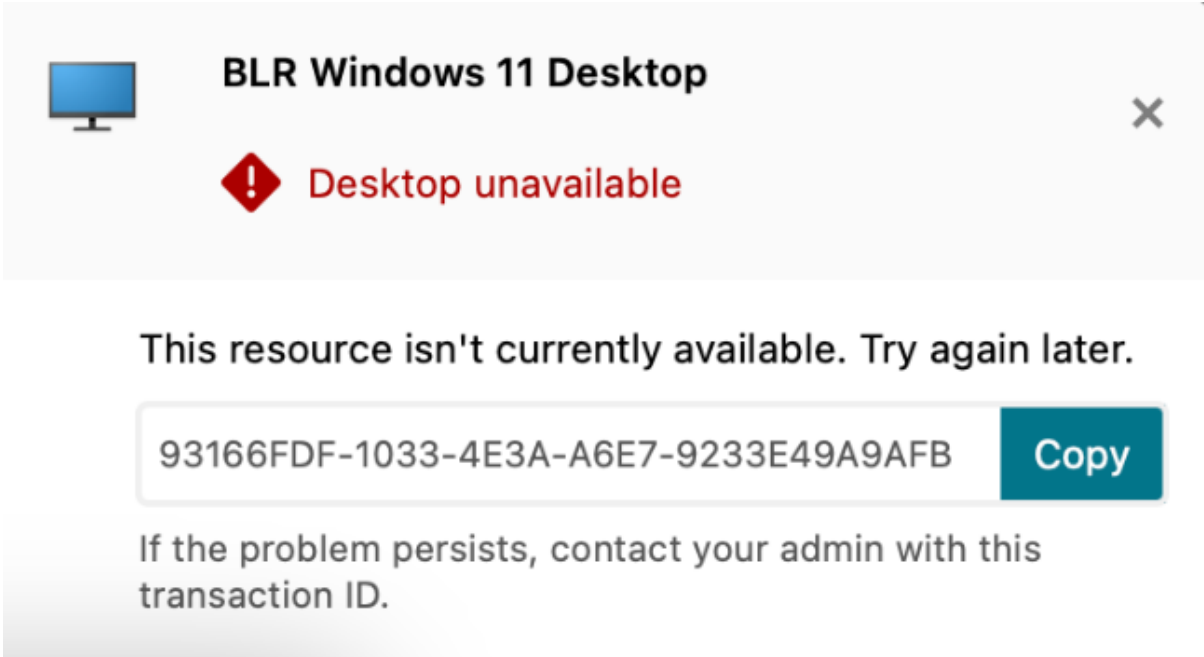
強化された **Workspace** での仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンス（クラウドユーザーのみ）

February 1, 2024

Citrix リソースの起動エクスペリエンスがより直感的で、役立つ情報を表示する、ユーザーフレンドリーなものへと強化されました。バージョン 2311 以降、この機能はカスタム Web ストアとハイブリッド起動でサポートされています。



起動の進行状況の通知が画面の右下隅に表示されるようになりました。起動中のリソースの進行状況が表示されます。通知を閉じると、通知を再表示することはできません。通知は、セッションが開始してから数秒間残ります。セッション開始に失敗した場合、通知に失敗した旨のメッセージが表示されます。



The screenshot shows a window titled "BLR Windows 11 Desktop" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar, there is a red diamond icon with a white exclamation mark and the text "Desktop unavailable". Below this, a message reads: "This resource isn't currently available. Try again later." Underneath the message is a text input field containing the transaction ID "93166FDF-1033-4E3A-A6E7-9233E49A9AFB" and a blue "Copy" button. At the bottom of the window, it says: "If the problem persists, contact your admin with this transaction ID."

注:

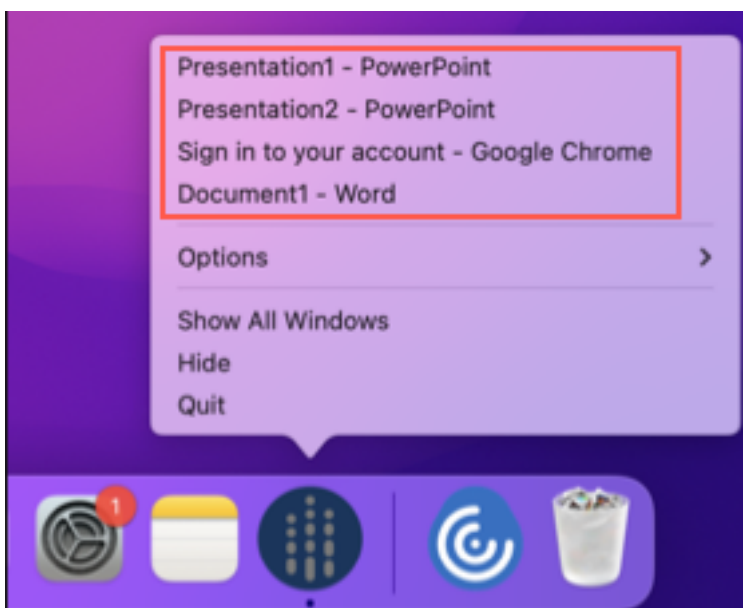
この機能は、Workspace（クラウド）と StoreFront セッションの両方で使用できます。

アプリ設定

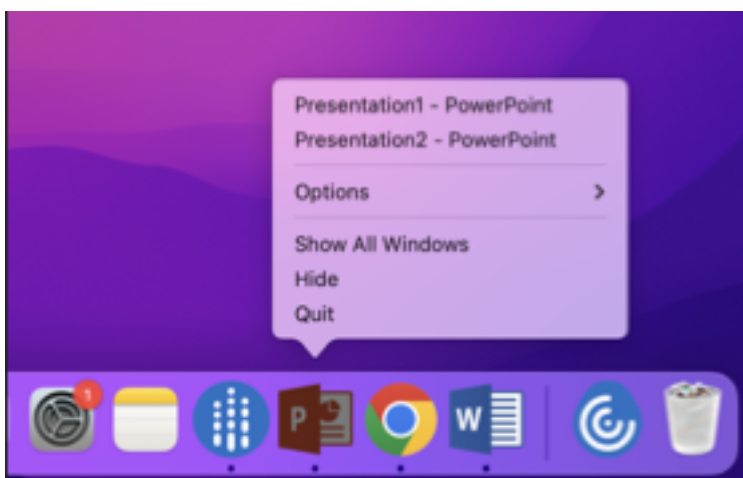
February 1, 2024

開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示

以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる **Citrix Viewer** がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが **Citrix Viewer** で開きます。 **Citrix Viewer** アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。

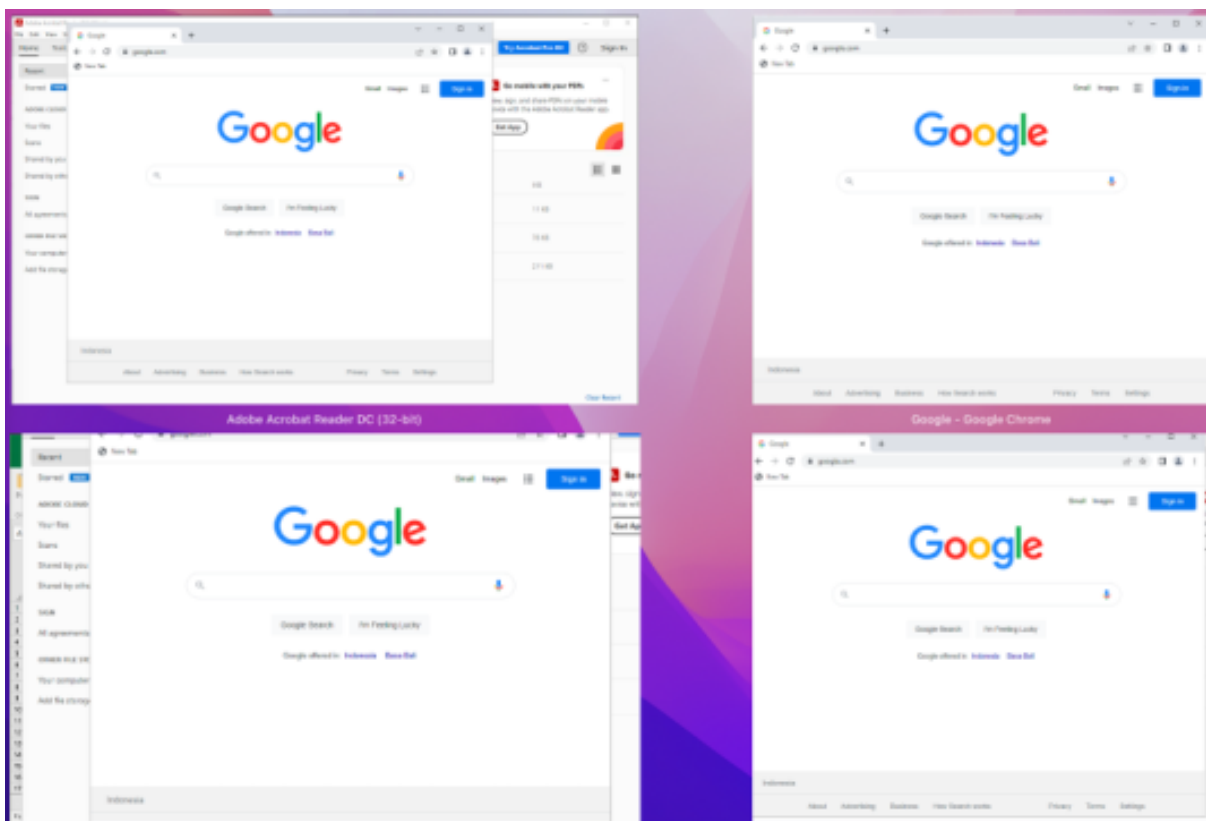


バージョン 2305 以降、仮想アプリを開くと、ドック（画面の右下隅）に簡単に見分けることができるそれぞれのアイコンで表示されるようになります。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて 1 つのインスタンスとして表示されます。

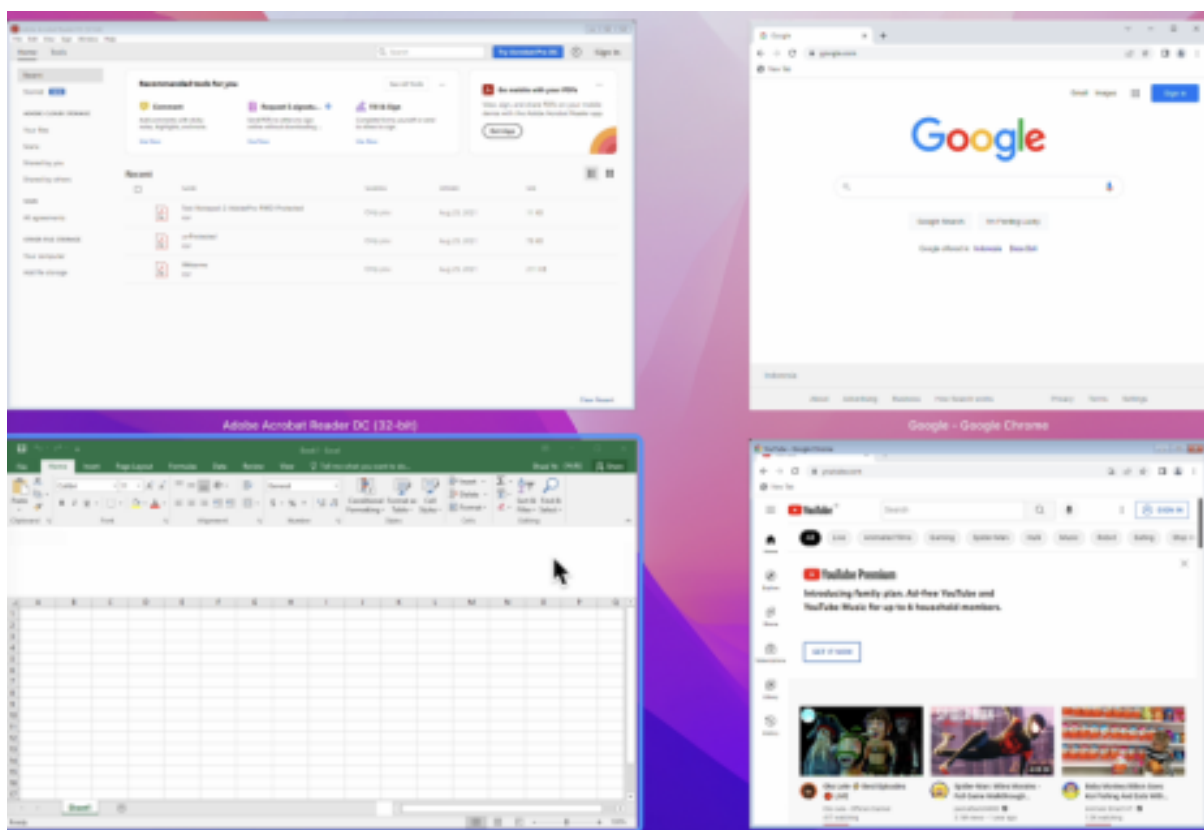


Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上

以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



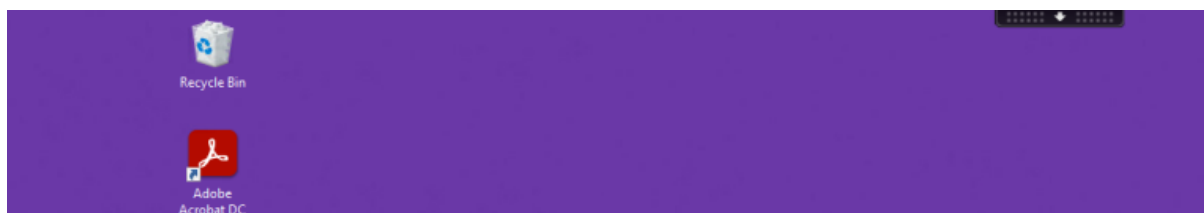
バージョン 2210 以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用して多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



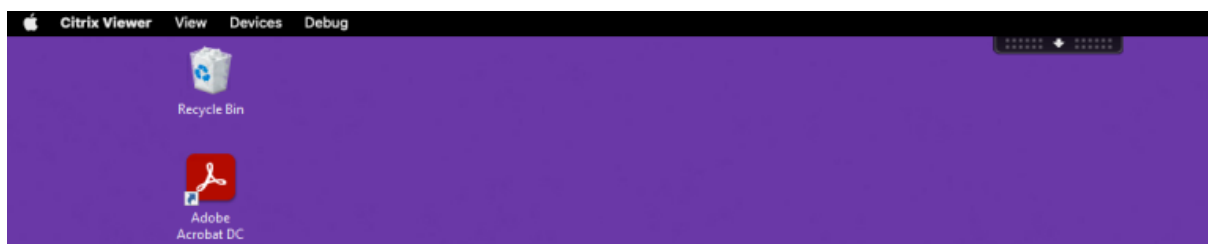
強化されたメニューバーのサポート

バージョン 2301 以降、CWA では macOS の **[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションを完全にサポートしています。macOS 13 より前のバージョンでは、**[システム環境設定] > [Dock とメニューバー]** に移動し、**[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションをオフにする必要があります。macOS 13 以降のバージョンでは、**[システム環境設定] > [デスクトップと Dock]** に移動し、**[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションをオフにする必要があります。このオプションはオンまたはオフにできます。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

下の図は、メニューバーが非表示になっているウィンドウを示しています：



下の図は、メニューバーが表示されるウィンドウを示しています：

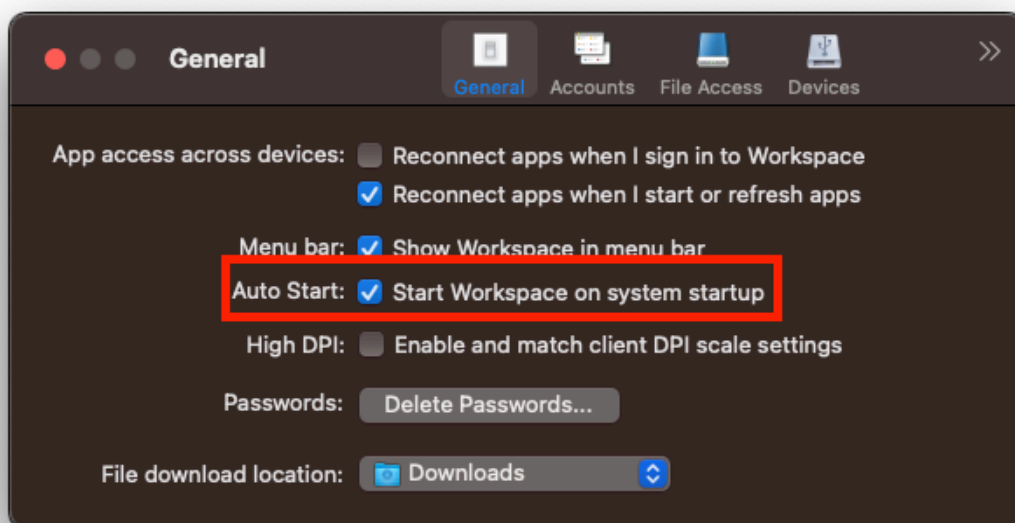


横スクロールのサポート

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。バージョン 2305 以降は、横スクロールもサポートされています。

強化された自動起動エクスペリエンス

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、コンピューターの電源を入れるたびに自動的に起動していました。バージョン 2304 以降、システムの起動時に [環境設定] > [一般] > [Start Workspace] に移動して、Mac 向け Citrix Workspace アプリの自動起動機能を無効または有効にできます。自動起動設定はデフォルトで有効になっています。




ワークスペースコントロール

ワークスペースコントロール機能を有効にすると、ユーザーがセッションの途中でデバイスを切り替えても、新しいデバイス上でそのデスクトップやアプリケーションでの作業を継続できます。たとえば、病院で臨床医がほかのワークステーションに移動しても、移動先のデバイスでデスクトップやアプリケーションを起動し直す必要がなくなります。

ポリシーおよびクライアント側ドライブのマッピングの構成は、ユーザーがほかのデバイスに移動したときに、そのデバイスに適したものに自動的に切り替わります。ポリシーおよびマッピングの構成は、ユーザーがログオンするデバイスに応じて動的に適用されます。たとえば、医療従事者は救急処置室のユーザーデバイスからサインアウトし、レントゲン室のワークステーションにサインインできます。レントゲン室でのセッションに適したポリシー、プリンターマッピング、およびクライアント側ドライブのマッピング設定が、レントゲン室のセッションで有効になります。

ワークスペースコントロール設定を構成するには






1. Mac 向け Citrix Workspace アプリウィンドウで  のアイコンをクリックして、[環境設定] を選択します。
2. [一般設定] タブをクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します：
 - Citrix Workspace アプリの起動時にアプリに再接続します。ユーザーが Citrix Workspace を起動してログオンしたときに、切断セッションに再接続されます。
 - アプリの起動時または更新時に再接続する：ユーザーがアプリを起動したとき、および Mac 向け Citrix Workspace アプリのメニューで [アプリケーション一覧の更新] を選択したときに、切断セッションに再接続されます。

メニューバーからクイックアクセスメニューでアプリ、デスクトップ、および **Citrix Enterprise Browser** を表示

最近使用したアプリやお気に入りのアプリやデスクトップを表示したり、メニューバーの Citrix Workspace アイコンをクリックして Citrix Enterprise Browser ウィンドウを開いたりできるようになりました。この機能により、Citrix Workspace アプリを開かなくても、一部のリソースに簡単にアクセスできます。


Recents Favorites

Apps

-  Access 2016
-  Concur
-  Excel 2016
-  Bitbucket - code
-  Chrome

[View all applications](#)

Desktops

-  Managed Win10 SIN Desktop

[View all desktops](#)

Version: 22.06.0.0 (2206)






アカウントを構成していない場合は、サインインプロンプトが表示されます。



最近使用したまたはお気に入りの、アプリまたはデスクトップ最大5つが、[最近] タブと [お気に入り] タブのオプションにそれぞれ表示されます。Citrix Workspace アプリで他のアプリを表示するには、[すべてのアプリケーションを表示] をクリックします。Citrix Workspace アプリで他のデスクトップを表示するには、[すべてのデスクトップを表示] をクリックします。


Recents Favorites

Apps

-  Access 2016
-  Concur
-  Excel 2016
-  Bitbucket - code
-  Chrome

[View all applications](#)

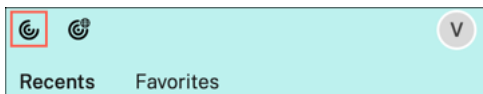
Desktops

-  Managed Win10 SIN Desktop

[View all desktops](#)

Version: 22.06.0.0 (2206)

Citrix Workspace アプリのアイコンをクリックして、Citrix Workspace UI を開くことができます。

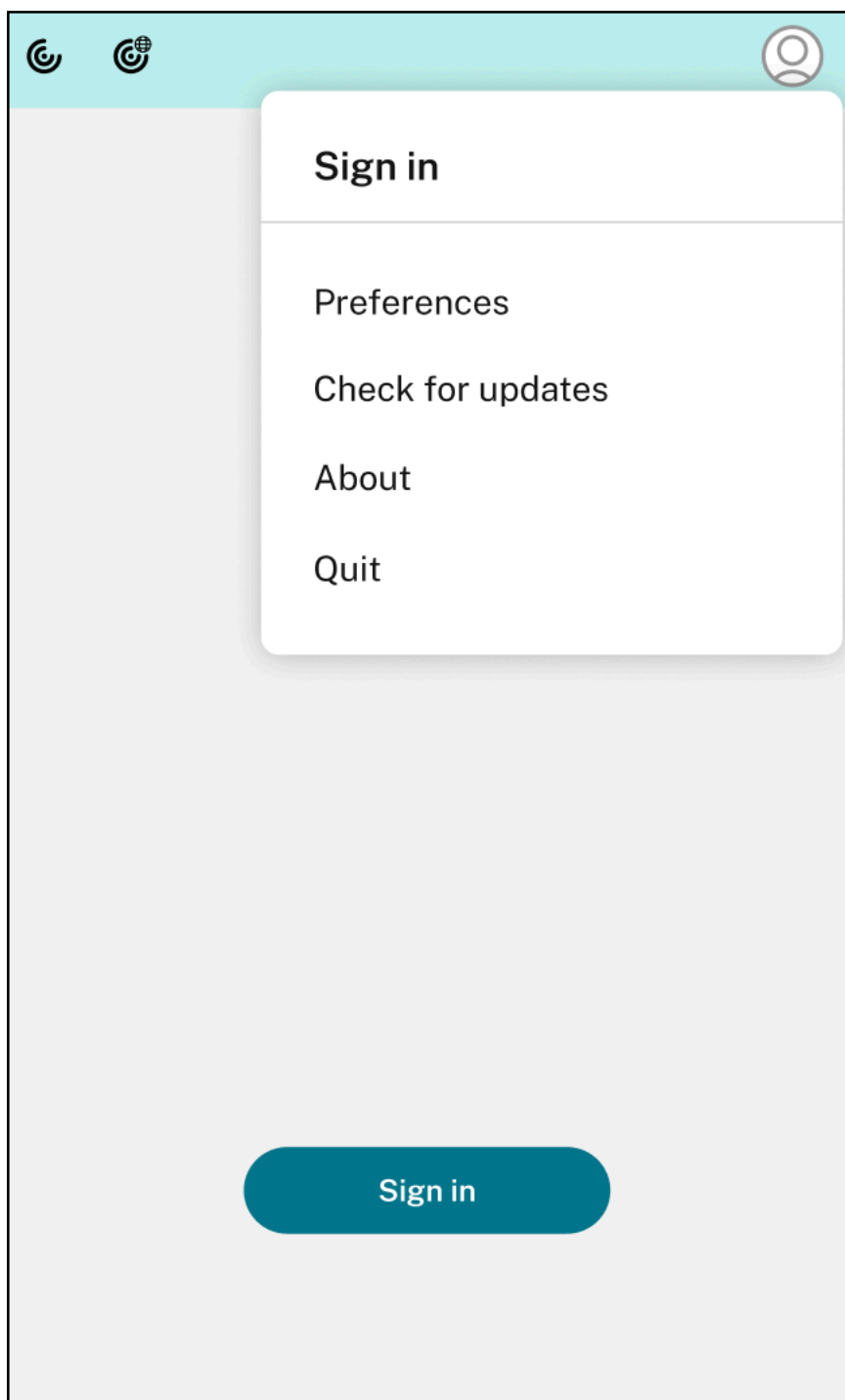


Citrix Enterprise Browser のアイコンをクリックすると、Web または SaaS アプリを開かずに Citrix Enterprise Browser を開くことができます。



注:

構成されたストアに Web または SaaS アプリがない場合、Citrix Enterprise Browser は使用できません。使用できるのは、管理者が Citrix Secure Private Access を構成している場合のみです、

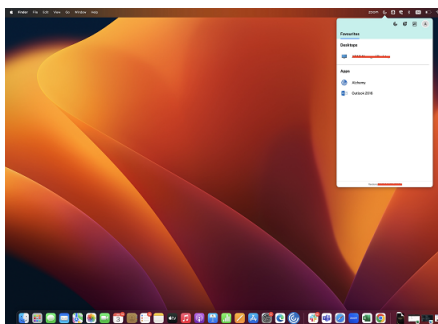


右上隅の [アカウント] アイコンをクリックすると、次のオプションが表示されます:

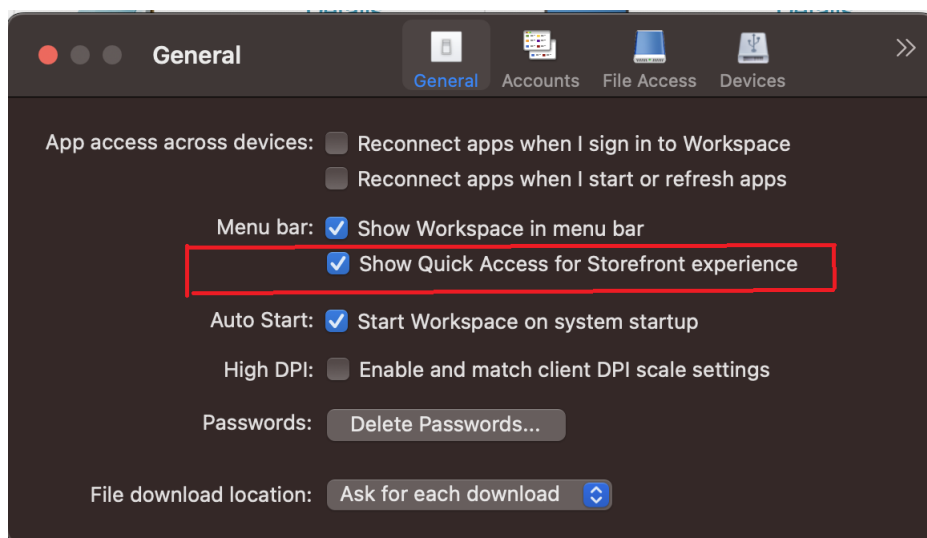
- 環境設定
- 更新の確認
- バージョン情報
- 終了

StoreFront のクイックアクセスメニュー

バージョン 2307 以降、オンプレミスストアのクイックアクセス機能を使用して、お気に入りのアプリやデスクトップにすばやく簡単に移動できるようになりました。クイックアクセスを有効にするには、ツールバーで [Citrix Workspace] を右クリックし、[環境設定] > [一般] に移動し、次いで [StoreFront 環境へのクイックアクセスを表示する] を選択します。この機能を使用すると、Mac のメニューバーからお気に入りのデータを直接表示できます。



このクイックアクセス機能を有効にするには、[環境設定] を使用します。



クイックアクセス機能を有効または無効にするには、管理者がモバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management) または Global App Configuration Service (GACS) のメソッドを使用します。

MDM を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

MDM を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
<key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>  
<false/>
```

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理](#)」を参照してください。

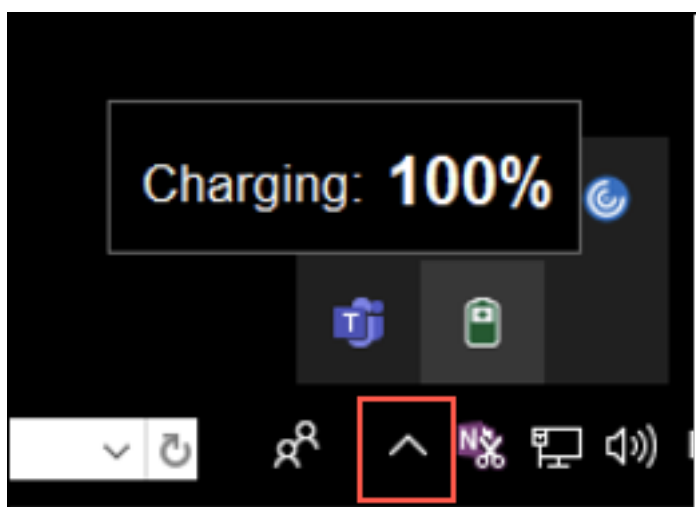
GACS を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

GACS を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

`enableQuickAccessForStoreFront`

バッテリー状態インジケータ

デバイスのバッテリー状態が、Citrix Desktop セッションのシステムトレイに表示されるようになりました。デスクトップセッション内のバッテリー状態を表示するには、タスクバーの [隠れているインジケータを表示します] の矢印をクリックします。



注：

サーバー VDA の場合、バッテリー状態のインジケータは表示されません。

Citrix Casting

Citrix Casting は、近くの Citrix Ready ワークスペースハブデバイスに Mac の画面をキャストするために使用されます。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは Citrix Casting がサポートされており、ワークスペースハブに接続されているモニターに Mac の画面をミラーリングできます。

詳しくは、[Citrix Ready ワークスペースハブ](#)のドキュメントを参照してください。

前提条件

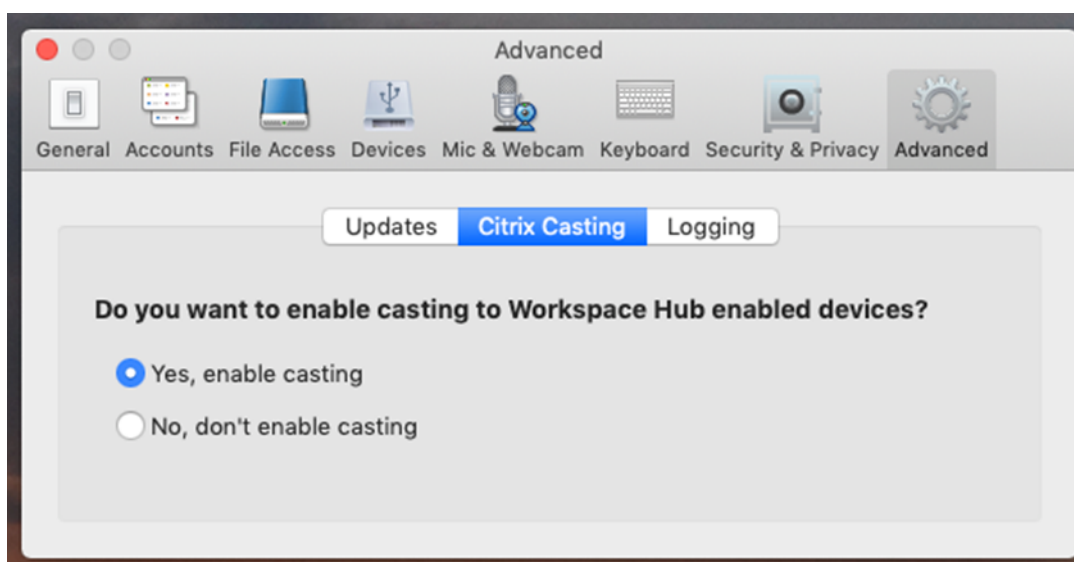
- サポートされている最新バージョンの Citrix Workspace アプリ。
- ハブ検出のためにデバイス上で Bluetooth が有効になっている。
- Citrix Ready ワークスペースハブと Citrix Workspace アプリが、同じネットワーク上に存在する。

- Citrix Workspace アプリが実行されているデバイスと Citrix Ready ワークスペースハブとの間でポート 55555 がブロックされていない。
- ポート 55556 は、モバイルデバイスと Citrix Ready ワークスペースハブの間の SSL 接続のデフォルトポートです。Raspberry Pi の設定ページで別の SSL ポートを構成できます。SSL ポートがブロックされている場合、ユーザーはワークスペースハブへの SSL 接続を確立できません。
- Citrix Casting の場合、ポート 1494 がブロックされていない必要があります。

Citrix Casting を有効にする

Citrix Casting は、デフォルトで無効になっています。Mac 向け Citrix Workspace アプリで Citrix Casting を有効にするには:

1. [環境設定] に移動します。
2. パネルで [詳細]、[**Citrix Casting**] の順に選択します。
3. [はい。キャストを有効にします] を選択します。



Citrix Casting が起動すると通知が表示され、メニューバーに Citrix Casting のアイコンが表示されます。

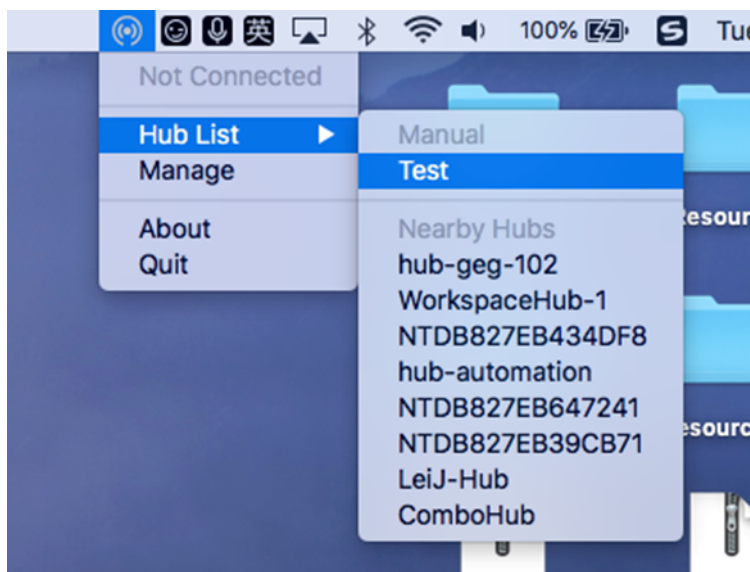
注:

いったん有効にすると、[環境設定] > [詳細] > [**Citrix Casting**] で [いいえ。キャストを有効にしません] を選択して無効にするまで、Mac 向け Citrix Workspace アプリの実行時に毎回、Citrix Casting が自動的に起動します。

ワークスペースハブデバイスを自動的に検出する

ワークスペースハブに自動的に接続するには:

1. Mac で Citrix Workspace アプリにサインインし、Bluetooth がオンになっていることを確認します。Bluetooth により、近くのワークスペースハブが検出されます。
2. メニューバーで、**Citrix Casting** のアイコンを選択します。このメニューを使って、Citrix Casting の全機能を操作します。
3. [ハブ一覧] サブメニューに、同じネットワーク上の近くにあるすべてのワークスペースハブが表示されます。管理者の Mac に近いハブから降順に、ワークスペースハブの設定名で一覧表示されます。[近くのハブ] の下に、自動検出されたすべてのハブが表示されます。
4. 接続するハブの名前を選択します。



接続中にワークスペースハブの選択をキャンセルするには、[キャンセル] を選択します。ネットワーク接続状況が悪く接続に通常よりも時間がかかる場合にも、[キャンセル] を使ってキャンセルすることができます。

注:

選択したハブがメニューに表示されないことがあります。しばらくしてから、[ハブ一覧] メニューをもう一度確認するか、手動でハブを追加してください。Citrix Casting でワークスペースハブのブロードキャストを定期的に受信します。

ワークスペースハブデバイスを手動で検出する

[ハブ一覧] メニューに Citrix Ready ワークスペースハブデバイスが見つからない場合は、ワークスペースハブの IP アドレスを手動で追加してアクセスします。ワークスペースハブを追加するには:

1. Mac で Citrix Workspace アプリにサインインし、Bluetooth がオンになっていることを確認します。Bluetooth により、近くのワークスペースハブが検出されます。
2. メニューバーで、**Citrix Casting** のアイコンを選択します。
3. メニューで [管理] を選択します。[ハブの管理] ウィンドウが開きます。
4. [新規追加] をクリックして使用するハブの IP アドレスを入力します。

5. デバイスが追加された後、[ハブ名] 列にハブのフレンドリ名が表示されます。この名前を、[ハブ一覧] サブメニューの [手動] に表示されるハブの識別名として使用します。

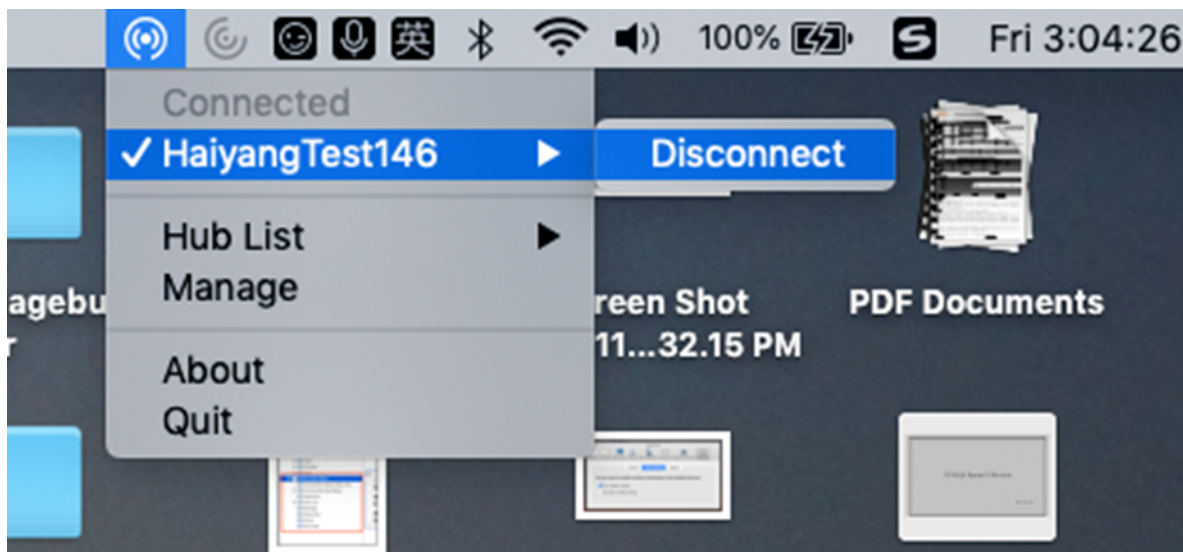
注:

現在、ミラーモードのみがサポートされています。[表示モード] 列では、[ミラー] のみがオプションとして表示されます。

ワークスペースハブを切断する

現在のセッションを切断し、Citrix Ready ワークスペースハブを自動または手動で終了できます。

- 画面キャストのセッションを自動的に切断するには、ノートブックを閉じます。
- 画面キャストのセッションを手動で切断するには、以下を実行します：
 1. **Citrix Casting** のアイコンを選択します。
 2. ハブ一覧で、対象のワークスペースハブの名前を選択します。[切断] オプションが右側に表示されます。
 3. [切断] を選択してハブを切断します。



既知の問題

- ミラーリングされた画面を表示するときに、わずかな遅延が発生することがわかっています。ネットワーク接続状況が悪い場合、遅延時間が長くなる場合があります。
- Citrix Ready ワークスペースハブで SSL が有効になっていて、このハブの証明書が信頼されていない場合、通知ウィンドウが表示されます。この問題を解決するには、キーチェーンツールを使用して、信頼された機関からの証明書の一覧に証明書を追加します。

データ収集と監視

May 16, 2024

Citrix Analytics

Citrix Workspace アプリには、Citrix Analytics にログをセキュアに送信するための機能があります。この機能が有効になっていると、ログは分析され、Citrix Analytics サーバーに保存されます。Citrix Analytics については、[Citrix Analytics](#) ドキュメントを参照してください。

カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

収集データ	説明	使用目的
構成および使用状況データ	Citrix カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) では、Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成および使用に関するデータが収集され、そのデータが Citrix と Google Analytics に自動的に送信されます。	このデータは、Citrix Workspace アプリの品質、信頼性、およびパフォーマンスを向上させる目的で使用させていただきます。

収集データ

上記のとおり、このデータは、Citrix が Citrix Workspace アプリの品質、機能、およびパフォーマンスを向上させ、製品開発目的でリソースを適切に割り当て、サービス レベルを維持し、人員配置とインフラストラクチャへの投資を管理するのに役立ちます。データは集計された形式でのみ使用および分析されます。CEIP データに基づいてユーザーまたはそのマシンが特定されることはなく、特定のエンドユーザーに対する分析も実行されません。

Google Analytics および Citrix Analytics が収集する特定の CEIP データ要素は次のとおりです：

オペレーティングシステムバージョン	Workspace アプリバージョン	汎用 USB リダイレクトの使用	ストア構成
Citrix Enterprise Browser の使用状況	Citrix Virtual Apps and Desktops のセッション起動状態	自動更新の設定	自動更新の状態

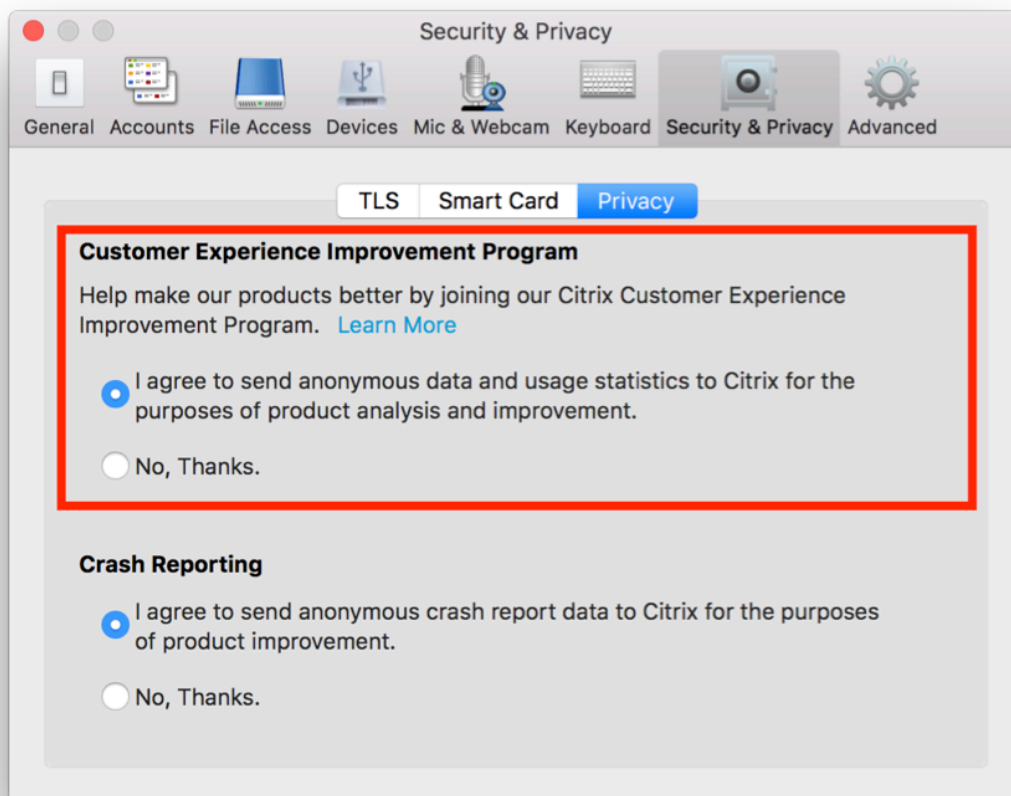
セッションの起動方法	アンインストール情報	非アクティブタイムアウト機能の使用状況	電子メール検出機能の使用状況
カスタム Web ストア機能の使用状況	再接続の設定	Global App Configuration Service の使用状況	キーボード復元の使用状況
パスワードの削除機能の使用状況	チャンネルの自動更新	接続リースの詳細	ユーザー GUID

注:

- 欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)、スイス、および英国 (UK) のユーザーからデータを収集して Google Analytics に送信することはありません。
- Citrix Enterprise Browser は、以前は Citrix Workspace Browser と呼ばれていました。

Citrix および Google Analytics への CEIP データの送信を無効にするには、次の手順を実行します:

1. [環境設定] ウィンドウで [セキュリティとプライバシー] を選択します。
2. [プライバシー] タブをクリックします。
3. [いいえ] を選択して CEIP を無効にするか、参加を見送ります。
4. [OK] をクリックします。



ターミナルで以下のコマンドを実行して CEIP を無効にすることもできます:

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas "CEIPEnabled"-bool NO
```

追加情報

Citrix は、お客様のデータを Citrix との契約条件に従って処理します。お客様のデータは、[Citrix Trust Center](#)で入手できる[Citrix Services Security Exhibit](#)に従って保護されます。

Citrix は、CEIP の一環として、Google Analytics を使用して Citrix Workspace アプリから特定のデータを収集します。[Google Analytics のために収集されたデータの Google での取り扱い方法](#)について確認してください。

HDX とマルチメディア

February 1, 2024

このセクションでは、次のコンポーネントの HDX およびマルチメディア機能について説明します：

- [グラフィックとディスプレイ](#)
- [最適化された Microsoft Teams](#)
- [HDX トランスポート](#)

グラフィックとディスプレイ

May 16, 2024

複数モニター

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、複数のモニターにまたがるフルスクリーンモードを実行できます。

1. Citrix Viewer を開きます。
2. 要件に基づいて、メニューバーで [表示] をクリックして、次のオプションのいずれかを選択します：
 - フルスクリーンにする - プライマリモニターのみ全画面にします。
 - すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する - 接続されているすべてのモニターを全画面にします。
3. Citrix Virtual Desktops の画面を複数のモニターの間にドラッグします。

画面がすべてのモニターに拡張されます。

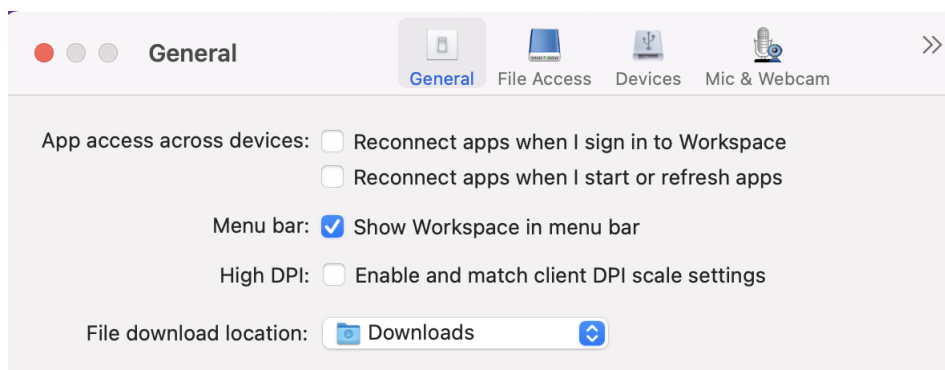
制限事項

- 単一モニターのフルスクリーンまたはすべてのモニターを使ったフルスクリーンモードのみがサポートされています。これはメニューアイテムを使って構成できます。
- Citrix では、最大でも 2 台のモニターを使用することをお勧めします。3 台以上のモニターを使用すると、セッションのパフォーマンスが低下したり、ユーザビリティの問題が発生する可能性があります。
- フルスクリーンモードは、ノッチのある Mac では使用できません。

高 DPI のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、4K または 5K 解像度の 1 台の高 DPI モニターと互換性があります。この機能によって、仮想デスクトップまたはアプリのセッションでテキスト、画像、およびその他のグラフィック要素が、これらの高解像度モニターで快適に表示できるサイズで表示されます。

この機能を有効にするには、[環境設定] > [一般] > [高 DPI] に移動します。



管理者は、ディスプレイの解像度に合わせて、デスクトップセッションの最大ビデオバッファサイズをキロバイト単位で指定する表示メモリの制限ポリシーを編集できます。表示メモリの制限ポリシーのデフォルト値は 65536KB で、4K 解像度の 1 台の高 DPI モニターの場合は十分です。

仮想アプリセッションの場合、アプリセッションは複数のディスプレイをサポートしないため、表示メモリの制限のデフォルト値で十分です。

仮想デスクトップセッションの場合、複数外部モニターまたは 5K 解像度モニターでの高 DPI 機能を使用するには、管理者は **[Citrix Studio] > [ポリシー] > [表示メモリの制限]** に移動し、より高い値 (393216KB など) を使用する必要があります。

表示メモリ制限ポリシーについて詳しくは、「[表示メモリの制限](#)」を参照してください。

注:

この機能は、最大 2 台の接続されているモニターで機能します。

Mac で使用できる外部モニターの数は、常に Mac のモデル、各ディスプレイの解像度とリフレッシュレートによって制限されます。サポートされている外部モニターの数を確認するには、Mac の技術仕様を参照してください。詳しくは、Apple サポート記事の「[Mac で 1 台以上の外部ディスプレイを接続する](#)」を参照してください。

強化されたノッチスクリーンのサポート

バージョン 2301 以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリはノッチディスプレイの Mac をサポートしています。Mac は、Retina およびマルチモニターディスプレイの全画面モードでノッチスクリーンをサポートしています。ノッチスクリーンのセッションの領域が大幅に拡大され、より広い画面スペースが提供されています。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

注:

Citrix Viewer で **[Scale to fit below built-in camera]** オプションをオンにしないでください。このオプションはデフォルトでは選択されておらず、ノッチディスプレイの Mac でのみ使用できます。

デスクトップツールバー

ウィンドウモードおよびフルスクリーンモードのどちらでもデスクトップツールバーにアクセスできるようになりました。以前は、フルスクリーンモードでのみデスクトップツールバーが表示されていました。ツールバーには、ほかにも次のような変更が追加されています：

- ツールバーから [ホーム] ボタンが削除されました。この機能は、次のコマンドを使って実行できます：
 - Cmd+Tab を押して、前のアクティブなアプリケーションに切り替えます。
 - Ctrl+ 左矢印を押して、前のスペースに切り替えます。
 - 内蔵のトラックパッドを使って、または Magic Mouse のジェスチャにより別のスペースに切り替えます。
 - フルスクリーンモード時に画面の端にカーソルを動かすと、アクティブにするアプリケーションを選択できるドックが表示されます。
- ツールバーから [ウィンドウ] ボタンが削除されました。次のいずれかの方法に従って、フルスクリーンモードからウィンドウモードに切り替えます：
 - OS X 10.10 で、ドロップダウンメニューバーにある緑色のウィンドウボタンをクリックします。
 - OS X 10.9 で、ドロップダウンメニューバーにある青色のメニューボタンをクリックします。
 - OS X のすべてのバージョンで、ドロップダウンメニューバーにある [表示] メニューから [フルスクリーンを解除] を選択します。
- 複数モニターを使った全画面のウィンドウ間でのドラッグがサポートされています。

仮想デスクトップセッションでデスクトップツールバーを表示または非表示にする

仮想デスクトップセッションでデスクトップツールバーを完全に非表示または表示するようにカスタマイズできます。

デスクトップツールバーを完全に非表示にする方法について詳しくは、Knowledge Center の[CTX202450](#)のサポート記事を参照してください。

フルスクリーンモードを複数のモニターで使用する

2203.1 バージョン以降、2 台以上のモニターで同時にフルスクリーンモードにすることができます。この機能を使用するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Viewer を開きます。
2. 接続されている他のモニターでフルスクリーンモードを使用するには、ウィンドウをプライマリモニターからドラッグして、接続されているモニターに移動します。メニューバーから、[表示] > [フルスクリーンにする] を選択します。これらのモニターで、ウィンドウはフルスクリーンモードになります。

注:

以前に [すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する] オプションを選択した場合は、これによって、接続されているすべてのモニターでフルスクリーンモードが選択されているため、必ず選択を解除してください。

Citrix では、プライマリモニターを含めて最大 3 台のモニターにすることをお勧めします。

最大化モードで **Citrix Workspace** アプリを開くためのサポート

2204 バージョン以降、管理者は、Global App Configuration Service の `maximise workspace window` プロパティを構成して、Citrix Workspace アプリをデフォルトで最大化モードで開くようにできます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

複数のモニターのフルスクリーンモードのサポートを最大 **5** 台に拡張

以前、Citrix は、プライマリモニターを含む最大 3 台のモニターのフルスクリーンモードをサポートしていました。

2311 バージョン以降、プライマリモニターを含む最大 5 台のモニターで同時にフルスクリーンモードを使用できるようになりました。

注

Mac で使用できる外部モニターの数は、常に Mac のモデル、各ディスプレイの解像度とリフレッシュレートによって制限されます。サポートされている外部モニターの数を確認するには、Mac の技術仕様を参照してください。詳しくは、Apple サポート記事の「[Mac で 1 台以上の外部ディスプレイを接続する](#)」を参照してください。

次の 2 つの方法で、複数のモニターをフルスクリーンモードに拡張できます:

- メニューバーの使用

1. **Citrix Viewer** を開きます。
2. メニューバーから [表示] をクリックし、[フルスクリーンにする] を選択して全画面表示を拡張します。

注:

[すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する] を有効にし、[表示] メニューから [フルスクリーンにする] を選択すると、接続されているすべてのディスプレイで一度に、画面をフルスクリーンモードに拡張できます。

- アプリウィンドウの緑色のボタンを使用する

1. **Citrix Viewer** を開きます。

2. Citrix Viewer ウィンドウをドラッグするかサイズ変更して、フルスクリーンモードで使用するモニター上にウィンドウを拡張します。
3. ウィンドウの左上隅にある緑色のボタンにポインターを移動して、表示されるメニューから [フルスクリーンにする] を選択するか、緑色のボタンをクリックします。これによって、画面がウィンドウと交わるモニターまで拡張されるようになりました。

管理者は、ディスプレイの解像度に合わせて、デスクトップセッションの最大ビデオバッファサイズをキロバイト単位で指定する表示メモリの制限ポリシーを編集できます。表示メモリ制限ポリシーのデフォルト値は 65536KB で、最大 2 x 4K モニター (2 x 32400KB) の場合はこれで十分です。ディスプレイ解像度に基づいて 5 台のモニターを使用するには、管理者は、この値を増やす必要があります。**Citrix Studio** > [ポリシー] > [表示メモリの制限] に移動して、[表示メモリの制限] を編集できます。表示メモリ制限ポリシーについて詳しくは、XenApp および XenDesktop ドキュメントの「[表示メモリの制限](#)」セクションを参照してください。

グラフィックパフォーマンスの向上

バージョン 2308 以降では、シームレスアプリセッションのグラフィックのパフォーマンスが向上しています。この機能により、CPU 使用率への負荷も最適化されます。

H.265 ビデオデコーディングのサポート

2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、リモートグラフィックやビデオのハードウェアアクセラレーションで H.265 ビデオコーデック (HEVC) の使用をサポートしています。h.265 ビデオコーデック (HEVC) は、デフォルトで YUV 4:2:0 色空間をサポートしています。H.265 ビデオコーデックが、VDA および Citrix Workspace アプリの両方でサポートされ、かつ有効になっている必要があります。Mac デバイスが VideoToolbox インターフェイスを使用する H.265 デコードをサポートしていない場合、グラフィックポリシー設定の H.265 デコードは無視され、セッションは H.264 ビデオコーデックの使用に戻ります。

前提条件

- 次の GPU を使用する VDA 7.16 以降:
 - NVIDIA Maxwell 世代以降の GPU
 - Intel 第 6 世代以降の GPU
 - AMD Raven 世代以降の GPU
- VDA で **3D** 画像ワークロードの最適化ポリシーが有効になっている。
- VDA でビデオコーデックにハードウェアエンコーディングを使用しますポリシーが有効になっている。

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、この機能がデフォルトで有効になっています。

モバイルデバイス管理 (MDM) を通じてこの機能を無効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
<key>EnableXdecoderForH265</key><false/>
```

変更を保存するには、セッションを再起動します。

注:

HDX Monitor 3.x ツールを実行して、セッション内で H.265 ビデオエンコーダーが有効になっているかを確認します。HDX Monitor 3.x ツールについて詳しくは、Knowledge Center の [CTX135817](#) を参照してください。

最適化された **Microsoft Teams**

February 1, 2024

優先ネットワークインターフェースの構成

2304 バージョン以降、メディアトラフィックの優先ネットワークインターフェースを構成できます。ターミナルで次のコマンドを実行します:

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine NetworkPreference -int <value>
```

必要に応じて、次のいずれかの値を選択します:

- 1: イーサネット
- 2: Wi-Fi
- 3: 携帯ネットワーク
- 4: VPN
- 5: ループバック
- 6: 任意

デフォルトかつ値が設定されていない場合、WebRTC メディアエンジンは利用可能な最適なルートを選択します。

エンコーダーのパフォーマンス見積もりツール

`HdxRtcEngine.exe` は Microsoft Teams のリダイレクトを処理する Citrix Workspace アプリに組み込まれた WebRTC メディアエンジンです。`HdxRtcEngine.exe` は、エンドポイントの CPU が過負荷状態になることなく維持できる最適なエンコーディングの解像度を見積もることができます。使用できる値は、240p、360p、480p、720p、1080p です。

パフォーマンス見積もりプロセスでは、特定のエンドポイントで達成できる最適な解像度を決定するためにマクロブロックコードを利用します。コーデックネゴシエーションには、可能な限り高い解像度が使用されます。コーデックネゴシエーションは、ピア間、またはピアと会議サーバー間で行われることがあります。

エンドポイントには次の 4 つのパフォーマンスカテゴリがあり、それぞれ使用可能な最大解像度が指定されています:

エンドポイントのパフォーマンス	最大解像度	レジストリキー値
Fast	1080p (1920x1080 16:9 @ 30fps)	3
中	720p (1280x720 16:9 @ 30fps)	2
低速	360p (640x360 16:9 @ 30 fps または 640x480 4:3 @ 30 fps)	1
Very slow	240p (320x180 16:9 @ 30 fps または 320x240 4:3 @ 30 fps)	0

ビデオエンコーディングの解像度値を 360p に設定するには、ターミナルから次のコマンドを実行します:

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine OverridePerformance -int 1
```

Microsoft Teams の最適化について詳しくは、「[Microsoft Teams の最適化](#)」を参照してください。

最適化された **Microsoft Teams** ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上

バージョン 2304 以降、最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話に対して、デフォルトでサイマルキャストサポートが有効になっています。このサポートにより、すべての通話が適切な解像度に調整され、最適な通話エクスペリエンスが得られます。この機能により、さまざまなエンドポイント間でのビデオ会議通話の品質とエクスペリエンスが向上します。

この向上したエクスペリエンスにより、各ユーザーは、複数のビデオ ストリームを異なる解像度（720p、360p など）で配信できます。ビデオの解像度は、エンドポイントの機能、ネットワークの状態などのいくつかの要因によって異なります。次に、受信側のエンドポイントは、可能な範囲で最高品質の解像度を要求するため、すべてのユーザーに最適なビデオ体験を提供できます。

注:

この機能は、Microsoft Teams からの更新のロールアウト後にのみ使用できます。ETA については、<https://www.microsoft.com/>にアクセスして、Microsoft 365 ロードマップを検索してください。Microsoft によって更新プログラムがロールアウトされたら、ドキュメントのアップデートおよび発表内容について、[CTX253754](#)を確認することができます。

ビデオ解像度の制限

パフォーマンスの低いクライアントエンドポイントを使用しているユーザーがいる場合、管理者が受信または送信のビデオ解像度を制限して、これらのエンドポイントでのビデオのエンコードおよびデコードへの負担を軽減することができます。Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2304 以降では、クライアント構成オプションを使用してこれらの解像度を制限できます。

注:

Microsoft Teams サーバーでは、すべての会議参加者が最も低いレベルの解像度を使用するよう強制されるため、制限付きの解像度で実行しているユーザーがいると、会議の全体的なビデオ品質に影響を与えます。

Citrix Workspace アプリ 2304 を使用しているクライアントでは、通話の制約はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、管理者がファイルで次のクライアント側の構成をデフォルトのコマンドで設定する必要があります:

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine <Name> -<Type> <Value>
```

名前	種類	固定	許容値
EnableSimulcast	int	はい	1~3 (1 に設定)
MaxOutgoingResolution	int	はい	180、240、360、540、720、1080 (Microsoft Teams でサポートされている解像度)
MaxIncomingResolution	int	はい	180、240、360、540、720、1080 (Microsoft Teams でサポートされている解像度)
MaxIncomingStreams	int	はい	1~8
MaxSimulcastLayers	int	はい	1~3 (1 に設定)
MaxVideoFrameRate	int	いいえ	1~30
MaxScreenShareFrameRate	int	いいえ	1~15

Citrix Optimized Microsoft Teams での背景のぼかしと置き換え

2301 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリの Citrix Optimized Microsoft Teams で、背景のぼかしと背景の置き換えがサポートされるようになりました。この機能を使用するには、会議中または P2P 呼び出し中に **[More] > [Apply Background Effects]** を選択します。

最適化された **Microsoft Teams** 通話のスリープモードの機能強化

以前は、最適化された Microsoft Teams 会議に参加しているときに、マウスまたはキーボードの操作がない場合、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams 画面がスリープモードになることがありました。

バージョン 2305 以降、最適化された Microsoft Teams 会議中にマウスやキーボードの操作がない場合でも、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams の画面はスリープモードになりません。

Microsoft Teams での画面共有の最適化

2012 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Microsoft Teams での画面共有の最適化をサポートします。詳しくは、以下を参照してください：

- [Microsoft Teams の最適化](#)
- [Microsoft Teams リダイレクト](#)

シームレスなアプリセッションのための **Microsoft Teams** 最適化のサポート

2101 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、シームレスなアプリセッションのための Microsoft Teams の最適化をサポートします。その結果、Citrix Workspace アプリ内からアプリケーションとして Microsoft Teams を起動できます。詳しくは、次の記事を参照してください：

- [Microsoft Teams の最適化](#)
- [Microsoft Teams リダイレクト](#)

Microsoft Teams でのデュアルトーンマルチ周波数（DTMF）のサポート

2101 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、テレフォニーシステム（PSTN など）および Microsoft Teams の電話会議でのデュアルトーンマルチ周波数（DTMF）シグナリングの使用をサポートします。この機能はデフォルトで有効になっています。

Desktop Viewer の機能強化

Desktop Viewer がフルスクリーンモードの場合、ユーザーは **Desktop Viewer** がカバーするすべての画面から 1 つを選択して共有できます。ウィンドウモードでは、ユーザーは [**Desktop Viewer**] ウィンドウを共有できます。シームレスモードでは、ユーザーはエンドポイントデバイスに接続されている複数の画面から 1 つの画面を選択できます。

Desktop Viewer がウィンドウモードを変更（最大化、復元、または最小化）すると、画面共有が停止します。

ユーザーが画面を共有したい場合は、使用可能なすべての画面のプレビューが画面共有パネルに表示されます。ユーザーは、プレビューから適切な画面を直感的に選択できます。

Microsoft Teams による H.264 Advanced Video Coding (MPEG-4 AVC) のサポート

2109 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ハードウェアアクセラレーションによる H.264 ビデオエンコードまたはデコードをサポートします。CPU 使用率の負荷が軽減され、ビデオ会議のエクスペリエンスが向上します。Citrix HDX 最適化された Microsoft Teams のマルチメディアエンジン (HdxRtcEngine.exe) は、エンコーディングとデコーディングに Apple の Video Toolbox フレームワークを使用するようになりました。このフレームワークは、ビデオをより高速かつリアルタイムで圧縮および解凍します。また、GPU へのエンコーディングとデコーディングのオフロードが最適化されます。デバイスがサポートしている場合は、ハードウェアアクセラレーションによるビデオのエンコーディングとデコーディングはデフォルトで有効になっています。この機能拡張により、Microsoft Teams が HDX で最適化されている場合、マルチメディアの使用中の CPU の負荷が軽減されます。

動的緊急通報 (Dynamic e911)

2112 バージョン以降、Citrix Workspace アプリは動的な緊急通報をサポートしています。Microsoft 通話プラン、Operator Connect、ダイレクトルーティングで使用すると、以下を実行できます：

- 緊急電話の構成とルーティング
- セキュリティ担当者への通知。

通知は、エンドポイントで実行されている Citrix Workspace アプリの現在の場所に基づいて送信されます。VDA で実行されている Microsoft Teams クライアントに基づいて送信されるわけではありません。Ray Baum 法では、緊急車両を派遣可能な 911 発信者の位置情報を、適切な公衆安全応答ポイント (PSAP) に送信する必要があります。Windows 向け Citrix Workspace アプリ 2112.1 以降、HDX を使用した Microsoft Teams の最適化は Ray Baum 法に準拠しています。この機能について詳しくは、「**Microsoft** 電話システム」セクションの「[ダイナミック e911 のサポート](#)」を参照してください。

Microsoft Teams での制御の要求

2112 バージョン以降、参加者が画面を共有している場合、Microsoft Teams の通話中に制御を要求できます。制御できるようになると、共有画面に対して選択、編集、またはその他の変更を実行できます。

画面が共有されているときに制御を取得するには、Microsoft Teams 画面の上部にある [制御を要求] をクリックします。画面を共有している会議参加者は、要求を許可または拒否できます。入力が完了したら、[制御を停止] をクリックします。

制限事項：

[制御を要求] オプションは、最適化ユーザーと、エンドポイントで実行されているネイティブの Microsoft Teams デスクトップクライアントのユーザーとの間のピアツーピア通話では使用できません。この問題を回避するために、ユーザーは会議に参加して [制御を要求] オプションを使用することができます。

Microsoft Teams の制御を渡すまたは取り戻す

2203.1 バージョン以降、[制御を渡す] ボタンを使用すると、会議に参加しているほかのユーザーに共有画面の制御を渡すことができます。ほかの参加者は、キーボード、マウス、クリップボードの入力を使用して、共有画面を選択および変更できます。自分もほかのユーザーも共有画面を制御できるようになり、いつでも制御を取り戻すことができます。

画面共有セッション中に制御を獲得する場合、参加者は誰でも [制御を要求する] ボタンを使用して制御アクセス権を要求できます。画面共有している人は、その要求を承認または拒否できます。制御権を持つと、共有画面でキーボードやマウスの入力を制御したり、制御を手放して共有制御を停止したりできます。

注:

この機能は、Microsoft Teams から以降の更新がロールアウトされた後のみ使用できます。

Microsoft Teams のマルチウィンドウチャットと会議

2203.1 バージョン以降、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS で HDX による最適化が行われると、Microsoft Teams (1.5.00.5967 以降) でチャットと会議に複数のウィンドウを使用できます。ユーザーは、会話や会議をさまざまな方法でポップアウトできます。ポップアウトウィンドウ機能について詳しくは、Microsoft Office 365 サイトの「[チャットおよび会議用の Microsoft Teams ポップアウトウィンドウ](#)」を参照してください。

古いバージョンの Citrix Workspace アプリまたは VDA を使用している場合、Microsoft は将来シングルウィンドウコードを廃止する予定です。ただし、複数のウィンドウをサポートする VDA/CWA のバージョン (2203 以降) にアップグレードするまで、少なくとも 9 か月の猶予があります。

注:

この機能は、Microsoft Teams から以降の更新がロールアウトされた後のみ使用できます。詳細については、[Microsoft 365 のロードマップ](#)を参照してください。

Microsoft Teams の「コンテンツの共有」機能を使用してアプリを共有

2203.1 バージョン以降、Microsoft Teams の画面共有機能を使用して、個別のアプリケーション、ウィンドウ、または全画面を共有できます。Citrix Virtual Delivery Agent 2109 は、この機能の前提条件です。

特定のアプリケーションを表示するには、会議コントロールの [コンテンツの共有] をクリックして、目的のアプリケーションを選択します。選択したアプリの周囲に赤い境界線が表示された後、通話中のピアはアプリを見ることができます。アプリを最小化すると、Microsoft Teams は共有アプリの最後の画像を表示します。共有を再開するには、ウィンドウを最大化します。

最適化された **Microsoft Teams** の機能強化

最適化された Microsoft Teams で、複数の仮想デスクトップまたはアプリセッションが使用されているときにビデオ機能を使用できるようになりました。

Microsoft Teams の **HDX** 最適化と **App Protection** との互換性

2204 バージョン以降、デリバリーグループに対して App Protection が有効になっている場合、モニターやデスクトップの全面共有は無効になります。Microsoft Teams で [コンテンツを共有] をクリックすると、画面選択メニューから [デスクトップ] オプションが削除されます。VDA が 2109 以降である場合、開いているアプリを共有するために選択できるオプションは [ウィンドウ] だけです。2019 より古い VDA に接続している場合、コンテンツは選択できません。

WebRTC による **SDP** 形式 (**Plan B**) の廃止に関する情報

Citrix は、将来のリリースで WebRTC による現在の SDP 形式 (Plan B) のサポートを廃止する予定です。特定の最適化された Microsoft Teams 機能を引き続き使用するには、Unified Plan をサポートするバージョンの Citrix Workspace アプリを使用する必要があります。

HDX トランスポート

May 16, 2024

Enlightened Data Transport (EDT)

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、デフォルトで EDT が有効になっています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、デフォルトの .ica ファイルに設定された **EDT** 設定を読み取り、適用します。

EDT を無効にするには、ターミナルで次のコマンドを実行します：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas HDXOverUDPAllowed -bool NO
```

Enlightened Data Transport (EDT) での最大転送単位 (**MTU**) 検出

2108 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Enlightened Data Transport (EDT) で最大転送単位 (MTU) 検出をサポートしています。その結果、EDT プロトコルの信頼性と互換性が向上し、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

注:

EDT の MTU 検出は、macOS Big Sur 以降でサポートされています。

ネットワークの輻輳制御の向上

バージョン 2308 以降では、Enlightened Data Transport (EDT) と呼ばれる Citrix 独自のトランスポートプロトコルの機能が強化され、ネットワークの輻輳を効率的に制御できるようになりました。この機能により、データのスループットが向上し遅延が短縮されます。

HDX Reducer をバージョン 4 にアップグレード

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは HDX Reducer V3 をサポートしていました。2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは HDX Reducer V4 をサポートしています。この機能により、通常のセッションに必要なネットワーク帯域幅が削減され、応答時間が短縮されます。

デバイス

February 1, 2024

このセクションでは、次のデバイスの機能サポートについて説明します:

- [オーディオとマイク](#)
- [クライアントドライブマッピング](#)
- [キーボード](#)
- [印刷](#)
- [USB](#)
- [Web カメラ](#)

オーディオとマイク

May 16, 2024

アダプティブオーディオ

アダプティブオーディオを使用すれば、VDA で音質ポリシーを構成する必要はありません。アダプティブオーディオは環境の設定を最適化し、従来のオーディオ圧縮形式を置き換え、優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。詳しくは、「[アダプティブオーディオ](#)」を参照してください。

オーディオエコーキャンセルのサポートの向上

Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートします。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。

クライアント側のマイク入力

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、クライアント側の複数のマイク入力をサポートします。ローカルにインストールされたマイクは、次の目的で使用できます：

- ソフトフォンでの通話や Web 会議などのライブイベント。
- ホストされている録音アプリケーション（ディクテーションプログラムなど）の使用。
- 録画と録音。

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、デジタルディクテーションがサポートされます。

仮想アプリおよびデスクトップセッションでマイクと Web カメラを使用する方法を選択できます。マイクと Web カメラにアクセスの種類を適用するには、[環境設定] の [マイクと **Web** カメラ] の要件に応じて次のいずれかのアクセスの種類を選択します：

- マイクと **Web** カメラを使用する - 接続されている場合は、マイクと Web カメラにアクセスできるようにします。
- マイクと **Web** カメラを使用しない - マイクと Web カメラにアクセスできません。
- 毎回確認する - マイクと Web カメラへのアクセスが必要な場合は、毎回アクセス許可を要求します。

Web カメラの使用時に背景のぼかし効果を適用するには、[**Web** カメラ使用時に背景のぼかし効果をオンにする] を選択します。

複数のオーディオデバイスのサポート

2311 リリース以降の Mac 向け Citrix Workspace アプリは、セッションで使用可能なすべてのローカルオーディオデバイスを名前付きで表示します。また、プラグアンドプレイにも対応しています。

マイクと **Web** カメラのアクセスに関するストアごとの設定

バージョン 2307 以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのマイクと Web カメラへのアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとにマイクと Web カメラへのアクセスを提供できるようになります。

ストアのマイクと Web カメラへのアクセスを有効にするには、[環境設定] > [マイクと **Web** カメラ] を選択する必要があります。[マイクと **Web** カメラ] タブで、ストアとそのストアに必要なアクセスの種類を選択します。

オーディオの音量の同期のサポート

以前は、オーディオの音量コントロールは、Virtual Delivery Agent (VDA) とデバイス間で独立していました。目的の音量を維持するには、両側の音量を調整する必要がありました。また、デバイスでミュートにしている場合は、VDA で音量のミュートを解除することが制限されます。

バージョン 2402 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、VDA とオーディオデバイス間の音量の同期をサポートします。VDA オーディオの音量スライダーを使用して音量を調整して同じ音量をデバイス上でも維持でき、その逆も可能になりました。この機能は、デフォルトで有効になります。

この機能を有効にするには、VDA バージョン 2308 以降を使用する必要があります。詳しくは、Citrix Virtual Apps and Desktops ドキュメントの「[音量の同期](#)」を参照してください。

モバイルデバイス管理 (MDM) を通じてこの機能を無効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
<key>EnableVolumeSync</key><false/>
```

変更を保存するには、セッションを再起動します。

オーディオの損失耐性モード

2402 バージョン以降、Citrix Workspace アプリはオーディオリダイレクトの損失耐性モード (EDT lossy) をサポートします。この機能により、ユーザーが遅延やパケット損失が大きいネットワーク経由で接続している場合に、リアルタイムストリーミングのユーザーエクスペリエンスが向上します。この機能は、デフォルトで有効になります。

この機能を有効にするには、VDA バージョン 2311 以降を使用する必要があります。詳しくは、Citrix Virtual Apps and Desktops ドキュメントの「[損失耐性モードを使用したオーディオのサポート \(Technical Preview\)](#)」を参照してください。

モバイルデバイス管理 (MDM) を通じてこの機能を無効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
<key>EdtUnreliableAllowed</key><false/>
```

変更を保存するには、セッションを再起動します。

クライアントドライブマッピング


February 1, 2024

セッション中、クライアントドライブマッピングにより、ユーザーのハードウェアデバイス上のローカルドライブにアクセスできるようになります。ユーザーのハードウェアデバイスには、CD-ROM ドライブ、DVD、USB メモリスティックなどがあります。サーバー構成でクライアントドライブマッピングが許可されている場合、ローカルに保存されているファイルにアクセスして、セッション中にそれらのファイルで作業を行うことができます。ローカルドライブまたはサーバー上のドライブに、それらを保存することもできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ユーザーデバイスでユーザーのハードウェアデバイスが通常マウントされているディレクトリを監視します。これによって、セッション内で追加した新しいデバイスが、サーバーで使用可能な最初のドライブ文字に自動的にマップされます。

ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリの [環境設定] を使用して、マップされたドライブに対する読み取りと書き込みアクセスを制御できます。

マップされたドライブの読み取りと書き込みアクセスを制御するには

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリのホームページで  のアイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
2. [ファイルアクセス] をクリックします。
3. 以下のいずれかのアクセスレベルを選択します：
 - 読み出し/書き込み
 - 読み取り専用
 - アクセスなし
 - 毎回確認する
4. 変更内容を適用するには、既存のセッションからログオフして、再接続します。

キーボード

May 16, 2024

キーボードレイアウトの同期

キーボードレイアウトの同期によって、クライアントデバイスの優先キーボードレイアウトを切り替えることができます。この機能はデフォルトでは無効になっています。この機能を有効にすると、クライアントのキーボードレイアウトが仮想アプリおよび仮想デスクトップのセッションに自動的に同期されます。

キーボードレイアウトの同期を有効にするには、[環境設定] > [キーボード] に移動し、「リモートサーバーのキーボードレイアウトではなくローカルのレイアウトを使用する」を選択します。

注:

1. ローカルキーボードレイアウトオプションで、クライアント IME (Input Method Editor) を有効にします。日本語、中国語、韓国語を使用しているユーザーは、サーバー IME を使用できます。その場合、[環境設定] > [キーボード] のチェックボックスをオフにして、ローカルキーボードレイアウトオプションを無効にする必要があります。次のセッションに接続すると、セッションは、リモートサーバーで指定されたキーボードレイアウトに戻ります。
2. この機能は、クライアントでスイッチがオンになっていて、VDA で対応する機能が有効になっている場合にのみセッションで有効になります。[デバイス] > [キーボード] > [インターナショナル] に項目 [クライアントのキーボードレイアウトを使用する] が追加され、有効な状態であることが表示されます。

バージョン 2210 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは次の 3 つの異なるキーボードレイアウトの同期モードをサポートします:

- セッション起動時に **1** 回だけ同期する - **Config**ファイルの CTXIME 値に応じて、セッション起動時にクライアントのキーボードレイアウトをサーバーに同期します。セッション中にクライアントのキーボードレイアウトに加えた変更は、すぐに有効になりません。変更を適用するには、アプリからサインアウトしてサインインし直します。[セッション起動時に 1 回だけ同期する] モードは、Mac 上の Citrix Workspace アプリのデフォルトのキーボードレイアウトです。
- 動的な同期を許可する - このオプションは、クライアントのキーボードレイアウトを変更したときに、クライアントのキーボードレイアウトをサーバーに同期します。
- 同期させない - クライアントがサーバーのキーボードレイアウトを使用することを示します。

前提条件

- Windows VDA の Unicode キーボードレイアウトマッピング機能を有効にします。詳しくは、Knowledge Center の[CTX226335](#)を参照してください。
- Linux VDA の動的なキーボードレイアウトの同期機能を有効にします。詳しくは、「[動的なキーボードレイアウトの同期](#)」を参照してください。
- Windows Server 2016 または Windows Server 2019 を使用している場合、**HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix** レジストリパスに移動し、キー名 **DisableKeyboardSync** の **DWORD** 値を追加して値を **0** に設定します。

キーボードレイアウトの構成

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、3 つの異なるキーボードレイアウトの同期モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボードレイアウトの同期を構成するには:

1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

[キーボードレイアウトの同期設定] が開きます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します：

- セッション起動時に **1** 回だけ同期する - セッション起動時に **1** 度のみキーボードレイアウトが VDA に同期されます。Unicode キーボード入力モードは、[セッション起動時に 1 回だけ同期する] で推奨されるオプションです。
- 動的な同期を許可する - セッション内でクライアントキーボードが変更されると、キーボードレイアウトは VDA に動的に同期されます。Unicode キーボード入力モードは、[動的な同期を許可する] モードで推奨されるオプションです。
- 同期しない - クライアントで選択されているキーボードレイアウトに関係なく、クライアントがサーバー上に存在するキーボードレイアウトを使用することを示します。スキャンコードキーボード入力モードは、[同期しない] モードで推奨されるオプションです。[同期しない] オプションを Unicode に設定する場合は、クライアントのキーボードレイアウトが VDA 側のキーボードレイアウトと同じであることを確認する必要があります。

制限事項

- この機能を使用している間は、「**Mac** でサポートされているキーボードレイアウト」に記載されているキーボードレイアウトを使用できます。クライアントのキーボードレイアウトを互換性のないレイアウトに変更すると、VDA 側でレイアウトが同期される可能性はありますが、機能を使用できない場合があります。
- 管理者権限で実行しているリモートアプリは、クライアントのキーボードレイアウトと同期することはできません。この問題を解決するには、VDA でキーボードレイアウトを手動で変更するか、UAC を無効にします。
- ユーザーが RDP セッション内で作業している場合、RDP がアプリとして展開されていると、**Alt + Shift** ショートカットを使用してキーボードレイアウトを変更することはできません。回避策としては、RDP セッションの言語バーを使用して、キーボードレイアウトを切り替えることができます。

Windows VDA でのキーボードレイアウトのサポート

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	ABC	すべて
英語	ABC - インド	すべて
英語	U.S.	すべて
英語	U.S. インターナショナル - PC	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	Dvorak	すべて
英語	Dvorak - 左利き用	すべて
英語	Dvorak - 右利き用	すべて
英語	イギリス向け	すべて
英語	イギリス向け - PC	すべて
英語	英語 (カナダ)	すべて
英語	オーストラリア向け	すべて
英語	アイルランド語	すべて
フランス語	フランス語	すべて
フランス語	フランス語 - 数字	すべて
フランス語	フランス語 (カナダ) - CSA	11、12
フランス語	カナダ-CSA	13
フランス語	フランス語 (スイス)	すべて
フランス語	フランス語 - PC	すべて
ドイツ語	ドイツ語	すべて
ドイツ語	オーストリア語	すべて
ドイツ語	ドイツ語 (スイス)	すべて
スペイン語	スペイン語	すべて
スペイン語	スペイン語 - ISO	10、11
スペイン語	スペイン語-レガシー	12、13
スペイン語	中南米言語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語-レガシー	12、13
スウェーデン語	スウェーデン語 - Pro	10、11
チェコ語	チェコ語	すべて
デンマーク語	デンマーク語	すべて
フィンランド語	フィンランド語	すべて
ハンガリー語	ハンガリー語	すべて
イタリア語	イタリア語	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
イタリア語	イタリア語 - タイプライター	10、11
イタリア語	イタリア語-QZERTY	12、13
ギリシャ語	ギリシャ語	すべて
オランダ語	ベルギー言語	すべて
オランダ語	オランダ語	すべて
ロシア語	ロシア語	すべて
ロシア語	ロシア語 - PC	すべて
クロアチア語	クロアチア語 - PC	すべて
スロバキア語	スロバキア語	すべて
スロバキア語	スロバキア語 - QWERTY	すべて
トルコ語	トルコ語 F	すべて
トルコ語	トルコ語 Q	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - ABNT2	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け-レガシー	12、13
ポルトガル語	ブラジル向け - Pro	10、11
ポルトガル語	ポルトガル語	すべて
ウクライナ語	ウクライナ語 - PC	10、11
ウクライナ語	ウクライナ語	12、13
ベラルーシ語	ベラルーシ語	すべて
スロベニア語	スロベニア語	すべて
エストニア語	エストニア語	すべて
ラトビア語	ラトビア語	すべて
ポーランド語	ポーランド語 - Pro	10、11
ポーランド語	ポーランド語	12、13
アイスランド語	アイスランド語	すべて
ノルウェー語	ノルウェー語	すべて
日本語	カタカナ	すべて
日本語	半角カタカナ	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
日本語	ローマ字	すべて
日本語	全角ローマ字	すべて
日本語	ひらがな	すべて
日本語	英数字 (Google)	すべて
日本語	ひらがな (Google)	すべて
日本語	カタカナ (Google)	すべて
日本語	半角カタカナ (Google)	すべて
日本語	全角英数字 (Google)	すべて
韓国語	韓国語 (2-Set)	すべて
中国語 (簡体字)	Pinyin - 簡体字	すべて
中国語 (簡体字)	Sogou pinyin	すべて
中国語 (繁体字)	Pinyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Cangjie - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Zhuyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Sucheng - 繁体字	すべて

Linux VDA、スイス (フランス語) のキーボード レイアウトのサポート

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	ABC	すべて
英語	ABC - インド	すべて
英語	U.S.	すべて
英語	U.S. インターナショナル - PC	すべて
英語	Dvorak	すべて
英語	Dvorak - 左利き用	すべて
英語	Dvorak - 右利き用	すべて
英語	イギリス向け	すべて
英語	イギリス向け - PC	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	英語 (カナダ)	すべて
英語	オーストラリア向け	すべて
英語	アイルランド語	すべて
フランス語	フランス語	すべて
フランス語	フランス語 - 数字	すべて
フランス語	フランス語 (カナダ) - CSA	11、12
フランス語	カナダ-CSA	13
フランス語	フランス語 (スイス)	すべて
フランス語	フランス語 - PC	すべて
ドイツ語	ドイツ語	すべて
ドイツ語	オーストリア語	すべて
ドイツ語	ドイツ語 (スイス)	すべて
スペイン語	スペイン語	すべて
スペイン語	スペイン語 - ISO	10、11
スペイン語	スペイン語-レガシー	12、13
スペイン語	中南米言語	すべて
ブルガリア語	ブルガリア語	10、11、12
ブルガリア語	ブルガリア語-標準	13
スウェーデン語	スウェーデン語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語-レガシー	12、13
スウェーデン語	スウェーデン語 - Pro	10、11
チェコ語	チェコ語	すべて
デンマーク語	デンマーク語	すべて
フィンランド語	フィンランド語	すべて
ハンガリー語	ハンガリー語	すべて
イタリア語	イタリア語	すべて
イタリア語	イタリア語 - タイプライター	10、11
イタリア語	イタリア語-QZERTY	12、13
ギリシャ語	ギリシャ語	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
ベルギー言語	ベルギー言語	すべて
オランダ語	オランダ語	すべて
ルーマニア語	ルーマニア語 - 標準	すべて
ロシア語	ロシア語	すべて
ロシア語	ロシア語 - PC	すべて
クロアチア語	クロアチア語 - PC	すべて
スロバキア語	スロバキア語	すべて
スロバキア語	スロバキア語 - QWERTY	すべて
トルコ語	トルコ語 F	すべて
トルコ語	トルコ語 Q	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - ABNT2	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け-レガシー	12、13
ポルトガル語	ブラジル向け - Pro	10、11
ポルトガル語	ポルトガル語	すべて
ウクライナ語	ウクライナ語 - PC	10、11
ウクライナ語	ウクライナ語	12、13
ベラルーシ語	ベラルーシ語	すべて
スロベニア語	スロベニア語	すべて
エストニア語	エストニア語	すべて
ポーランド語	ポーランド語 - Pro	10、11
ポーランド語	ポーランド語	12、13
アイスランド語	アイスランド語	すべて
ノルウェー語	ノルウェー語	すべて
日本語	カタカナ	すべて
日本語	半角カタカナ	すべて
日本語	ローマ字	すべて
日本語	全角ローマ字	すべて
日本語	ひらがな	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
日本語	英数字 (Google)	すべて
日本語	ひらがな (Google)	すべて
日本語	カタカナ (Google)	すべて
日本語	半角カタカナ (Google)	すべて
日本語	全角英数字 (Google)	すべて
韓国語	韓国語 (2-Set)	すべて
中国語 (簡体字)	Pinyin - 簡体字	すべて
中国語 (簡体字)	Sogou pinyin	すべて
中国語 (繁体字)	Pinyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Cangjie - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Zhuyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Sucheng - 繁体字	すべて

デフォルトでは、キーボードレイアウトの同期機能はオンになっています。この機能のみを制御するには、**Config** ファイル(~/Library/Application Support/Citrix Receiver/フォルダー)を開いて、「**EnableIMEEnhancement**」設定で値を「true」(有効)または「false」(無効)にします。

注:

セッションの再起動後に設定の変更が有効になります。

キーボード入力モードの機能強化

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、キーボード入力モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボード入力モードを構成するには、次の手順を実行します:

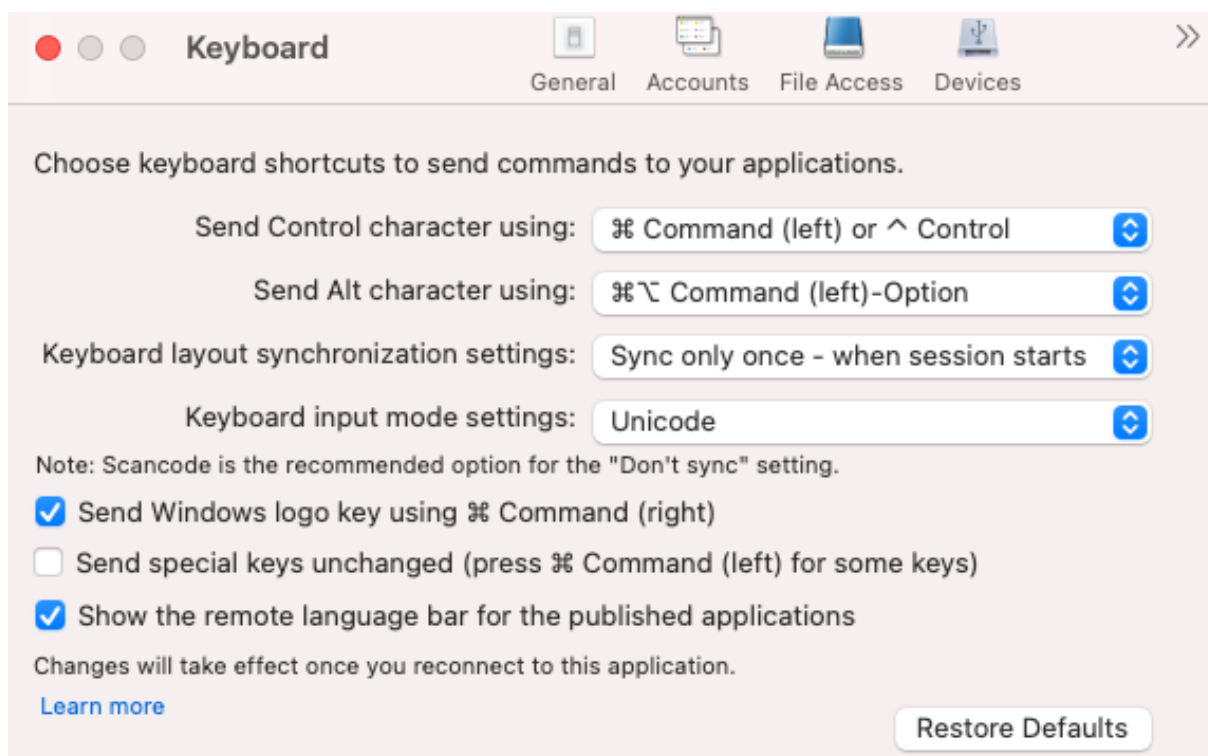
1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

キーボード入力モード設定が表示されます

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- [スキャンコード] - クライアント側のキーボードから VDA にキー位置を送信し、VDA が対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトを適用します。
- [Unicode] - クライアント側のキーボードから VDA にキーを送信し、VDA は同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトを適用します。

この拡張機能は、デフォルトで有効になっています。



たとえば、US インターナショナルキーボードレイアウトを使用しているときに、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用しているシナリオを想定してみます。[スキャンコード] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、スキャンコード「1E」が VDA に送信されます。次に、VDA は「1E」を使用して文字「ф」を表示します。[Unicode] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、文字「a」が VDA に送信されます。そのため、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字「a」が画面に表示されます。

さまざまなキーボードレイアウト同期オプションについて、Citrix では、次のキーボード入力モードをお勧めします。

- [同期しない] オプションの場合、スキャンコードモード。
- [動的な同期を許可する] および [セッション起動時に 1 回だけ同期する] の場合、Unicode モード

注:

アプリケーションに再接続すると、キーボード構成の変更が有効になります。

Citrix Workspace アプリの UI でキーボード入力モードの構成を変更できます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、さまざまなシナリオ、物理キーボード、およびクライアントデバイスに Citrix の推奨モードを使用してください。

言語バー

GUI を使用して、アプリケーションセッションでリモート言語バーを表示または非表示にすることができます。言語バーには、セッションで優先される入力言語が表示されます。以前のリリースでは、VDA のレジストリキーを使用することによってのみ、この設定を変更できました。Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 1808 以降では、[環境設定] ダイアログを使用して変更できます。言語バーは、デフォルトでセッションに表示されます。

注:

この機能は、VDA 7.17 以降で動作するセッションで使用できます。

リモート言語バーの表示または非表示を構成する

1. [環境設定] を開きます。
2. [キーボード] をクリックします。
3. [公開アプリケーションのリモート言語バーを表示する] をオンまたはオフにします。

注:

設定の変更は直ちに有効になります。アクティブなセッションの設定を変更できます。入力言語が 1 つだけの場合、リモート言語バーはセッションに表示されません。

さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート

バージョン 2304 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のレイアウトまたは IME (Input Method Editor) のキーボードレイアウトの同期をサポートします。

- 英語 (ABC)
- 英語 (ABC) - インド
- 中国語 (繁体字、Zhuyin) - 繁体字
- 中国語 (繁体字、Sucheng) - 繁体字
- 日本語 (Google IME)
- 中国語 (Sogou IME)

英語以外の **IME (Input Method Editor)** キーボードレイアウトのサポート

英語以外の言語の IME キーボードレイアウトのサポートは、Carbon API が Cocoa API で廃止された後も引き続き中断されることなく機能します。

Windows 特殊キー

Mac 向け Citrix Workspace アプリには、Mac キーボードで Windows アプリケーションのファンクションキーなどの特殊キーを簡単に使用するためのオプションが多数用意されています。[キーボード] タブでは、必要に応じて以下のオプションを選択できます：

- **[Ctrl キー用のショートカット:]** は、セッション内で Ctrl キーと文字キーの組み合わせとして使用する Mac キーボードの組み合わせを指定します。ここで [⌘ (command) または ^ (control)] を選択すると、使い慣れた command+ 文字キーの Mac ショートカットを Windows の Ctrl+ 文字キーとして使用できます。[^ (control)] を選択すると、control+ 文字キーを Ctrl+ 文字キーとして使用できます。
- **[Alt キー用のショートカット:]** は、セッション内で、Alt キーとして使用する Mac キーボードのキーを指定します。ここで [⌘⌥ (command+option)] を選択すると、Mac キーボードの command+option+ 文字キーを、Windows の Alt+ 文字キーの組み合わせとして使用できます。[⌘ (command)] を選択すると、command キーを Alt キーとして使用できます。
- **[Windows ロゴキーとして右側の ⌘ (command) を使用する]**：を選択すると、キーボードの右側にある command キーを Windows ロゴキーとして使用できます。このオプションが無効な場合、右側の command キーは左側の command キーと同じように動作します。この場合、Windows ロゴキーを使用するには、[キーボード] メニューを使用します ([キーボード] > [Windows ショートカットを送信] > [スタート])。
- **[特殊キーをそのまま送信する]**：を使用すると、特殊キーの変換が無効になり、キーボードの操作がそのままセッションに送信されます。たとえば、option キーとテンキーの 1 キーを一緒に押すと、セッションでは F1 キーに変換されます。この動作を変更し、セッションでは 1 キーとして処理されるように設定できます。そのためには、[特殊キーをそのまま送信する] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスはデフォルトでオフになっており、option+1 キーは F1 キーに変換されます。

ファンクションキーやそのほかの特殊キーをセッション内で使用するとき、[キーボード] メニューを使用することもできます。

テンキーが付属しているキーボードでは、さらに以下のキー操作を使用できます：

PC キー	Mac キー操作
挿入	テンキーの 0 (ゼロ) キー。Num Lock をオフにする必要があります。 clear キーを使ってこれをオンまたはオフにすることができます。option+help
削除	テンキーの小数点キー。Num Lock をオフにする必要があります。 clear キーを使ってこれをオンまたはオフにすることができます。clear
F1 から F9	option+1~9 (テンキー)
F10	option+0 (テンキー)
F11	option+ テンキーの負符号 (-) キー

PC キー

Mac キー操作

F12

option+ テンキーの正符号 (+) キー

Windows のショートカットやキーの組み合わせ

Mac キーボードからのキーの組み合わせ（著作権記号「©」を入力する option+G キーなど）は、リモートセッションでも正しく処理されます。ただし、セッション中の一部のキー操作は、リモートのアプリケーションやデスクトップで処理されません。Mac オペレーティングシステム側で処理されます。この場合、そのキー操作により Mac オペレーティングシステムの機能がトリガーされます。

また、セッションで Ins など一部の Windows キーを使用しようと思っても、通常の Mac キーボードにこれらのキーはありません。Windows 8 では、チャームやアプリコマンドを表示したり、アプリのスナップや切り替えを行ったりするための専用のショートカットがあります。Mac キーボードでは、これらのショートカットを使用できません。ただし、[キーボード] メニューを使用してリモートデスクトップやアプリケーションに送信できます。

キーボードやキー操作の構成は、デバイスにより大きく異なることがあります。このため、Mac 向け Citrix Workspace アプリには、セッション内のアプリケーションやデスクトップにキー操作を正しく転送するためのオプションが用意されています。これらのキー操作については、下の表を参照してください。ここで示されているのは、デフォルトの動作です。Citrix Workspace アプリやそのほかの設定でデフォルト値を変更すると、異なるキー操作が送信されてリモート PC アクセスにおける動作が異なる場合があります。

重要

新しい Mac キーボードでは、下の表に示す一部のキーの組み合わせを使用できない場合があります。この場合、これらのキー操作をセッションで使用するには、[キーボード] メニューを使用します。

下の表について、以下の点に注意してください：

- Mac キーボードの特殊キーは小文字で示します（ファンクションキーを除く control、command、option など）。また、英字キーは大文字で表記されていますが、Shift キーを同時に押すという意味ではありません。
- キー名の間のプラス記号 (+) は、それらのキーを同時に押すことを示します（control+C など）。
- 文字キーはテキスト入力を作成し、英数字と句読点のすべてを含みます。特殊キーは単独ではテキスト入力を作成せず、修飾キーや制御キーとして機能します。Ctrl (control)、Alt、Shift (shift)、command、option、方向キー、およびファンクションキーが含まれます。
- 使用するメニューは、そのセッションの Citrix Viewer メニューを指します。
- ユーザーデバイスの構成によっては、一部のキーの組み合わせが意図したとおりに機能しない場合があります。この場合、その代替操作を示します。
- fn キーは Mac キーボードの修飾キーのうちの 1 つで、F1~F12 キーは PC または Mac キーボードの各ファンクションキーに相当します。

Windows キー	Mac の場合
Alt+characterキー	Command-Option-characterキー (例: Alt-Cを送信するにはCommand-Option-Cを使用します)
Alt+specialキー	Option-specialキー (例: Option-Tab)、 Command-Option-specialキー (例: Command-Option-Tab)
Ctrl+characterキー	Command-characterキー (例: Command-C)、 Control-characterキー (例: Control-C)
Ctrl+specialキー	Control-specialキー (例: Control-F4)、 Command-specialキー (例: Command-F4)
Ctrl/Alt/Shift/Windows logo + functionキー	[キーボード] メニューの [ファンクションキーを送信] を選択 > Control/Alt/Shift/Command- Functionキー
Ctrl+Alt	Control-Option-Command
Ctrl+Alt+Delete	Control-Option-Fn-Command-Delete 。 [キーボード] メニューの [Ctrl+Alt+Delを送信] を 選択
Delete	Delete。 [キーボード] メニューの [キーを送信] > [削除]。 Fn-Backspace (一部の US キーボードで はFn-Delete)
End	End、Fn-Right Arrow
Esc	Escape。 [キーボード] メニューの [キーを送信] > [Esc]
F1からF12	F1からF12。 [キーボード] メニューの [ファンクシ ョンキーを送信] > [F1] から [F12]
Home	Home、Fn-Left Arrow
Insert	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Ins]
Num Lock	Clear
Page Down	Page Down、Fn-Down Arrow
Page Up	Page Up、Fn-Up Arrow
Spacebar	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [スペース]
Tab	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Tab]

Windows キー	Mac の場合
Windows logo	Command (右側) キー (デフォルトのキーボード設定)。[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [スタート]
チャームを表示するキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [チャーム]
アプリコマンドを表示するキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [アプリコマンド]
アプリをスナップするキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [スナップ]
アプリを切り替えるキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [アプリの切り替え]

IME (Input Method Editor) と国際キーボードレイアウトの使用

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーデバイス (クライアント) 側またはサーバー側の IME (Input Method Editor) を使用できます。

クライアント側 IME が有効な場合、ユーザーが入力する文字列は、別ウィンドウではなく入力ポイントに直接入力されます。

また、Mac 向け Citrix Workspace アプリで使用するキーボードレイアウトを選択することもできます。

クライアント側の **IME** を有効にするには

1. [Citrix Viewer] メニューバーで、[キーボード] > [国際キーボード] > [クライアント **IME** を使用] を選択します。
2. サーバー側の IME が直接入力モードまたは半角英数モードになっていることを確認します。
3. Mac 側の IME (入力プログラム) を使用して文字列を入力します。

IME 入力時の確定前文字列の挿入ポイント (*) を表示するには

- [Citrix Viewer] メニューバーで、[キーボード] > [国際キーボード] > [変換中マークを使用] を選択します。

サーバー側の **IME** を使用するには

- クライアント側の IME が半角英数モードになっていることを確認します。

サーバー側 **IME** の入力モードキーの割り当て

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、サーバー側の Windows IME で入力モードを切り替えるときに使用するキーが、特定の Mac キーボードに割り当てられます。次の表は、サーバー側のシステムロケールの設定と、Mac キーボードの **option** キーに割り当てられる Windows IME の入力モードキーを示しています：

サーバー側システムロケール	サーバー側 IME の入力モードキー
日本語	漢字キー（日本語キーボードの Alt + 半角/全角）
韓国語	右 Alt キー（韓国語キーボードのハングル/英語切り替え）

国際キーボードレイアウトを使用するには

- クライアント側およびサーバー側で、サーバー側のデフォルトの入力言語と同じキーボードレイアウトが設定されていることを確認してください。

デフォルトのキーボード設定の復元

Citrix Workspace アプリでキーボード設定を変更していた場合、デフォルトのキーボード設定を復元できるようになりました。キーボード設定をデフォルト値に戻すには、Citrix Workspace アプリを開いて [環境設定] > [キーボード] に移動します。次に、[デフォルトに戻す] をクリックし、[はい] をクリックして確認します。

キーボード設定からの国際メニューの廃止

以前は、[デバイス] > [キーボード] > [国際] に移動して、Citrix Viewer で [クライアント **IME** を使用]、[変換中マークを使用]、および [クライアントのキーボードレイアウトを使用する] 機能を有効または無効にすることができました。

バージョン 2311 以降、Citrix Viewer のキーボード設定の国際メニューは非推奨になりました。このバージョンから、クライアント側の IME がデフォルトで有効になります。

HDX デスクトップセッションでのシステムショートカットのサポート

以前は、**Option + Command + ESC**、**Command + Space** バー、**Command + Tab**、**Control + Command + Q**、**Shift + Command + Q**、**Control + 上/下/左/右**などのシステムのキーボードショートカットは、最初に macOS で使用されていたため、macOS ローカルでのみ機能していました。

バージョン 2402 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ウィンドウモードと全画面モードで macOS システムがキーボードショートカットを VDA (HDX セッション) に送信することをサポートします。この機能を使用すると、システムショートカットを macOS ローカルで、またはウィンドウモードまたは全画面モードの HDX デスクトップセッションで有効にする方法を設定できます。

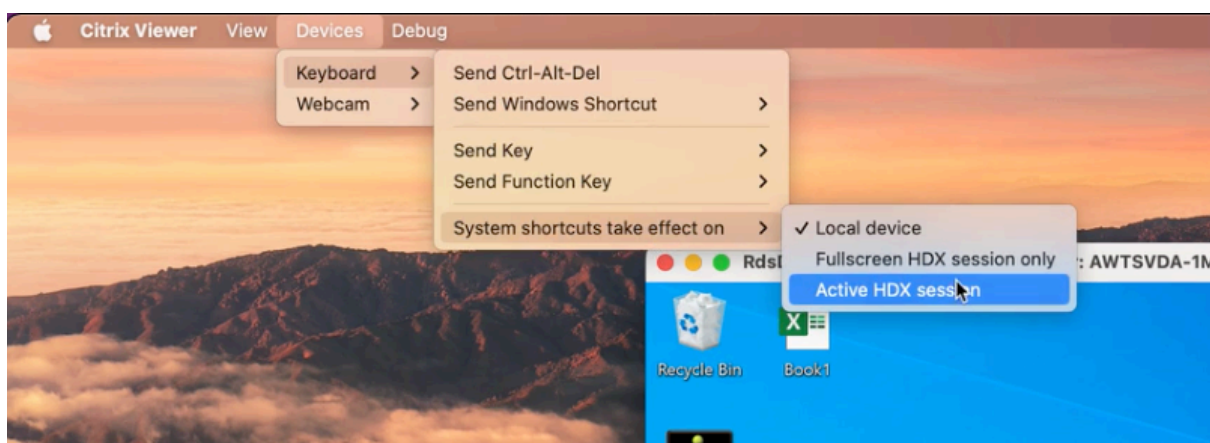
キーボード設定の次のオプションを使用すると、システムショートカットを制御できます：

- ローカル デバイス：システムショートカットは、macOS でのみローカルで有効になります。HDX セッションには影響しません。ローカルデバイスオプションがデフォルトのオプションです。
- 全画面 **HDX** セッションのみ：システムショートカットは、セッションが全画面モードのときに HDX セッションで機能します。セッションがウィンドウモードの場合、またはアクティブなセッションがない場合、システムショートカットは HDX セッションに影響しません。
- アクティブな **HDX** セッション：セッションがウィンドウモードおよび全画面モードの場合、システムショートカットは HDX セッションで機能します。アクティブな HDX セッションがない場合、または前面にアクティブなセッションウィンドウがない場合、システムショートカットはローカルの macOS でのみ有効になります。

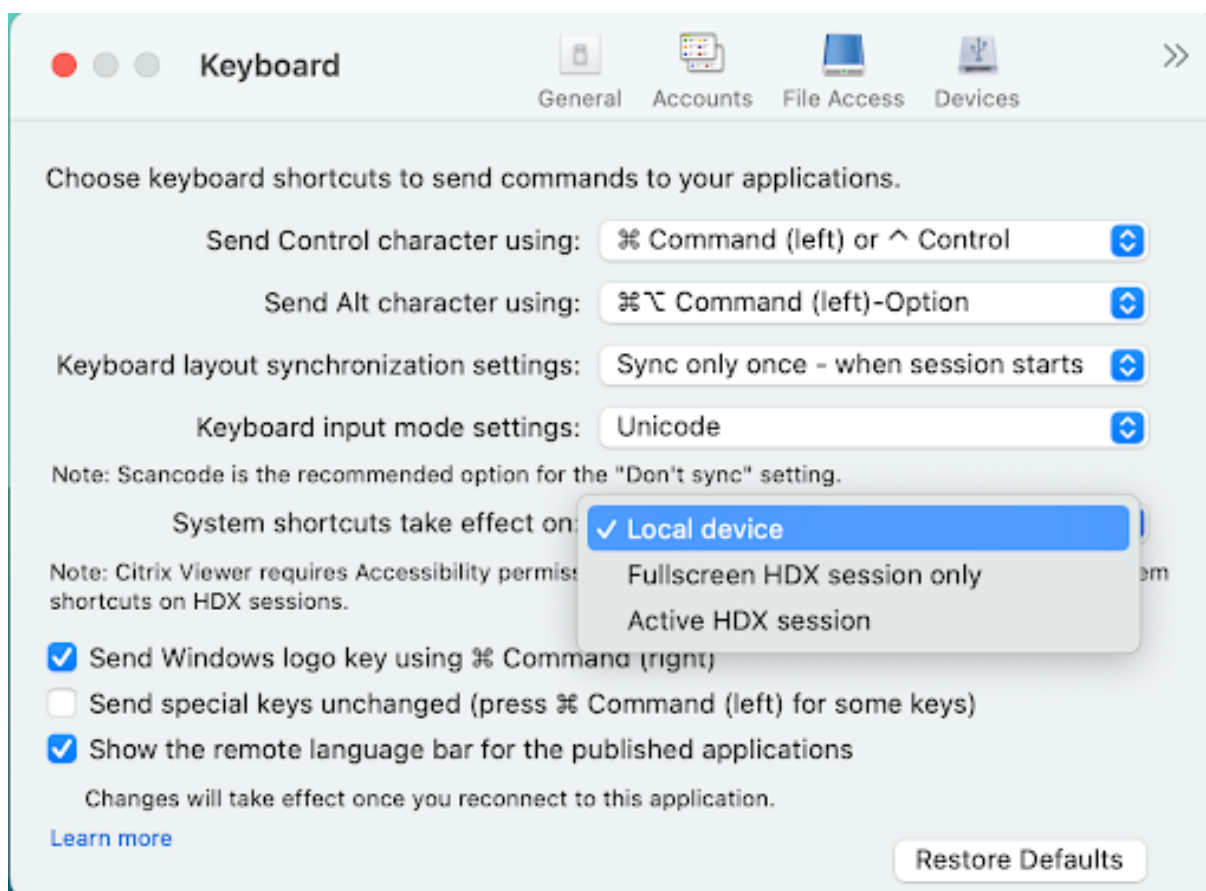
システムショートカットを HDX セッションで有効にするには、HDX セッションを開きます。**Citrix Viewer** メニューバーで、[デバイス] > [キーボード] > [システムショートカットを有効にする] に移動し、[全画面 **HDX** セッションのみ] または [アクティブな **HDX** セッション] を選択します。

注：

HDX セッションのシステムショートカットを有効にすると、この機能を使用するために Citrix Viewer へのアクセシビリティアクセスを提供するように求められます。**Citrix Viewer** へのアクセシビリティアクセスを提供するには、ダイアログボックスで [システム設定を開く] をクリックし、**Citrix Viewer** へのアクセシビリティアクセスを有効にします。詳しくは、Apple サポート記事の「[アクセシビリティアプリに Mac へのアクセスを許可する](#)」を参照してください。



または、[環境設定] > [キーボード] に移動して、システムショートカットを HDX セッションの全画面またはウィンドウモードで有効にすることもできます。[システムショートカットを有効にする] ドロップダウンメニューから、[全画面 **HDX** セッションのみ] または [アクティブな **HDX** セッション] オプションを選択します。



印刷

February 1, 2024

2203.1 リリース以降、Mac デバイスから印刷するときに PDF ユニバーサル印刷を使用できるようになりました。PDF ユニバーサル印刷を選択した場合、ユニバーサル印刷ドライバーを使用してプリンターを自動作成するときに、HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバーをインストールする必要がなくなりました。

PostScript 印刷

デフォルトでは、自動的にリダイレクトされたクライアントプリンターは、PostScript をサポートする Citrix UPD を使用して作成されます。

詳しくは、サポート記事 [CTX296662](#) を参照してください。

ユニバーサル印刷ドライバーの優先度、ユニバーサル印刷の使用、およびクライアントプリンターのリダイレクトがすべてデフォルトに設定されていることを確認します。また、VDA に HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドラ






イバーがインストールされていることを確認してください。

ドライバーのインストールについて詳しくは、サポート記事[CTX140208](#)を参照してください。

PDF ユニバーサル印刷

前提条件:

- Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2112 以降 - Mac 向け Citrix Workspace アプリの PDF 印刷ストリームの使用を有効にします。
- Citrix Virtual Apps and Desktops バージョン 2112 以降 - 自動作成されたクライアントプリンターの PDF ユニバーサル印刷を有効にします。
- Citrix Studio または Web コンソールでクライアントプリンターのリダイレクトポリシーを有効にします。

	> Auto-create PDF Universal Printer User setting - ICA\Printing\Client Printers Enabled (Default: Disabled)	Edit	Unselect
	> Auto-create client printers User setting - ICA\Printing\Client Printers Auto-create all client printers (Default: Auto-create all client printers)	Edit	Unselect
	> Client printer redirection User setting - ICA\Printing Allowed (Default: Allowed)	Edit	Unselect
	> Universal driver preference **** User setting - ICA\Printing\Drivers EMF,XPS,PCL5c,PCL4,PDF,PS (Default: EMF;XPS;PCL5c;PCL4;PS)	Edit	Unselect
	> Universal print driver usage User setting - ICA\Printing\Drivers Use universal printing only if requested driver is unavailable (Default: Use u...	Edit	Unselect

**** "PDF" needs to be added manually if absent from the Universal Driver Preference policy

次のオプションのいずれかまたは両方を構成すると、PDF で印刷できます:

1. 各セッションで作成された単一の PDF ユニバーサルプリンターを提供します。
2. 通常の自動作成プリンターには UPD を使用します。

各セッションで作成された単一の **PDF** ユニバーサルプリンターを提供

Mac クライアントまたはその他の PDF 対応クライアントエンドポイントからのセッションで **PDF** ユニバーサルプリンターの作成を有効にするには、Citrix Studio または Web コンソールに移動し、**PDF** ユニバーサルプリンターを自動作成するポリシーを有効にします。

ポリシーを有効にすると、セッションで PDF ユニバーサルプリンターが作成されます。プリンターは **Citrix PDF** プリンターと呼ばれます。

このプリンターをセッションで使用して、クライアントに配信する PDF 出力を生成します。また、PDF 出力をエンドポイント上のデフォルトの PDF 処理アプリケーションに送信します。macOS クライアントの場合、この PDF 処理アプリケーションは通常、組み込みのプレビューアプリケーションですが、Adobe Acrobat Reader などの登録済みの PDF 処理アプリケーションの場合もあります。

通常の自動作成プリンターに **UPD** を使用

セッション内でリダイレクトされたすべてのクライアントプリンターに対して PDF ユニバーサル印刷を有効にするには、Mac クライアントから Citrix Studio または Web コンソールにアクセスします。次に、優先度の一覧内で **PS** の前に **PDF** メタファイル形式を配置するようにユニバーサル印刷ドライバーの優先度ポリシーを構成します。

この構成後、自動的に作成されたプリンターのホスト上の HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバーが Citrix PDF ユニバーサルドライバーに置き換えられます。自動的に作成されたプリンターは、Mac クライアントで PDF を印刷できるユニバーサルドライバーを使用します。

自動作成されたプリンターの 1 つをセッションで使用する場合、PDF が印刷ジョブの中間形式になります。ただし、印刷は、選択したクライアント接続プリンターから直接出力されます。

USB

February 1, 2024

USB リダイレクト

HDX USB デバイスリダイレクト機能を使用すると、USB デバイスのクライアント側へのリダイレクトおよびクライアント側からのリダイレクトが有効になります。ユーザーがデスクトップでホストされるアプリケーションや仮想デスクトップを使用しているときに、ローカルのユーザーデバイスに装着したフラッシュドライブにアクセスできるようになります。

セッション中、ユーザーは画像転送プロトコル (PTP) デバイスなどのデバイスを接続して使用できます。例:

- デジタルカメラ、デジタルオーディオプレーヤーやポータブルメディアプレーヤーなどのメディア転送プロトコル (MTP) デバイス。
- POS (Point-Of-Sale) デバイス、3D SpaceMouse、スキャナー、署名パッドなどのデバイス。

注:

デスクトップでホストされるアプリケーションのセッションでは、ダブルホップ USB はサポートされません。

USB リダイレクトは、次のデバイスで使用できます:

- Windows
- Linux
- Mac

USB リダイレクトのデフォルトでは、特定のクラスの USB デバイスでのみ許可され、ほかのクラスのデバイスはリダイレクトされません。仮想デスクトップで使用可能な USB デバイスの種類を制限するには、リダイレクトがサポートされている USB デバイスの一覧を更新します。詳しくは、このセクションの後半で説明します。

ヒント

ユーザーデバイスとサーバーとの間でセキュリティを分離する必要がある場合は、避けるべき USB デバイスの種類についてユーザーに通知するようにしてください。

一般的な USB デバイスをリダイレクトするための仮想チャンネルが最適化されており、WAN 接続でも良好なパフォーマンスが提供されます。低速な狭帯域幅接続では、最適化された仮想チャンネルを使用することで最高のパフォーマンスが得られます。

注:

Mac 向け Citrix Workspace アプリの USB リダイレクトで SMART ボードを使用する場合、マウスとして処理されます。

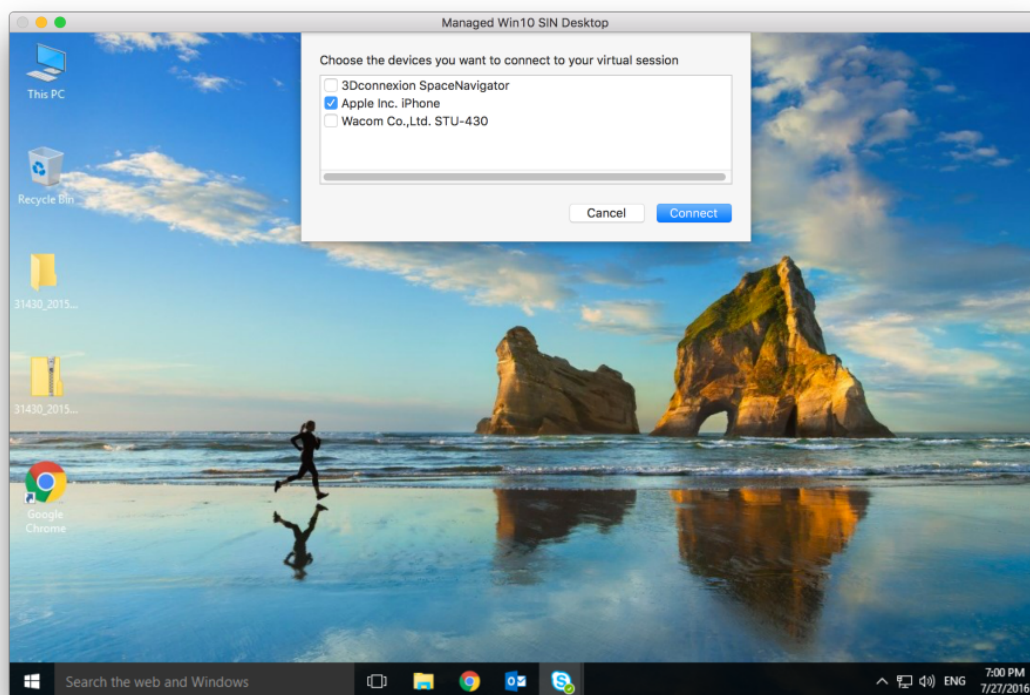
この製品は、USB 3.0 デバイスと USB 3.0 ポートを使用する最適化された仮想チャンネルをサポートします。たとえば、CDM 仮想チャンネルは、カメラ上でファイルを表示したり、ヘッドセットに音声を提供するために使用されます。USB 3.0 デバイスを USB 2.0 ポートに接続した場合も、汎用 USB リダイレクトがサポートされます。

Web カメラのヒューマンインターフェイスデバイス (HID) ボタンなど、一部のデバイス固有の機能は、最適化された仮想チャンネルで正しく動作しない場合があります。代わりに、汎用 USB 仮想チャンネルを使用してください。

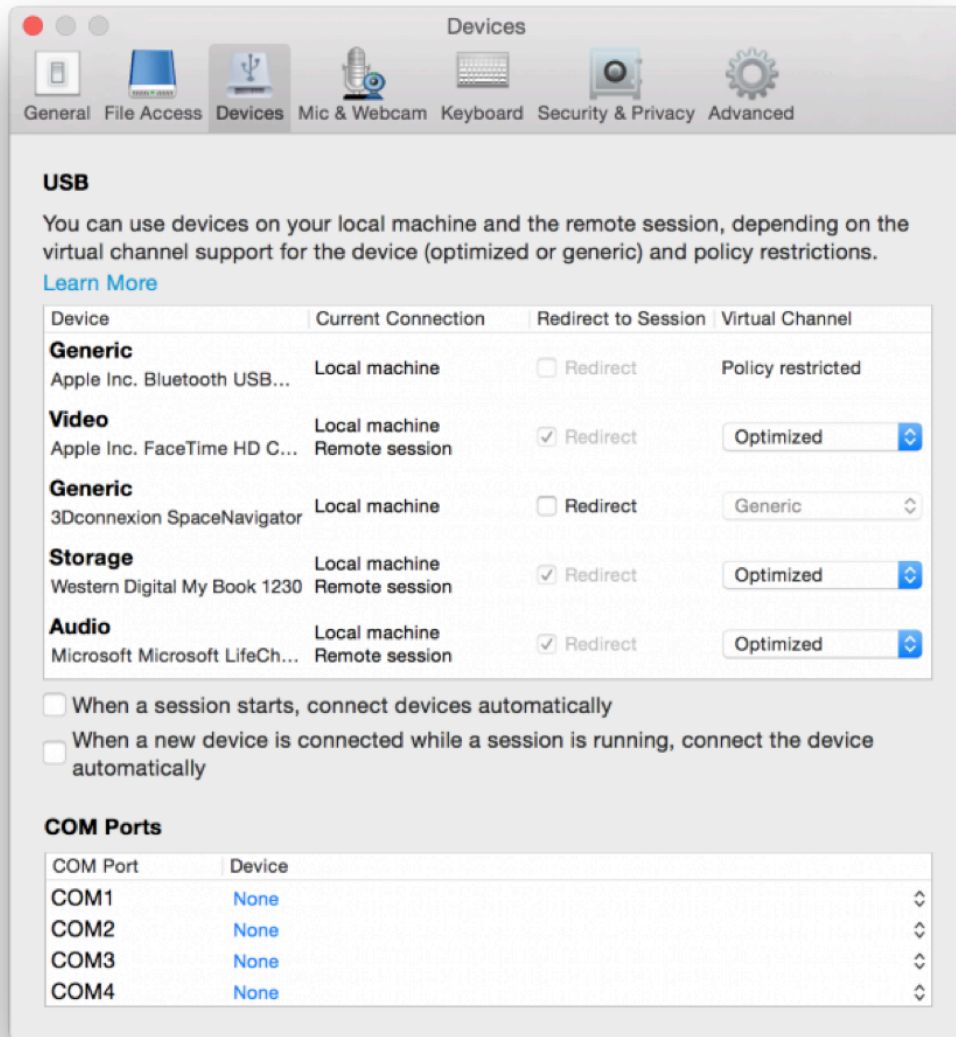
一部のデバイスはデフォルトではリダイレクトされず、ローカルセッションでのみ使用可能になります。たとえば、内部 USB で直接装着されたネットワークインターフェイスカード (NIC) は、リダイレクトには適しません。

USB リダイレクトを使用するには:

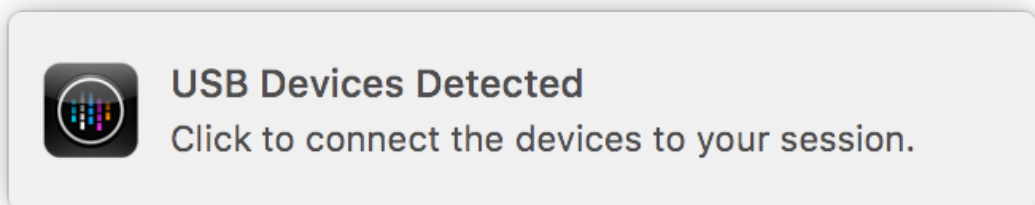
1. Mac 向け Citrix Workspace アプリがインストールされているデバイスに USB デバイスを接続します。
2. ローカルシステムで、使用できる USB デバイスを選択するメッセージが表示されます。



3. 接続するデバイスを選択して、[接続] をクリックします。接続できない場合は、エラーメッセージが表示されます。
4. [環境設定] ウィンドウの [デバイス] タブで、接続された USB デバイスが [USB] パネルに一覧表示されます：



5. USB デバイスの仮想チャンネルの種類（汎用または最適化）を選択します。
6. メッセージが表示されます。クリックして USB デバイスをセッションに追加します：



USB デバイスの装着と取り外し

ユーザーは、仮想セッションの開始前および開始後に USB デバイスを装着できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、以下の点について考慮してください：

- セッションを開始した後で装着したデバイスは、Desktop Viewer の [USB] メニューに直ちに追加されます。
- USB デバイスが正しくリダイレクトされない場合、仮想セッションが開始されてからデバイスを装着することで問題が解決される場合があります。
- データの損失を避けるため、Windows で推奨される手順（[ハードウェアの安全な取り外し] メニューなど）に従って USB デバイスを取り外してください。

サポートされている USB デバイス

Apple がカーネル機能拡張（KEXT）の廃止を発表したことで、Mac 向け Citrix Workspace アプリは Apple が提供する新しいユーザーモードの USB フレームワーク `IOUSBHost` に移行しました。この記事では、サポートされている USB デバイスを一覧表示します。

USB リダイレクトと互換性がある **USB** デバイス 次の USB デバイスは、USB リダイレクトとシームレスに連携します：

- 3DConnexion SpaceMouse
- 大容量記憶装置デバイス
- Kingston DataTraveler USB フラッシュドライブ
- Seagate 外付け HDD
- Kingston/Transcend フラッシュドライブ 32GB/64GB
- NIST PIV スマートカード/リーダー
- YubiKey

USB リダイレクトで失敗する **USB** デバイス **Transcend SSD** 外付けハードディスクデバイスは、USB リダイレクトと互換性がありません：

未確認の **USB** デバイス Mac 向け Citrix Workspace アプリで USB リダイレクトが成功するかを Citrix が検証していないデバイスはたくさんあります。これらのデバイスの一部を次に示します：

- その他のハードディスク
- カスタム HID プロトコルを使用するキーボードとヘッドセットの特殊キー

大容量記憶装置デバイスのサポート

一部のタイプの大容量記憶装置デバイスは、正常にリダイレクトできないことが報告されています。リダイレクトに失敗したデバイスには、クライアントドライブマッピングと呼ばれる最適化された仮想チャネルがあります。クライアントドライブマッピングを使用すると、大容量記憶装置デバイスへのアクセスは、Delivery Controller のポリシーで制御できます。

アイソクロナスデバイスのサポート 汎用 USB リダイレクトは、Mac 向け Citrix Workspace アプリのアイソクロナスクラスの USB デバイスをサポートしていません。USB 仕様におけるデータ転送のアイソクロナスモードとは、タイムスタンプ付きデータを一定の速度でストリーミングするデバイスのことです。例：Web カメラ、USB ヘッドホンなど

複合デバイスのサポート USB 複合デバイスは、複数の機能を実行できる単一のガジェットです。例：マルチ機能プリンター、iPhone など。現在、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS セッションへの複合デバイスのリダイレクトをサポートしていません。

サポートされていない USB デバイス用の代替手段 汎用 USB リダイレクトでサポートされていないデバイスを処理できる最適化された仮想チャネルがあります。これらの仮想チャネルは、汎用 USB リダイレクトと比較すると速度が最適化されています。以下は、いくつかの例です：

- **Web カメラリダイレクト**：未処理の Web カメラトラフィックデータに最適化されています。Microsoft Teams Optimization Pack には、独自の Web カメラリダイレクト方法があります。この場合、Web カメラリダイレクト仮想チャネルは利用できません。
- **オーディオリダイレクト**：オーディオストリームを転送するように最適化されています。
- **クライアントドライブマッピング**：大容量記憶装置デバイスを Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス) セッションにリダイレクトするように最適化されています。例：フラッシュドライブ、ハードディスク、DVD ROM/RW など。

Web カメラ

May 16, 2024

連係カメラのサポート

2305 バージョン以降、連係カメラを使用して、iPhone を Web カメラとして使用できるようになります。シームレスな接続を実現するには、iPhone のカメラが Mac デバイスで利用できるように iPhone をマウントします。外部

カメラとして Mac デバイスで自動的に表示されるには、iPhone で **[Web カメラ]** > **[自動カメラ選択]** を選択する必要があります。他のカメラには手動で切り替えることができます。たとえば **[Web カメラ]** > **[FaceTime HD カメラ]** のように選択します。連係カメラは有線またはワイヤレスで動作し、高品質の画像を提供します。

前提条件

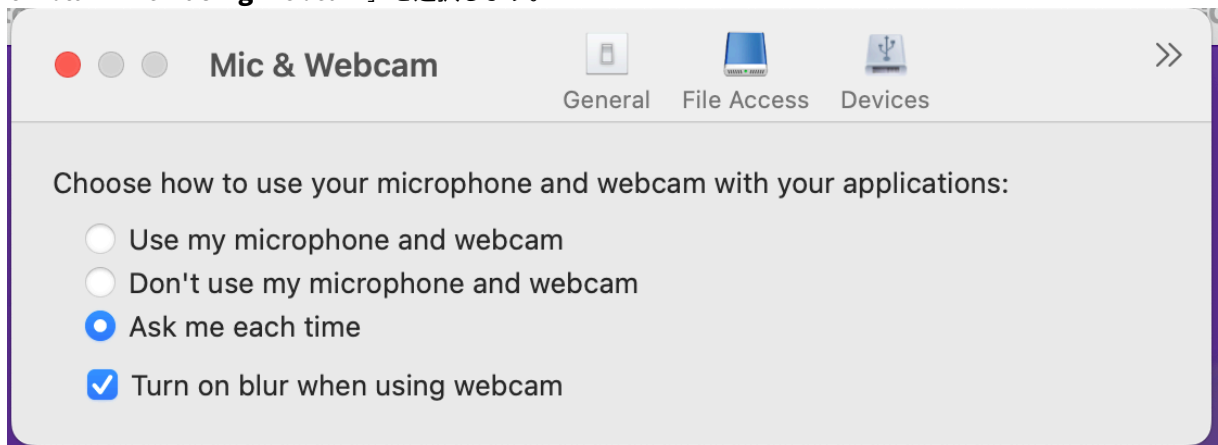
- この機能は、macOS バージョン 13 を実行している Mac デバイスでサポートされています。
- この機能は、iOS バージョン 16 を実行している iOS デバイスでサポートされています。
- iOS デバイスと Mac デバイスの両方の Citrix Workspace アプリで、同じ Apple アカウントにサインインする必要があります。
- 有線接続の場合、iPhone は USB 経由で Mac デバイスに接続する必要があります。
- ワイヤレス接続するには、iPhone と Mac デバイスが近くにあり、Bluetooth と Wi-Fi がオンになっている必要があります。

以下のような機能を利用できます：

- センターフレーム - 動き回っても画像がフレーム内に収まるようにします。
- ポートレートモード - 画像の背景をぼかします。
- スタジオ証明 - 画像に明るい効果を与えます。背景を暗くし、画像を明るく照らします。
- デスクビュー-iPhone は超広角カメラのフィードを 2 つに分割して、机の上と顔を同時に表示します。
- 画面の共有-iPhone は超広角カメラのフィードを 2 つに分割して、机の上と顔を同時に表示します。ビデオ会議アプリで利用できるウィンドウ共有機能を使用して、デスクビューフィードを共有できます。

Web カメラの背景のぼかしをサポート

2402 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリが、Web カメラの使用時に背景のぼかしをサポートするようになりました。背景のぼかし機能を有効にするには、**[環境設定]** > **[Mic & Webcam]** に移動して、**[Turn on blur when using webcam]** を選択します。



セッションエクスペリエンス

February 1, 2024

セッション画面の保持機能およびクライアントの自動再接続機能

セッション画面の保持機能は、ICA セッションをアクティブのまま保持し、ネットワークの接続が切断されても、セッションの画面を表示したままにできます。ユーザーは、接続が回復するまでセッション画面を見ることができます。

セッション画面の保持機能を有効にすると、データを損失することなく、サーバー上のセッションがアクティブのまま保持されます。ネットワークが中断されると、セッション画面が停止するため、ユーザーにもネットワークが切断されていることがわかります。また、セッションに再接続するときに再認証用のログオン画面が表示されないため、ユーザーは即座に作業を再開できます。

重要

- Mac 向け Citrix Workspace アプリのユーザーは、サーバー側の設定を上書きできません。
- セッション画面の保持を有効にすると、セッションの通信に使用されるデフォルトのポートは、1494 から 2598 に変更されます。

セッション画面の保持機能とともに、TLS (Transport Layer Security) を使用できます。

注:

TLS は、ユーザーデバイスと Citrix Gateway 間で送信されるデータのみを暗号化します。

セッション画面の保持ポリシーを使用する

[セッション画面の保持] ポリシー設定により、セッション画面の保持を許可または禁止します。

[セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシー設定には、デフォルトで 180 秒 (3 分) が設定されています。この時間を長く設定することもできますが、この機能はユーザーに利便性を提供します。したがって、ユーザーに再認証を求めるプロンプトは表示されません。

ヒント

セッション画面の保持のタイムアウトを延長すると、ユーザーの気が散ってデバイスから離れたときに、許可されていないユーザーがセッションにアクセスできるようになる可能性があります。

デフォルトでは、セッション画面の保持機能が有効な受信接続ではポート 2598 が使用されます。このポート番号はポリシーの [セッション画面の保持のポート番号] 設定で変更できます。

[クライアントの自動再接続時の認証] ポリシー設定を構成して、中断されたセッションにユーザーが再接続するときに再認証を要求することができます。

セッション画面の保持機能とクライアントの自動再接続機能を一緒に使用する場合は、次のように処理されます。まず、ネットワークが切断されると、セッション画面の保持機能により、セッションがアクティブのままサーバー上に保持されます。[セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシー設定で指定した時間が経過すると、サーバー上のセッションが終了または切断されます。この後でクライアントの自動再接続のポリシー設定が有効になり、切断セッションへの再接続が行われます。

注:

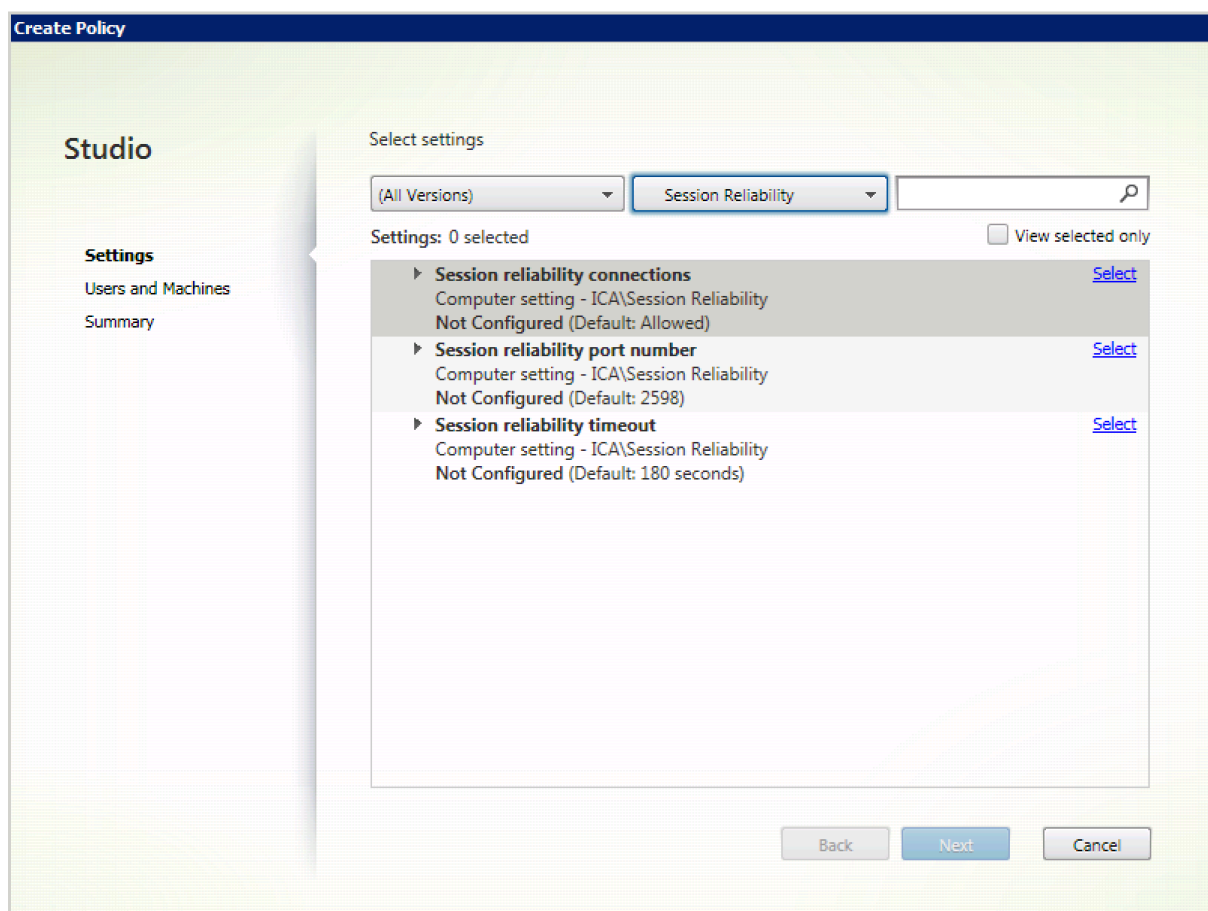
セッション画面の保持は、サーバーでデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、サーバーで管理するポリシーを構成します。

Citrix Studio からセッション画面の保持を設定する

デフォルトでは、セッション画面の保持機能は有効になっています。

セッション画面の保持を無効にするには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [セッション画面の保持] ポリシーを開きます。
3. ポリシーを [禁止] に設定します。



セッション画面の保持のタイムアウトを設定する

デフォルトでは、セッション画面の保持のタイムアウトは 180 秒に設定されています。

注:

セッション画面の保持のタイムアウトポリシーは、XenApp および XenDesktop 7.11 以降でのみ構成できます。

セッション画面の保持のタイムアウトを変更するには:

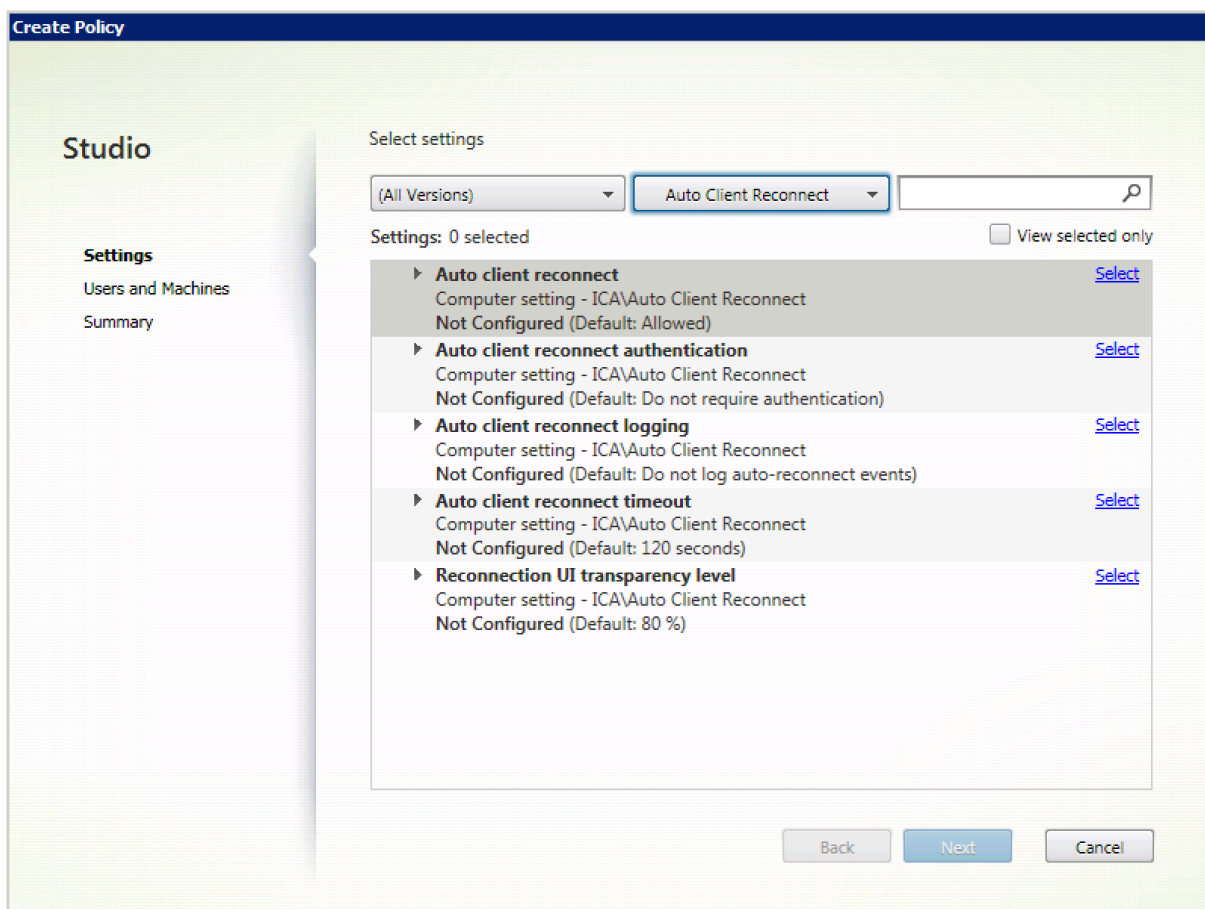
1. Citrix Studio を起動します。
2. [セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシーを開きます。
3. タイムアウト値を編集します。
4. **[OK]** をクリックします。

Citrix Studio を使用してクライアントの自動再接続を設定する

デフォルトでは、自動再接続機能は有効になっています。

自動再接続を無効にするには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [クライアントの自動再接続] ポリシーを開きます。
3. ポリシーを [禁止] に設定します。



クライアントの自動再接続のタイムアウトを設定する

デフォルトでは、クライアントの自動再接続のタイムアウトは 120 秒に設定されています。

注:

クライアントの自動再接続のタイムアウトポリシーは、XenApp および XenDesktop 7.11 以降でのみ構成できます。

クライアントの自動再接続のタイムアウトを変更するには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [クライアントの自動再接続] ポリシーを開きます。
3. タイムアウト値を編集します。
4. **[OK]** をクリックします。

制限事項:

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ターミナルサーバーの VDA で、ユーザー設定に関係なくタイムアウト値に 120 秒を使用します。

再接続ユーザーインターフェイスの透明度を設定する

セッションのユーザーインターフェイスは、セッション画面の保持およびクライアントの自動再接続の試行中に表示されます。ユーザーインターフェイスの透明度は、Studio のポリシーを使用して変更できます。

デフォルトでは、再接続 UI の透明度は、80 に設定されています。

再接続ユーザーインターフェイスの透明度を変更するには：

1. Citrix Studio を起動します。
2. [再接続 **UI** の透過レベル] ポリシーを開きます。
3. 値を編集します。
4. [**OK**] をクリックします。

クライアントの自動再接続とセッション画面の保持の操作

さまざまなアクセスポイント間の切り替え、ネットワークの中断、遅延に関連したタイムアウトの表示など、モバイルには多数の課題があります。このため、Mac 向け Citrix Workspace アプリのアクティブなセッションでリンクの整合性を保持しようとする問題が発生することがあります。Citrix の強化されたセッション画面の保持および自動再接続テクノロジーがこの問題を解決します。

この機能により、ユーザーはネットワークの中断から回復した後、セッションに自動的に再接続できます。これらの機能は、Citrix Studio のポリシーで有効にでき、ユーザーエクスペリエンスを向上します。

注：

クライアントの自動再接続およびセッション画面の保持のタイムアウト値は、StoreFront の **default.ica** ファイルを使用して変更できます。

クライアントの自動再接続

クライアントの自動再接続は、Citrix Studio ポリシーで有効または無効にできます。この機能は、デフォルトで有効になります。このポリシーの変更について詳しくは、この記事で前述されたクライアントの自動再接続に関するセクションを参照してください。

StoreFront でデフォルトの.ica ファイルを使用して、AutoClienreconnect の接続タイムアウトを変更します。デフォルトでは、タイムアウトは 120 秒（2 分）に設定されています。

設定	例	デフォルト
TransportReconnectRetryMaxTSec	60	60

セッション画面の保持

セッション画面の保持機能の有効または無効の設定は、Citrix Studio ポリシーで行います。この機能は、デフォルトで有効になります。

StoreFront の **default.ica** ファイルを使用して、セッション画面の保持の接続タイムアウトを変更します。デフォルトでは、このタイムアウトは 180 秒（3 分）に設定されています。

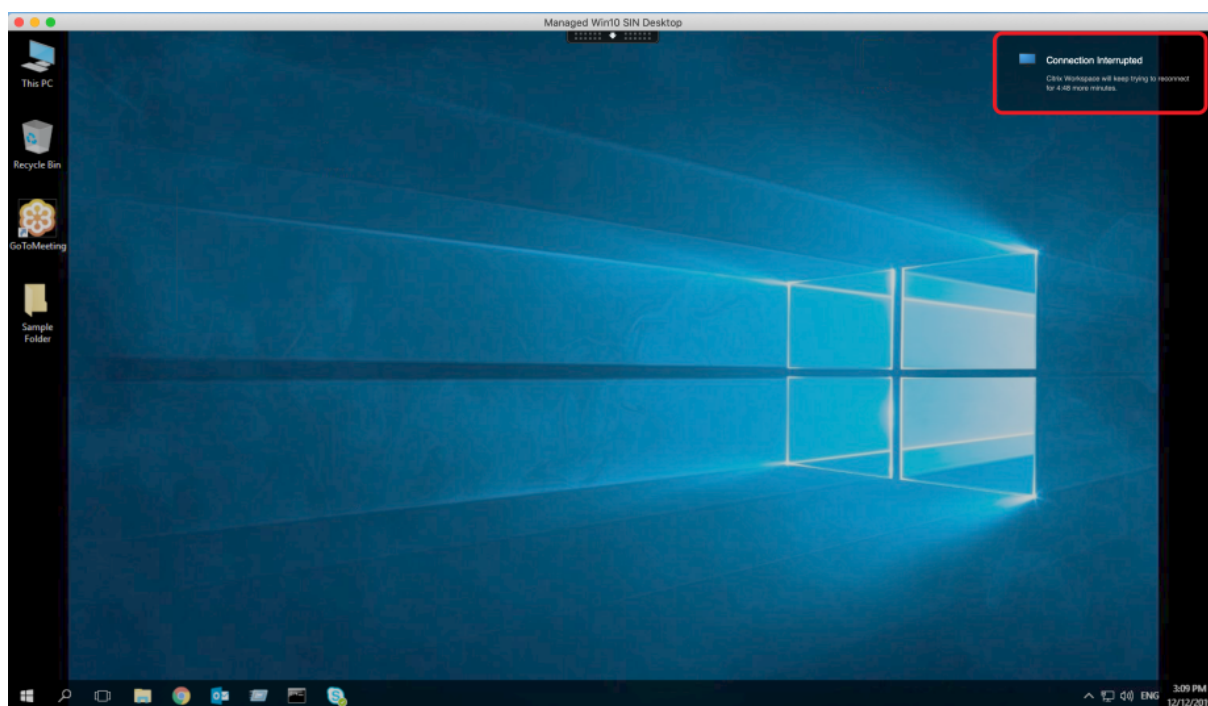
設定	例	デフォルト
SessionReliabilityTTL	SessionReliabilityTTL=120	180

クライアントの自動再接続およびセッション画面の保持の仕組み

Mac 向け Citrix Workspace アプリでクライアントの自動再接続機能およびセッション画面の保持機能を有効にする場合、以下に注意してください：

- 再接続中は、セッションウィンドウが灰色になります。セッションを再接続するまでの残り時間がカウントダウンタイマーで表示されます。セッションがタイムアウトになると、接続は切断されます。

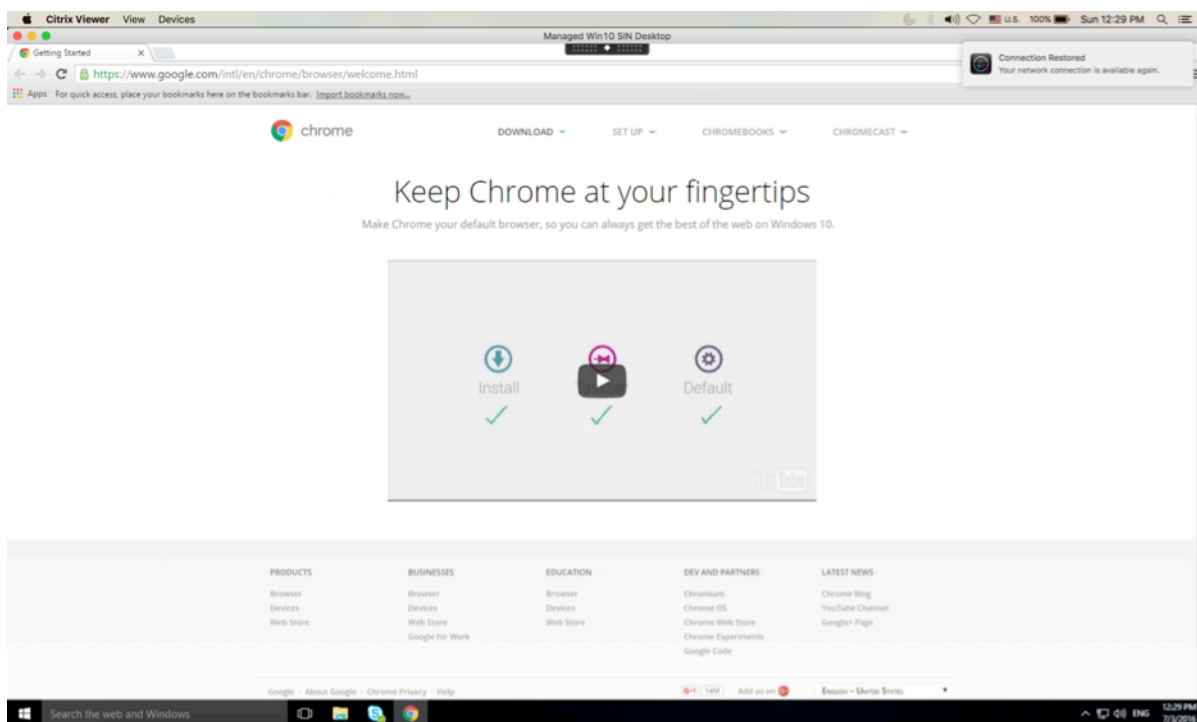
デフォルトでは、再接続のカウントダウン通知の最小値は 5 分です。このタイマー値は、自動再接続のデフォルトの値（2 分）およびセッション画面の保持のデフォルトの値（3 分）を組み合わせた値です。以下の画面は、セッションインターフェイスの右上に表示されるカウントダウン通知です：



ヒント

非アクティブなセッションに使用されるグレースケールの明るさは、コマンドプロンプトを使用して変更できます。例: `defaults write com.citrix.receiver.nomas NetDisruptBrightness 80`。デフォルト値は、80 に設定されています。最大値は 100（半透明の画面）より上に設定できません。最小値は 0（完全に黒くなった画面）に設定できます。

- セッションの再接続が成功した場合（またはセッションが切断された場合）に通知が表示されます。この通知は、セッションインターフェイスの右上に表示されます：



- 自動再接続およびセッション画面の保持コントロールの下に表示されるセッション画面では、セッションの接続状態を知らせるメッセージが提供されます。アクティブなセッションに戻るには、[再接続のキャンセル] をクリックします。

サービス継続性

サービス継続性により、接続プロセスに関与するコンポーネントの可用性に依存することがなくなるか、最小限に抑えられます。ユーザーは、クラウドサービスのヘルス状態に関係なく、仮想アプリと仮想デスクトップを起動できます。

詳しくは、Citrix Workspace ドキュメントの「[サービス継続性](#)」セクションを参照してください。

Safari ブラウザーでのサービス継続性のサポート

2206.1 バージョン以降、Citrix Workspace サービスの継続性機能が Safari ブラウザーでサポートされています。ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリと Citrix Workspace Web 拡張機能をインストールする必要があります。サービス継続性により、接続プロセスに関与するコンポーネントの可用性に依存することがなくなります (あるいは最小限に抑えられます)。クラウドサービスの稼働状況に関係なく、仮想アプリやデスクトップに接続できます。サービス継続性機能について詳しくは、「[サービス継続性](#)」のセクションを参照してください。

リモートデスクトップセッションの永久クライアントアクセスライセンス (CAL) の強化

2204 バージョン以降、リモートデスクトップにアクセスするために環境で CAL を実行している場合、クライアント ID が 15 文字を超えると、恒久ライセンスを使用してリモートデスクトップセッションを起動できます。

この機能を有効にするには、管理者が以下を実行して `default.ica` ファイルを構成する必要があります：

1. StoreFront サーバーで、`C:\inetpub\wwwroot\Citrix<StoreName>\App_Data` に移動し、任意のエディターで `default.ica` ファイルを開きます。
2. **[WFClient]** セクションに、次の行を追加します：

```
isRDSLicensingEnabled=On
```

トラブルシューティング

June 26, 2024

Citrix Workspace アプリに関するフィードバックを送信する

2307 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリはフィードバックの送信機能をサポートしています。[フィードバックの送信] オプションを使用すると、Citrix Workspace アプリの使用中に問題が発生した場合に Citrix に通知できます。Citrix Workspace アプリのエクスペリエンスを改善するためのご提案を送信いただくこともできます。

[ヘルプ] > [フィードバックの送信] を選択して、問題の詳細を [フィードバックの送信] フォームに記入し、確認します。フォームに記載されている例のような詳細を追加できます。

Log collection'. Below this is a button labeled 'Record my issue' and a file attachment 'WorkspaceLogs_2023_07_18-14_23_43.zip' with a trash icon. The next section is 'Attachments' with text: 'Screenshots or screen recordings of the problem.' Below this is a button labeled 'Choose files' followed by '(Max 4 files)'. At the bottom, there is a paragraph: 'Your feedback will be used to improve Citrix Workspace app. If you don't use the Mail app on your Mac, please send feedback to cwa-mac-feedback@cloud.com with files added manually.' and two buttons: 'Send' and 'Cancel'."/>

Send feedback

Provide a descriptive title*

Example : Unable to launch desktop/application

Tell us more*

Include details such as:

- What you expected to happen
- What actually happened
- Steps to recreate the issue

Logs

Basic logs are attached. We recommend you click 'Record my issue' to capture detailed logs.

For more information, see [Log collection](#)

Record my issue WorkspaceLogs_2023_07_18-14_23_43.zip

Attachments

Screenshots or screen recordings of the problem.

Choose files (Max 4 files)

Your feedback will be used to improve Citrix Workspace app. If you don't use the Mail app on your Mac, please send feedback to cwa-mac-feedback@cloud.com with files added manually.

Send **Cancel**

画面

既存のログファイルを添付することも、新しいログファイルを生成することもできます。ログファイルを生成するには、**[Record my issue] > [Start Recording]** をクリックし、問題を再現します。問題が再現されたら、**[記録の停止]** をクリックします。ログファイルは自動的に保存され、既存のログが、問題が再現されたログに置き換えられます。

注:

Citrix がログから PII（個人を特定できる情報）を収集することはありません。

問題を説明したスクリーンショットまたは画面録画を添付していただくと、Citrix が発生している問題を確認するうえで役立ちます。**[ファイルの選択]** をクリックし、スクリーンショットや画面録画など、問題の説明となる添付ファイルを追加します。最大 4 つのファイルを添付できます。

必要な情報を入力後、**[送信]** をクリックすると、追加した情報を含む新しいメールがメールアプリで自動的に作成されます。次いで、**[送信]** ボタンをクリックすれば、フィードバックが Citrix に送信されます。

注:

デフォルトのメールアプリを使用していない場合は、フィードバックをご使用のメールクライアントから cwa-mac-feedback@cloud.com に送信してください。問題の詳細、ログ ファイル、スクリーンショット、または画面録画をメールに手動で追加します。

ログ収集

2304 バージョン以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリはログ収集機能をサポートしています。ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを提供します。

2402 バージョン以降では、ログ収集機能が強化され、追加のログデータを収集してメールで送信できるようになりました。この機能を使用すると、必要なログ情報をすべて一度に簡単に収集できます。

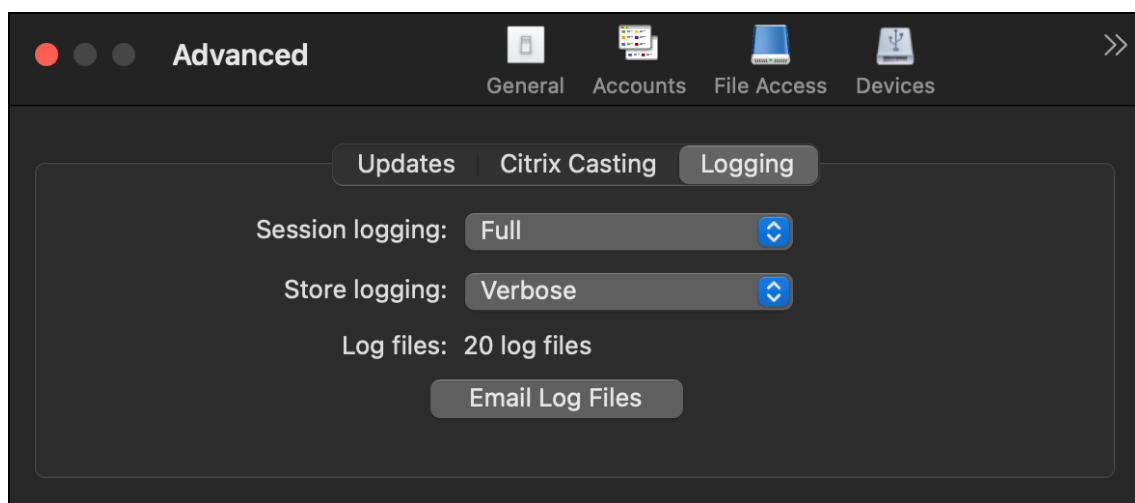
この機能を使用して、次の追加のログデータを収集します:

- Citrix プロセスのクラッシュレポート
- 環境設定の下にある Citrix 関連ファイル
- Citrix 関連ファイル `launchagents` および `launchdaemons`
- アプリケーションまたは Citrix Receiver の下にある Citrix 関連ファイル

GUI を使用してログを収集できます。

ログの収集:

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. [ログ] を選択します。



4. 次のセッションログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 接続診断: 接続中のエラーを識別します。セッションが成功したと見なされる時点まで、すべてのログが有効になります。
- 完全: 接続診断を含むすべてをキャプチャします。有効にすると、Citrix Workspace アプリは最大 10 個のセッションログを保存し、その後、10 個のログを維持するために最も古いものから削除されます。

注:

ログのオプションとして [完全] を選択すると、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。データ量が多いため、問題のトラブルシューティング中のみ使用します。通常の使用中はログで [完全] を有効にしないでください。このログレベルを有効にすると、警告ダイアログが表示されます。続行するには、このダイアログを確認する必要があります

5. 次のストアログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 標準: ストア通信ログのみが収集されます。
- 詳細: 認証およびストア通信の詳細ログが収集されます。

6. [ログファイルをメールで送信] クリックし、ログを収集して.zip ファイルとして共有します。

Sentry

Sentry は、アプリログを収集して問題やクラッシュを分析し、製品の品質を向上させるために使用されます。Citrix は、その他の個人ユーザー情報を収集または保存したり、機能分析データに Sentry を使用したりすることはありません。Sentry について詳しくは、「[\[https://sentry.io/welcome/\]](https://sentry.io/welcome/)」を参照してください。

廃止

April 18, 2024

この記事では、お客様が適宜ビジネス上の決定を下せるように、段階的に廃止されるプラットフォーム、Citrix では製品、機能について前もってお知らせします。Citrix ではお客様の使用状況とフィードバックをチェックして、各プラットフォーム、Citrix 製品、機能を撤廃するかどうかを判断しています。お知らせする内容は以降のリリースで変わることがあり、廃止される機能がすべて含まれるわけではありません。

廃止されたアイテムはすぐには削除されません。このリリースは Citrix で引き続きサポートされていますが、今後削除される予定です。

アイテム	削除済み/削除予定	廃止が発表されたリリース	代替手段
WebRTC SDP 形式 (Plan B) のサポート	2024 年 2 月に削除予定	2311	Citrix Workspace アプリをサポートされているバージョンにアップグレードしてください。
macOS バージョン Big Sur (11)	2024 年 5 月に削除予定	2023 年 9 月 (2308)	「 サポートされるオペレーティングシステム 」セクションの説明のとおり、サポートされているオペレーティングシステムを使用します。
macOS 向け Citrix Workspace アプリ (Intel (x86) ビルド)	2024 年 4 月に削除予定	2022 年 4 月 (2204)	ユニバーサルアーキテクチャを使用する macOS 向け Citrix Workspace アプリ。
macOS バージョンの Catalina (10.15)	2023 年 7 月に削除 (2307)	2023 年 4 月 (2304)	「 サポートされるオペレーティングシステム 」セクションの説明のとおり、サポートされているオペレーティングシステムを使用します。
macOS バージョンの High Sierra (10.13) および Mojave (10.14)	2020 年 9 月に削除 (2009)	2020 年 8 月 (2008)	Big Sur 11 以降へのアップグレード。



© 2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).